

医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査

集計・解析結果

P.2～ 病院調査結果

P181～ 保険薬局調査結果

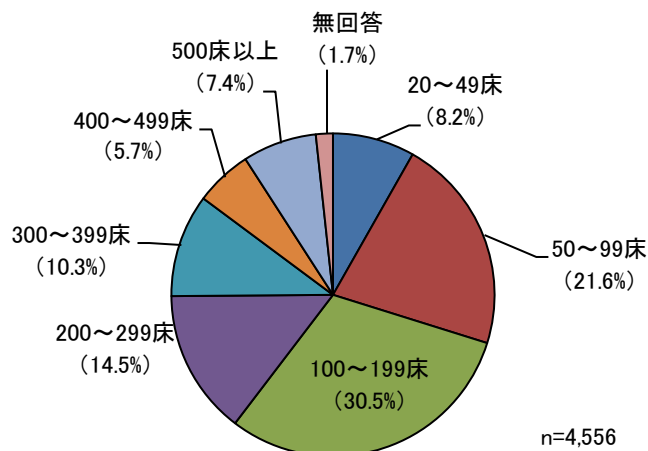
※集計・解析の留意点:クロス集計では、無回答は非表示とした。

病 院 調 査 結 果

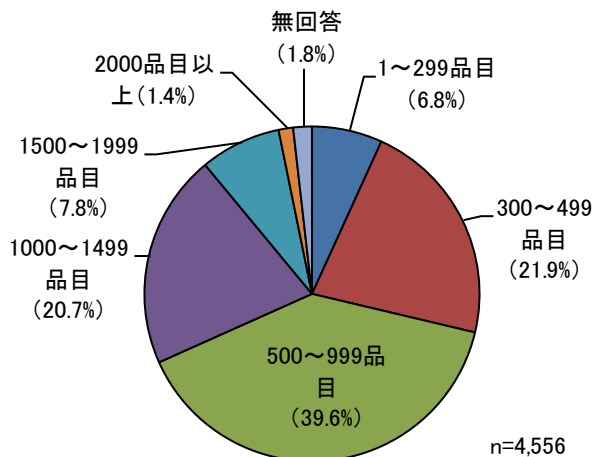
回答施設の概要

回答施設情報

【病床数】



【院内採用薬数】: 院内での処方が可能な医薬品

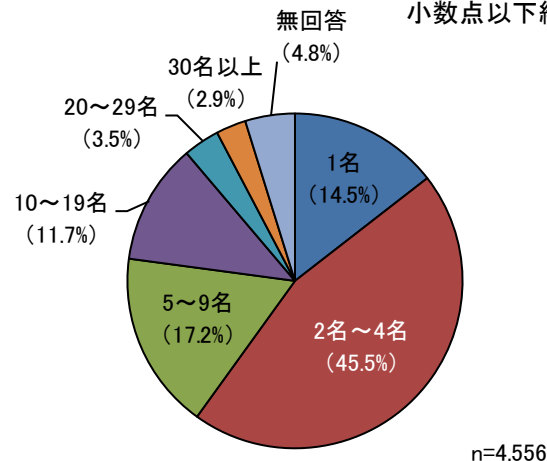


※品目数については、規格違い、剤形違いはそれぞれ1つと定義した。

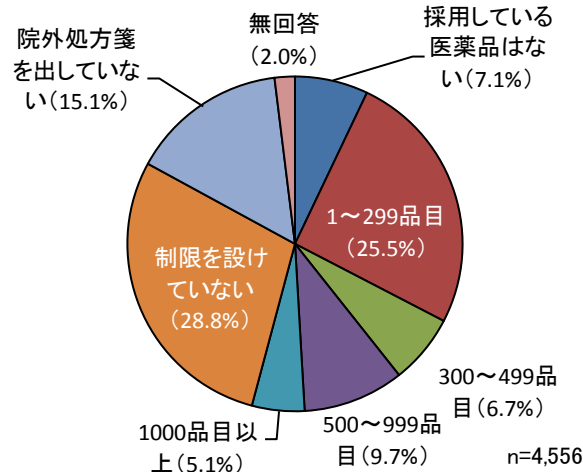
【薬剤師数（常勤換算）】

※薬剤師数(常勤換算)は

小数点以下繰り下げ



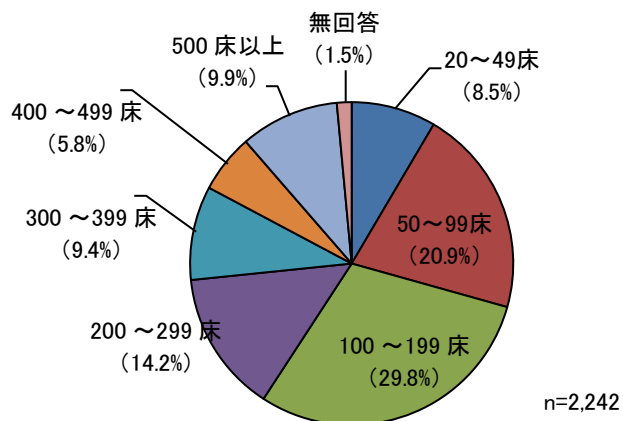
【院外採用薬数】: 院内での処方ではできないが、 院外での処方を認めている医薬品



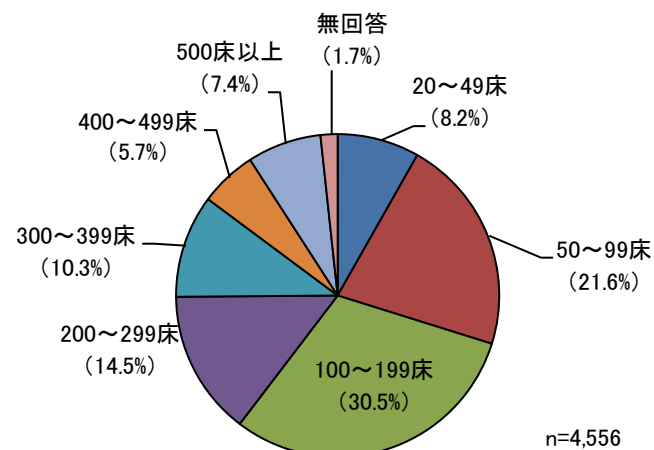
<参考>回答施設情報（前回調査との比較）

【病床数】

<前回調査>

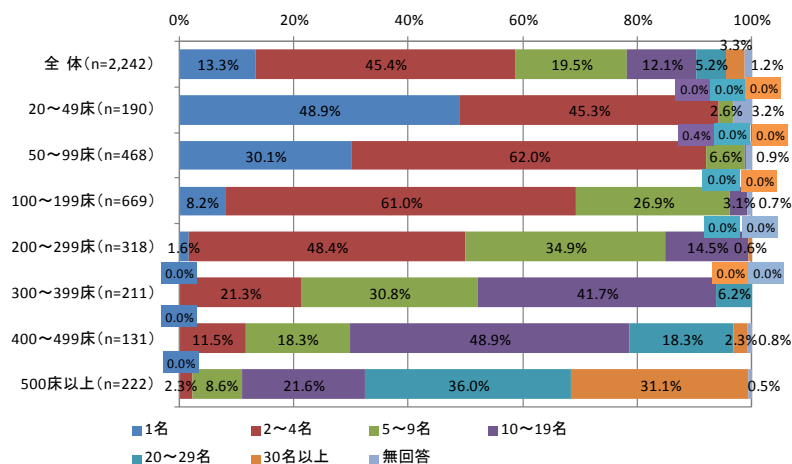


<今回調査>

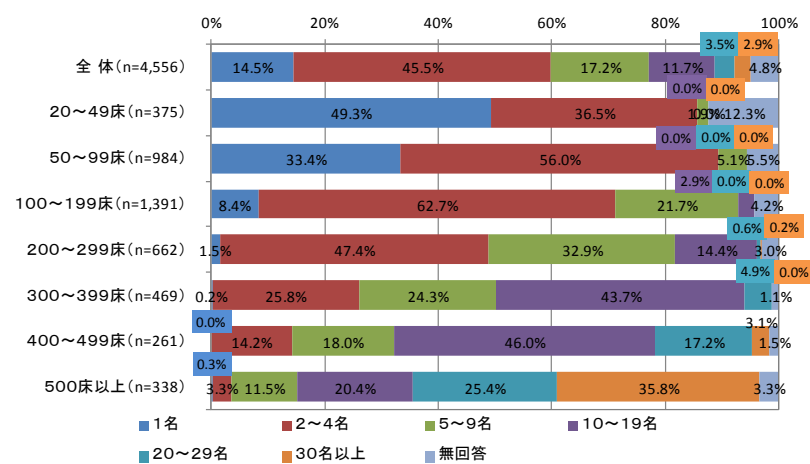


【薬剤師数（病床規模別）】

<前回調査>



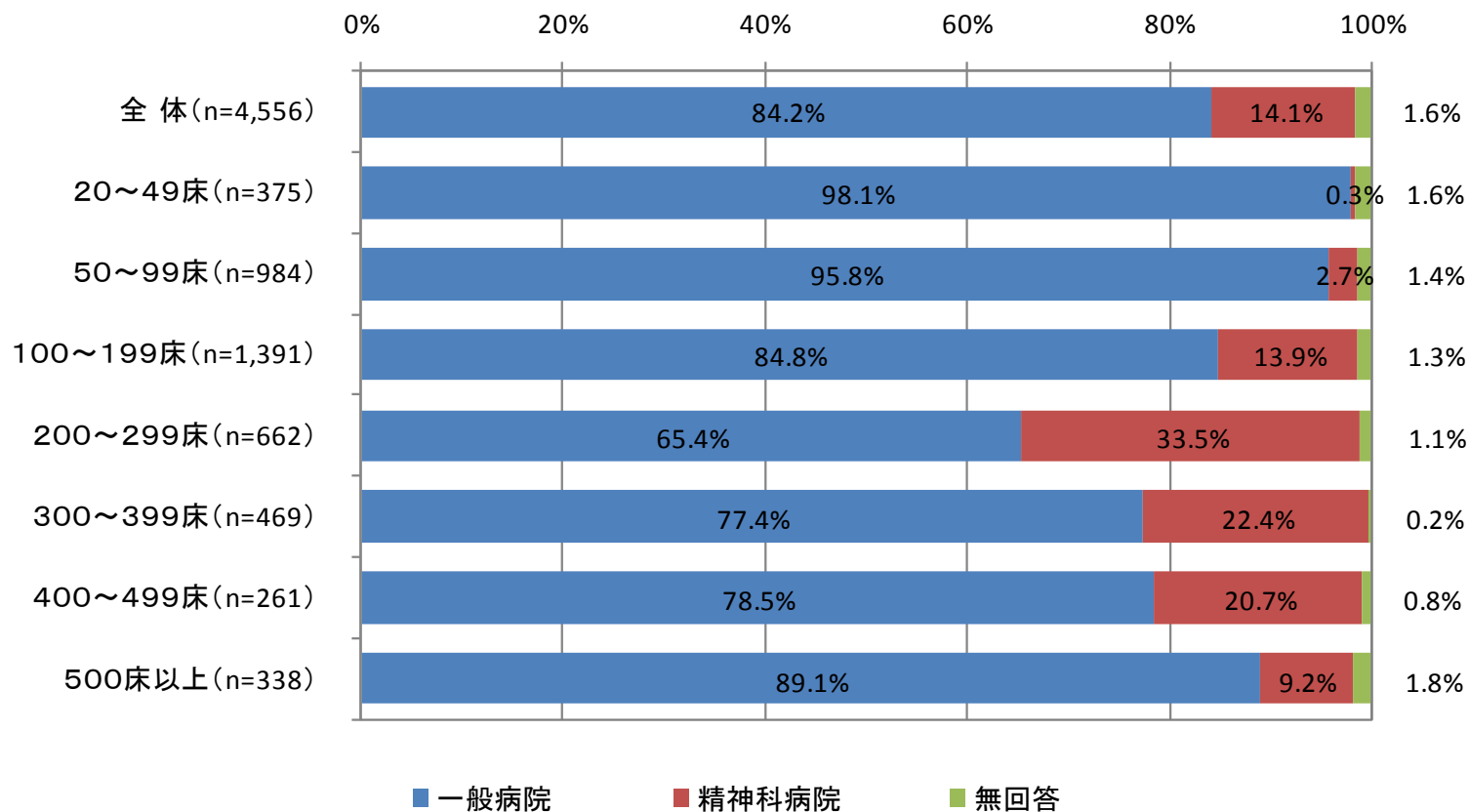
<今回調査>



※薬剤師数(常勤換算)は小数点以下繰り下げ

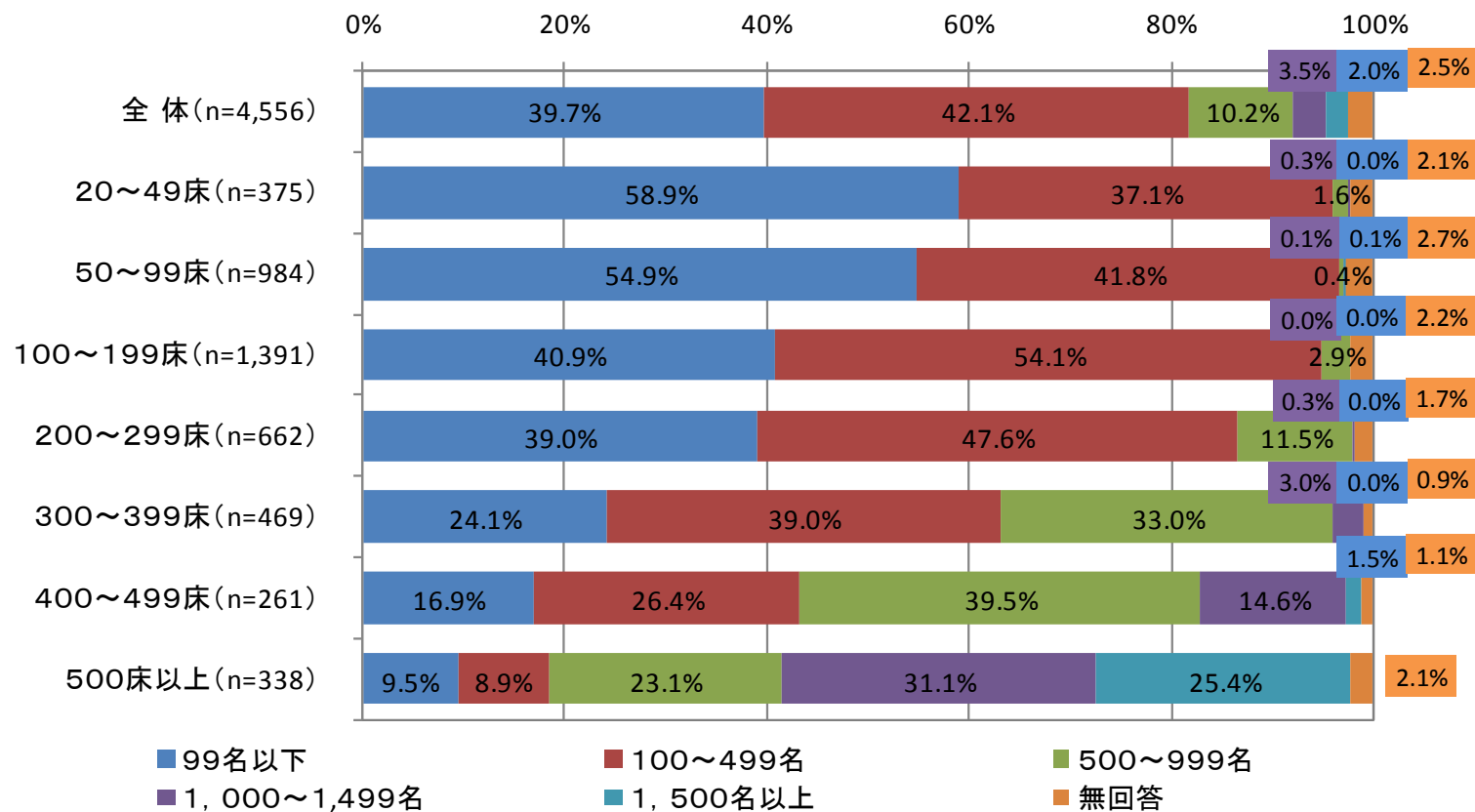
病院種別

病床規模別



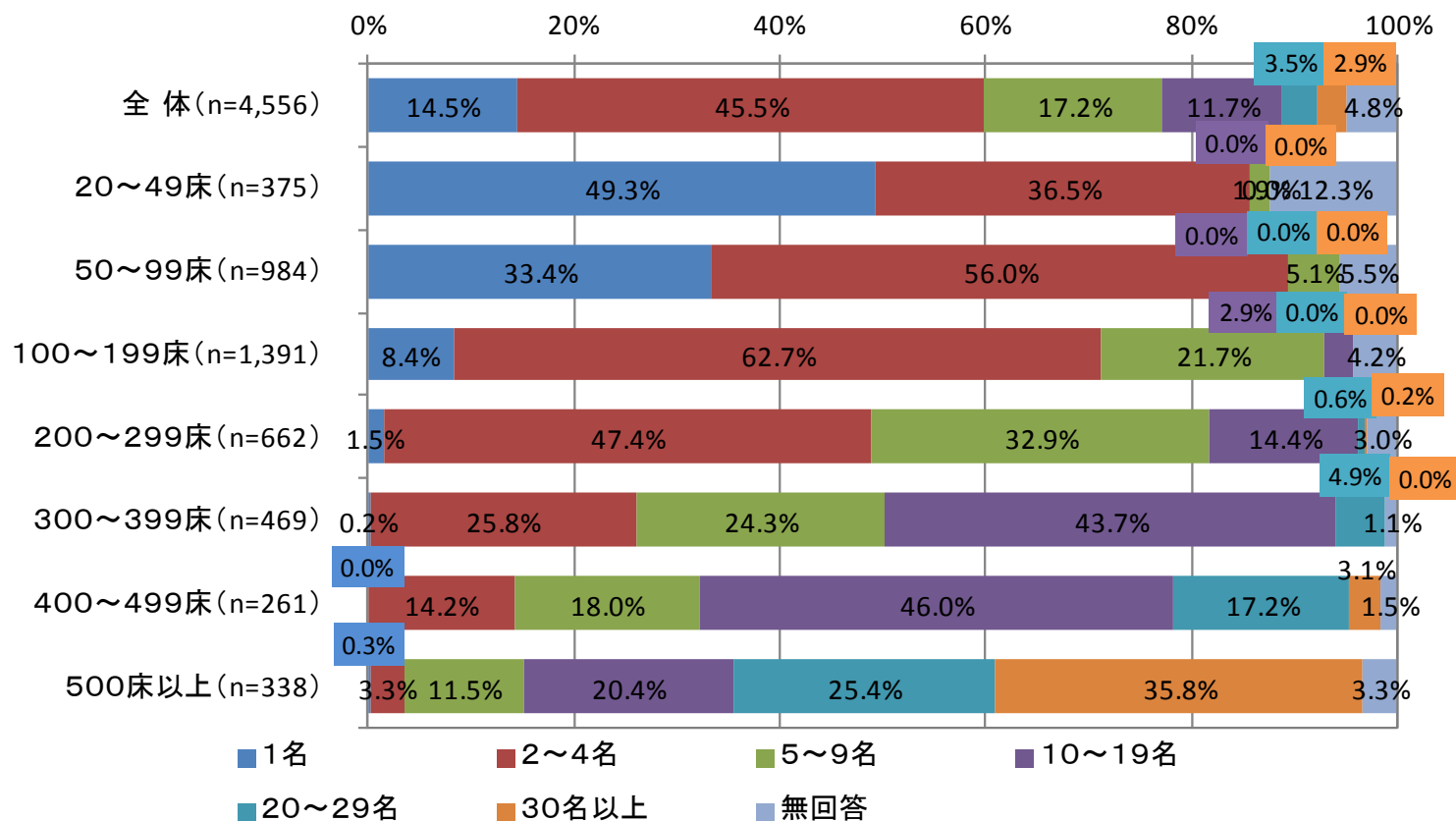
一日平均外来患者数

病床規模別



薬剤師数（常勤換算：常勤薬剤師＋非常勤薬剤師〔常勤換算〕）

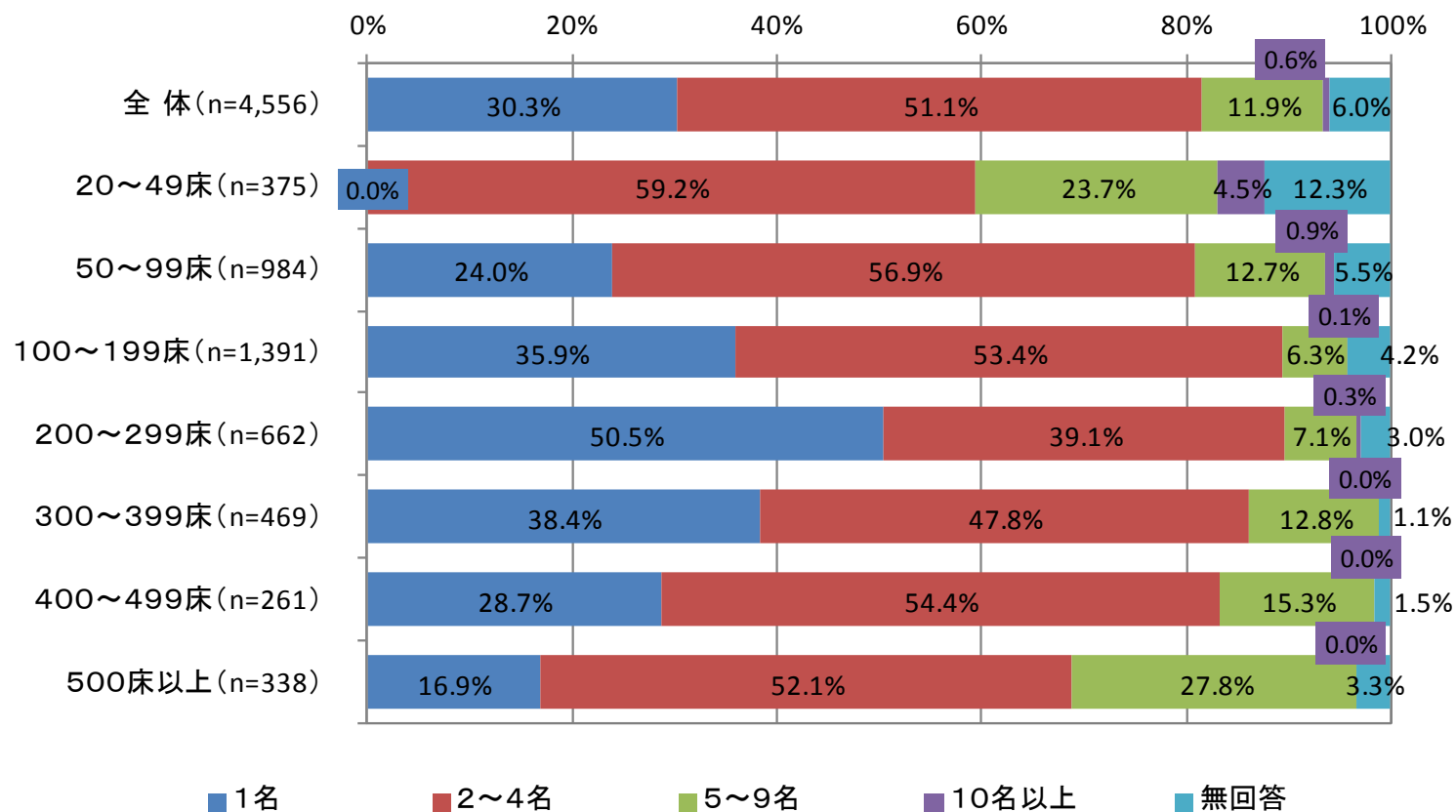
病床規模別



※薬剤師数(常勤換算)は小数点以下繰り下げ

100床あたり薬剤師数（常勤薬剤師＋非常勤薬剤師〔常勤換算〕）

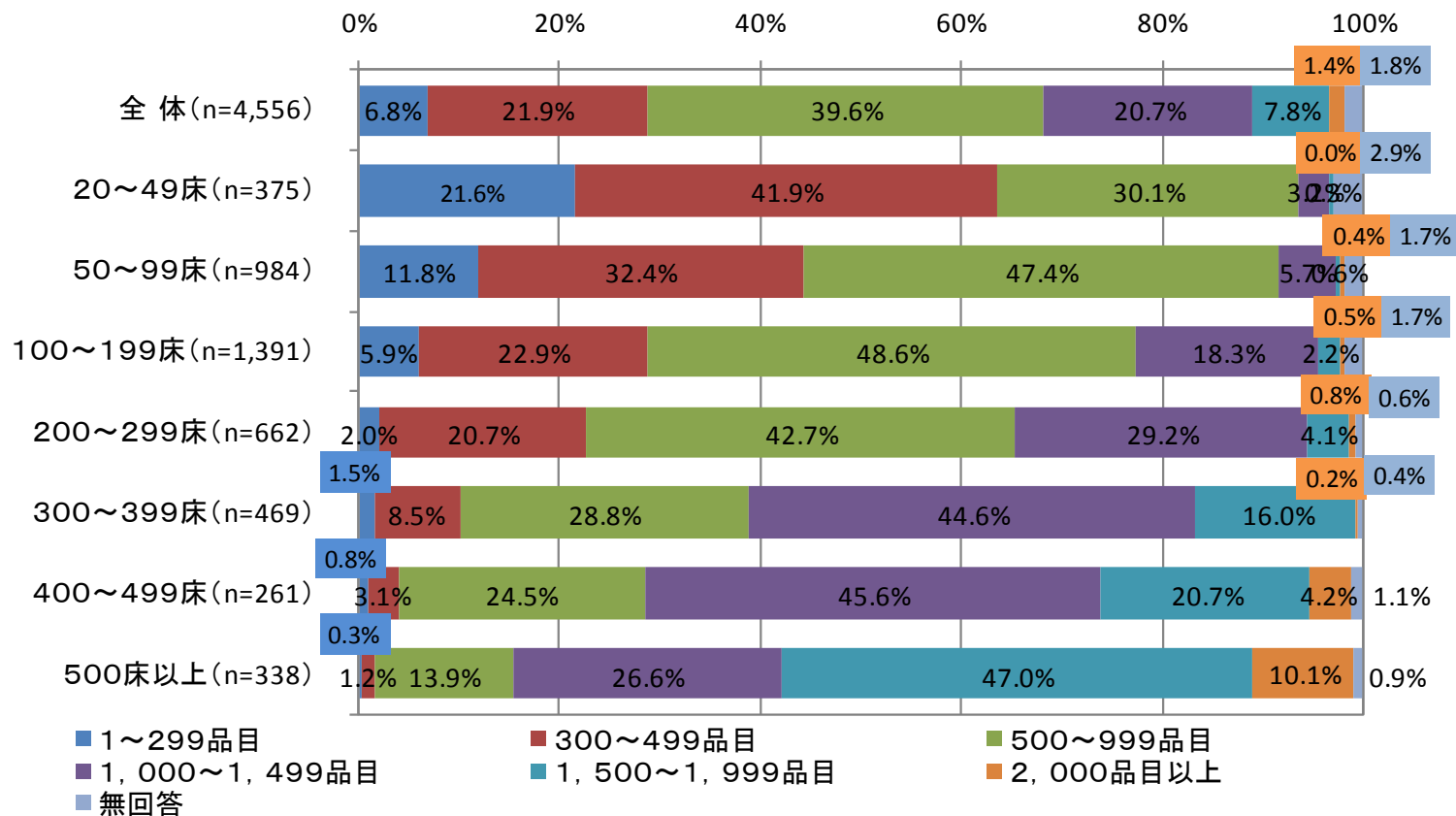
病床規模別



※薬剤師数(常勤換算)は小数点以下繰り下げ

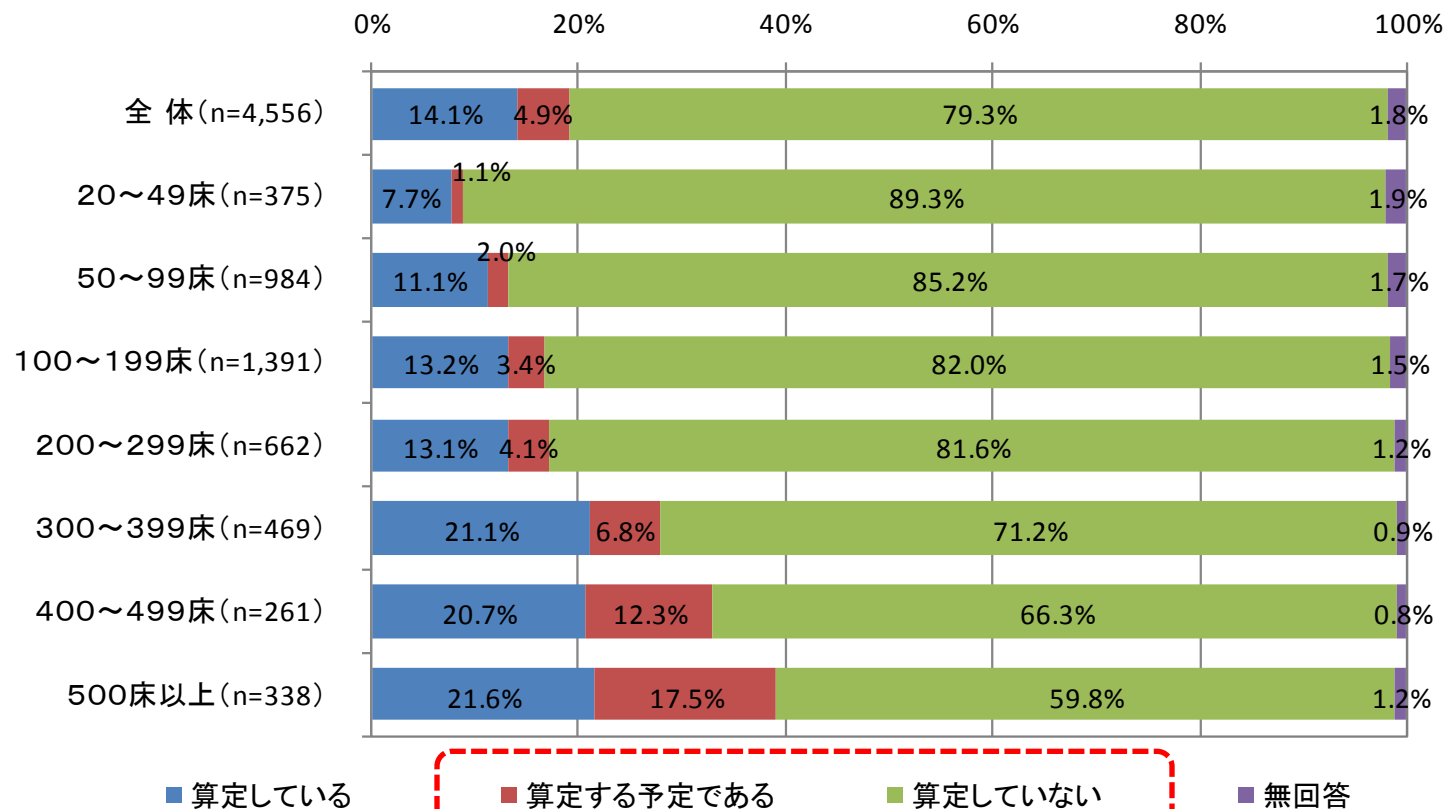
院内採用薬数

病床規模別



病棟薬剤業務実施加算（またはDPC 対象病院での機能評価係数Ⅰ）（1/2）

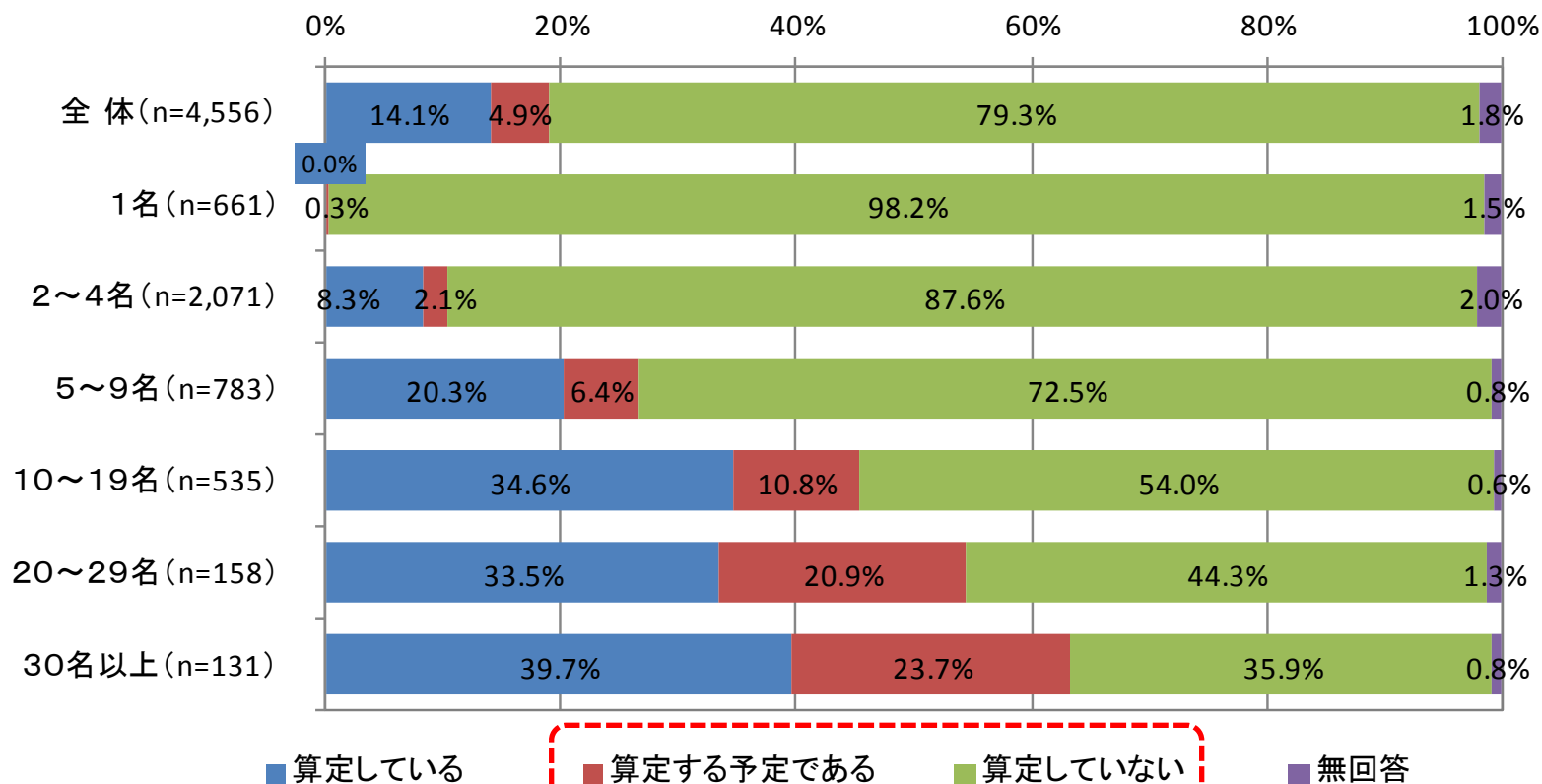
病床規模別



「病棟への薬剤師の配置状況（全病棟に対する率）」へ

病棟薬剤業務実施加算（またはDPC 対象病院での機能評価係数Ⅰ）（2/2）

薬剤師数別
（常勤換算）

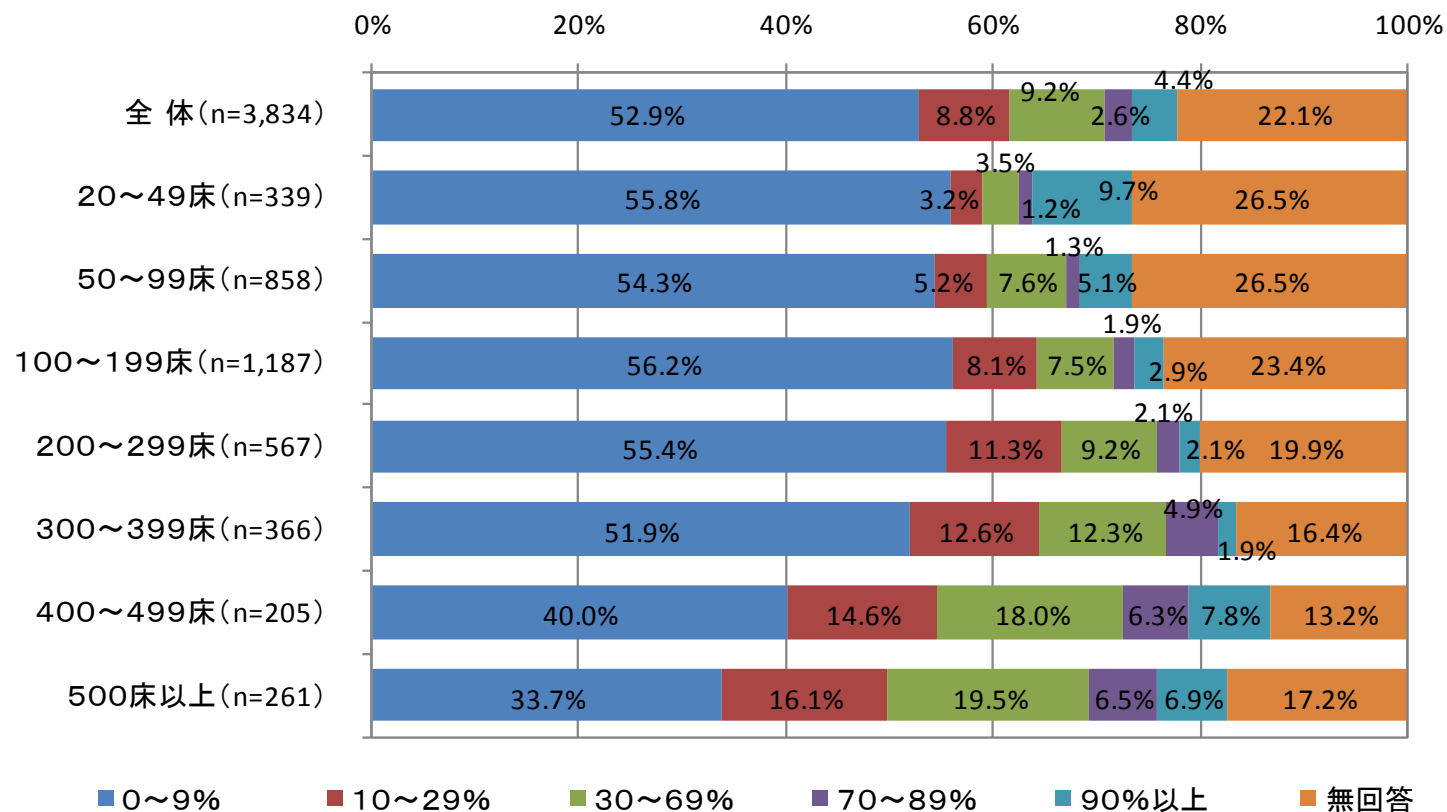


「病棟への薬剤師の配置状況（全病棟に対する率）」へ

病棟への薬剤師の配置状況（全病棟に対する率）（1/3）

病床規模別

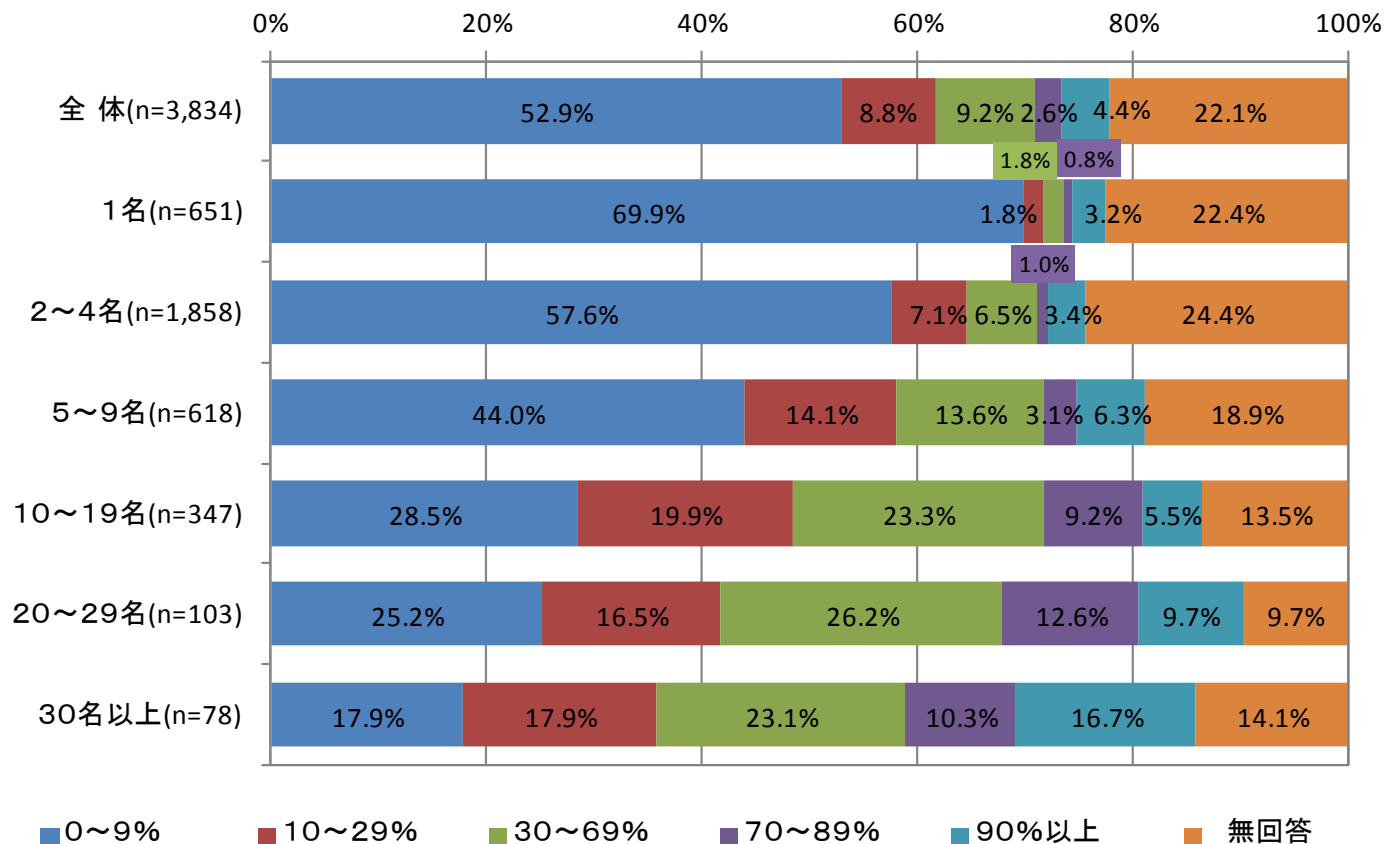
集計対象：病棟薬剤業務実施加算を「算定する予定である」/「算定していない」施設



病棟への薬剤師の配置状況（全病棟に対する率）（2/3）

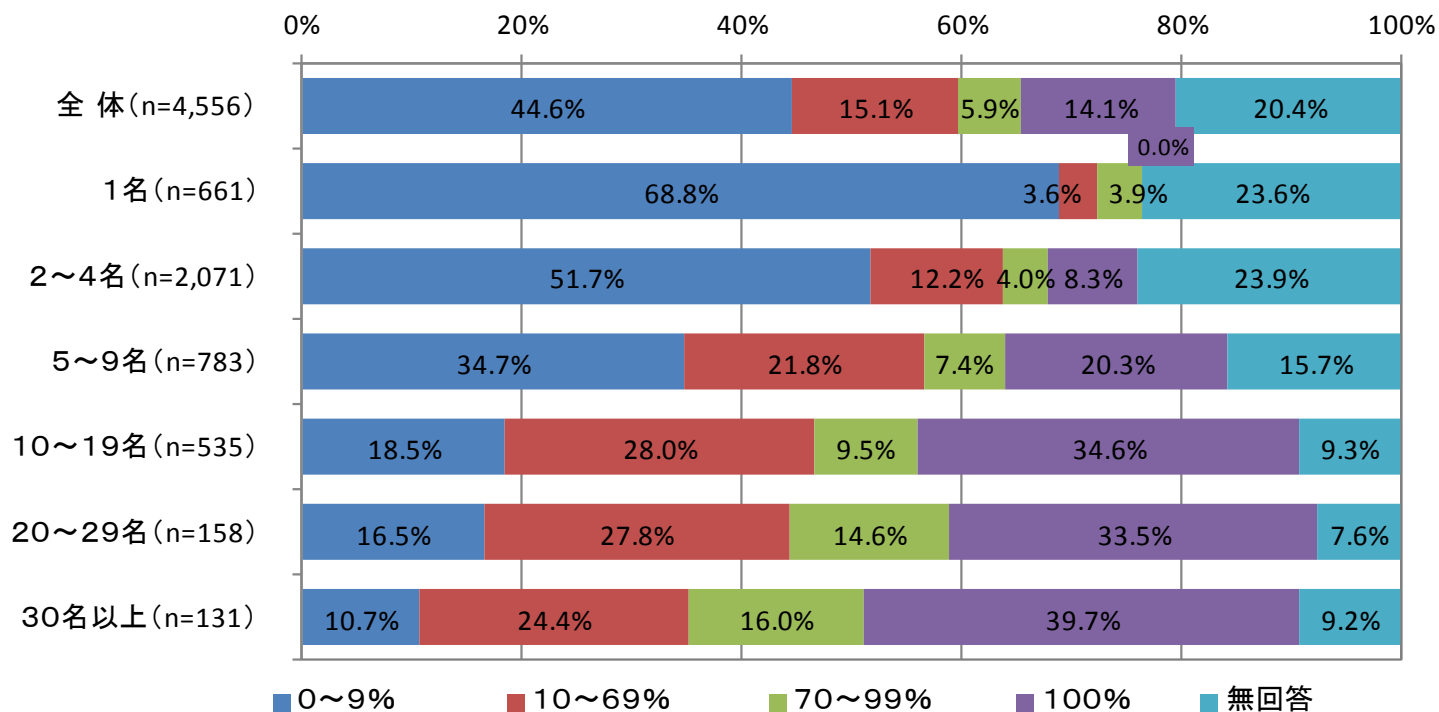
薬剤師数別
（常勤換算）

集計対象：病棟薬剤業務実施加算を「算定する予定である」/「算定していない」施設



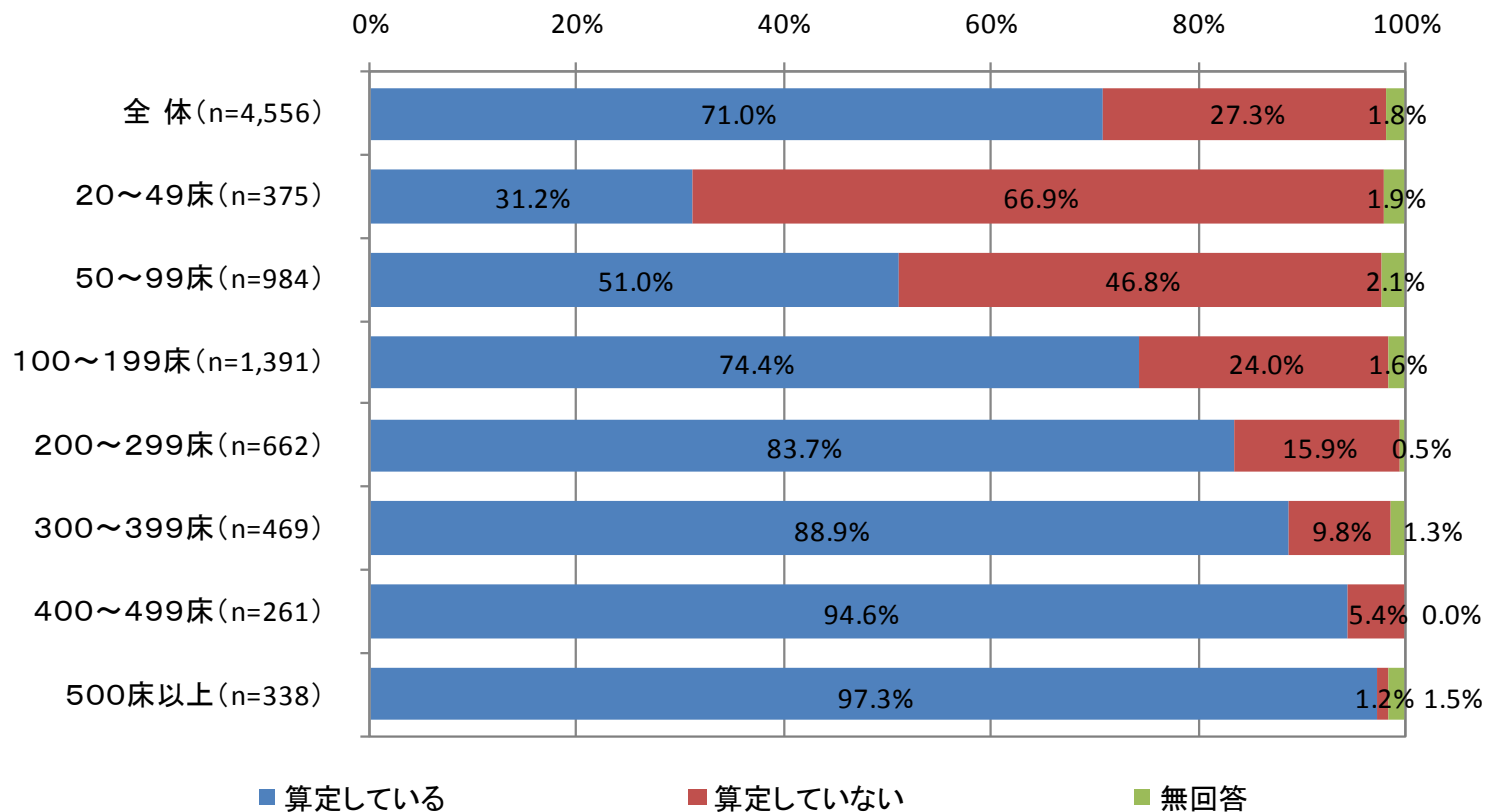
病棟への薬剤師の配置状況（全病棟に対する率）（3/3）

薬剤師数別
（常勤換算）



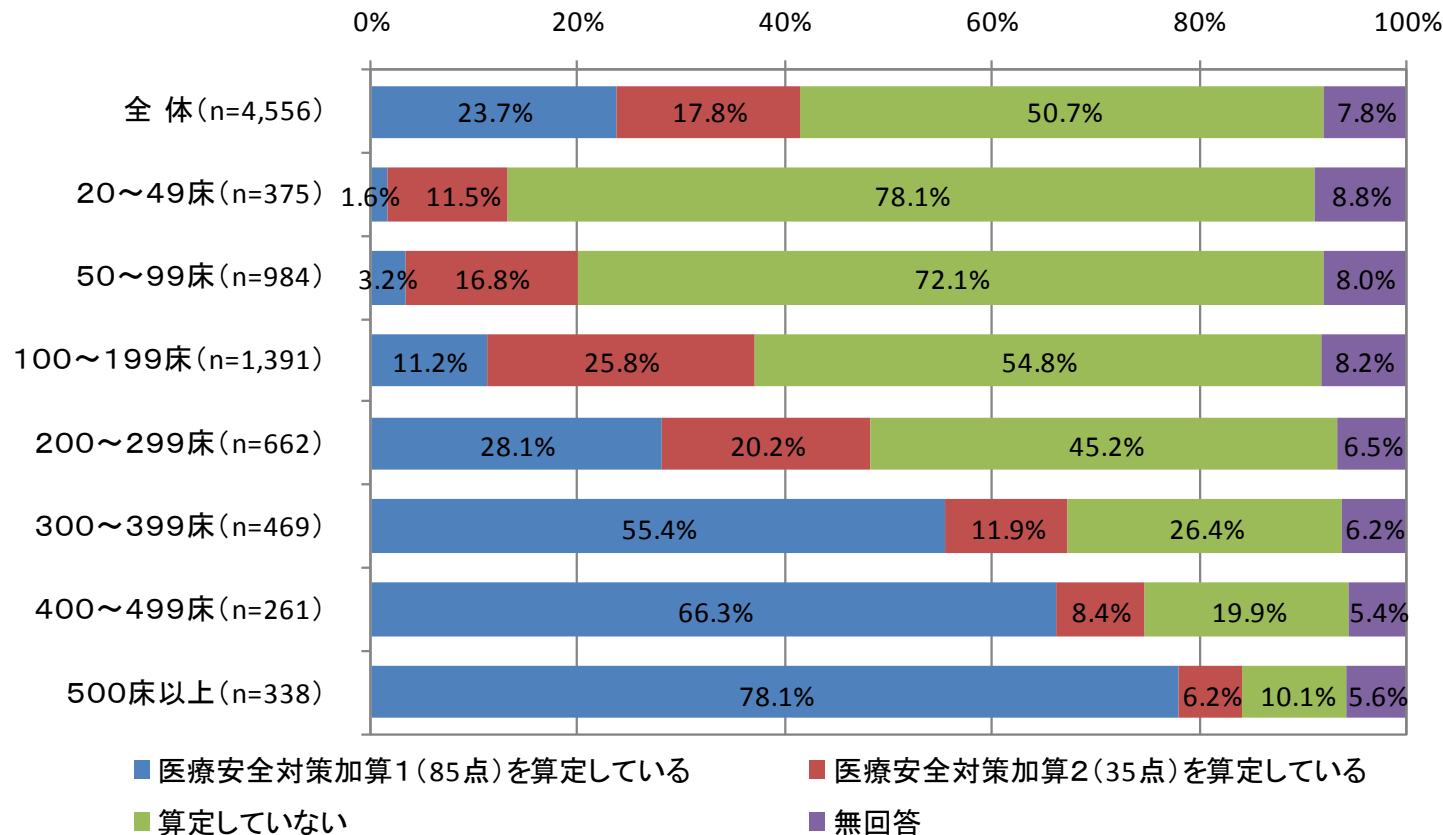
薬剤管理指導料

病床規模別



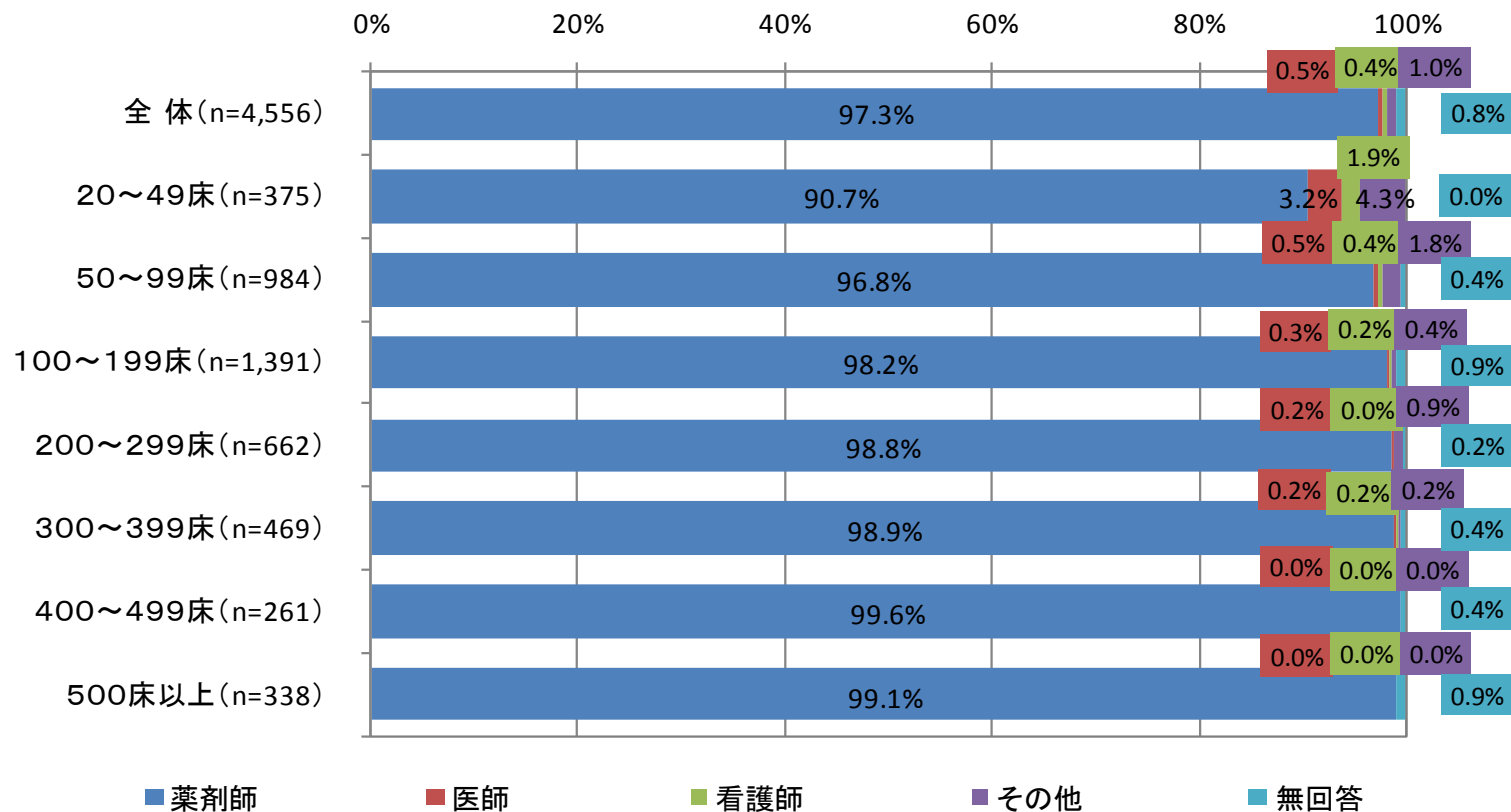
医療安全対策加算（またはDPC 対象病院での機能評価係数Ⅰ）

病床規模別



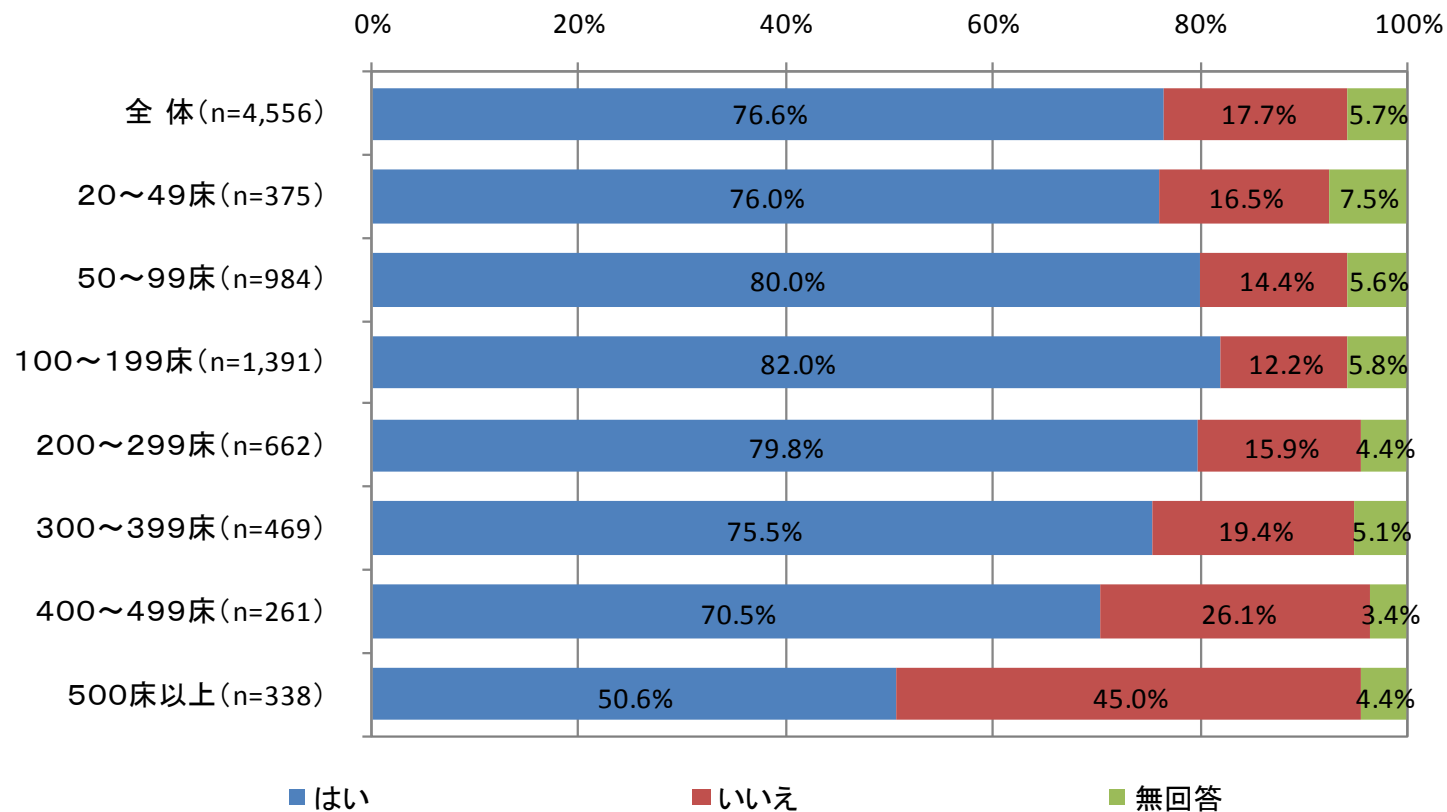
記入者の職種

病床規模別



記入者が医薬品安全管理責任者かどうか

病床規模別



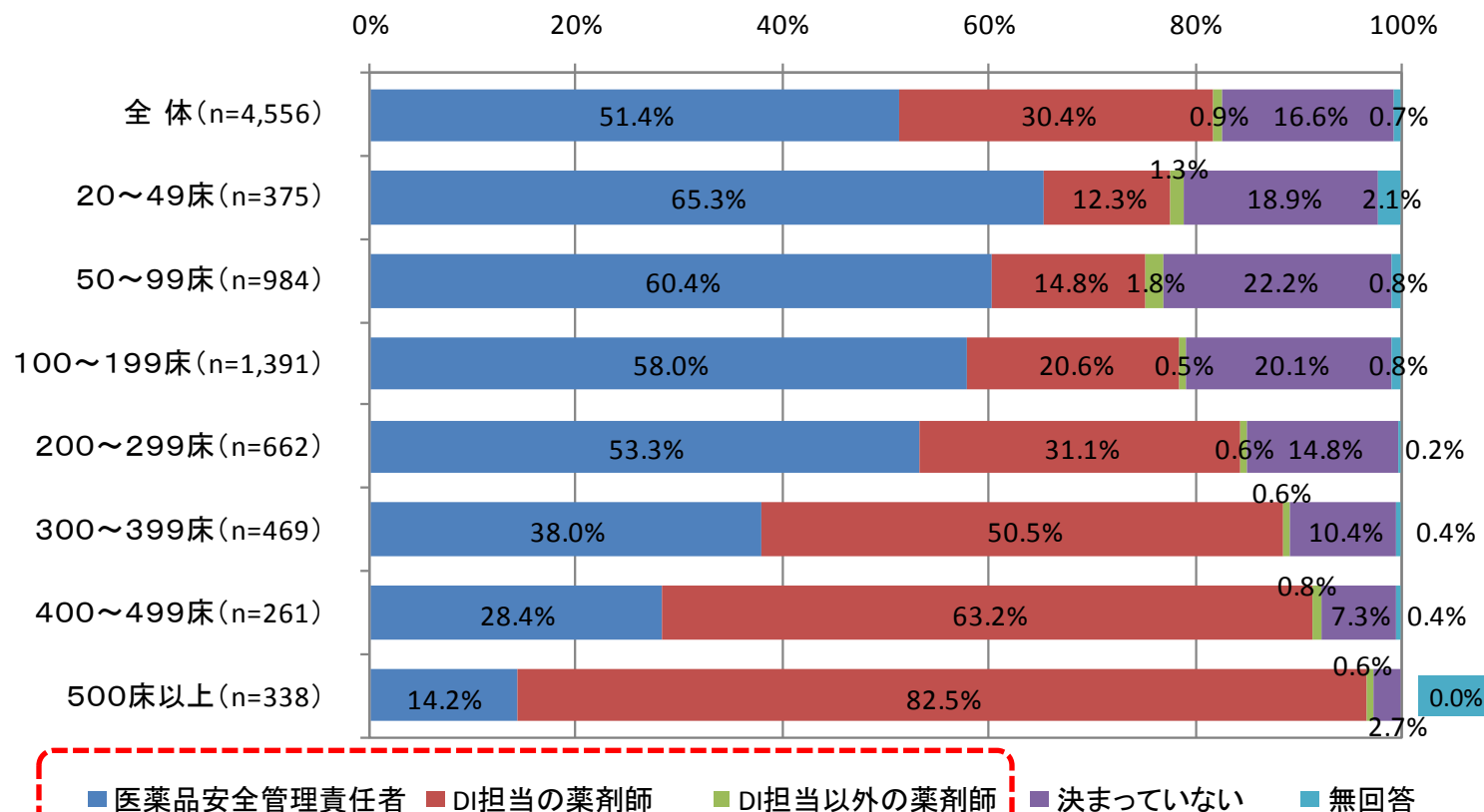
I 安全性情報全般に関する調査

1 院内薬局・薬剤部でのインターネットの活用等 について

問1 薬剤部内で医薬品の安全性に関する情報の収集は主に誰が行っていますか。(1/2)

病床規模別

(単数回答)

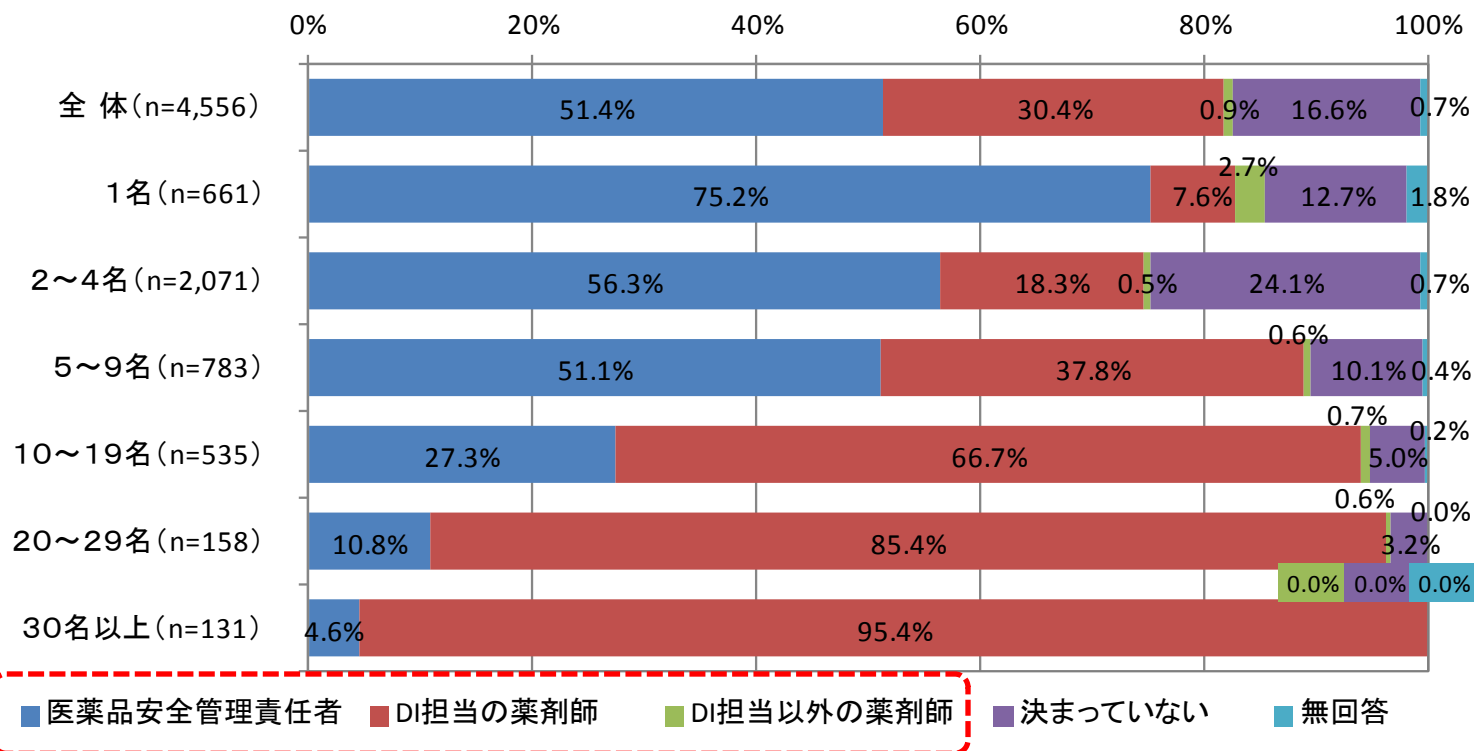


問1-1へ

問1 薬剤部内で医薬品の安全性に関する情報の収集は主に誰が行っていますか。(2/2)

薬剤師数別
(常勤換算)

(単数回答)



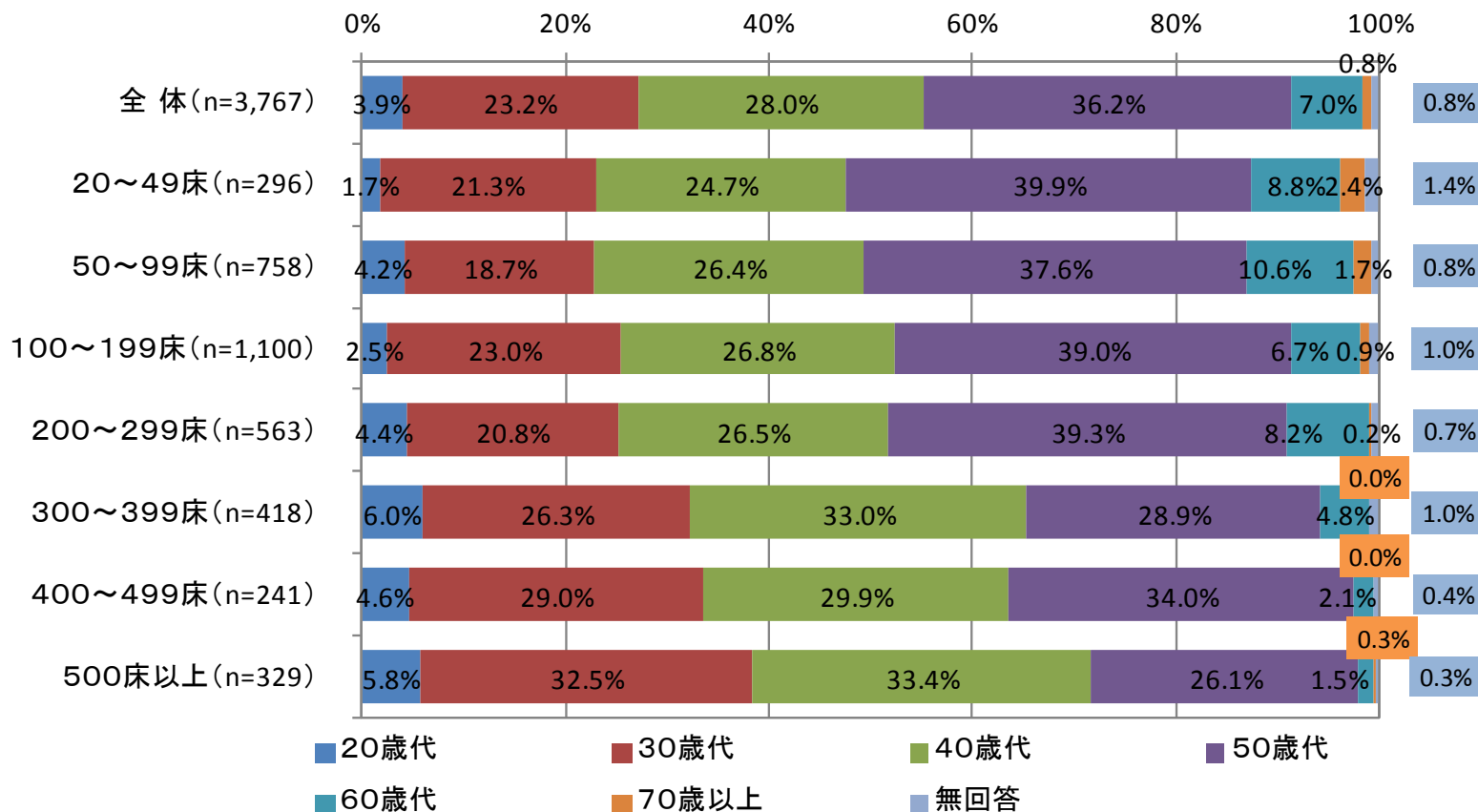
問1-1へ

問 1 - 1 主な情報収集担当者の年齢をお答えください。

病床規模別

(単数回答)

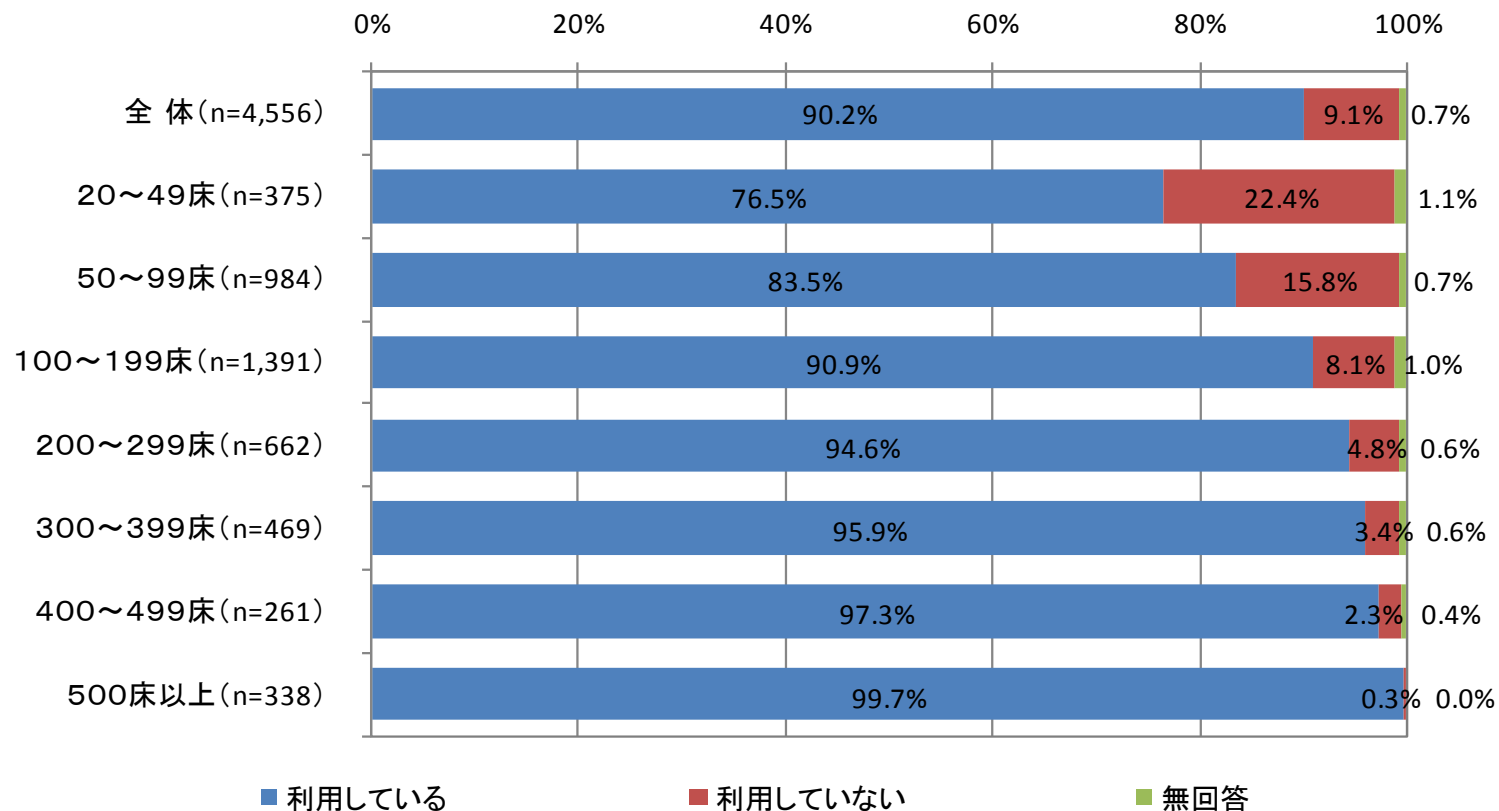
集計対象：薬剤部内の医薬品の安全性に関する情報収集を「医薬品安全管理責任者」/
「DI担当の薬剤師」/「DI担当以外の薬剤師」が収集している施設



問2 薬剤部内で日常的にインターネットを利用できるパソコン、タブレット（iPad等）等を用いて、インターネットを利用していますか。

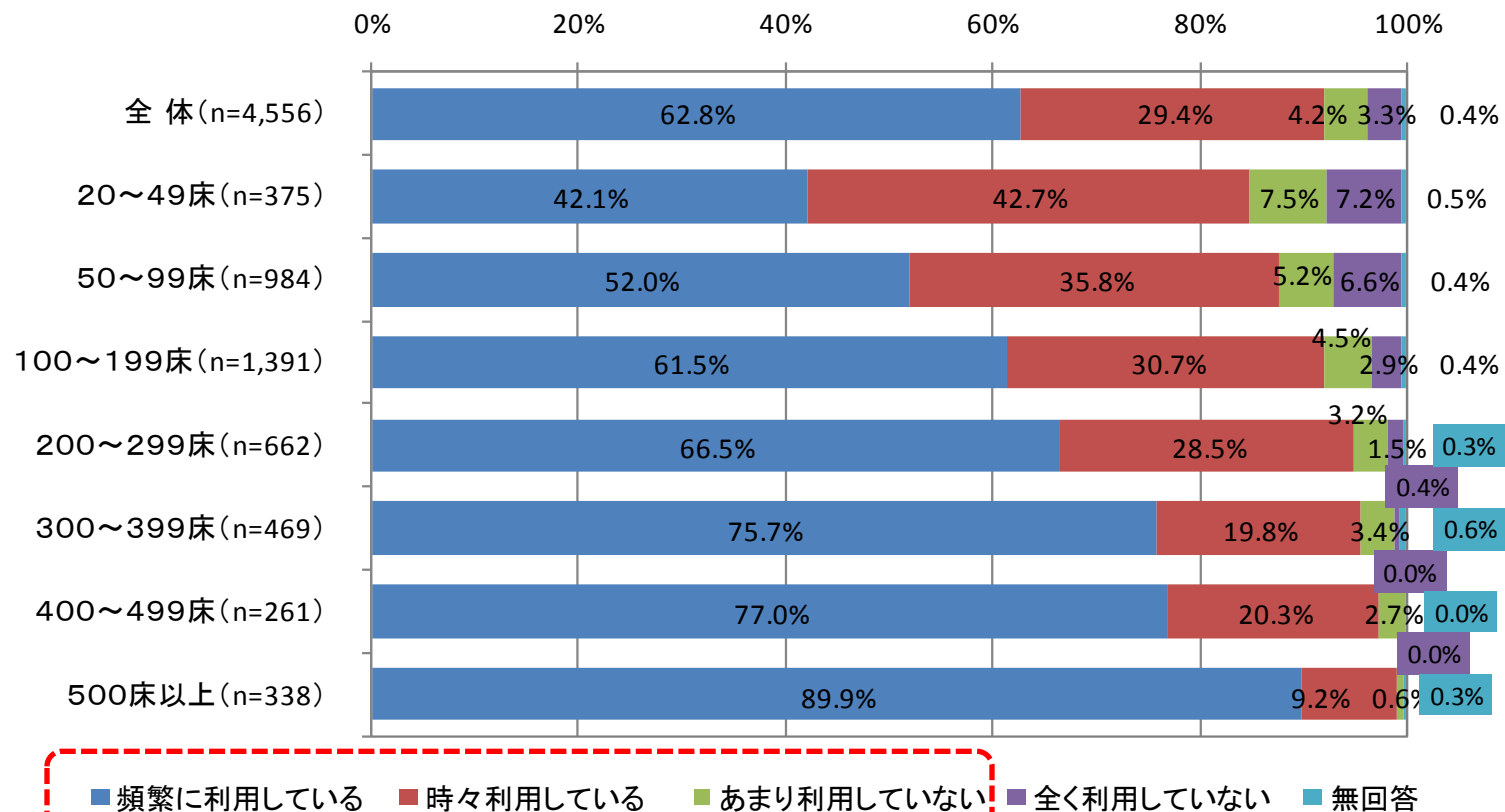
病床規模別

（単数回答）



問3 医薬品の安全性に関する情報収集にインターネットを利用していますか。

病床規模別 (単数回答)



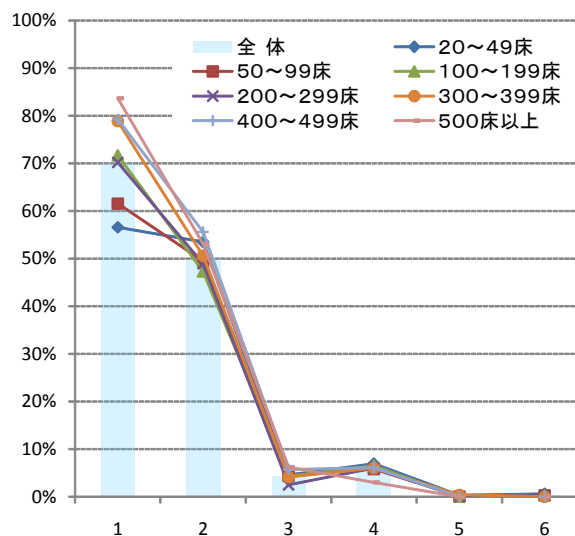
問3-1へ

問3-1 医薬品の安全性に関する情報を収集するために使用している機器をお答えください。

病床規模別

(複数回答)

集計対象：医薬品の安全性情報に関する情報収集にインターネットを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



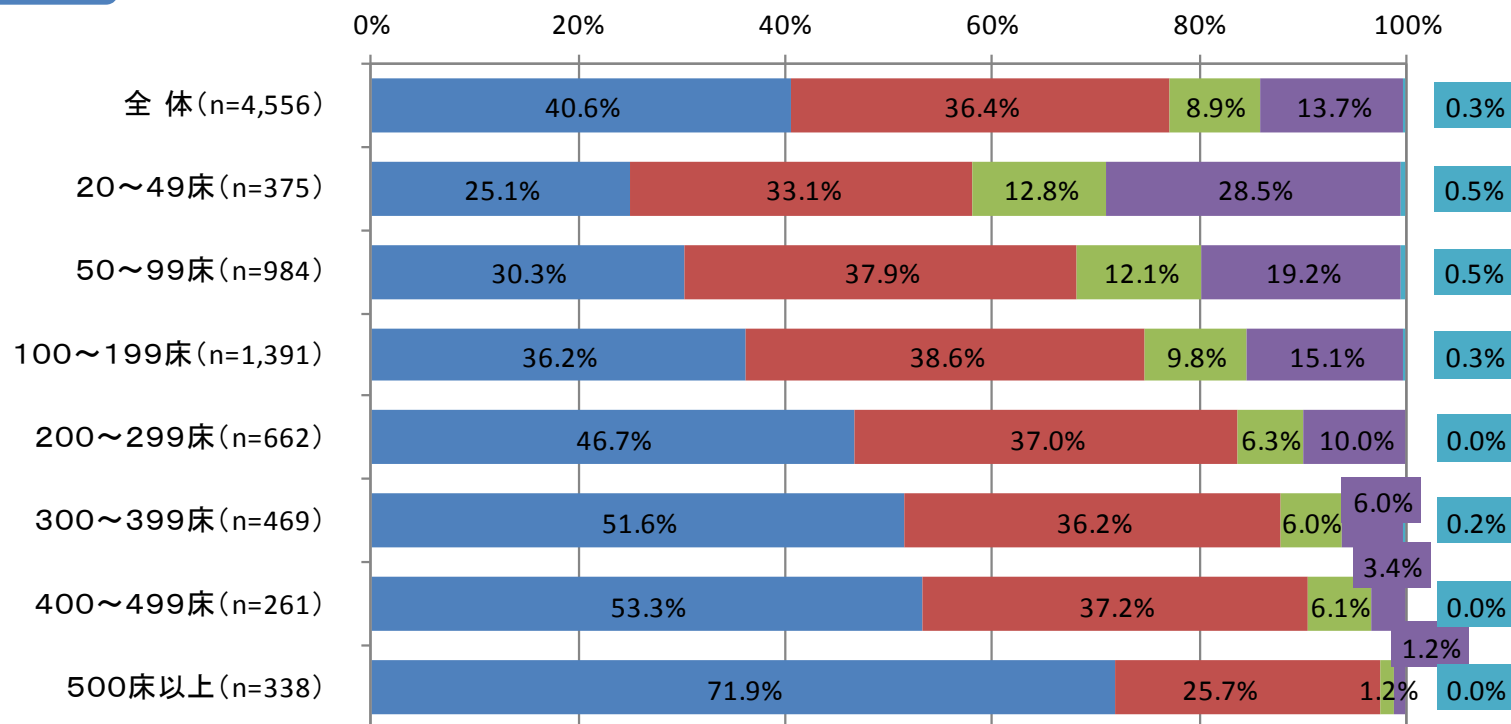
	調査数	デスクトップ型パソコン	ノート型パソコン	タブレット (iPad等)	スマートフォン	その他	無回答
全 体	4,388	70.1%	49.8%	4.3%	6.0%	0.1%	0.3%
20~49床	346	56.6%	53.5%	4.6%	6.9%	0.3%	0.6%
50~99床	915	61.6%	49.5%	4.5%	5.8%	0.1%	0.3%
100~199床	1,345	71.7%	47.3%	4.3%	6.5%	0.0%	0.3%
200~299床	650	70.2%	48.9%	2.5%	6.0%	0.0%	0.3%
300~399床	464	78.9%	50.6%	4.1%	6.0%	0.4%	0.0%
400~499床	261	79.3%	55.6%	5.7%	6.1%	0.0%	0.0%
500床以上	337	83.7%	53.1%	6.2%	3.0%	0.0%	0.0%

問4 日常業務で、PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを利用していますか。

（医薬品医療機器情報提供ホームページ：<http://www.info.pmda.go.jp/>）

病床規模別

（複数回答）



■ 頻繁に利用している

■ 時々利用している

■ あまり利用していない

■ 全く利用していない

■ 無回答

問4-1へ

問4-2へ

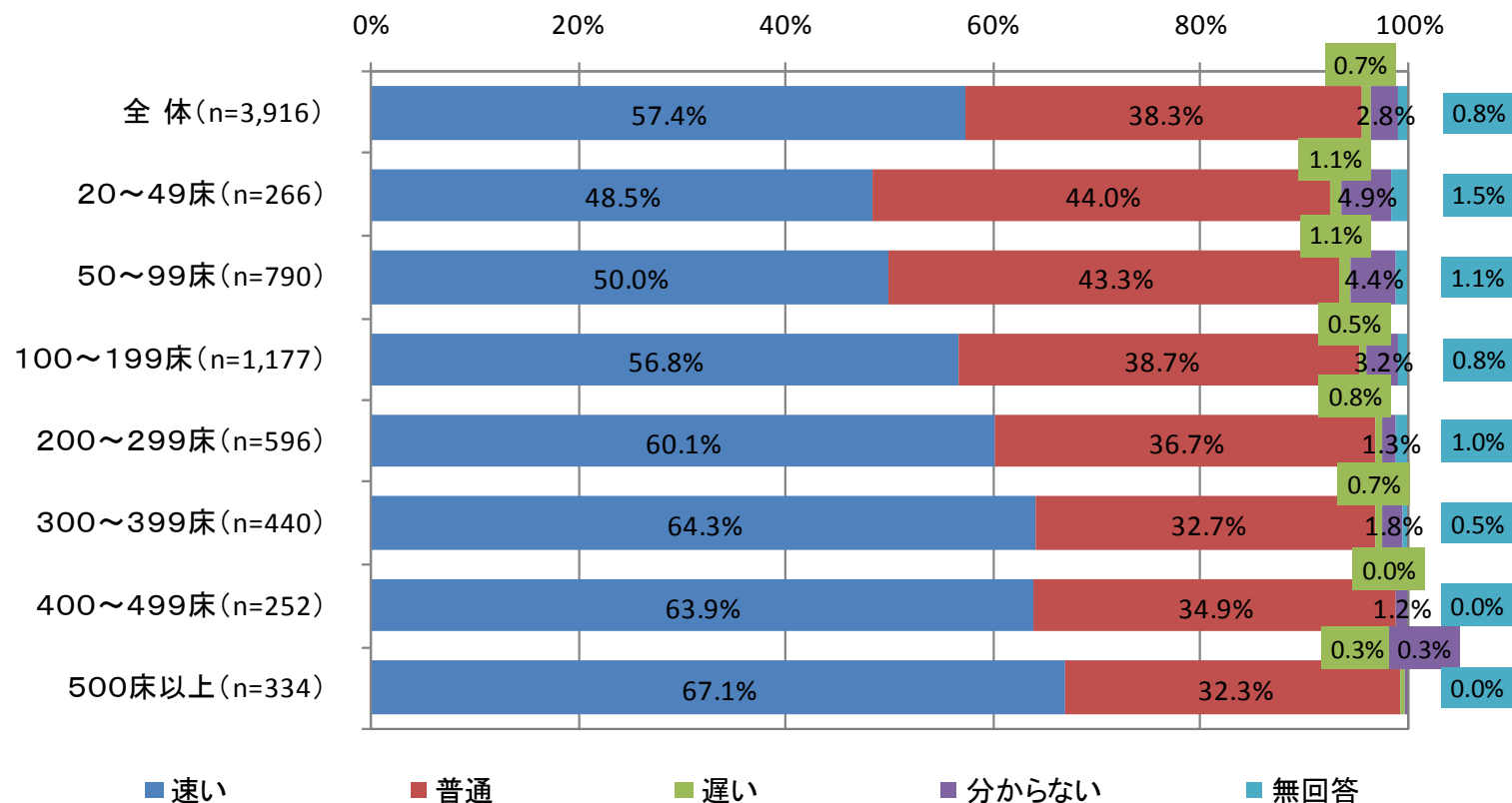
問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価を お答えください。(1/17)

① 迅速に更新情報を入手できるか

病床規模別

(単数回答)

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

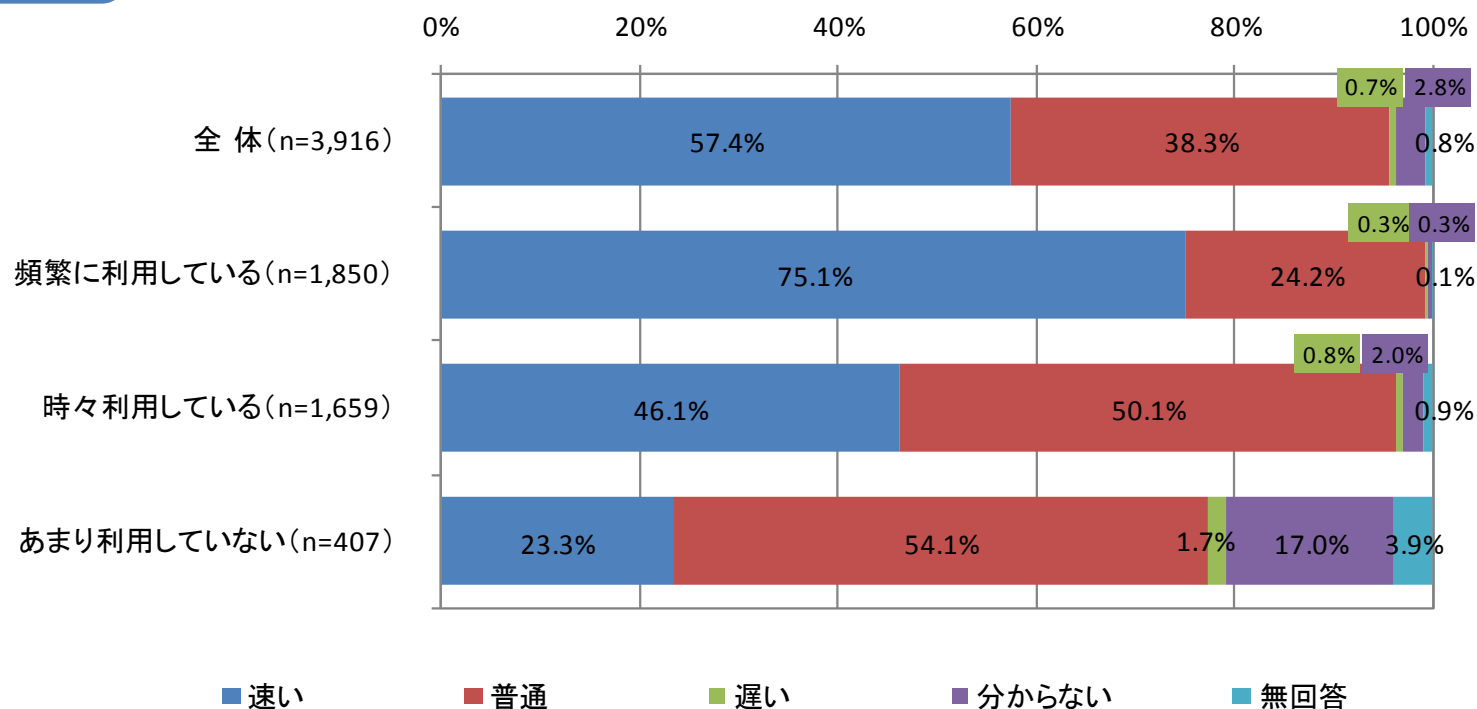


問4－1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価を お答えください。(2/17)

① 迅速に更新情報を入手できるか

問4 PMDAホームページ利用頻度別

(単数回答) 集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



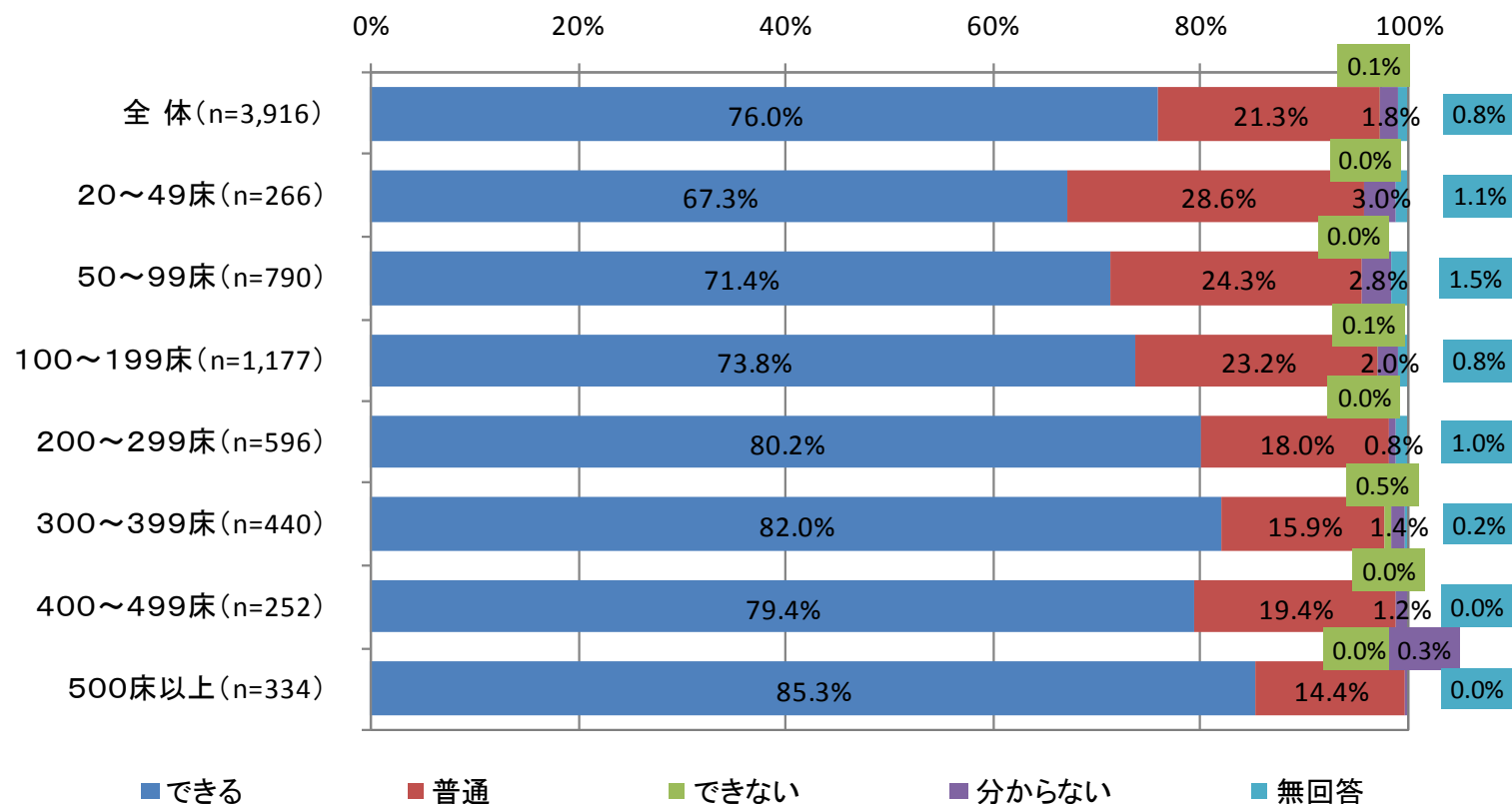
問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。(3/17)

② 正確な情報を入手できるか

病床規模別

(単数回答)

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

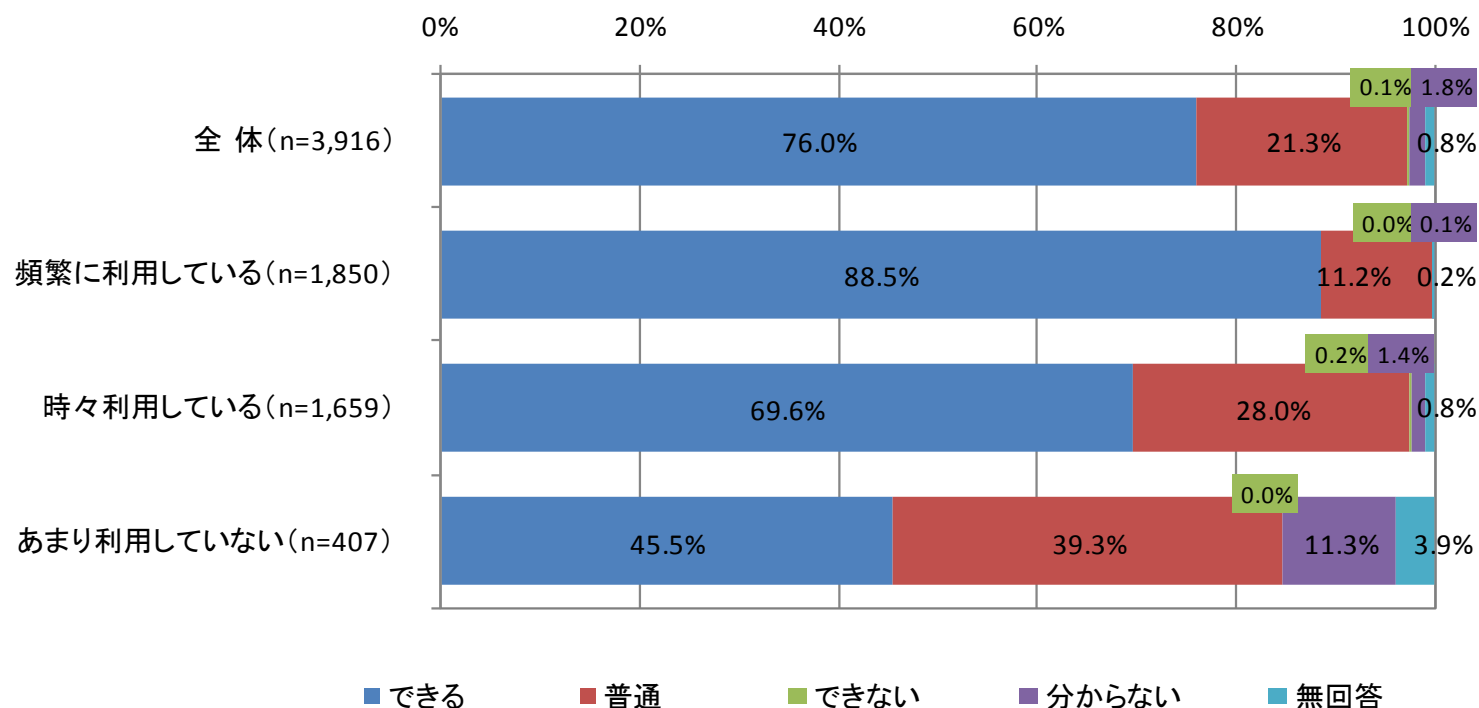


問4－1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。(4/17)

② 正確な情報を入手できるか

問4 PMDAホームページ利用頻度別

(単数回答) 集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



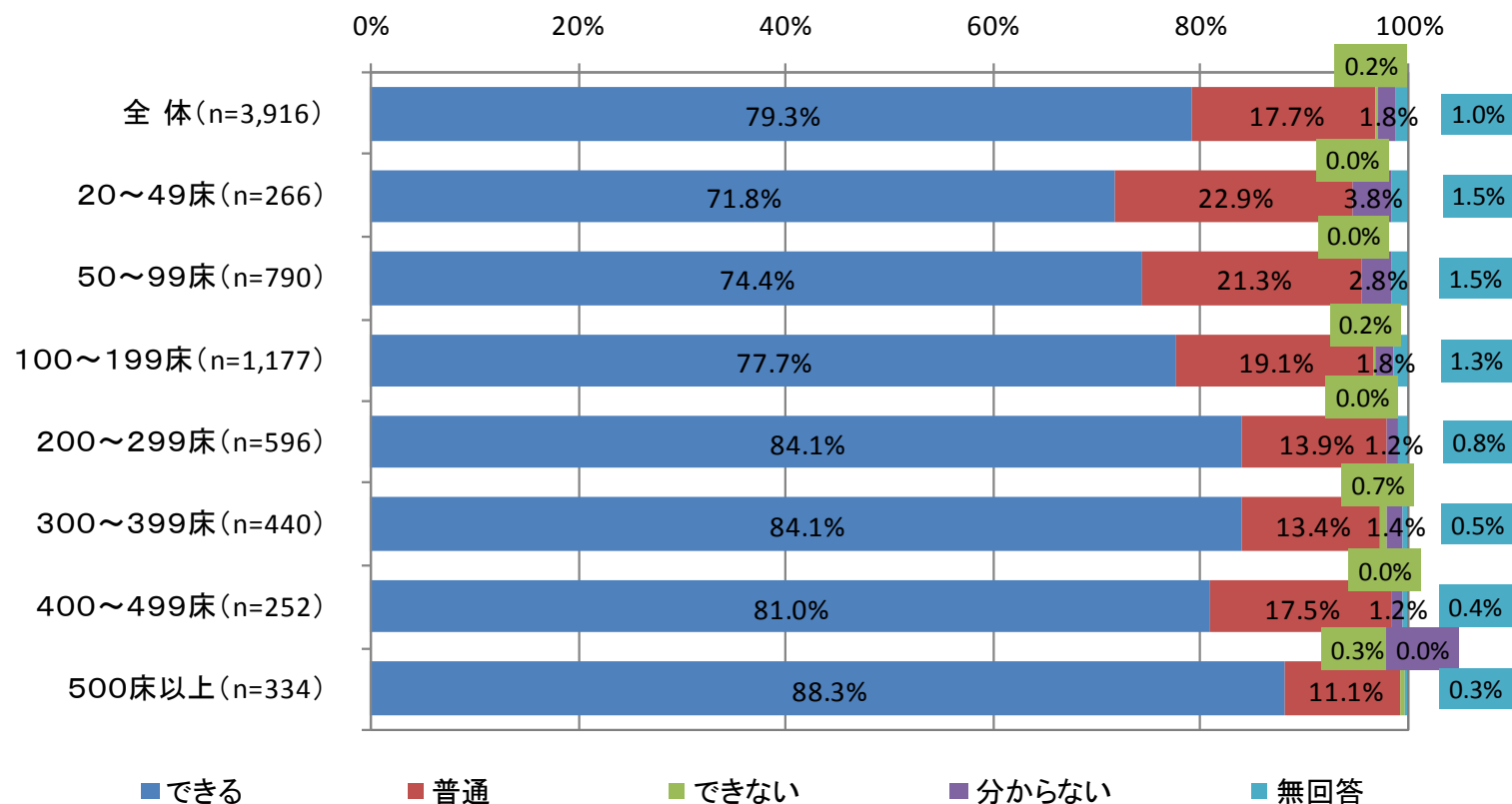
問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価を お答えください。(5/17)

③ 信頼できる情報を入手できるか

病床規模別

(単数回答)

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

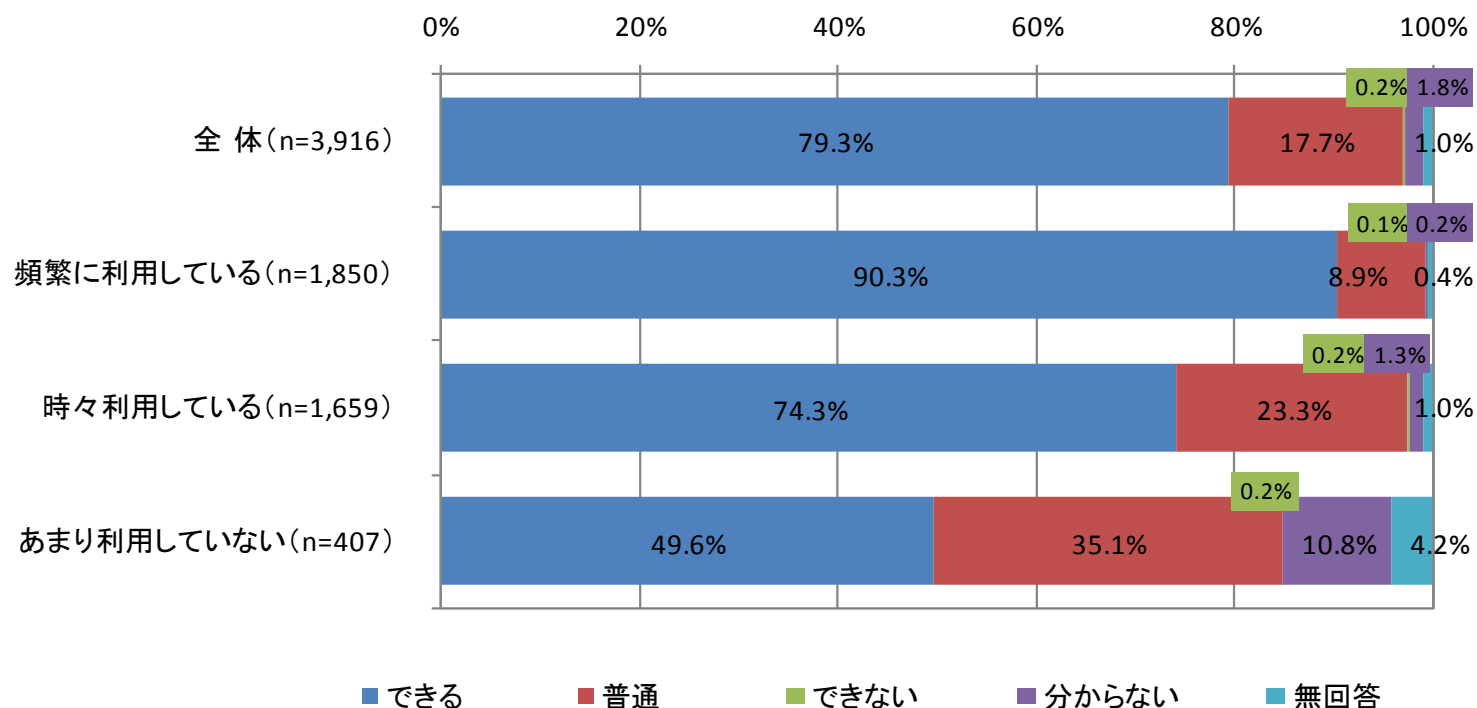


問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。(6/17)

③ 信頼できる情報を入手できるか

問4 PMDAホームページ利用頻度別

(単数回答) 集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



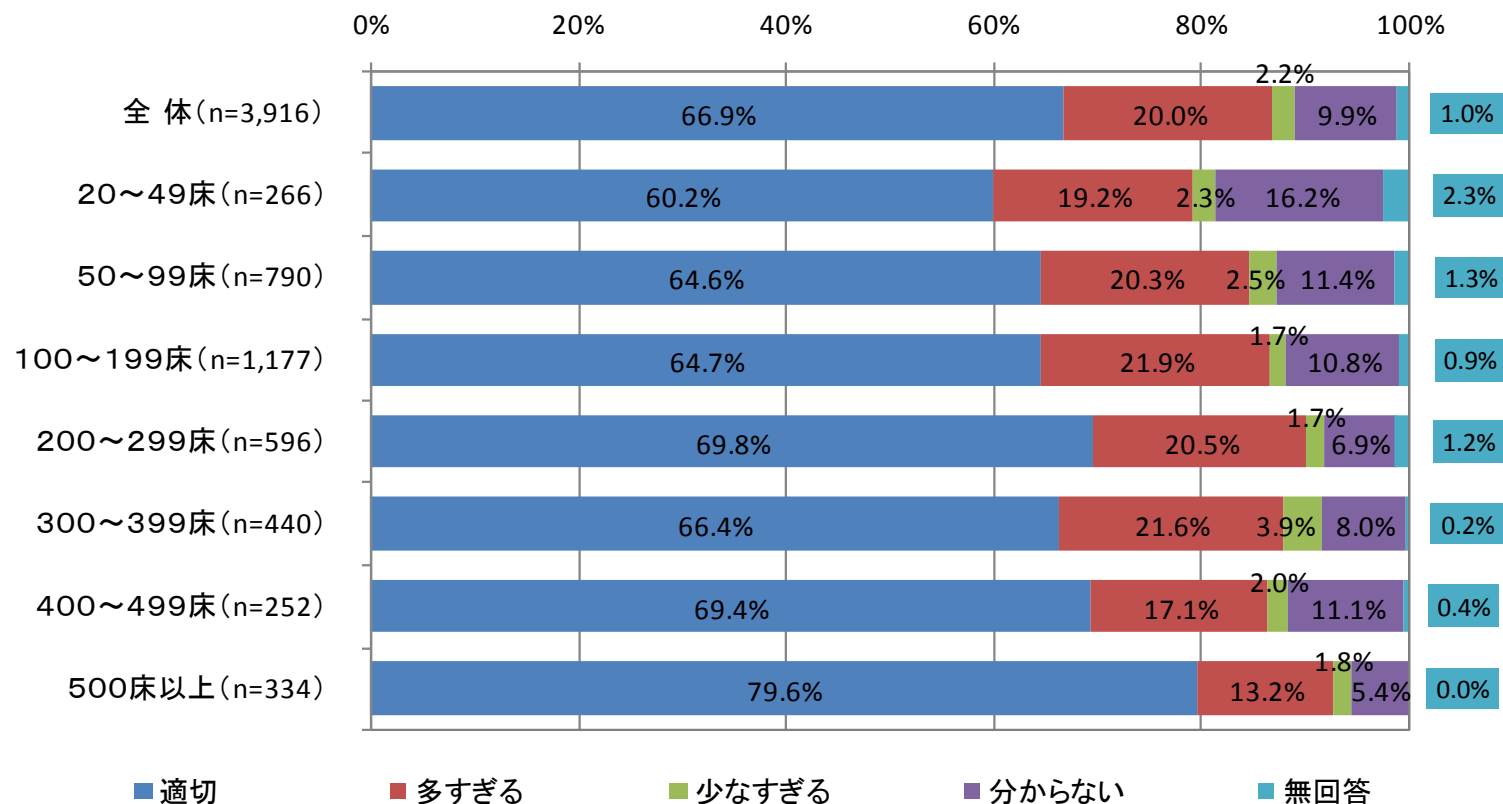
問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。(7/17)

④ 情報量が適切か

病床規模別

(単数回答)

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

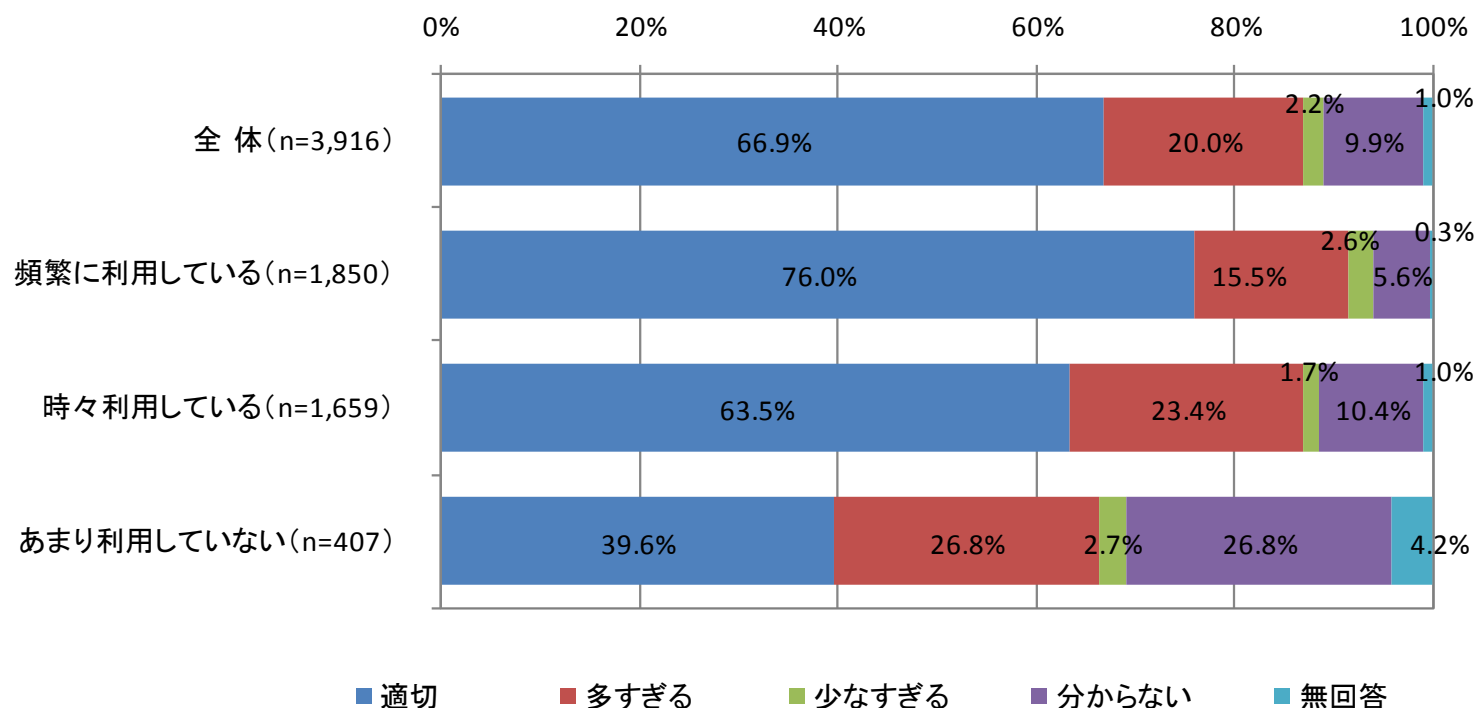


問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。(8/17)

④ 情報量が適切か

問4 PMDAホームページ利用頻度別

(単数回答) 集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



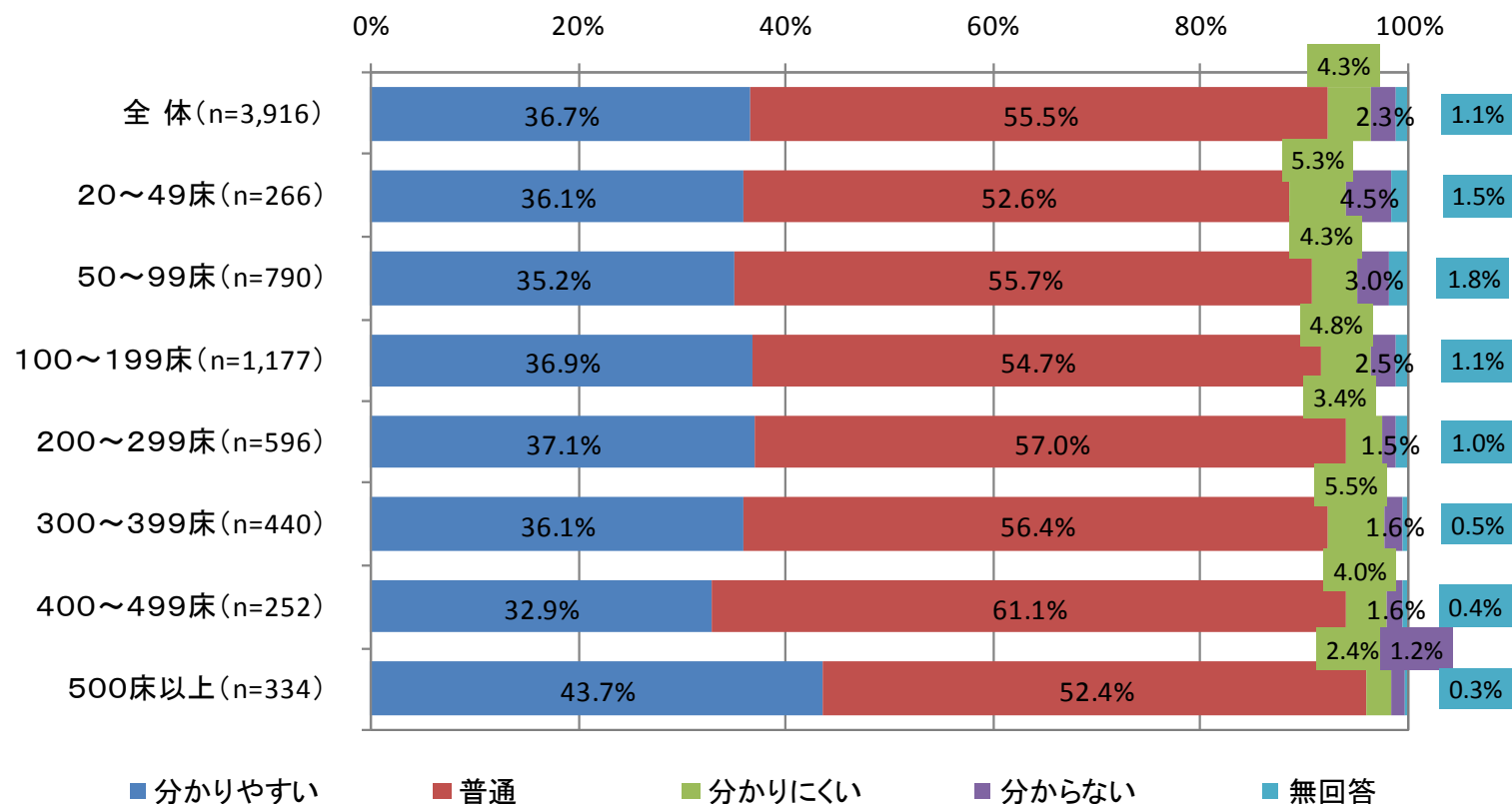
問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価を お答えください。(9/17)

⑤ 情報の内容が分かりやすいか

病床規模別

(単数回答)

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

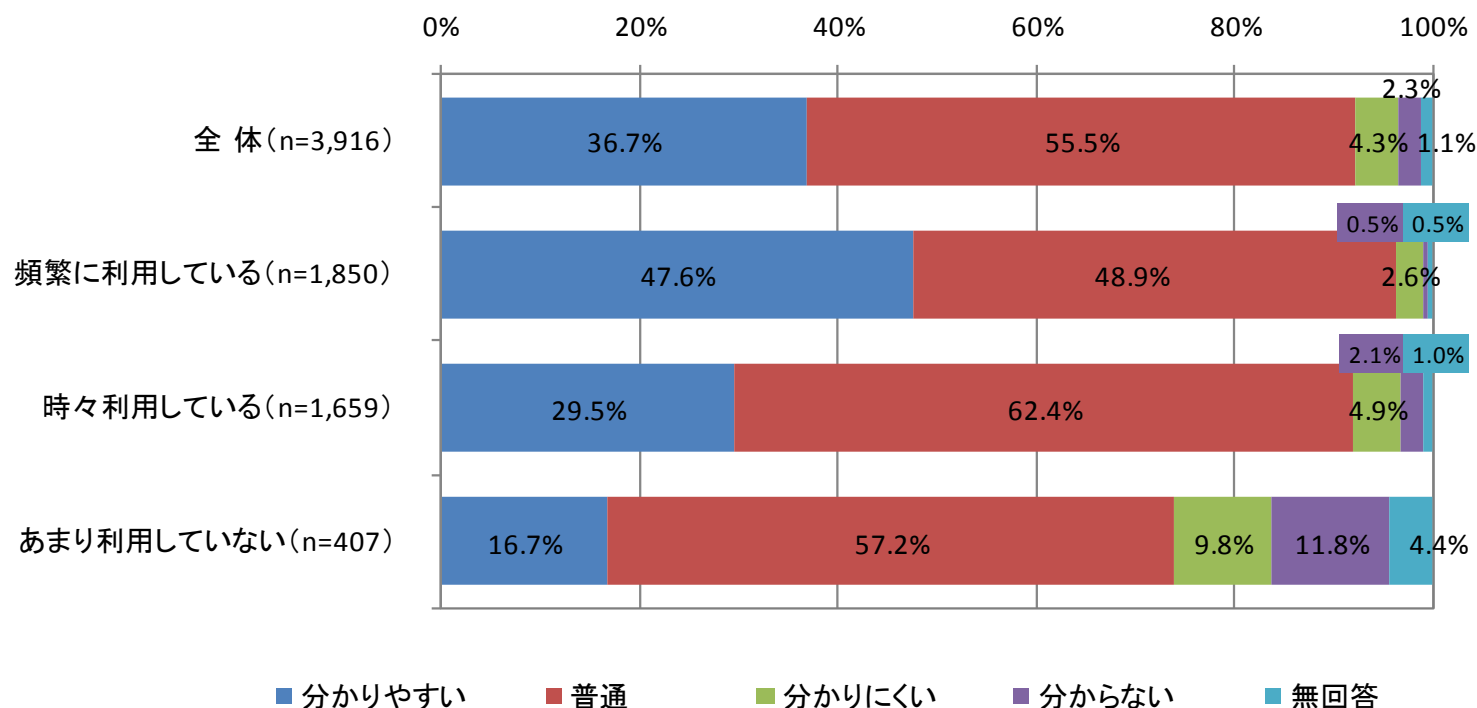


問4－1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価を お答えください。(10/17)

⑤ 情報の内容が分かりやすいか

問4 PMDAホームページ利用頻度別

(単数回答) 集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



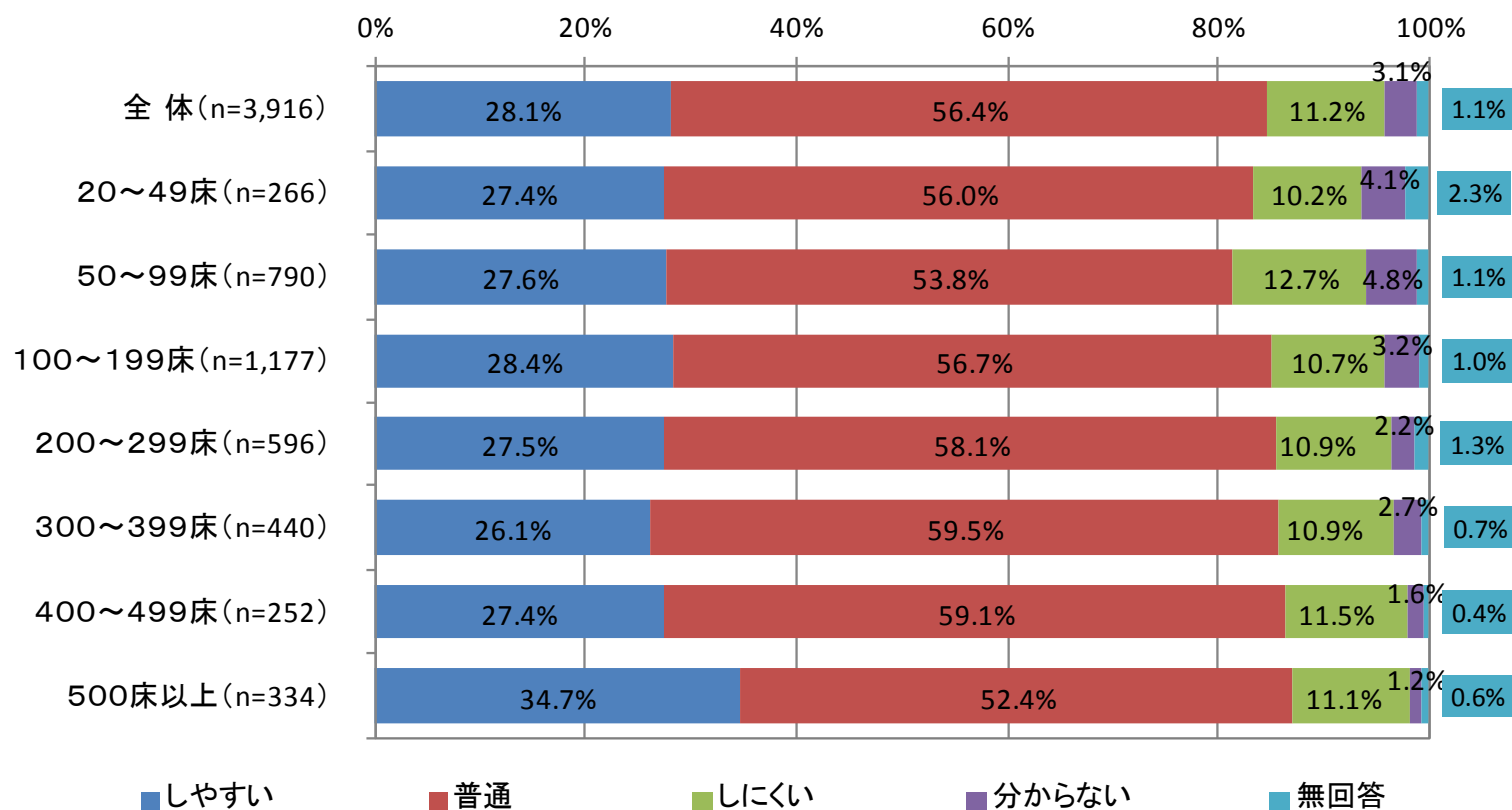
問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。(11/17)

⑥ 情報の重要度が判別しやすいか

病床規模別

(単数回答)

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

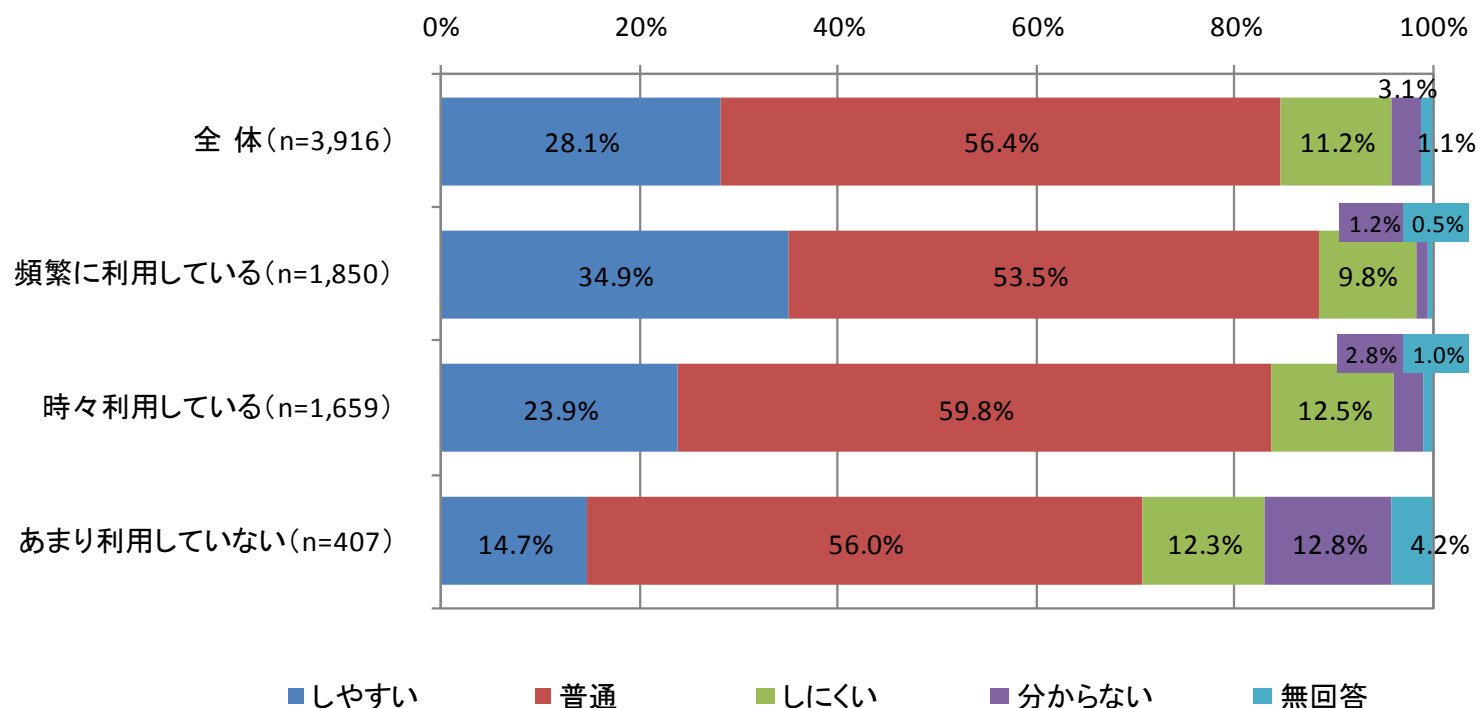


問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価を お答えください。(12/17)

⑥ 情報の重要度が判別しやすいか

問4 PMDAホーム
ページ利用頻
度別

(単数回答) 集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



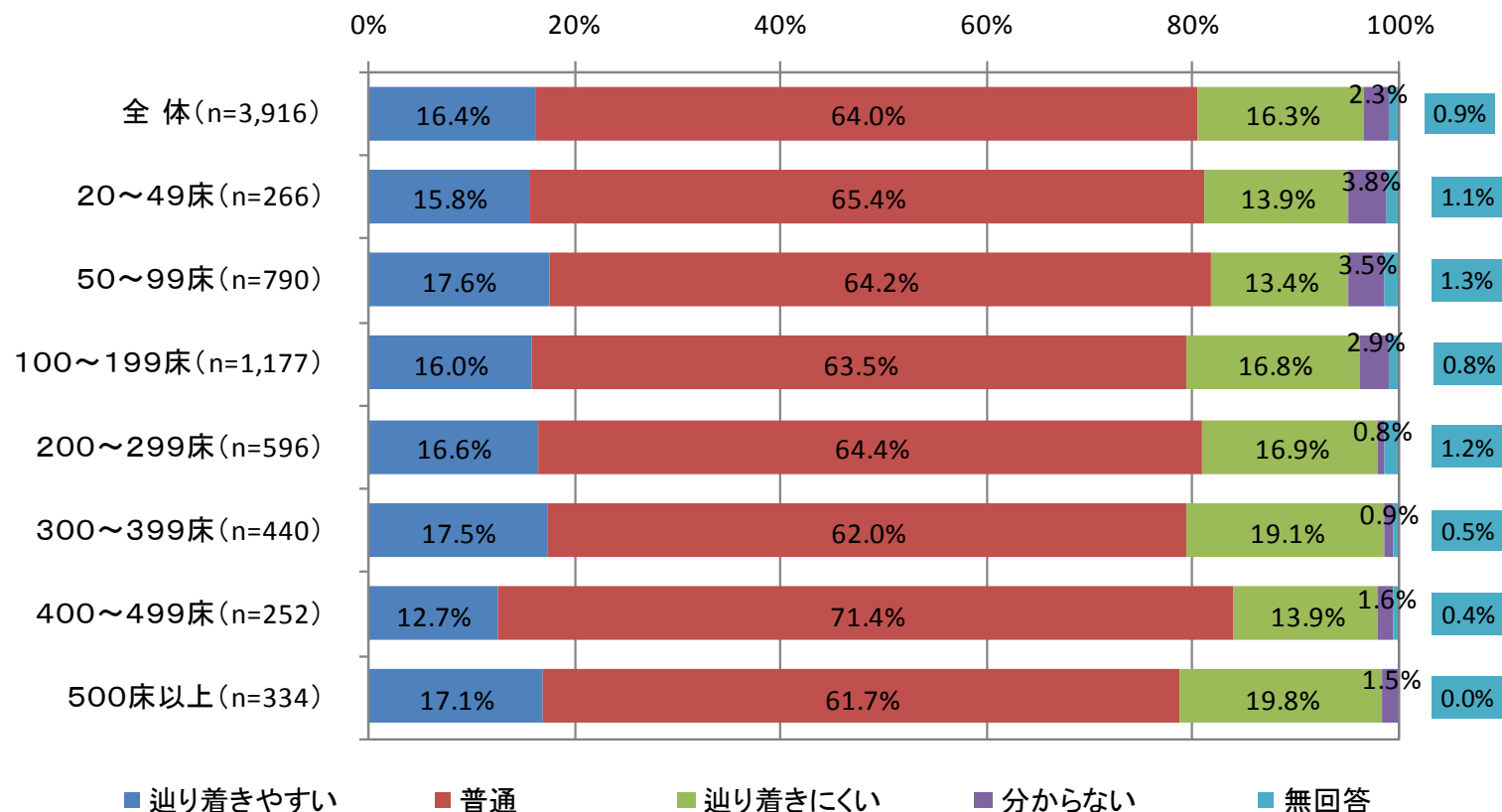
問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。(13/17)

⑦ 必要な情報に辿り着きやすいか（レイアウトが分かりやすいか）

病床規模別

（単数回答）

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

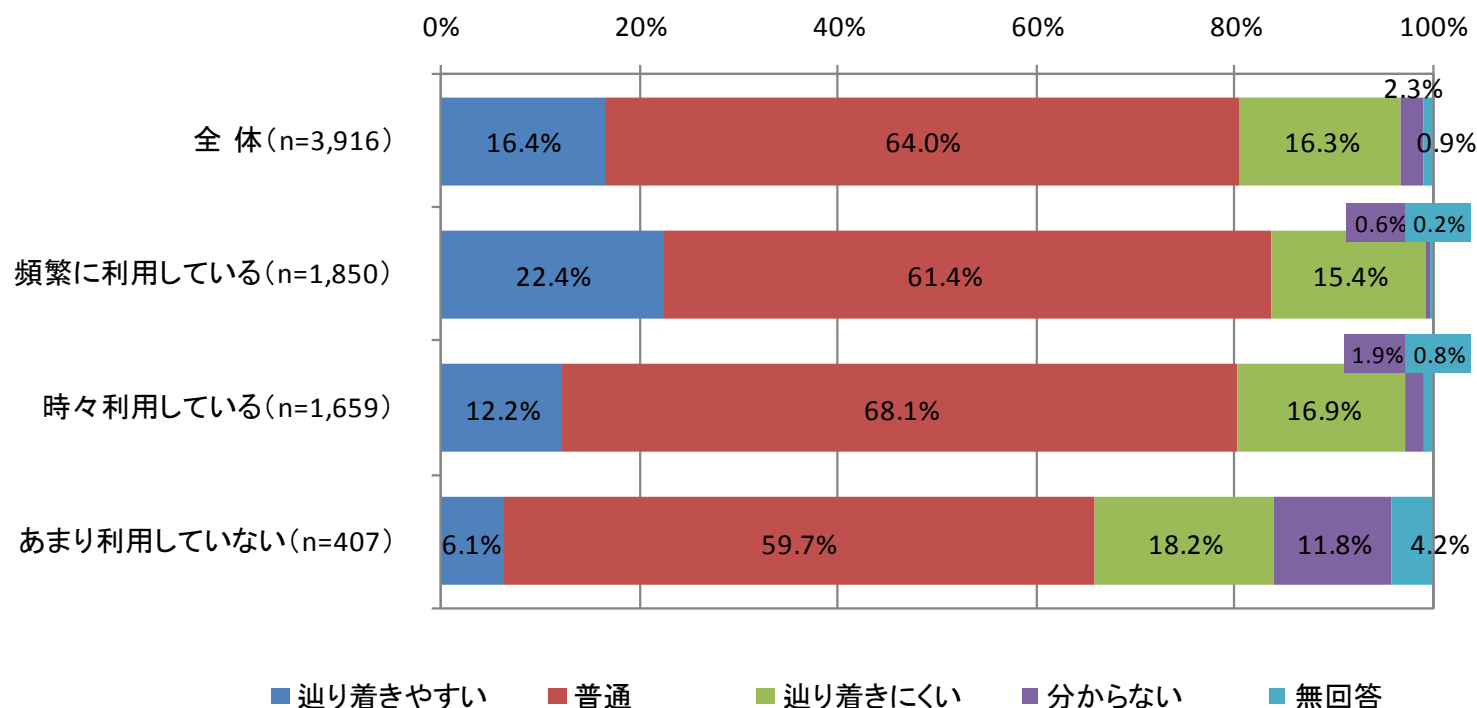


問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。(14/17)

⑦ 必要な情報に辿り着きやすいか（レイアウトが分かりやすいか）

問4 PMDAホームページ利用頻度別

（単数回答） 集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



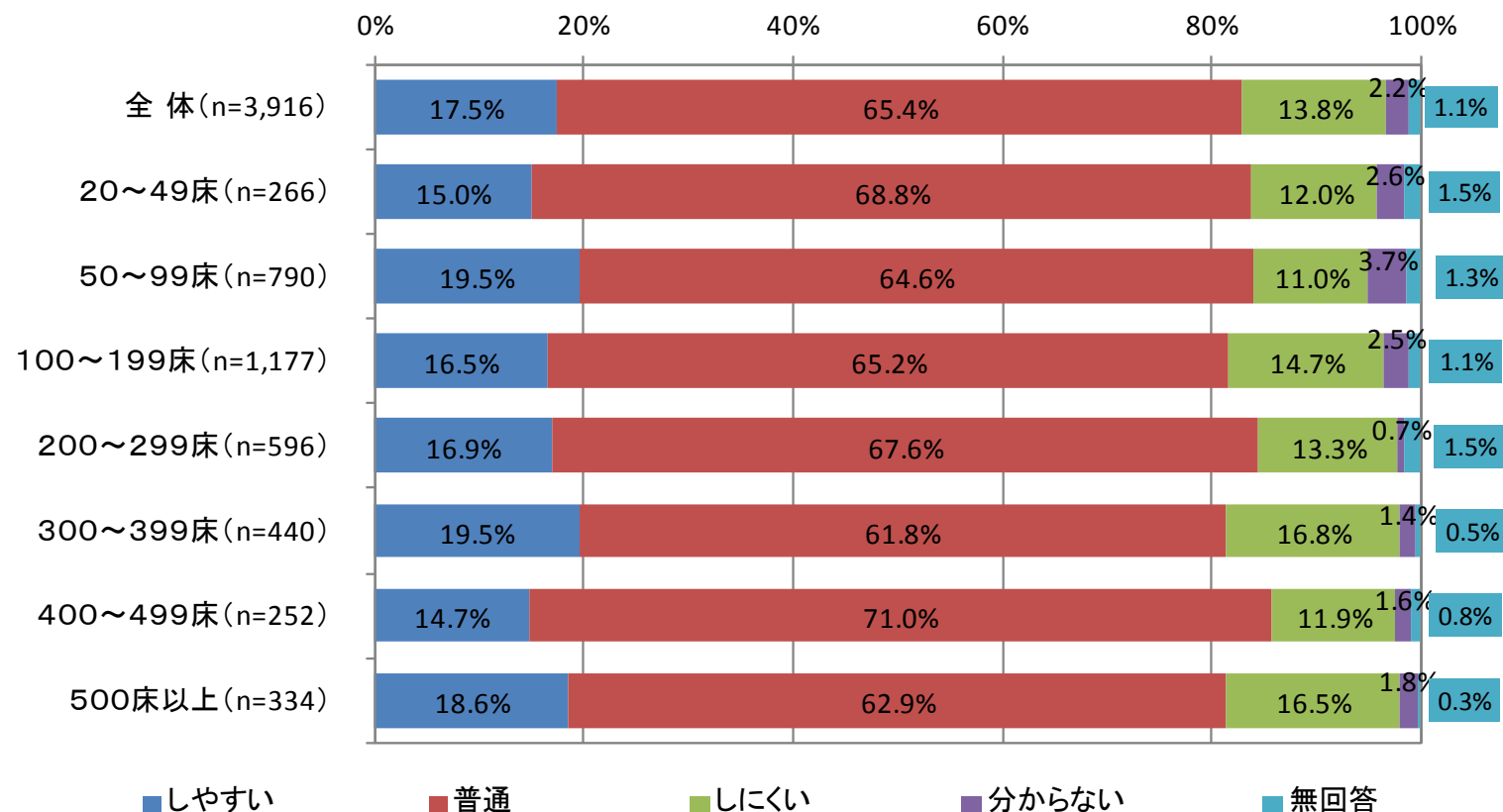
問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価を お答えください。(15/17)

⑧ 必要な情報を探しやすいか(検索しやすいか)

病床規模別

(単数回答)

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

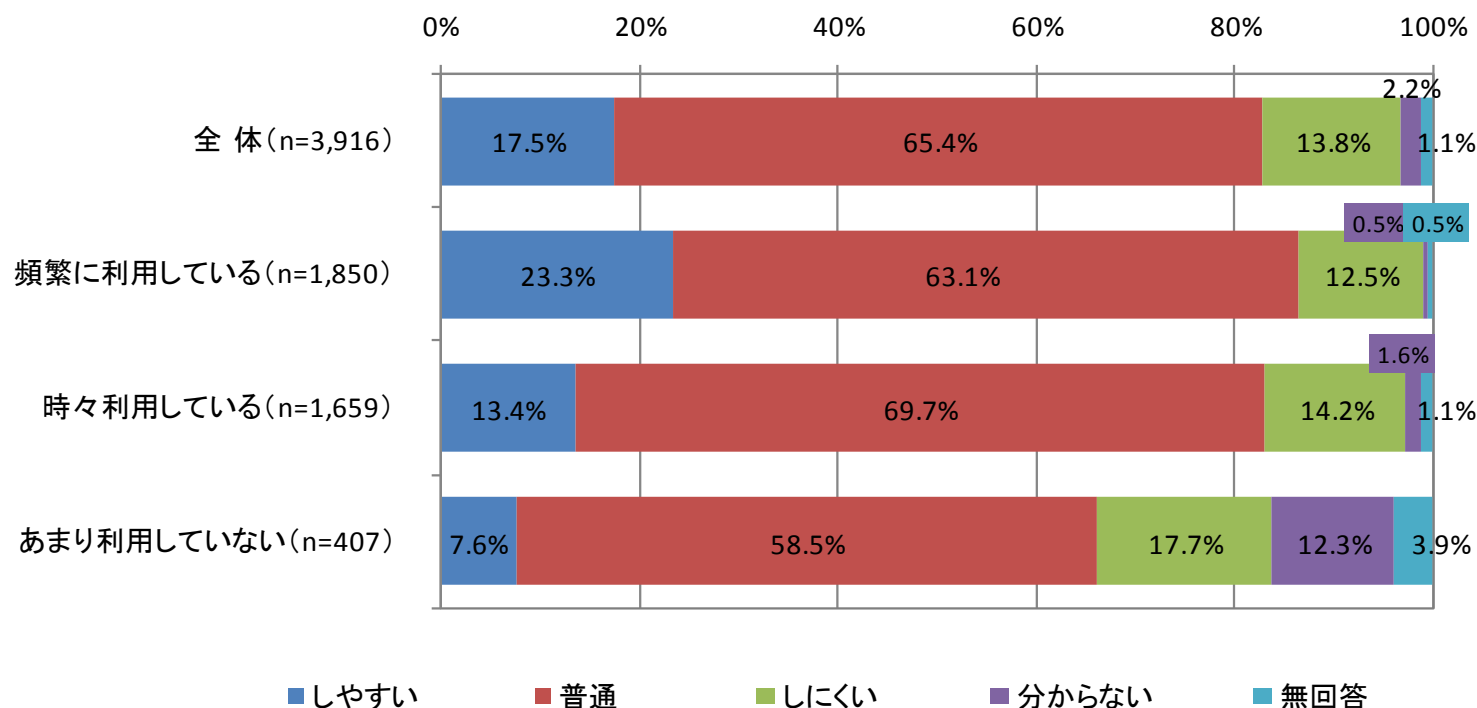


問4-1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価を お答えください。(16/17)

⑧ 必要な情報を探しやすいか(検索しやすいか)

問4 PMDAホームページ利用頻度別

(単数回答) 集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設



問4－1 PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページに対する評価をお答えください。（17/17）

⑨ 意見、感想等

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを
「頻繁に利用している」/「時々利用している」/「あまり利用していない」施設

主な意見

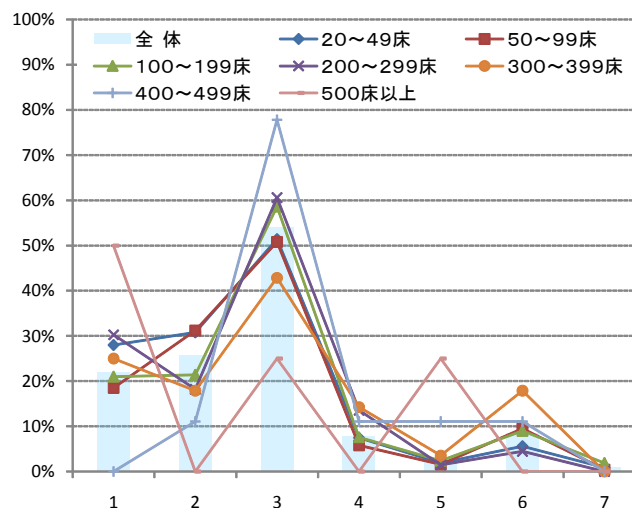
- ❑ トップページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）のメニューが、沢山ありすぎて解りにくい。もう少し機能的に整理できたら良いと思う。
- ❑ 現場に必要な情報が即座に入手でき、日常とても役にたっている。報告された副作用に関する情報について、情報量と検索機能がもう少し充実していればよい。また、副作用救済事例の検索ができるとうい。
- ❑ 掲載情報は、とても参考になり普段から良く利用している。
- ❑ メニュー画面が、初心者にとっては分かり難いと感じる。必要な情報に到達するまでの方法が分からず、混乱してしまう。
- ❑ 掲載されている情報のデータを自由にダウンロードでき、医薬品集などに活用できるようになればよい。

問４－２ PMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを利用していない理由をお答えください。

病床規模別

(複数回答)

集計対象：日常業務でPMDAの医薬品医療機器情報提供ホームページを「全く利用していない」施設

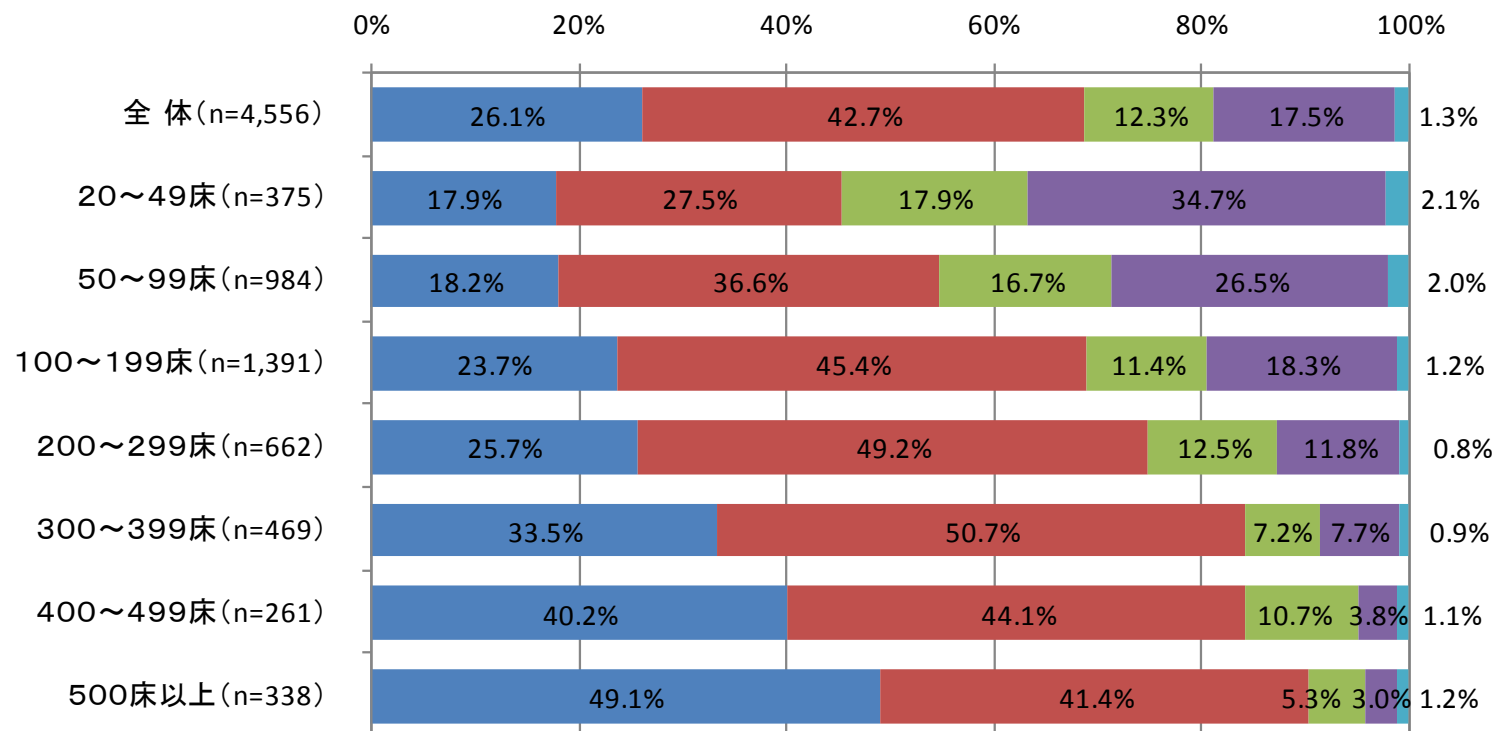


	調査数	を報PMDA医薬品医療機器存在情 知提供らなホームページのため	るイン ター ネッ トを 利用 でき ない	報他 の方 法で でき てい たに 情	情 報 量 が 多 ず ぎ る た め	く レ イ ア ウ ト が 複 雑 で 使 い に く い た め	そ の 他	無 回 答
全 体	625	22.1%	25.8%	54.2%	7.8%	2.4%	8.6%	1.0%
20～49床	107	28.0%	30.8%	51.4%	7.5%	1.9%	5.6%	0.9%
50～99床	189	18.5%	31.2%	50.8%	5.8%	1.6%	9.5%	0.5%
100～199床	210	21.0%	21.4%	58.6%	7.6%	2.4%	9.0%	1.9%
200～299床	66	30.3%	18.2%	60.6%	13.6%	1.5%	4.5%	0.0%
300～399床	28	25.0%	17.9%	42.9%	14.3%	3.6%	17.9%	0.0%
400～499床	9	0.0%	11.1%	77.8%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%
500床以上	4	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%

問5 日常業務で医薬品の安全性情報を入手するにあたり、主にどのような電子メールアドレスを使用していますか。

病床規模別

(単数回答)

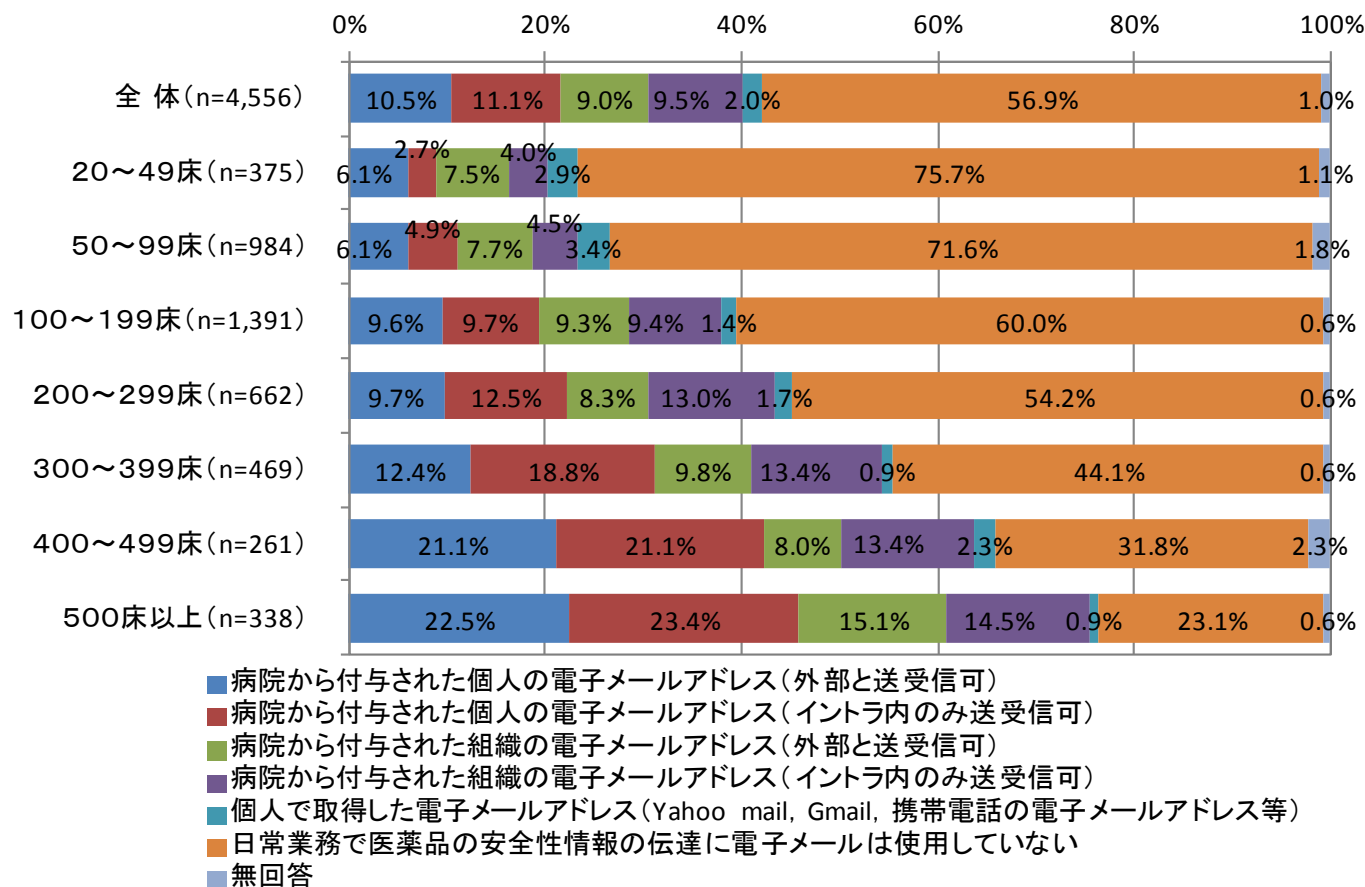


- 病院から付与された個人の電子メールアドレス (外部と送受信可)
- 病院から付与された組織の電子メールアドレス (外部と送受信可)
- 個人で取得した電子メールアドレス (Yahoo mail, Gmail, 携帯電話の電子メールアドレス等)
- 日常業務で医薬品の安全性情報の入手に電子メールは使用していない
- 無回答

問6 日常業務で入手した医薬品の安全性情報を院内で伝達するにあたり、主にどのような電子メールアドレスを使用していますか。

病床規模別

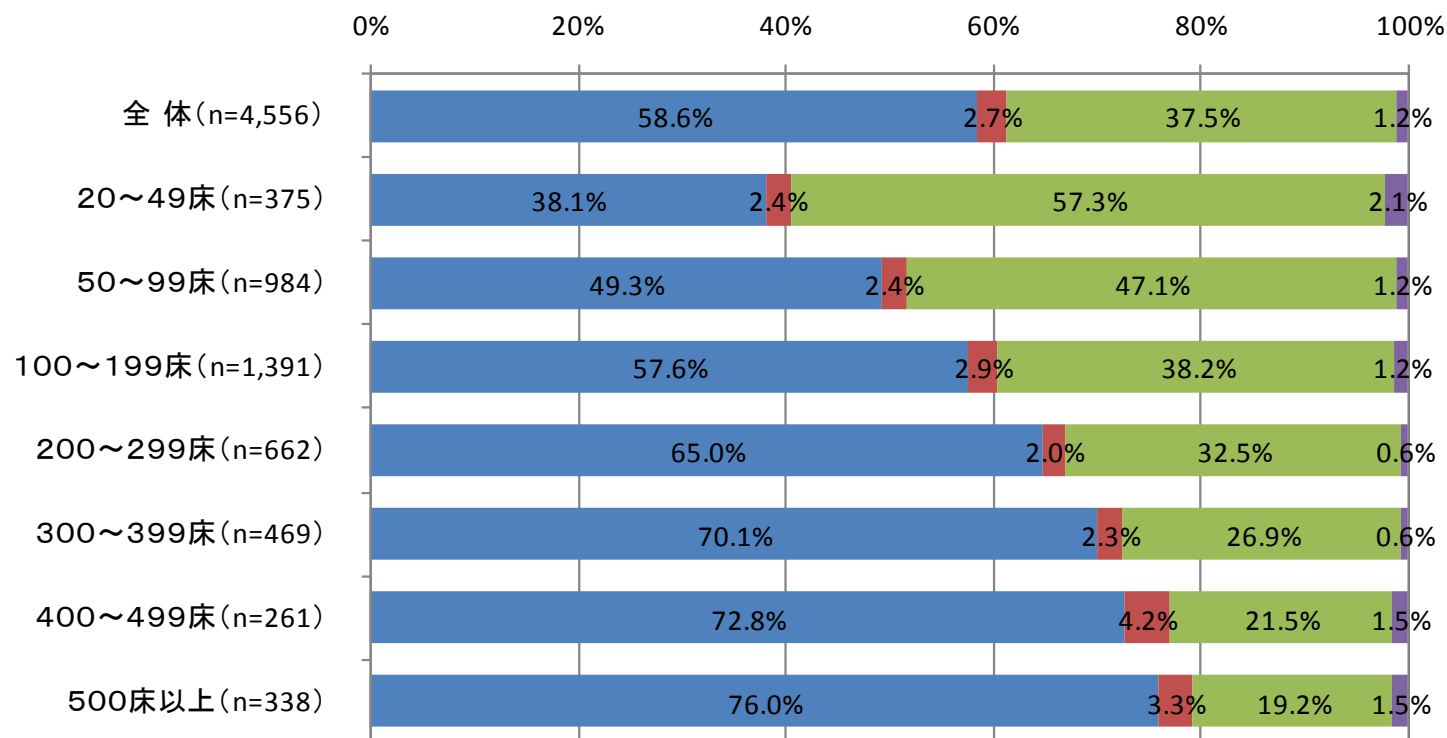
(単数回答)



問7 医薬品安全管理責任者の方は、PMDAメディナビに登録していますか。

病床規模別

(単数回答)



■ 登録している

■ 登録していなかったが、今回の調査で知り登録した

■ 登録していない

■ 無回答

問7-1へ

問7-2へ

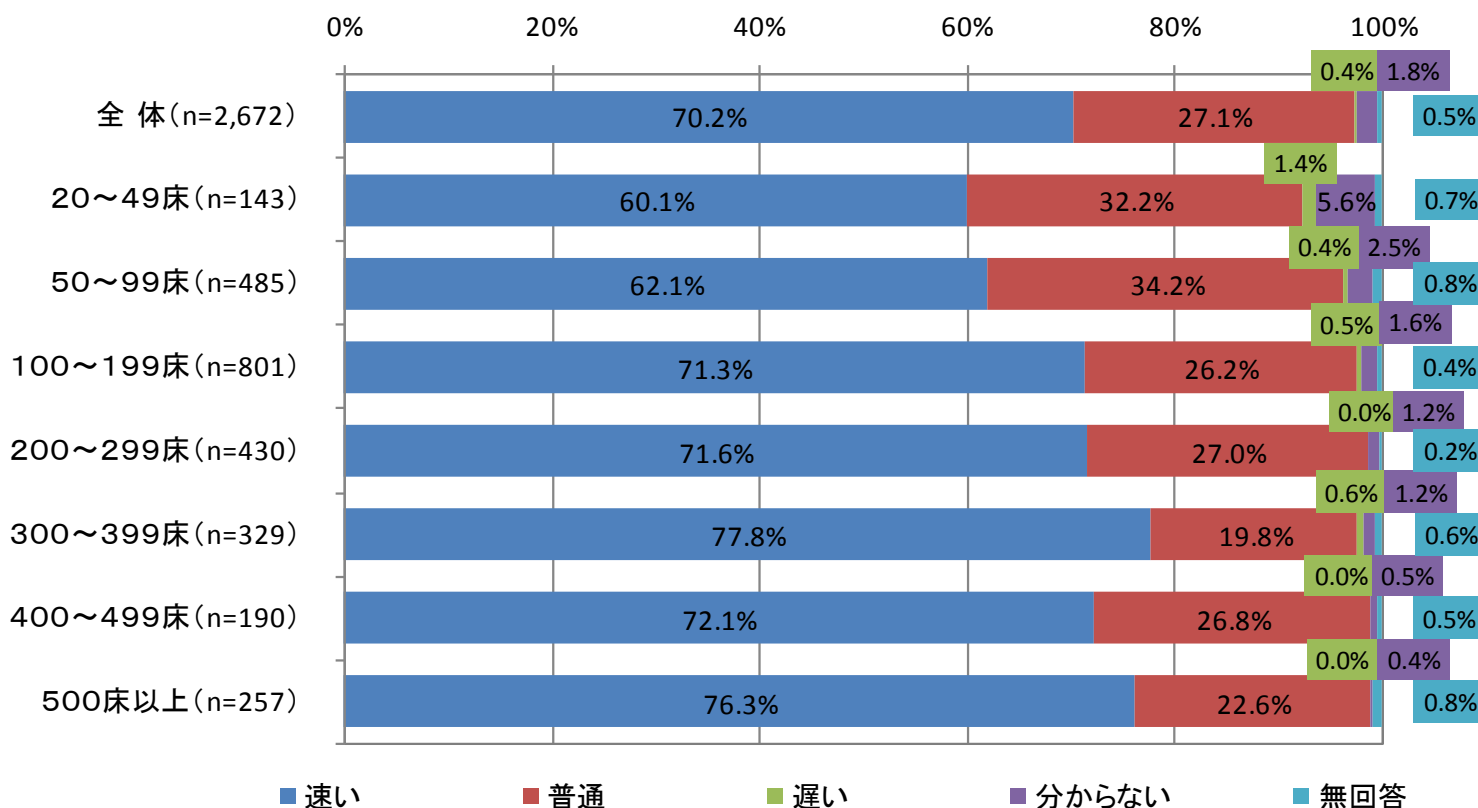
問7-1 PMDAメディナビに対する評価をお答えください。(1/9)

① 迅速に更新情報を入手できるか

病床規模別

(単数回答)

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設



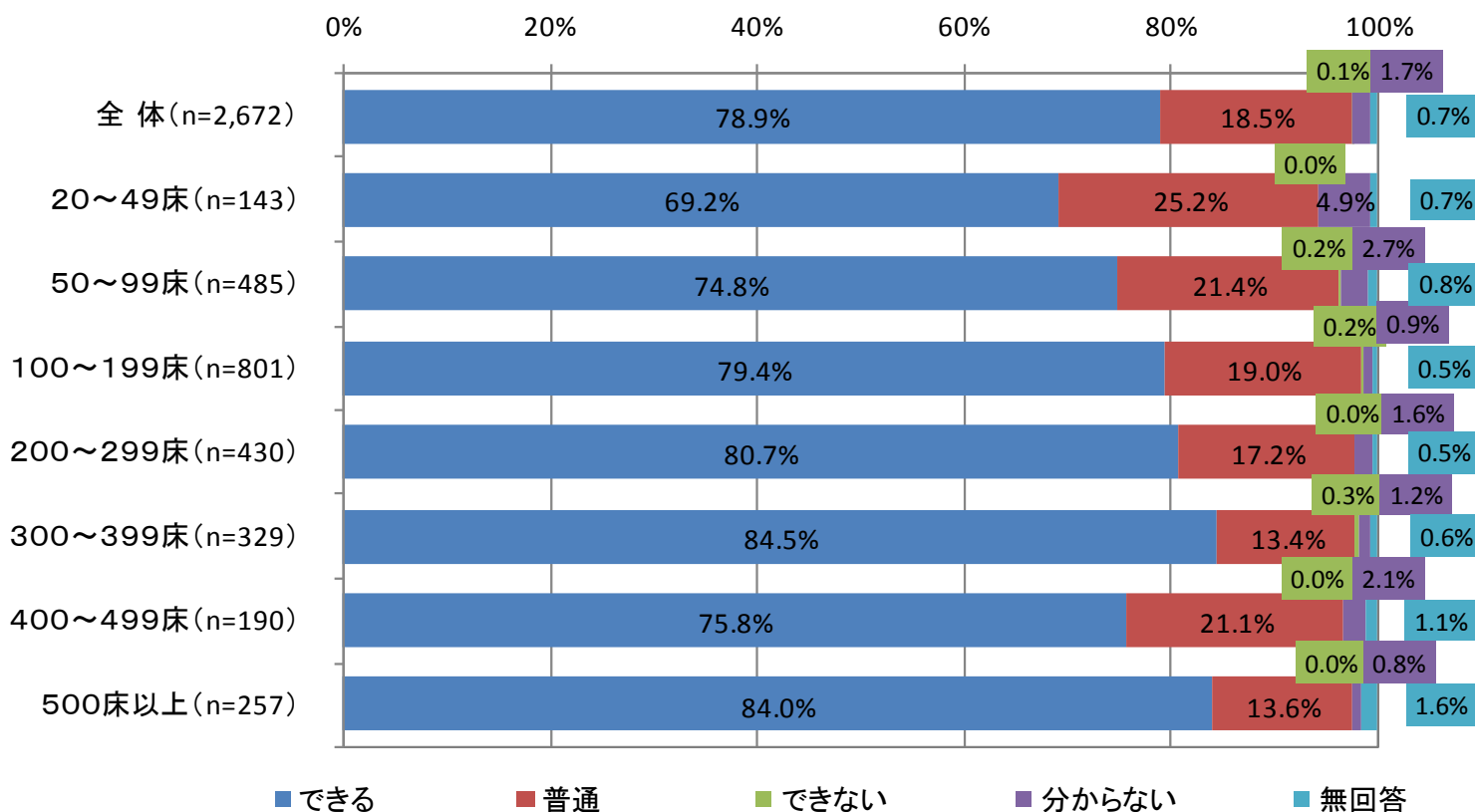
問7-1 PMDAメディアナビに対する評価をお答えください。(2/9)

② 正確な情報を入手できるか

病床規模別

(単数回答)

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディアナビに「登録している」施設



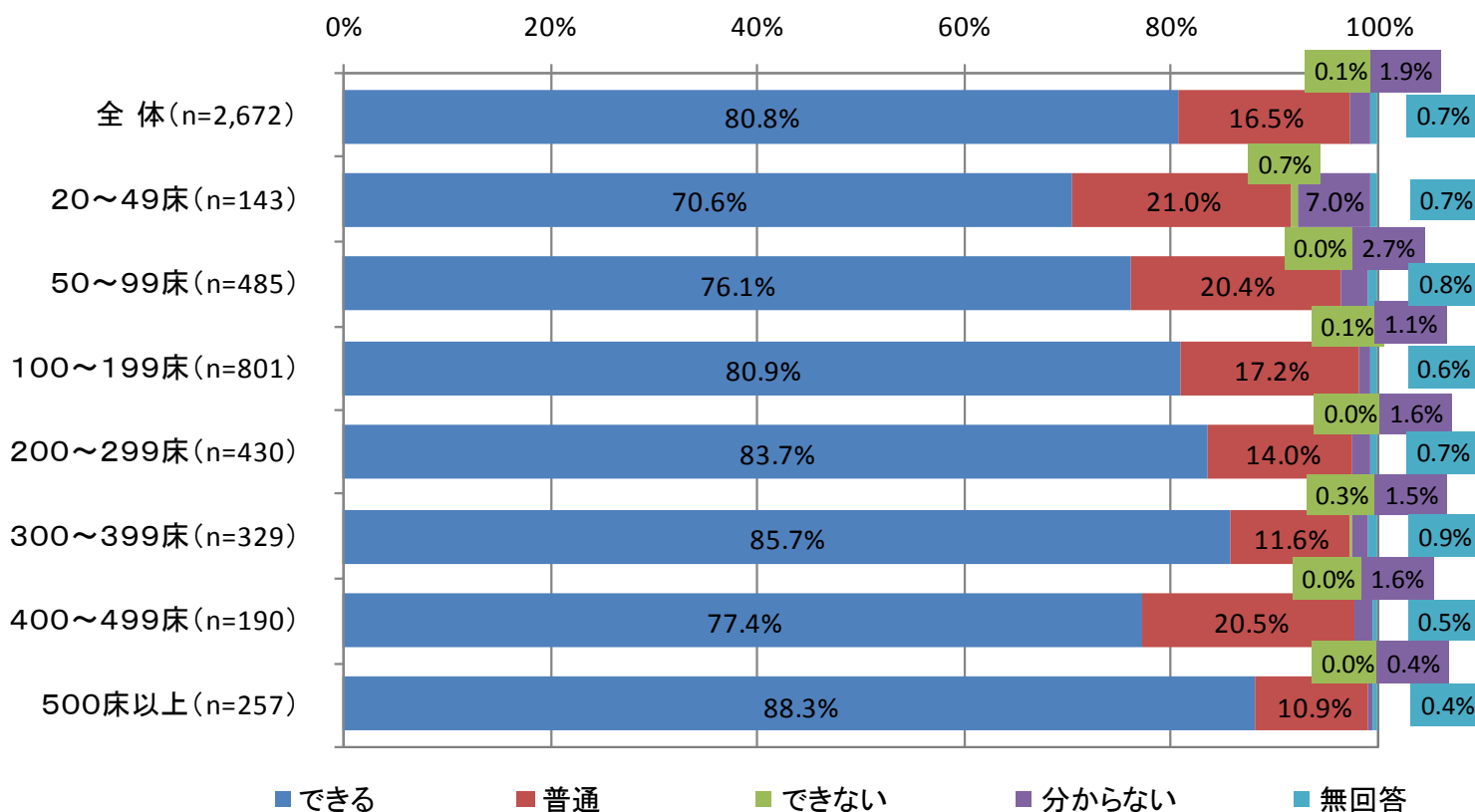
問7-1 PMDAメディナビに対する評価をお答えください。(3/9)

③ 信頼できる情報入手できるか

病床規模別

(単数回答)

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設



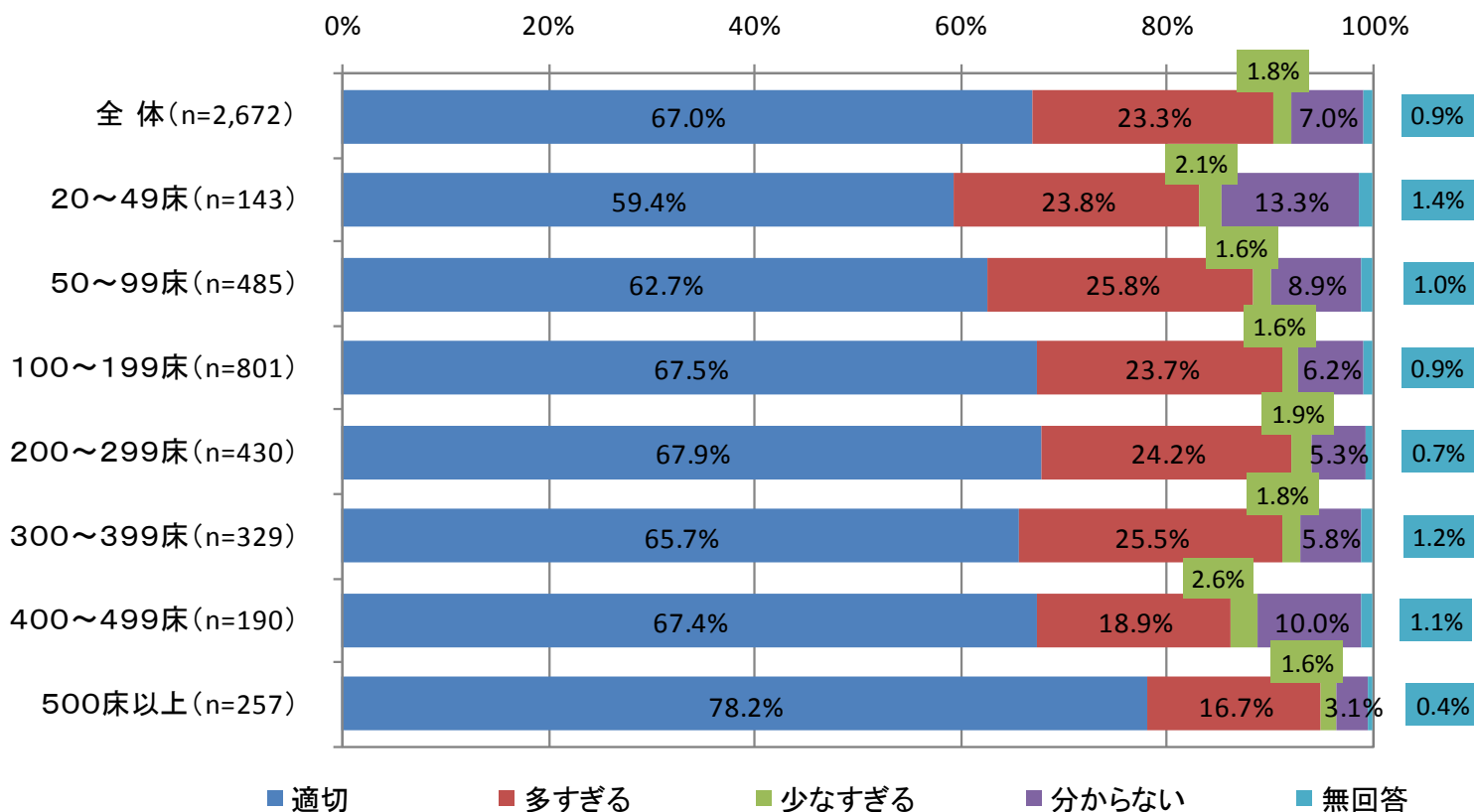
問7-1 PMDAメディアナビに対する評価をお答えください。(4/9)

④ 情報量が適切か

病床規模別

(単数回答)

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディアナビに「登録している」施設



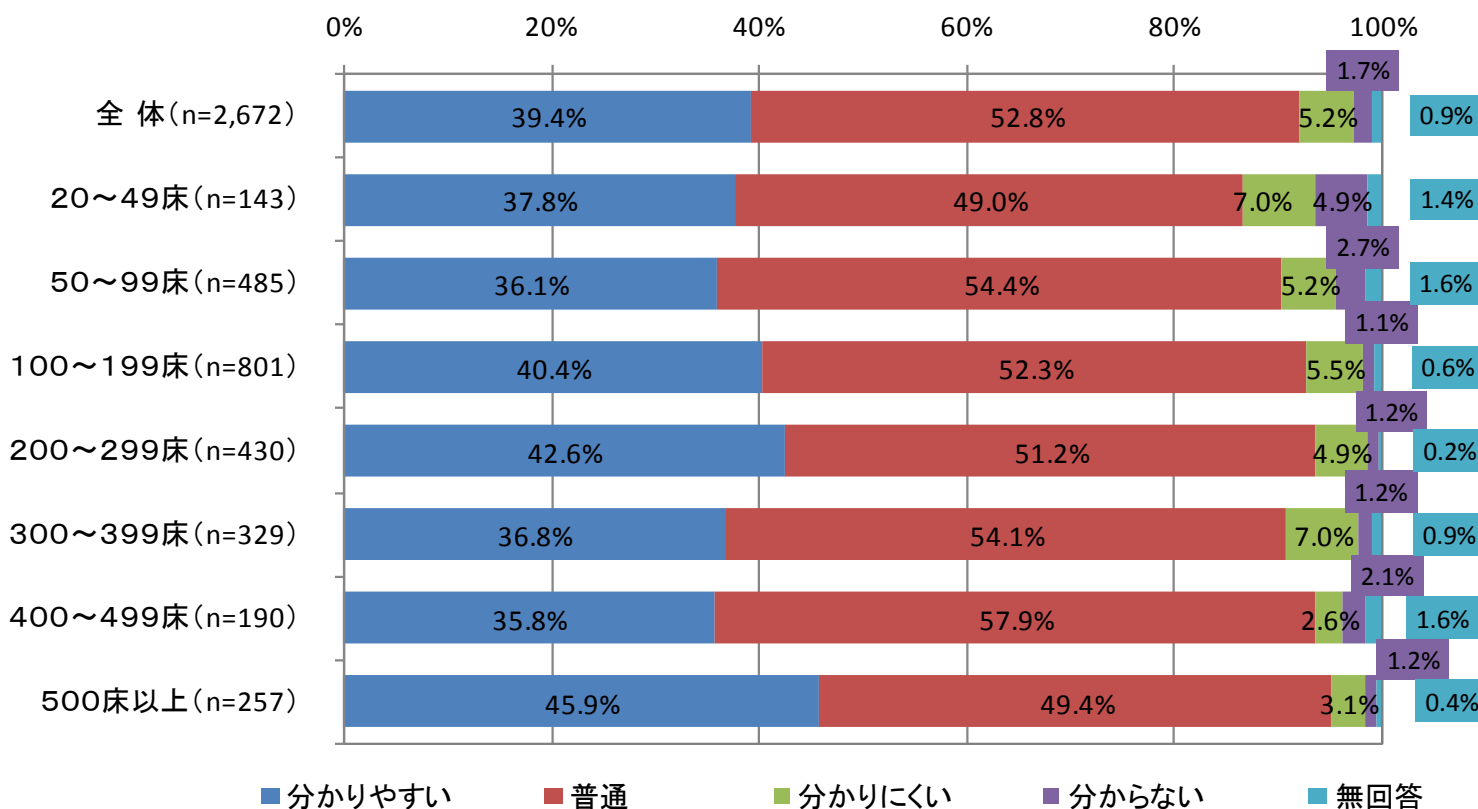
問 7 - 1 PMDAメディアナビに対する評価をお答えください。(5/9)

⑤ 情報の内容が分かりやすいか

病床規模別

(単数回答)

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディアナビに「登録している」施設



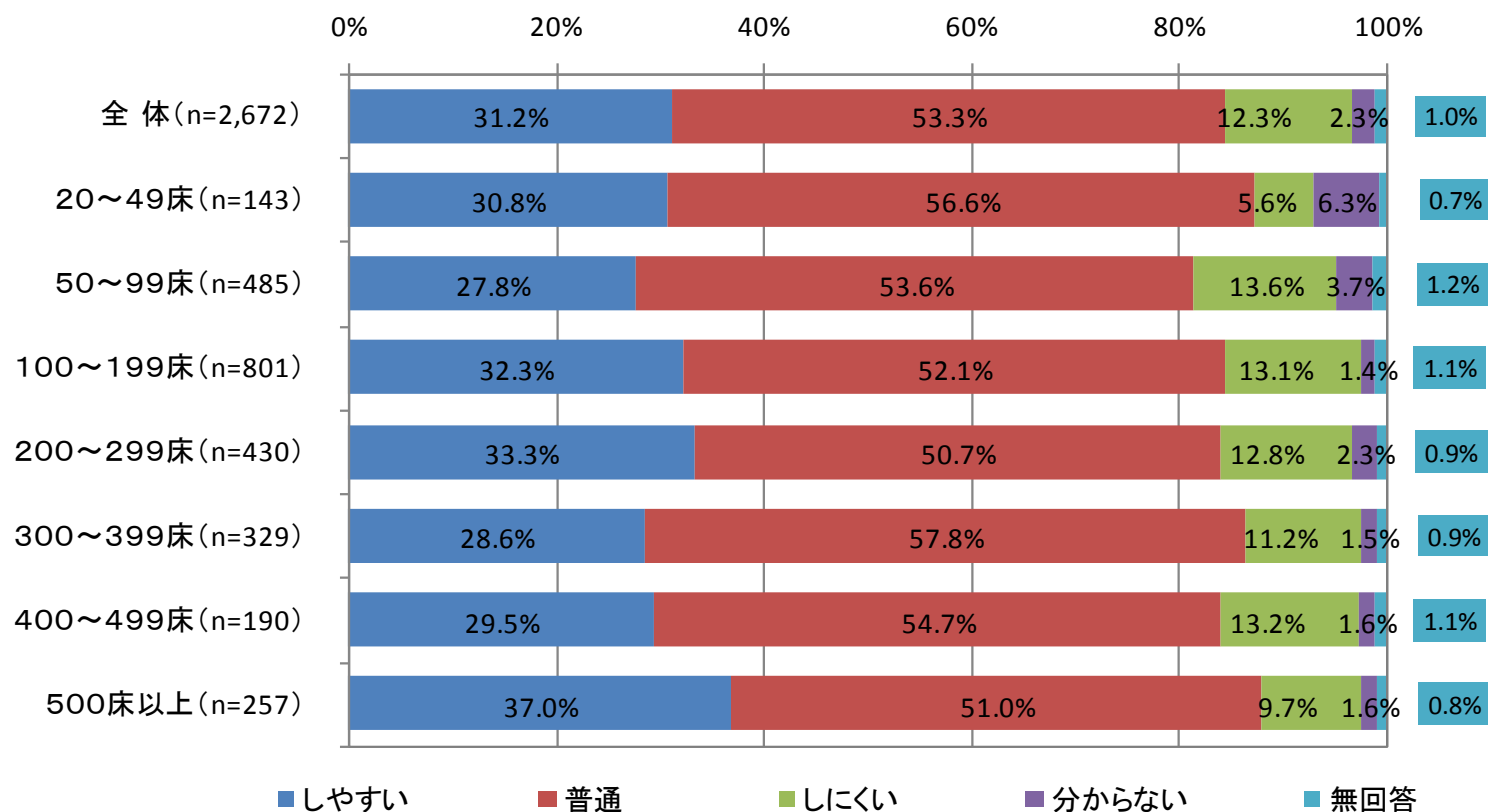
問7-1 PMDAメディアナビに対する評価をお答えください。(6/9)

⑥ 情報の重要度が判別しやすいか

病床規模別

(単数回答)

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディアナビに「登録している」施設



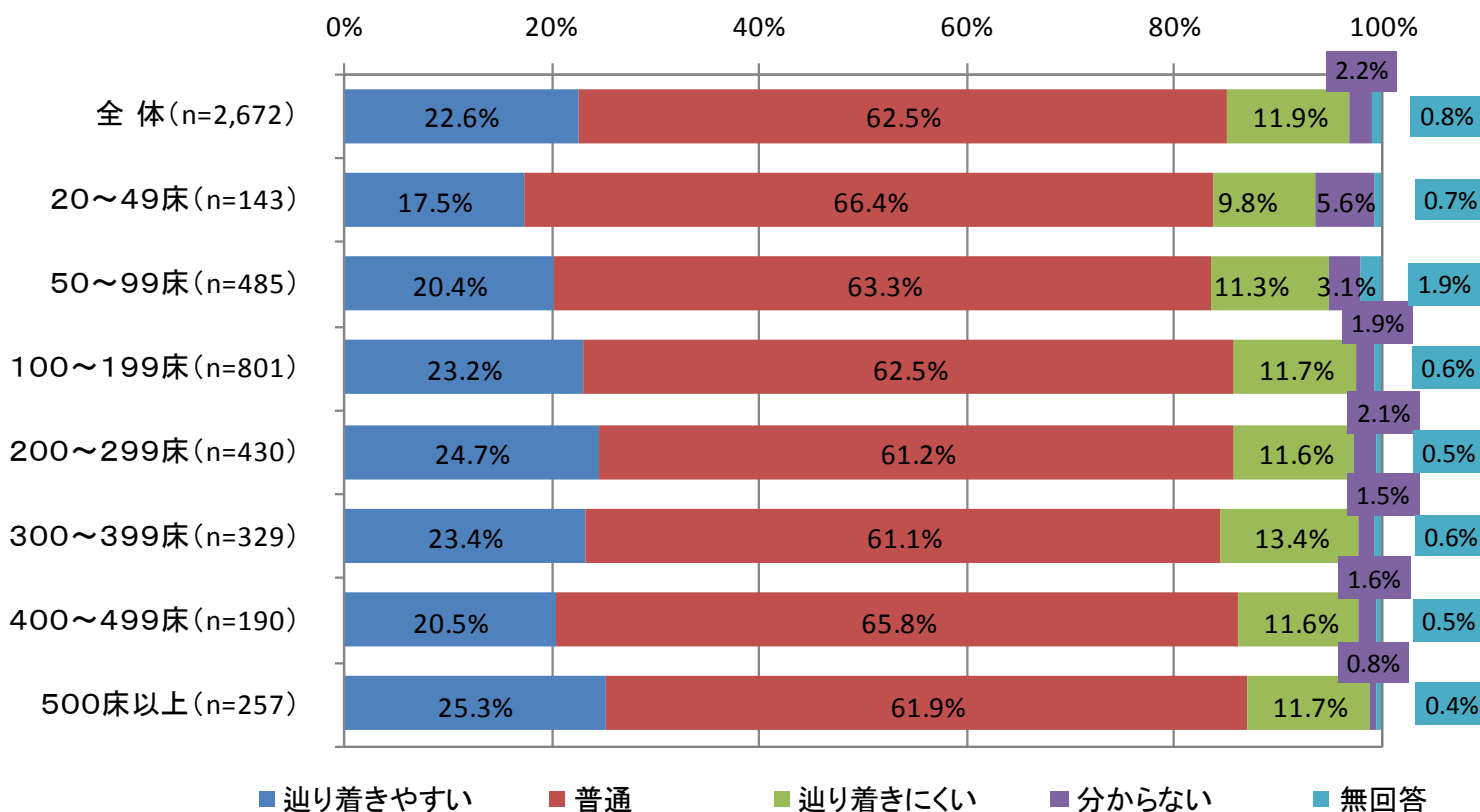
問7-1 PMDAメディナビに対する評価をお答えください。(7/9)

⑦ 必要な情報に辿り着きやすいか（レイアウトが分かりやすいか）

病床規模別

（単数回答）

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設



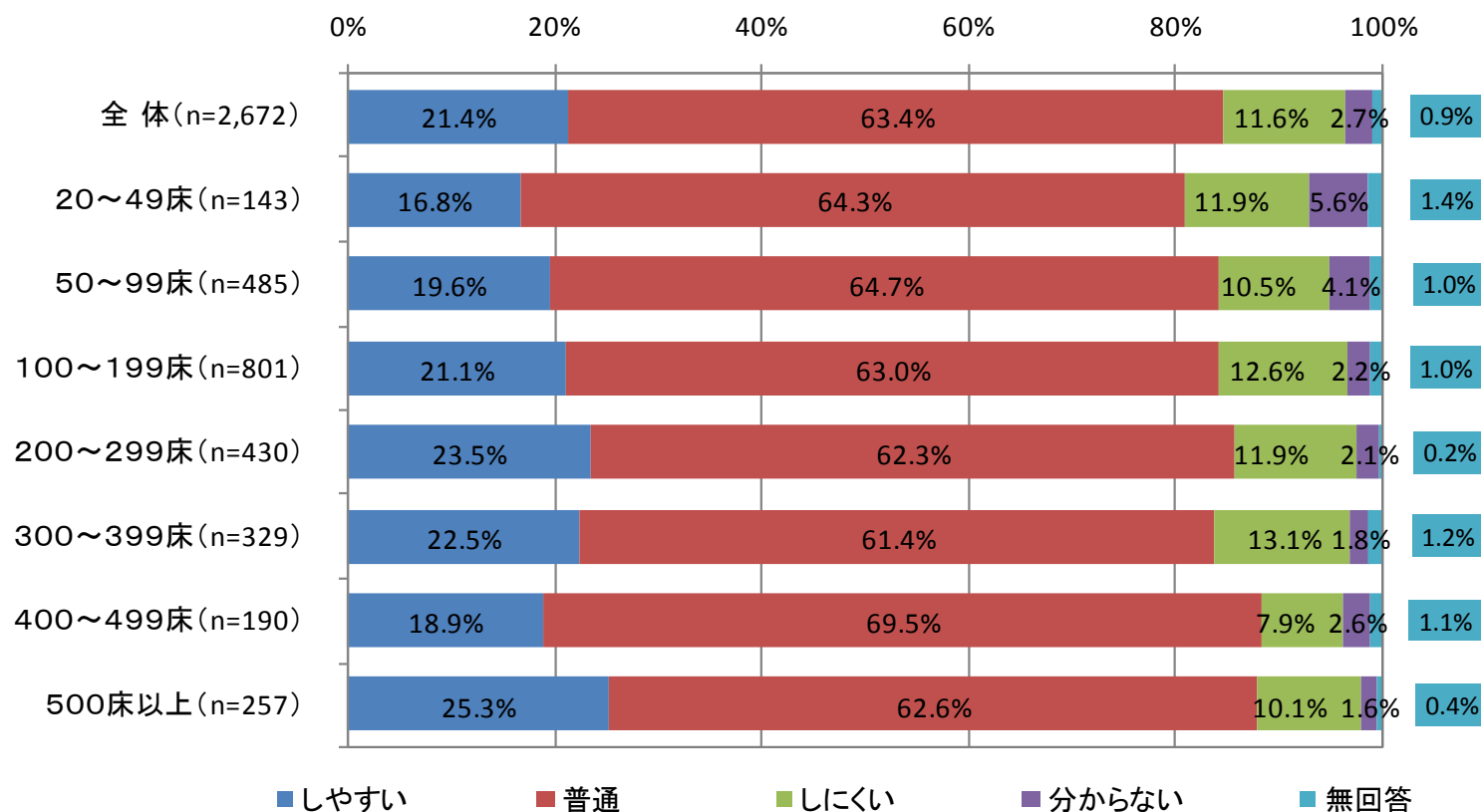
問7-1 PMDAメディナビに対する評価をお答えください。(8/9)

⑧ 必要な情報を探しやすいか(検索しやすいか)

病床規模別

(単数回答)

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録している」施設



問7-1 PMDAメディアナビに対する評価をお答えください。(9/9)

⑨ 意見、感想等

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディアナビに「登録している」施設

主な意見

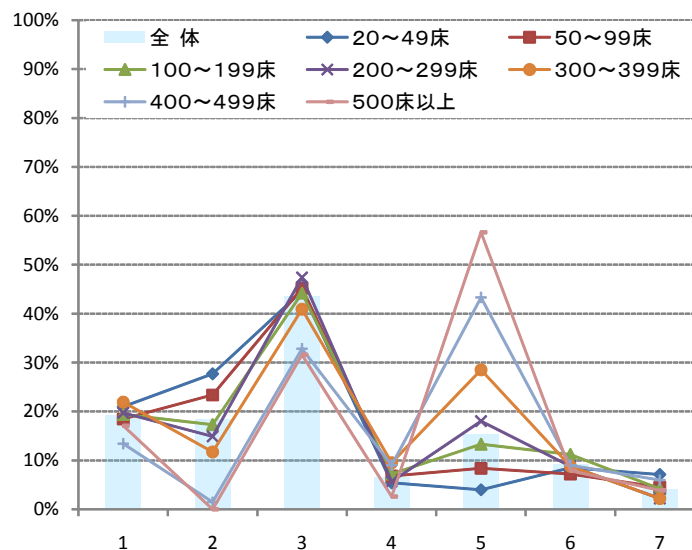
- 瞬時に注意事項等の改訂情報が得られるので、MRが頻回に訪問できない施設では大変助かっている。
- いろいろな情報が入り混じっていて、どれを最優先に見るべきか分かりづらい。他にも色々なところから多くのメールが届くので、件名等に「最重要」「緊急」とか見る優先が判断できるようにしてほしい。
- PMDAメディアナビで送られた情報は、見るのが簡単だが、自分で承認情報等を検索する際に必要な情報に辿り着きにくい。

問 7-2 これまで登録しなかった・登録していない理由をお答えください。

病床規模別

(単数回答)

集計対象：医薬品安全管理責任者がPMDAメディナビに「登録していなかったが、今回の調査で知り登録した」/「登録していない」施設

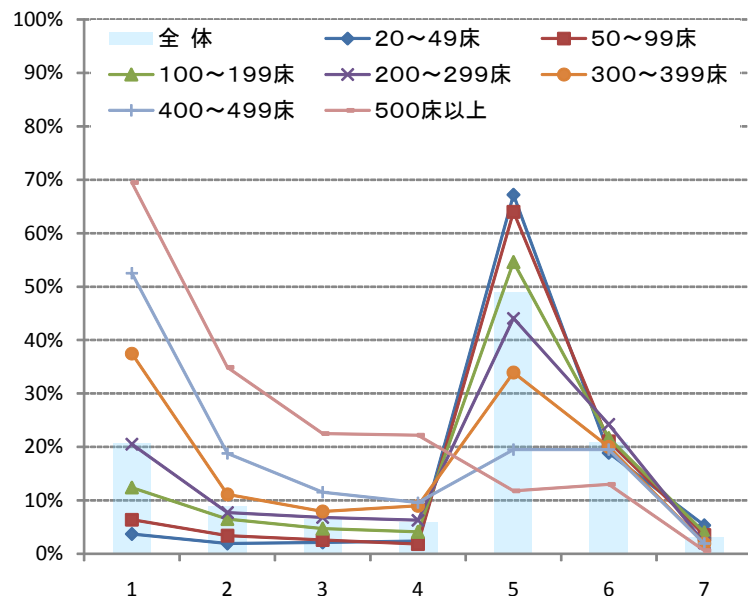


	調査数	PMDAメディナビの存在を知らなかったため	電子メールを利用できる環境がなかったため	他の方法・手段で十分に情報収集ができていたため	登録方法が煩雑であるため	院内の他の担当者が登録しているため	その他	無回答
全 体	1,828	19.3%	18.4%	43.5%	6.6%	15.4%	9.2%	4.2%
20~49床	224	21.0%	27.7%	44.6%	5.4%	4.0%	8.5%	7.1%
50~99床	487	18.5%	23.4%	45.2%	6.8%	8.4%	7.2%	4.5%
100~199床	573	19.4%	17.3%	44.2%	7.2%	13.3%	11.2%	4.2%
200~299床	228	19.7%	14.9%	47.4%	5.7%	18.0%	8.8%	2.2%
300~399床	137	21.9%	11.7%	40.9%	9.5%	28.5%	8.8%	2.2%
400~499床	67	13.4%	1.5%	32.8%	9.0%	43.3%	9.0%	6.0%
500床以上	76	17.1%	0.0%	31.6%	2.6%	56.6%	7.9%	3.9%

問 8 医薬品安全管理責任者の方以外に、薬剤部内にPMDAメディナビに登録している方はいますか。

病床規模別

(複数回答)

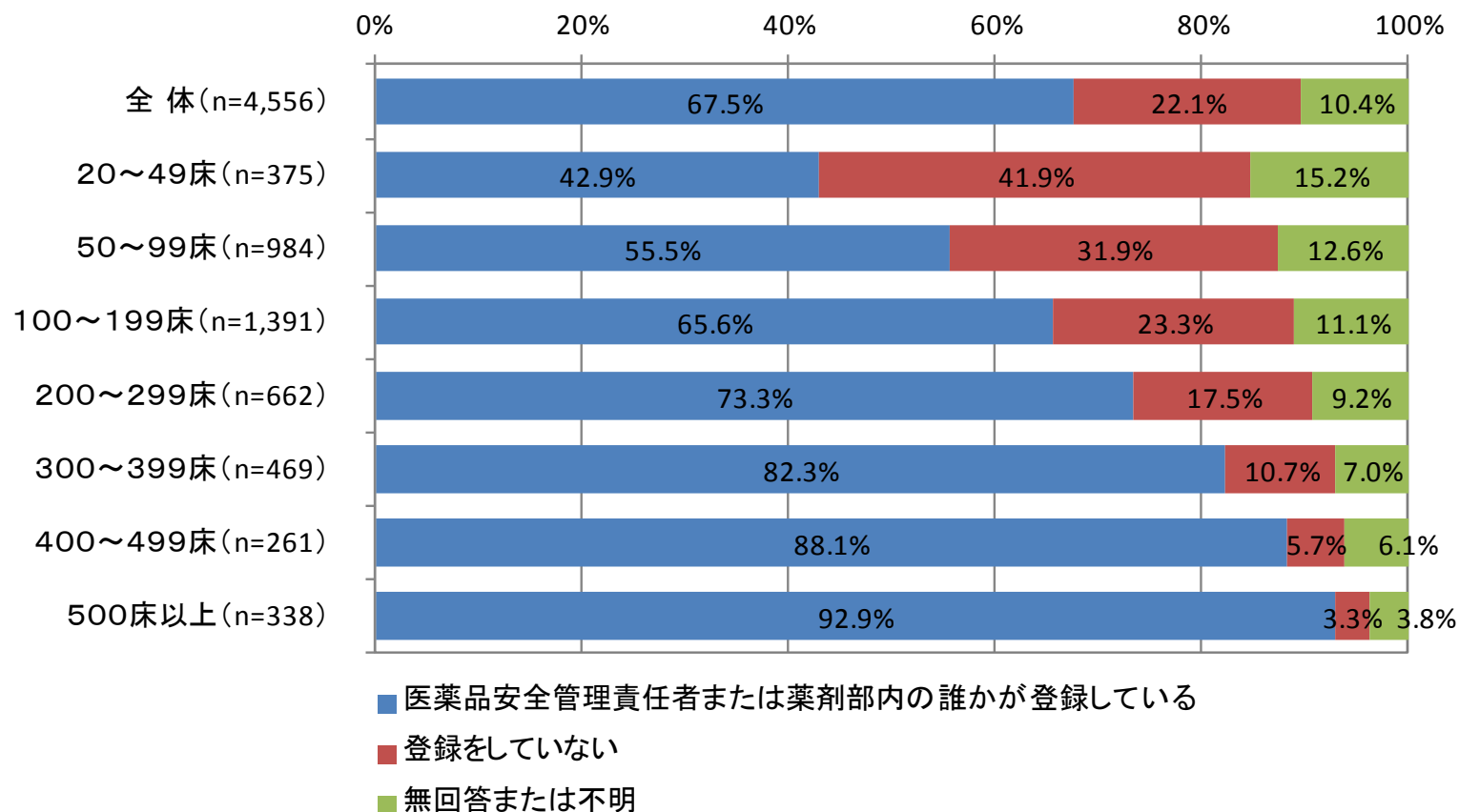


	調査数	DI担当の薬剤師	病棟担当の薬剤師	調剤担当の薬剤師	1~3以外の薬剤師	登録している方はいない	分からない	無回答
全 体	4,556	20.7%	8.9%	6.4%	5.9%	48.9%	20.8%	3.1%
20~49床	375	3.7%	1.9%	2.1%	2.4%	67.2%	18.9%	5.3%
50~99床	984	6.4%	3.4%	2.6%	1.8%	64.0%	21.0%	3.5%
100~199床	1,391	12.4%	6.5%	4.7%	4.1%	54.6%	21.7%	4.0%
200~299床	662	20.5%	7.7%	6.8%	6.3%	44.1%	24.2%	2.0%
300~399床	469	37.5%	11.1%	7.9%	9.0%	33.9%	20.0%	1.9%
400~499床	261	52.5%	18.8%	11.5%	9.6%	19.5%	19.5%	1.9%
500床以上	338	69.5%	34.9%	22.5%	22.2%	11.8%	13.0%	0.6%

問7・問8 PMDAメディナビの登録状況（1/2）

病床規模別

（単数回答）



問7・問8 PMDAメディナビの登録状況（2/2）

都道府県別

（単数回答）

	医薬品 または薬剤 の登録 している 責任者	登録 をして いない	無回 答ま たは 不明
全 体 (n=4,556)	67.5%	22.1%	10.4%
北海道 (n=320)	59.4%	28.1%	12.5%
青森県 (n=66)	65.2%	28.8%	6.1%
岩手県 (n=59)	59.3%	30.5%	10.2%
宮城県 (n=72)	62.5%	25.0%	12.5%
秋田県 (n=44)	65.9%	15.9%	18.2%
山形県 (n=45)	75.6%	22.2%	2.2%
福島県 (n=68)	66.2%	23.5%	10.3%
茨城県 (n=102)	67.6%	21.6%	10.8%
栃木県 (n=65)	76.9%	13.8%	9.2%
群馬県 (n=75)	77.3%	14.7%	8.0%
埼玉県 (n=184)	66.8%	22.3%	10.9%
千葉県 (n=155)	72.3%	23.2%	4.5%
東京都 (n=342)	76.0%	15.2%	8.8%
神奈川県 (n=198)	68.2%	17.7%	14.1%
新潟県 (n=82)	78.0%	14.6%	7.3%
富山県 (n=65)	67.7%	13.8%	18.5%

	医薬品 または薬剤 の登録 している 責任者	登録 をして いない	無回 答ま たは 不明
石川県 (n=52)	65.4%	23.1%	11.5%
福井県 (n=39)	59.0%	33.3%	7.7%
山梨県 (n=32)	68.8%	21.9%	9.4%
長野県 (n=87)	75.9%	18.4%	5.7%
岐阜県 (n=61)	75.4%	13.1%	11.5%
静岡県 (n=101)	68.3%	18.8%	12.9%
愛知県 (n=170)	66.5%	18.2%	15.3%
三重県 (n=67)	76.1%	16.4%	7.5%
滋賀県 (n=33)	69.7%	21.2%	9.1%
京都府 (n=90)	72.2%	21.1%	6.7%
大阪府 (n=261)	71.6%	16.9%	11.5%
兵庫県 (n=182)	78.0%	18.7%	3.3%
奈良県 (n=42)	69.0%	14.3%	16.7%
和歌山県 (n=46)	60.9%	32.6%	6.5%
鳥取県 (n=22)	54.5%	36.4%	9.1%
島根県 (n=37)	70.3%	16.2%	13.5%
岡山県 (n=91)	70.3%	12.1%	17.6%

	医薬品 または薬剤 の登録 している 責任者	登録 をして いない	無回 答ま たは 不明
広島県 (n=127)	60.6%	30.7%	8.7%
山口県 (n=68)	63.2%	32.4%	4.4%
徳島県 (n=40)	52.5%	32.5%	15.0%
香川県 (n=41)	51.2%	36.6%	12.2%
愛媛県 (n=68)	66.2%	19.1%	14.7%
高知県 (n=55)	60.0%	38.2%	1.8%
福岡県 (n=258)	69.4%	20.5%	10.1%
佐賀県 (n=45)	46.7%	37.8%	15.6%
長崎県 (n=83)	57.8%	30.1%	12.0%
熊本県 (n=110)	62.7%	27.3%	10.0%
大分県 (n=84)	47.6%	41.7%	10.7%
宮崎県 (n=59)	55.9%	22.0%	22.0%
鹿児島 (n=122)	66.4%	27.0%	6.6%
沖縄県 (n=41)	70.7%	17.1%	12.2%

I 安全性情報全般に関する調査

2 医薬品の安全性情報の入手・伝達・活用状況について

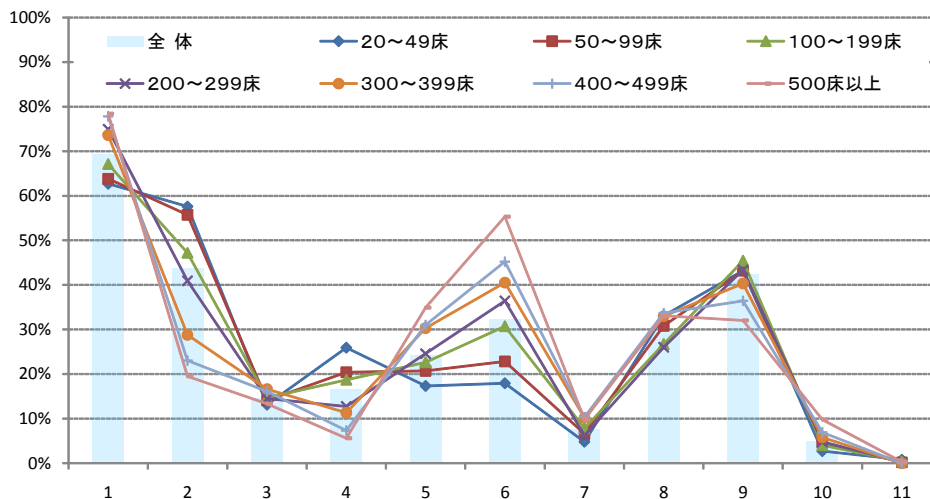
【用語の定義】

院内採用薬：院内での処方が可能な医薬品

問9 院内採用薬に関して、日常的に、医薬品の「使用上の注意の改訂」など、安全性に関する更新情報を入手するための情報源として、積極的に活用しているものは何ですか。

病床規模別

(複数回答)
※3つまで



	調査数	製薬企業の医薬情報担当者 (MR)	製薬企業のダイレクトメール (DM)	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者 (MS)	医薬品医療機器総合機構 (PMDA) のホームページ	PMDA メディナビ	製薬企業、PMDA 以外のホームページ	医薬品・医療機器等安全性情報 (厚生労働省発行)	医薬品・医療機器等安全性情報 (厚生労働省発行)	連合会発行)	DSU (Drug Safety Update、日本製薬団体)	その他	無回答
全 体	4,556	69.3%	43.7%	14.6%	16.5%	24.2%	32.3%	7.5%	29.6%	42.3%	4.9%	0.3%		
20～49床	375	62.7%	57.6%	13.1%	25.9%	17.3%	17.9%	4.8%	33.1%	43.2%	2.7%	0.8%		
50～99床	984	63.8%	55.7%	14.1%	20.4%	20.7%	22.8%	6.6%	30.8%	43.2%	4.6%	0.2%		
100～199床	1,391	67.1%	47.2%	14.7%	18.7%	22.6%	30.7%	7.8%	26.7%	45.4%	4.0%	0.4%		
200～299床	662	74.9%	40.9%	14.5%	12.7%	24.6%	36.4%	6.2%	26.0%	43.4%	4.8%	0.3%		
300～399床	469	73.6%	28.8%	16.6%	11.3%	30.3%	40.5%	10.2%	33.0%	40.3%	5.8%	0.0%		
400～499床	261	77.8%	23.0%	16.1%	7.3%	31.0%	45.2%	10.3%	33.7%	36.4%	6.9%	0.0%		
500床以上	338	78.4%	19.5%	13.3%	5.6%	34.9%	55.3%	9.8%	33.1%	32.0%	9.8%	0.3%		

問10 問9の選択肢にある情報源に関して感じておられることや問題となっていることがあれば、ご自由にご記入ください。

主な意見

- ❑ PMDAの情報が、自院採用薬を登録可能として、採用医薬品の情報とそれ以外の情報を分けて確認ができるようになればよい（メールでのお知らせ時にも採用品とそれ以外に分かれていると良い）。
- ❑ 医薬品医療機器総合機構のホームページに歯科用医薬品製造販売（輸入）業者の添付文書掲載が少ない傾向がある。
- ❑ 情報発信元が複数あるため、本当に必要な情報の選定に時間と労力をとられてしまう。
- ❑ 情報の重要度の判断は、ダイレクトメールやホームページでは伝わりにくい。

I 安全性情報全般に関する調査

3 持参薬について

【用語の定義】

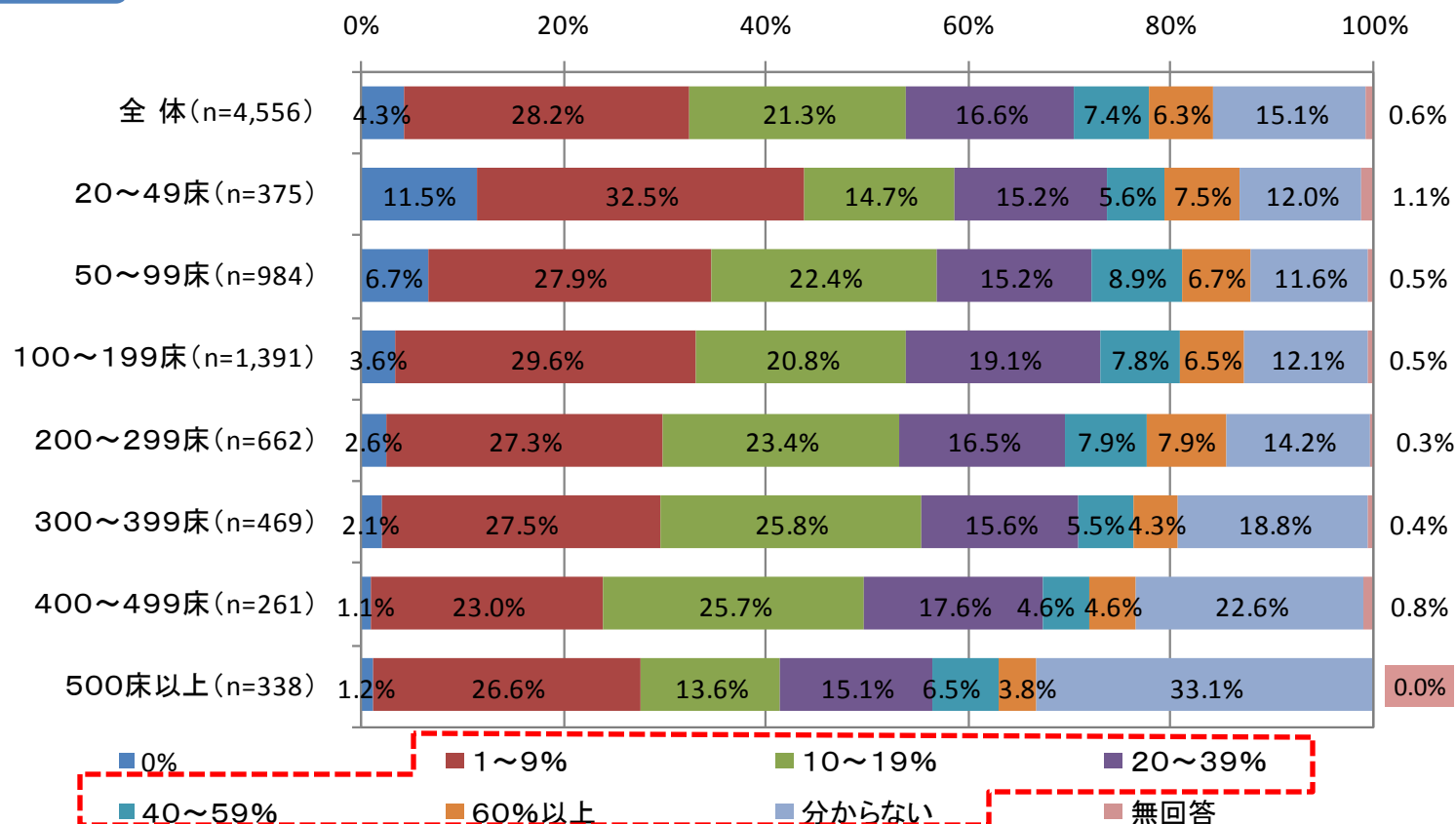
持参薬：患者が入院時に持参する医薬品であり、自施設および他施設から処方されたもの

代替薬：持参薬と同様の効能・効果を有する医薬品であり、代用（切り替え）が可能なもの

問 1 1 入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品を持参する患者さんのおおよその割合をお答えください。

病床規模別

(単数回答)



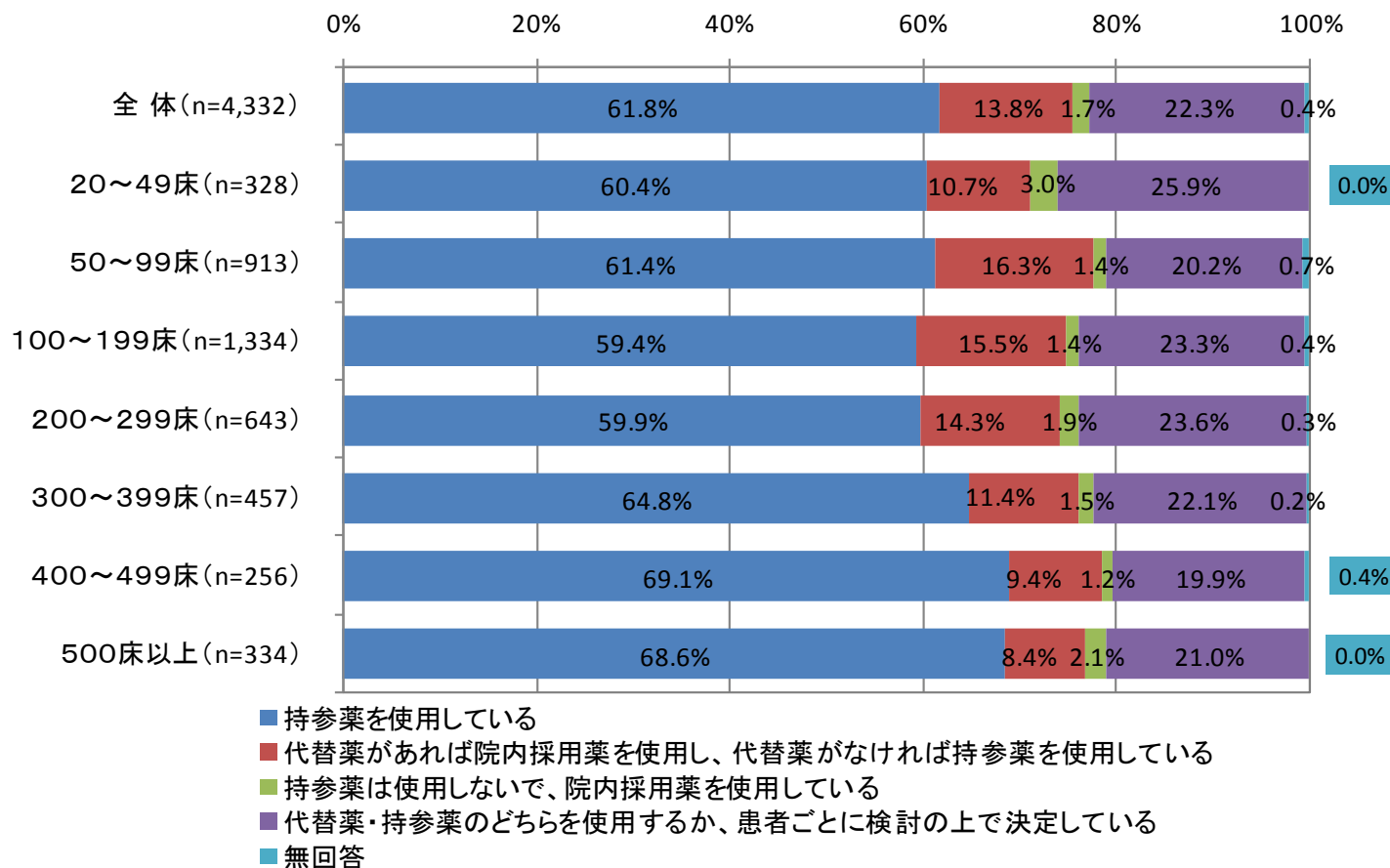
問12~問15へ

問 1 2 入院患者の持参薬の中に、貴院では院内採用しておらず、院外処方 もできない扱いとなっている医薬品があった場合、当該持参薬を 使用しますか。

病床規模別

(単数回答)

集計対象：入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっ
ている医薬品を持参する患者さんの割合が「1～9%」/「10～19%」/「20～39%」/
「40～59%」/「60%以上」/「分からない」施設

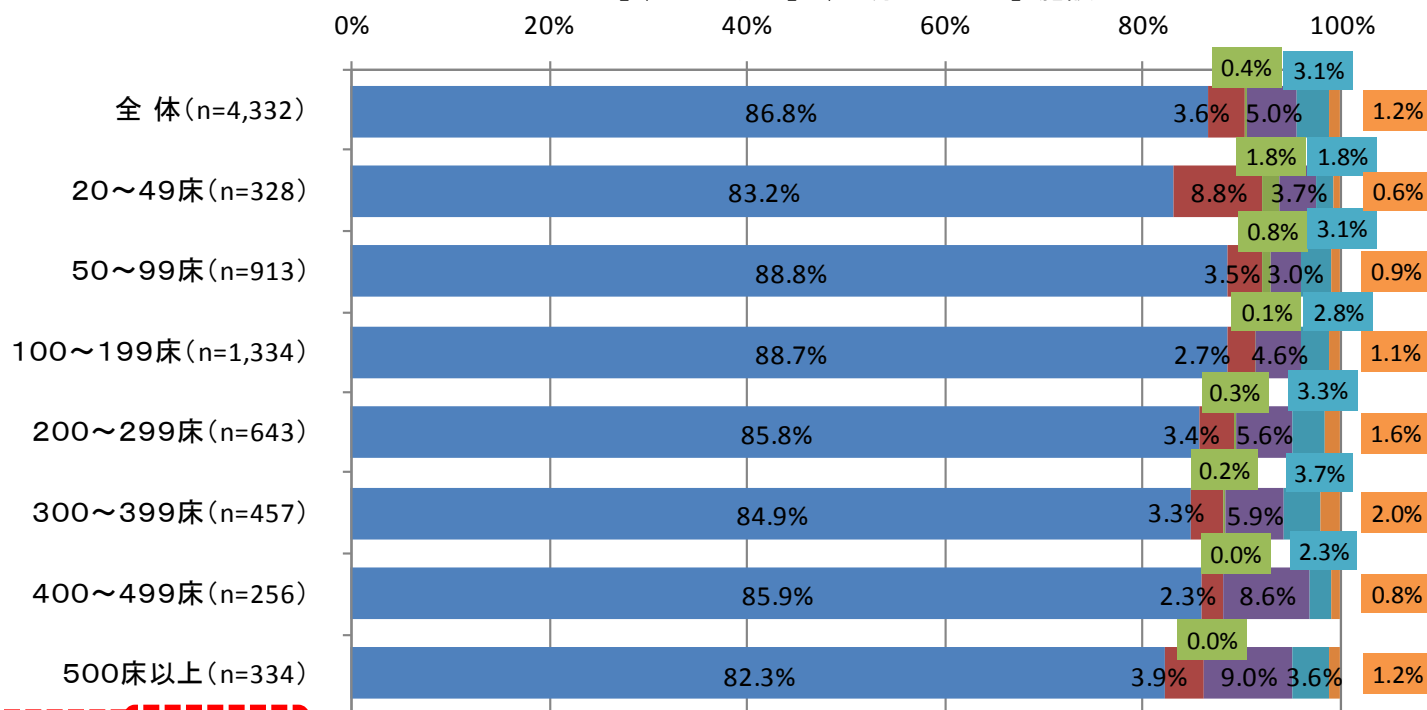


問 1 3 入院患者の持参薬の中に、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品があった場合、安全性に関する情報（添付文書上の「使用上の注意」等）の入手・管理は、主に誰が行っていますか。（1/3）

病床規模別

（単数回答）

集計対象：入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品を持参する患者さんの割合が「1～9%」 / 「10～19%」 / 「20～39%」 / 「40～59%」 / 「60%以上」 / 「分からない」施設



問 1 3
主な薬剤師へ

問 1 3 主な理由へ

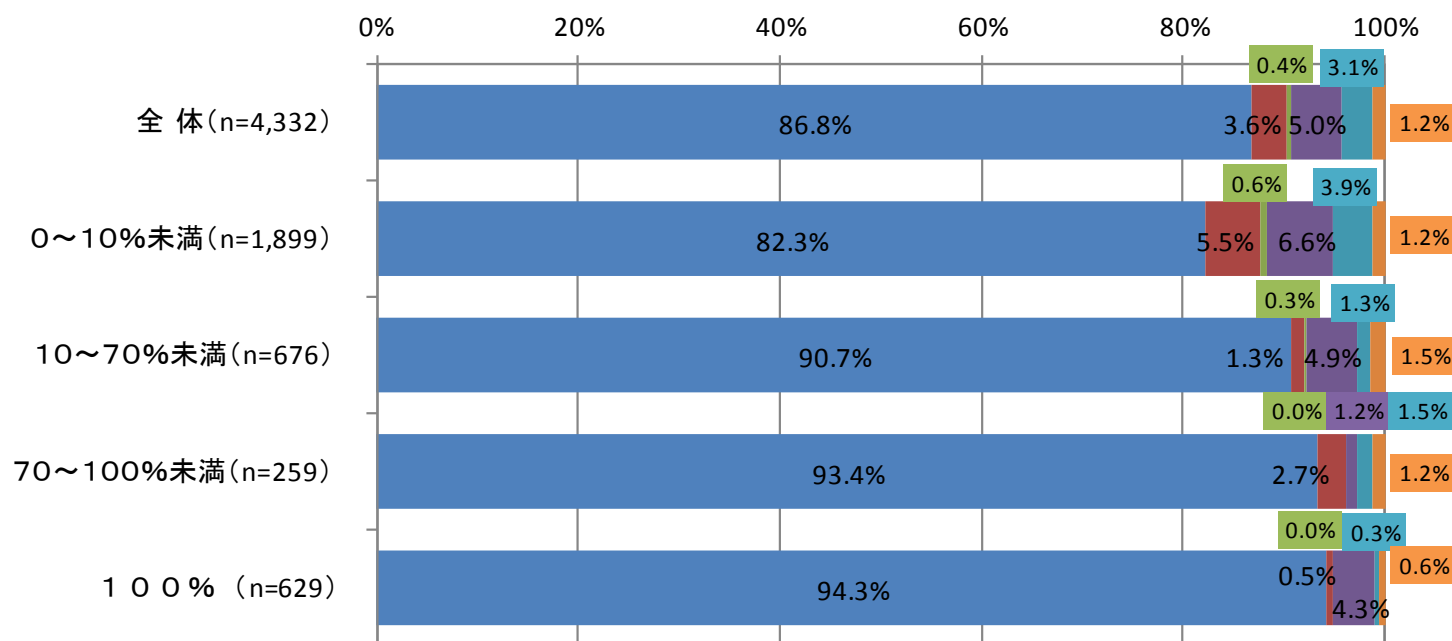
問 1 3 - 1 へ

問 1 3 入院患者の持参薬の中に、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品があった場合、安全性に関する情報（添付文書上の「使用上の注意」等）の入手・管理は、主に誰が行っていますか。（2/3）

病棟薬剤師
配置状況別

（単数回答）

集計対象：入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品を持参する患者さんの割合が「1～9%」 / 「10～19%」 / 「20～39%」 / 「40～59%」 / 「60%以上」 / 「分からない」施設



問 1 3
主な薬剤師へ

■ 薬剤師
■ 医師
■ 看護師
■ その他
■ 情報を入手・管理していない
■ 無回答

問 1 3 主な理由へ

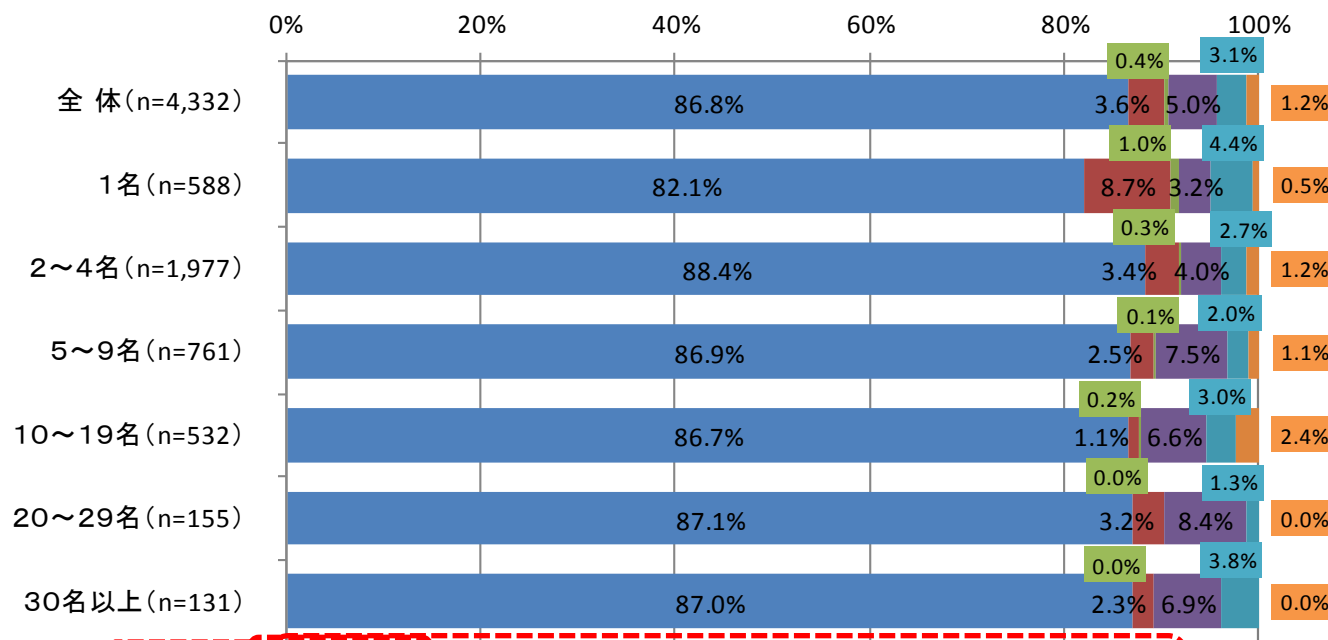
問 1 3 - 1 へ

問 1 3 入院患者の持参薬の中に、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品があった場合、安全性に関する情報（添付文書上の「使用上の注意」等）の入手・管理は、主に誰が行っていますか。（3/3）

薬剤師数別
（常勤換算）

（単数回答）

集計対象：入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品を持参する患者さんの割合が「1～9%」/「10～19%」/「20～39%」/「40～59%」/「60%以上」/「分からない」の施設



問 1 3
主な薬剤師へ

■ 薬剤師

■ 医師

■ 看護師

■ その他

■ 情報入手・管理していない

■ 無回答

問 1 3 - 1 へ

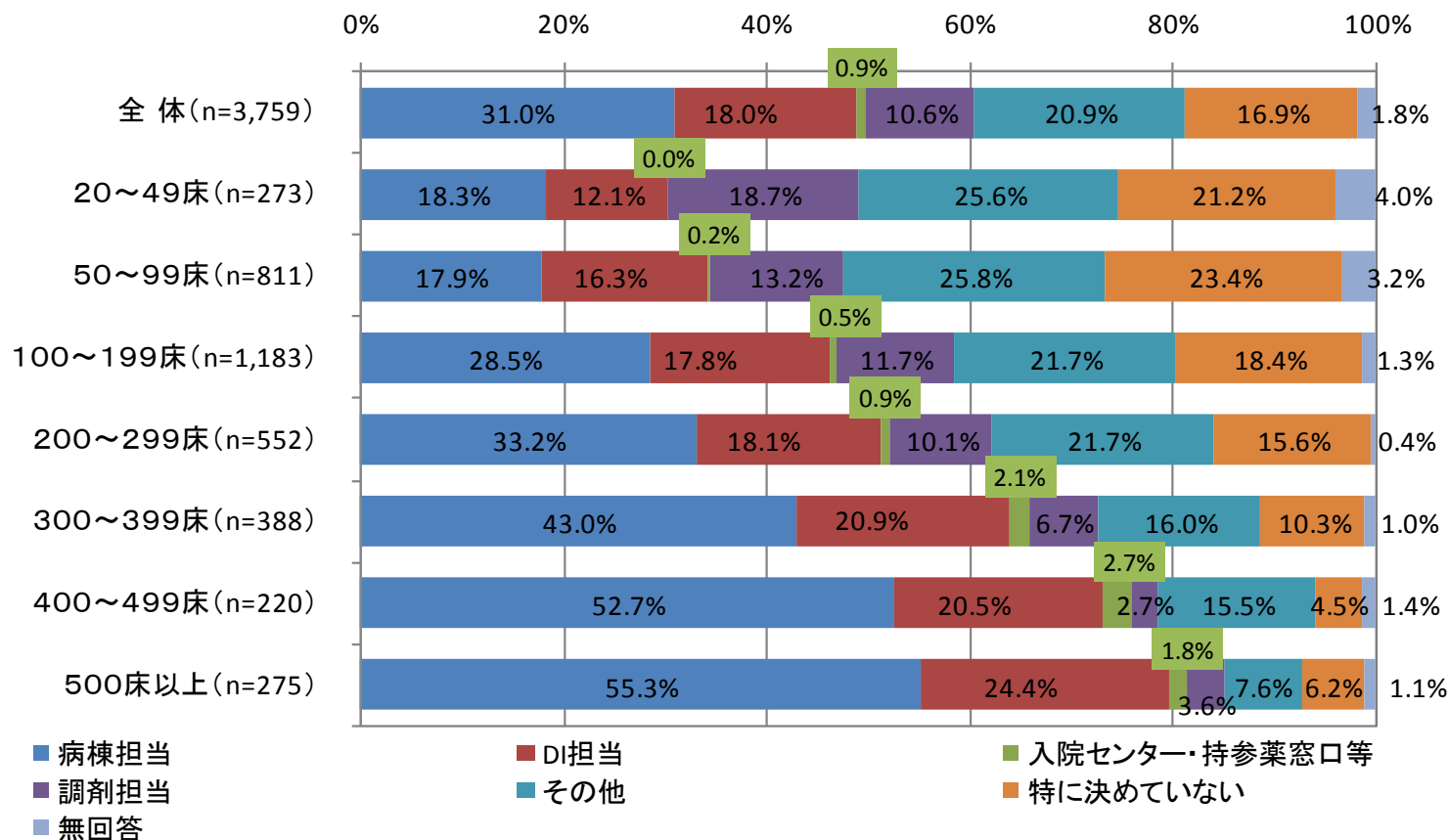
問 1 3 主な理由へ

問 1 3（薬剤師の場合） 情報入手・管理を行っている主な薬剤師（1/2）

病床規模別

（単数回答）

集計対象：入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品を持参する患者さんの割合が「1～9%」/「10～19%」/「20～39%」/「40～59%」/「60%以上」/「分からない」施設で、そうした医薬品があった場合、安全性に関する情報の入手・管理を主に「薬剤師」が行っている施設

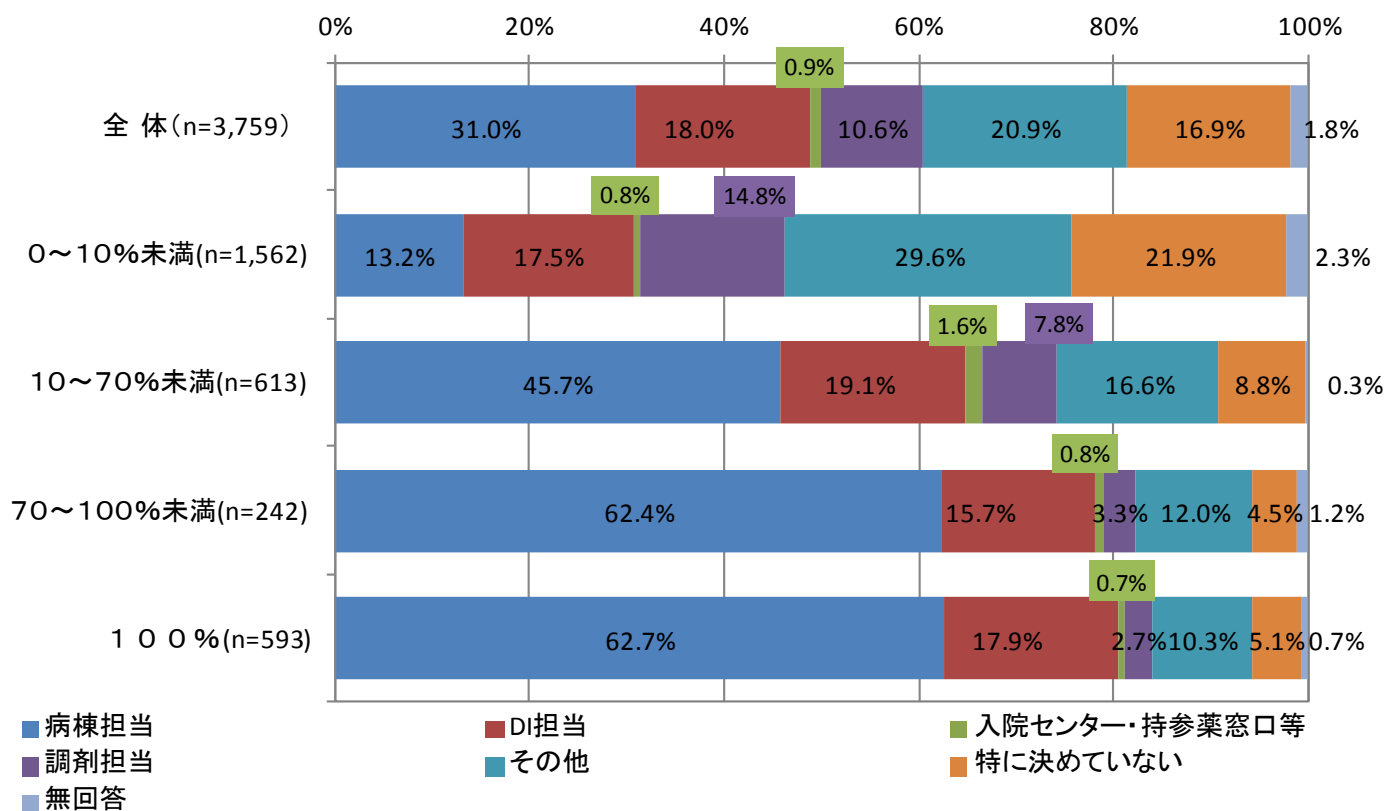


問 1 3（薬剤師の場合） 情報入手・管理を行っている主な薬剤師（2/2）

病棟薬剤師 配置状況別

（単数回答）

集計対象：入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方できない扱いとなっている医薬品を持参する患者さんの割合が「1～9%」/「10～19%」/「20～39%」/「40～59%」/「60%以上」/「分からない」施設で、
そうした医薬品があった場合、安全性に関する情報の入手・管理を主に「薬剤師」が行っている施設

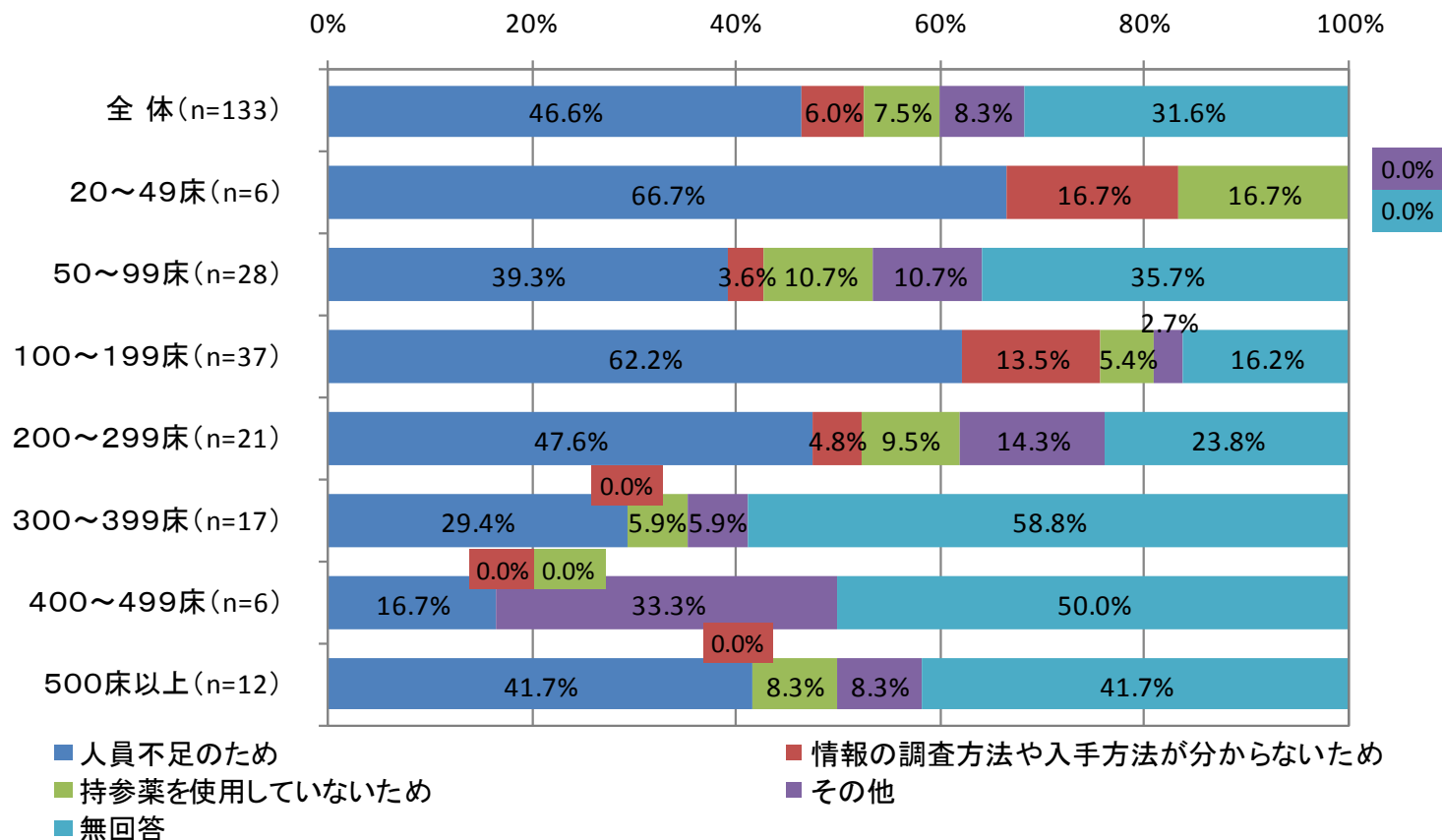


問 1 3（情報を入手・管理していない場合） 主な理由

病床規模別

（単数回答）

集計対象：入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方できない扱いとなっている医薬品を持参する患者さんの割合が「1～9%」 / 「10～19%」 / 「20～39%」 / 「40～59%」 / 「60%以上」 / 「分からない」施設で、そうした医薬品があった場合、安全性に関する情報を入手・管理していない施設

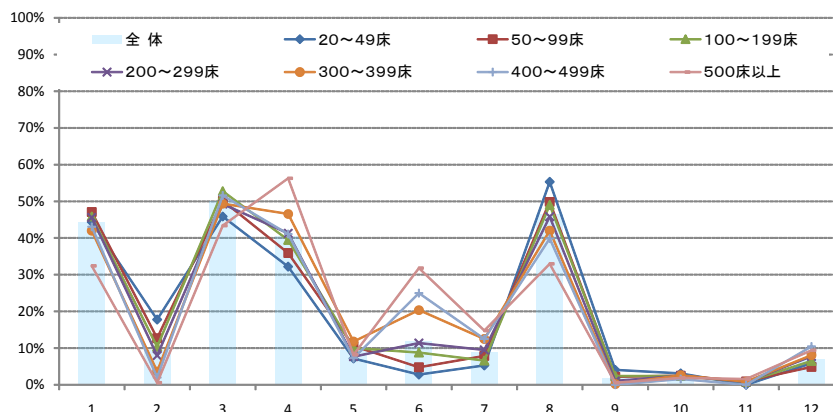


問 1 3 - 1 貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている持参薬の安全性に関する情報（添付文書上の「使用上の注意」等）を入手するため情報源として、積極的に活用しているものは何ですか。

病床規模別

(複数回答)
※3つまで

集計対象：入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品を持参する患者さんの割合が1「1～9%」/「10～19%」/「20～39%」/「40～59%」/「60%以上」/「分からない」施設で、そうした医薬品があった場合、安全性に関する情報の入手・管理を主に「薬剤師」/「医師」/「看護師」/「その他」が行っている施設



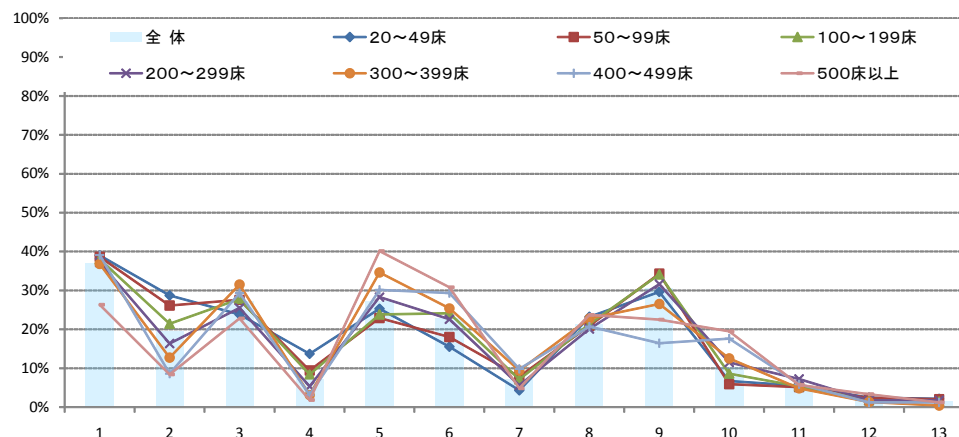
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者 (MR)	医薬品卸販売担当者 (MS)	製薬企業のホームページ	医薬品医療機器総合機構 (PMDA) のホームページ	製薬企業、PMDA 以外のホームページ	カルテシステム等	市販の電子版の医薬品集	市販の医薬品集、治療指針等	薬剤師会等の医薬情報センタへの問い合わせ	その他	情報収集していない	無回答
全 体	4,149	44.4%	9.3%	50.0%	40.4%	9.4%	11.8%	8.9%	46.6%	1.8%	2.5%	0.8%	6.9%
20～49床	320	44.4%	17.8%	45.9%	32.2%	7.2%	2.8%	5.3%	55.3%	4.1%	3.1%	0.0%	5.9%
50～99床	877	47.1%	12.7%	50.2%	35.9%	10.6%	4.8%	7.9%	49.9%	2.2%	2.5%	1.0%	4.9%
100～199床	1,282	45.9%	10.4%	52.8%	39.5%	10.0%	8.8%	6.6%	49.0%	2.4%	2.4%	0.8%	6.5%
200～299床	612	45.6%	8.0%	49.3%	41.3%	7.7%	11.4%	9.5%	45.8%	1.1%	2.5%	0.8%	7.8%
300～399床	431	42.0%	3.7%	49.4%	46.6%	11.8%	20.4%	12.5%	42.0%	0.2%	2.6%	0.9%	8.1%
400～499床	248	43.1%	2.0%	51.6%	41.1%	7.3%	25.0%	12.5%	39.9%	0.0%	1.6%	0.0%	10.5%
500床以上	318	32.4%	0.6%	43.4%	56.3%	8.2%	31.8%	14.8%	33.0%	0.6%	1.9%	1.6%	9.4%

問 1 4 貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている持参薬について、当該持参薬の使用中に「使用上の注意の改訂」など安全性に関する更新情報があった場合の入手源として、積極的に活用しているものは何ですか。（1/2）

病床規模別

（複数回答）
※3つまで

集計対象：入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品を持参する患者さんの割合が「1～9%」/「10～19%」/「20～39%」/「40～59%」/「60%以上」/「分からない」施設



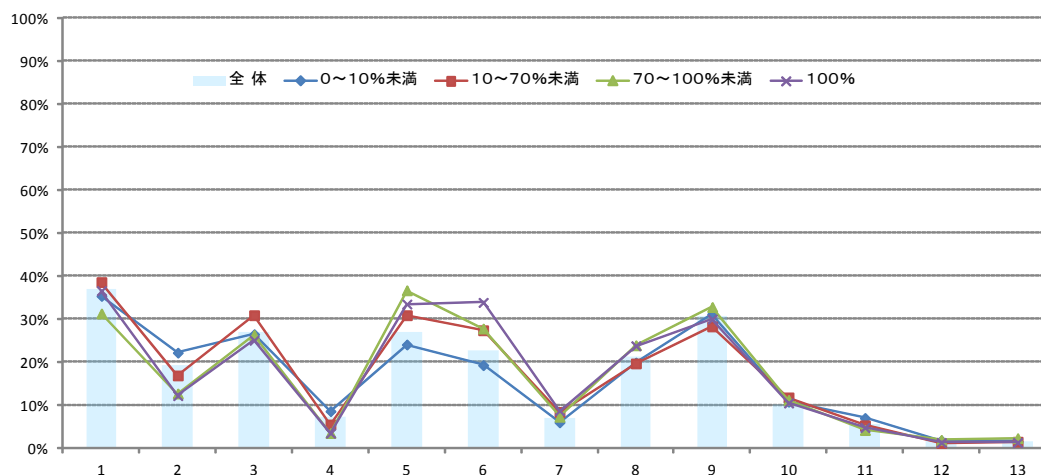
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者 (MR)	製薬企業のダイレクトメール (DM)	製薬企業のホームページ		医薬品卸販売担当者 (MS)	医薬品医療機器総合機構 (PMDA) のホームページ	PMDA メディナビ	製薬企業 PMDA 以外の ホームページ	医薬品・医療機器等安全性情報 (厚生労働省発行)	医薬品・医療機器等安全性情報 (厚生労働省発行)	連合会発行	DSU (Drug Safety Update 日本製薬団体)	その他	情報収集していない	過去に前例がない	無回答
全 体	4,332	37.0%	19.4%	27.1%		7.2%	27.1%	22.8%	7.0%	21.3%	30.6%	10.1%	5.7%	2.0%	1.5%		
20～49床	328	39.0%	28.7%	23.8%		13.7%	25.3%	15.5%	4.3%	23.2%	29.6%	6.7%	5.5%	2.4%	2.1%		
50～99床	913	38.6%	26.1%	27.6%		9.4%	22.9%	18.0%	7.8%	20.9%	34.3%	5.9%	5.1%	2.3%	2.0%		
100～199床	1,334	38.0%	21.4%	27.8%		8.4%	23.8%	24.1%	7.1%	21.3%	34.1%	8.6%	5.3%	1.7%	1.4%		
200～299床	643	37.2%	16.3%	25.5%		5.3%	28.3%	22.6%	5.6%	20.1%	31.6%	11.5%	7.2%	1.7%	1.7%		
300～399床	457	36.8%	12.7%	31.5%		3.1%	34.6%	25.4%	9.4%	22.8%	26.5%	12.5%	4.8%	1.3%	0.4%		
400～499床	256	39.1%	8.6%	29.3%		3.1%	30.1%	29.3%	9.8%	20.7%	16.4%	17.6%	5.9%	1.2%	1.2%		
500床以上	334	26.3%	8.4%	22.8%		1.8%	40.1%	30.8%	4.8%	23.7%	22.5%	19.5%	5.7%	3.3%	1.2%		

問 1 4 貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている持参薬について、当該持参薬の使用中に「使用上の注意の改訂」など安全性に関する更新情報があった場合の入手源として、積極的に活用しているものは何ですか。（2/2）

病棟薬剤師
配置状況別

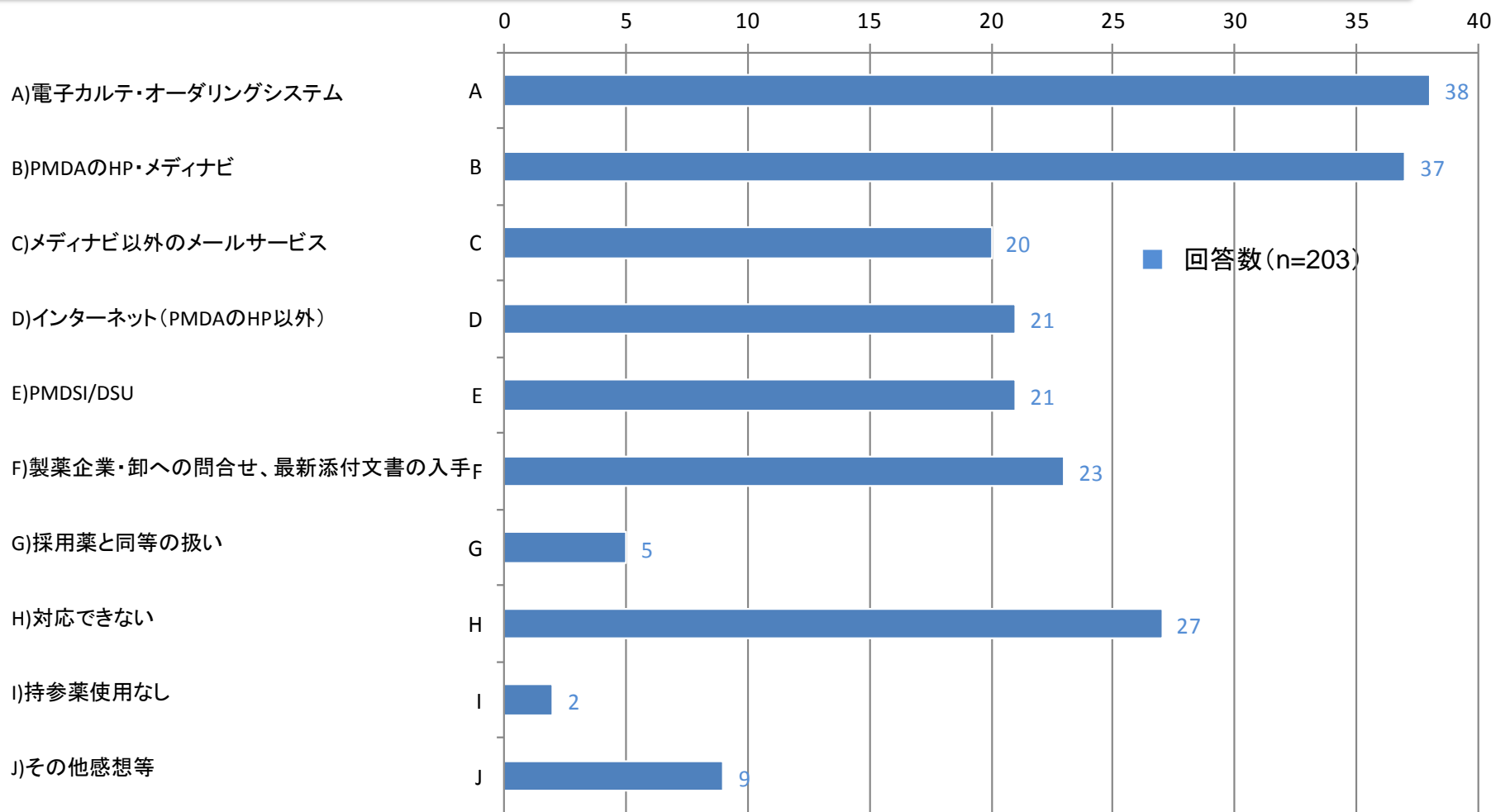
（複数回答）
※ 3つまで

集計対象：入院患者のうち、貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている医薬品を持参する患者さんの割合が「1～9%」/「10～19%」/「20～39%」/「40～59%」/「60%以上」/「分からない」の施設



	調査数	製薬企業の医薬情報担当者 (MR)	製薬企業のダイレクトメー ル(DM)	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者 (MS)	医薬品医療機器総合機構 (PMDA)のホームペー ジ	PMDAメディナビ	製薬企業、PMDA以外の ホームページ	医薬品・医療機器等安全 情報(厚生労働省発行)	医薬品・医療機器等安全 情報(厚生労働省発行)	DSU(Drug Safety Update、日本製薬 団体連合会発行)	その他	情報収集していない	過去に前例がない	無回答
全 体	4,332	37.0%	19.4%	27.1%	7.2%	27.1%	22.8%	7.0%	21.3%	30.6%	10.1%	5.7%	2.0%	1.5%	
0～10%未満	1,899	35.4%	22.2%	26.5%	8.6%	24.1%	19.3%	6.0%	19.9%	31.2%	10.8%	7.0%	1.8%	1.6%	
10～70%未満	676	38.6%	16.9%	30.9%	5.5%	30.9%	27.4%	8.4%	19.7%	28.3%	11.8%	5.3%	1.2%	1.5%	
70～100%未満	259	31.3%	12.7%	26.3%	3.5%	36.7%	27.8%	7.3%	23.9%	32.8%	11.2%	4.2%	1.9%	2.3%	
100%	629	36.6%	12.2%	25.1%	3.5%	33.5%	33.9%	8.7%	23.8%	30.0%	10.5%	4.8%	1.3%	1.3%	

問 1 5 貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている持参薬について、当該持参薬の使用中に「使用上の注意の改訂」など安全性に関する更新情報があった場合に備えて、情報収集を工夫している取組みがあればご紹介します。



問 1 5 貴院では院内採用しておらず、院外処方もできない扱いとなっている持参薬について、当該持参薬の使用中に「使用上の注意の改訂」など安全性に関する更新情報があった場合に備えて、情報収集を工夫している取組みがあればご紹介ください。

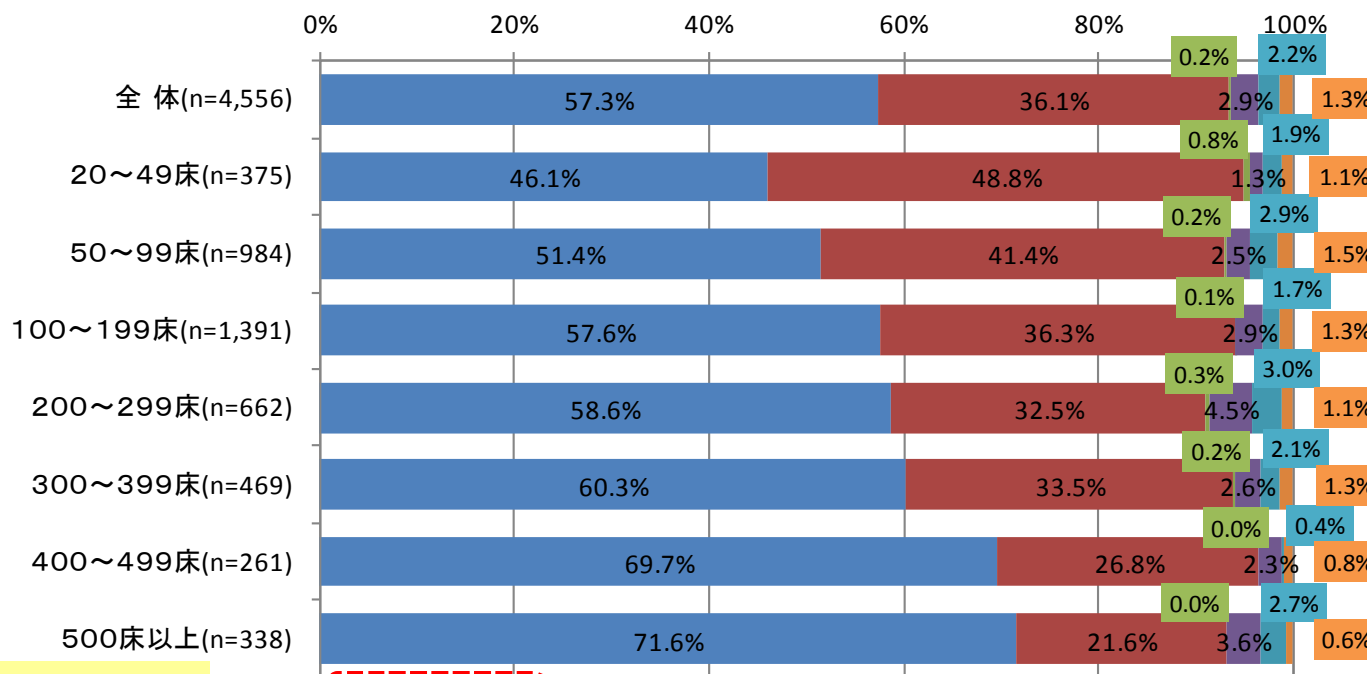
主な意見

- ❑ 病棟業務支援システム、またはオーダリングシステム各端末から、全医薬品の添付文書情報、相互作用情報、薬剤識別、緊急安全性情報などが分かる情報システムを導入し、情報は毎月更新している。使用中の持参薬は持参薬オーダにより薬歴に反映されるため、薬剤の採否にかかわらず、その使用患者はデータウェアハウスで調べることができる。
- ❑ 薬剤師全員がインターネット接続可能なパソコンを有し、最新の添付文書をPMDAのホームページから確認するようにしている。PMDAの添付文書検索ページを、インターネットの初期画面に設定している。パソコン起動時に、メールの受信画面に遷移するように設定しており、毎日、PMDAメディナビの着信内容をチェックしている。
- ❑ 迅速に対応するためにはPMDAなどからの配信情報に注意し、DI担当者が情報を収集して、病棟担当者など他のスタッフへ提供し共有する努力をする以外、現時点で方法がない。持参薬に関しては、病棟担当薬剤師が、薬の作用、副作用を含めて管理を行っている。
- ❑ PMDAから発信された「使用上の注意改訂」やDSU、医薬品医療機器安全性情報等は、発出されたタイミングで、院内にメール配信している。
- ❑ 月に1度発行の薬剤部D I ニュース作成や、医薬品安全管理委員会の議題を探す資料としているので、その中で重大な改訂のあった未採用品も含めて確認している。

問 1 6 入院患者の持参薬について、患者背景（腎・肝機能、検査値等）に合わせた用量調節や、併用薬の相互作用等の確認は、主に誰が行っていますか。（1/3）

病床規模別

（単数回答）



問 1 6
主な薬剤師へ

薬剤師
医師
看護師
その他

問 1 6 - 1 へ

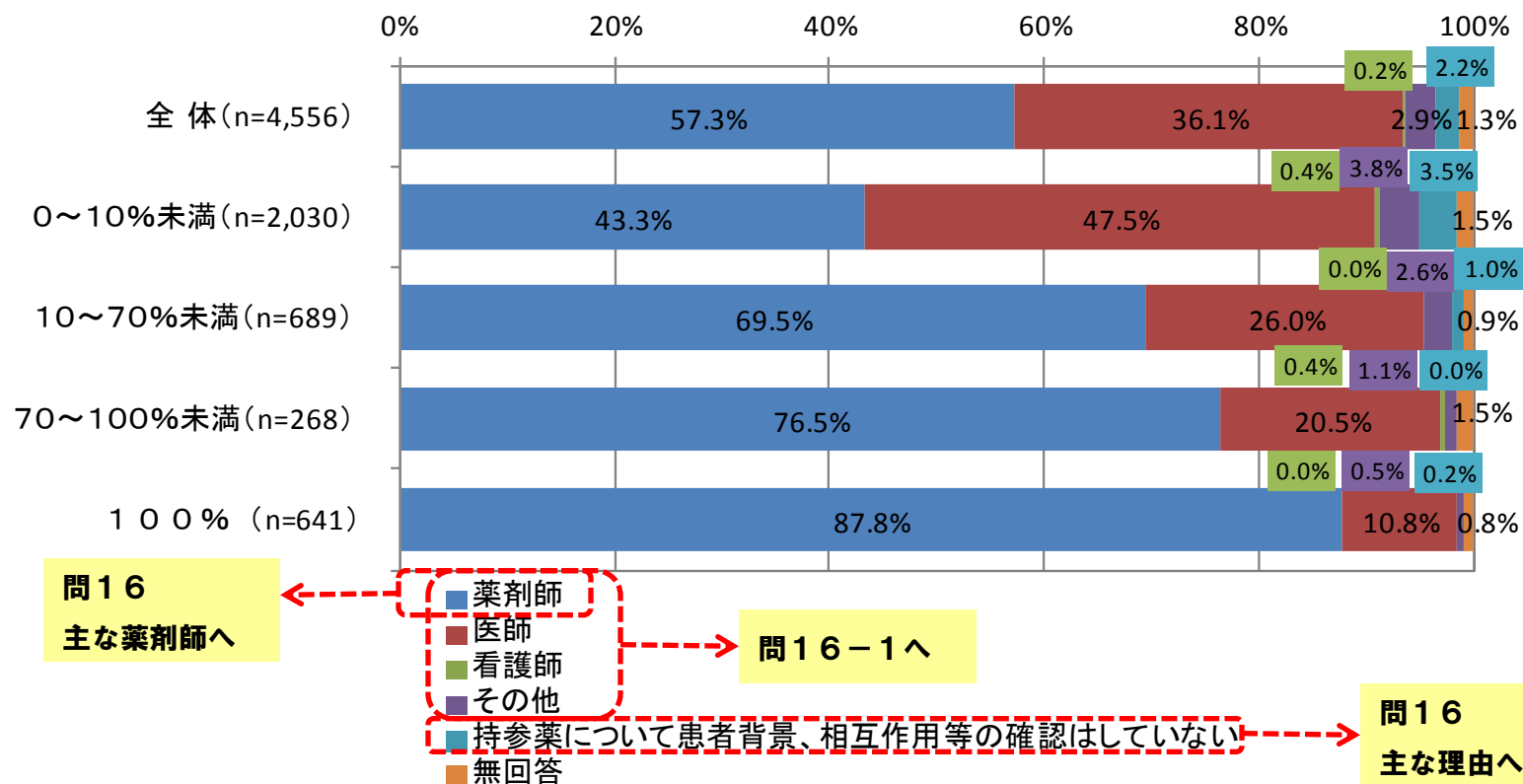
持参薬について患者背景、相互作用等の確認はしていない
無回答

問 1 6
主な理由へ

問16 入院患者の持参薬について、患者背景（腎・肝機能、検査値等）に合わせた用量調節や、併用薬の相互作用等の確認は、主に誰が行っていますか。（2/3）

病棟薬剤師
配置状況別

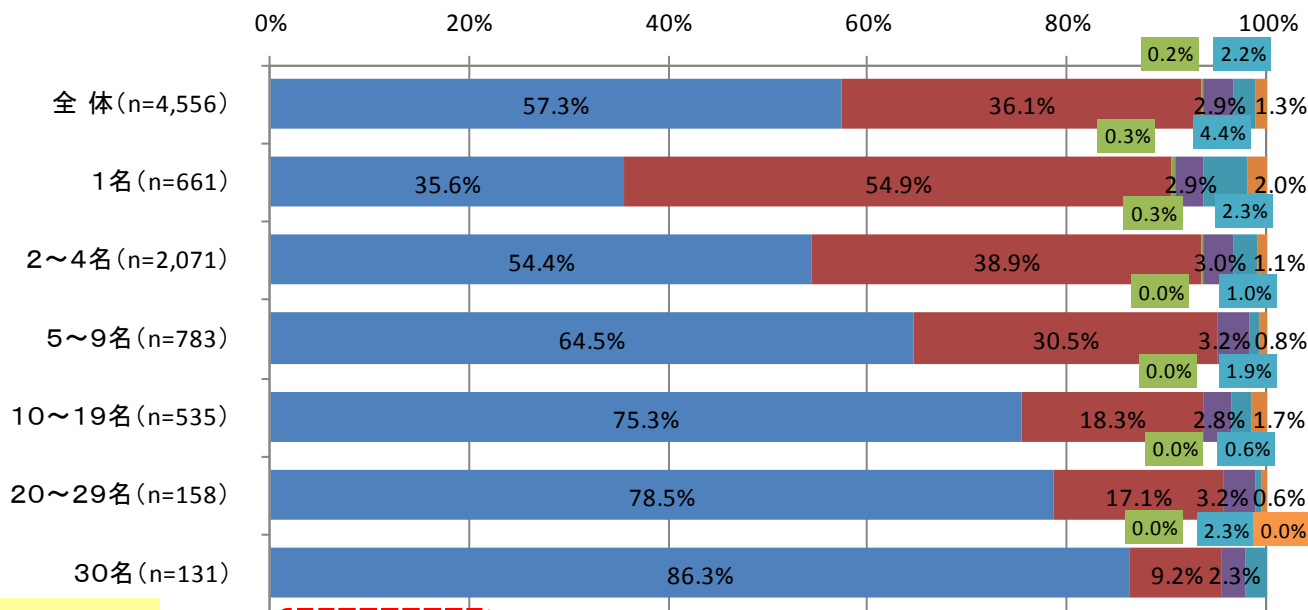
（単数回答）



問16 入院患者の持参薬について、患者背景（腎・肝機能、検査値等）に合わせた用量調節や、併用薬の相互作用等の確認は、主に誰が行っていますか。（3/3）

薬剤師数別
（常勤換算）

（単数回答）



問16
主な薬剤師へ

■ 薬剤師
■ 医師
■ 看護師
■ その他
■ 持参薬について患者背景、相互作用等の確認はしていない
■ 無回答

問16-1へ

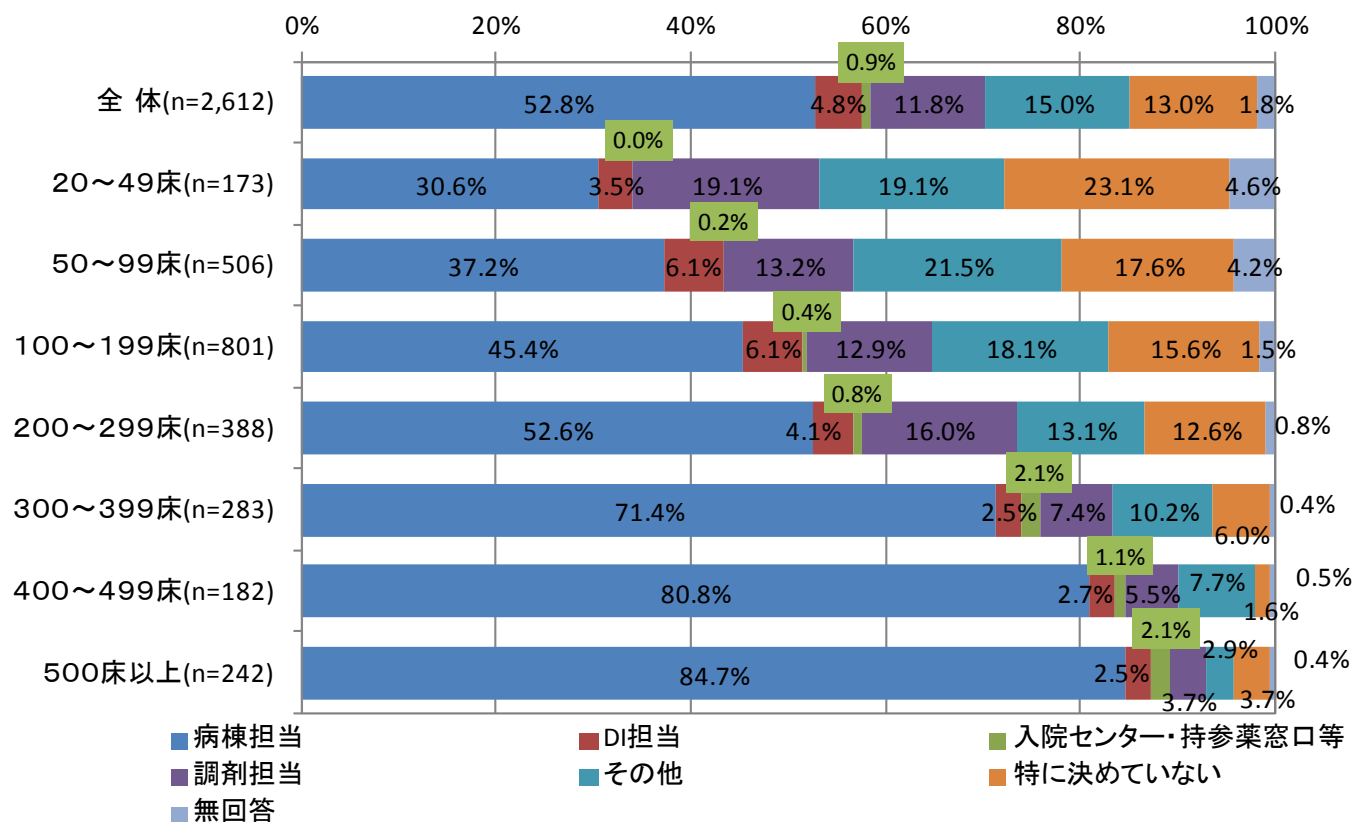
問16
主な理由へ

問 1 6（薬剤師の場合） 確認を行っている主な薬剤師（1/2）

病床規模別

（単数回答）

集計対象：入院患者の持参薬について、患者背景（腎・肝機能、検査値等）に合わせた用量調節や、併用薬の相互作用等の確認を主に「薬剤師」が行っている施設

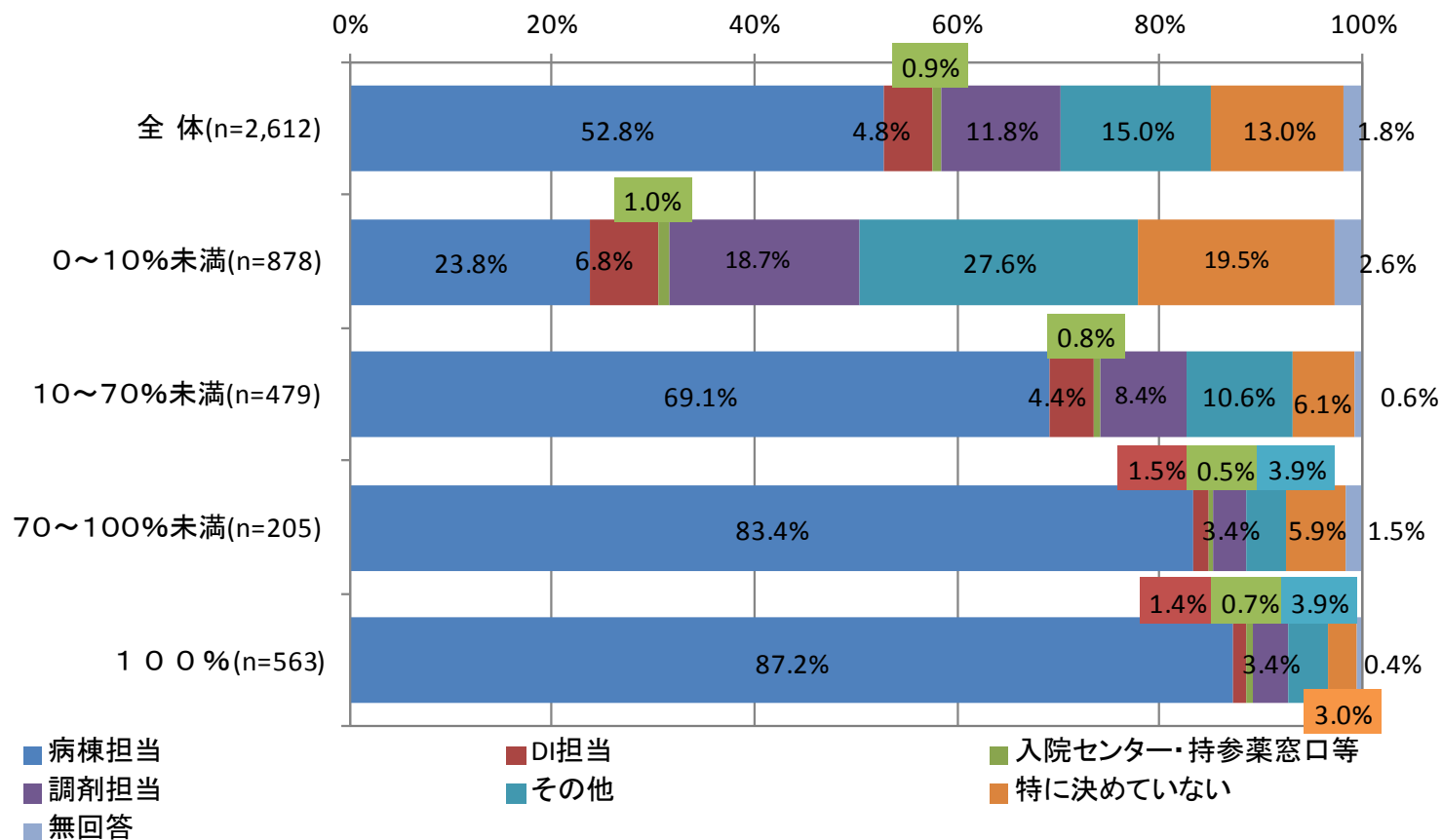


問 1 6（薬剤師の場合） 確認を行っている主な薬剤師（2/2）

病棟薬剤師
配置状況別

（単数回答）

集計対象：入院患者の持参薬について、患者背景（腎・肝機能、検査値等）に合わせた用量調節や、併用薬の相互作用等の確認を主に「薬剤師」が行っている施設

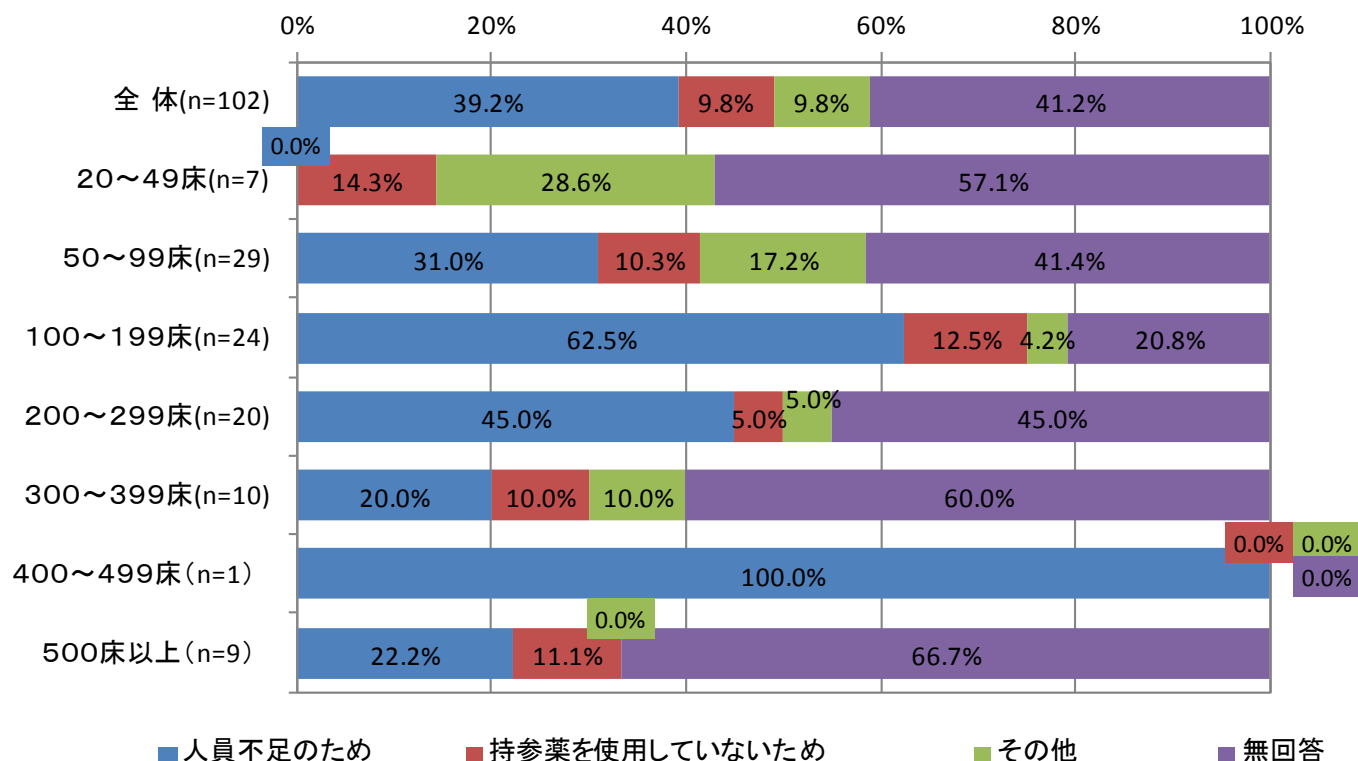


問 1 6（持参薬について患者背景、相互作用等の確認はしていない場合） 主な理由

病床規模別

（単数回答）

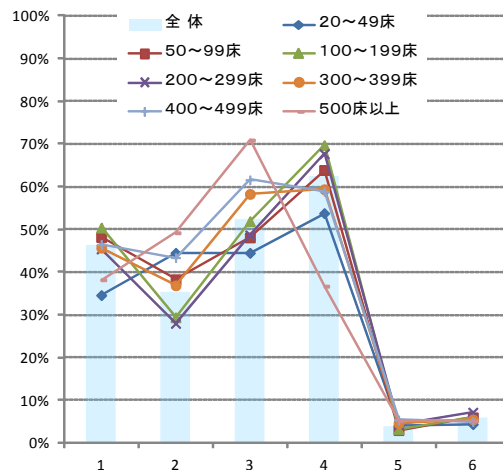
集計対象：入院患者の持参薬について、患者背景（腎・肝機能、検査値等）に合わせた
用量調節や、併用薬の相互作用等の確認はしていない施設



問16-1 持参薬を確認した後の対応について、当てはまるものに○をつけてください。

病床規模別

(複数回答) 集計対象：入院患者の持参薬について、患者背景（腎・肝機能、検査値等）に合わせた用量調節や、併用薬の相互作用等の確認を主に「薬剤師」/「医師」/「看護師」/「その他」が行っている施設



	調査数	薬剤師に部 で、薬剤部 にある情 報を管理 している	他のカン ファレン スや回診 等	患者の病 歴（腎・肝 機能等） を考慮し た処方（ 代替案） の提案等 を適	必要に 応じて 持参薬 を再分 包して 服用さ せてい る	その他	無 回 答
全 体	4,396	46.3%	35.3%	52.5%	62.4%	3.8%	5.9%
20~49床	364	34.6%	44.5%	44.5%	53.8%	4.1%	4.4%
50~99床	940	48.2%	38.3%	48.1%	63.9%	3.0%	6.0%
100~199床	1,349	50.4%	29.4%	51.9%	69.7%	3.2%	6.1%
200~299床	635	45.4%	28.0%	48.7%	67.7%	4.3%	7.2%
300~399床	453	45.7%	36.9%	58.3%	59.4%	4.6%	5.5%
400~499床	258	46.5%	43.4%	61.6%	58.9%	5.4%	5.0%
500床以上	327	38.2%	49.2%	70.9%	36.7%	5.2%	5.2%

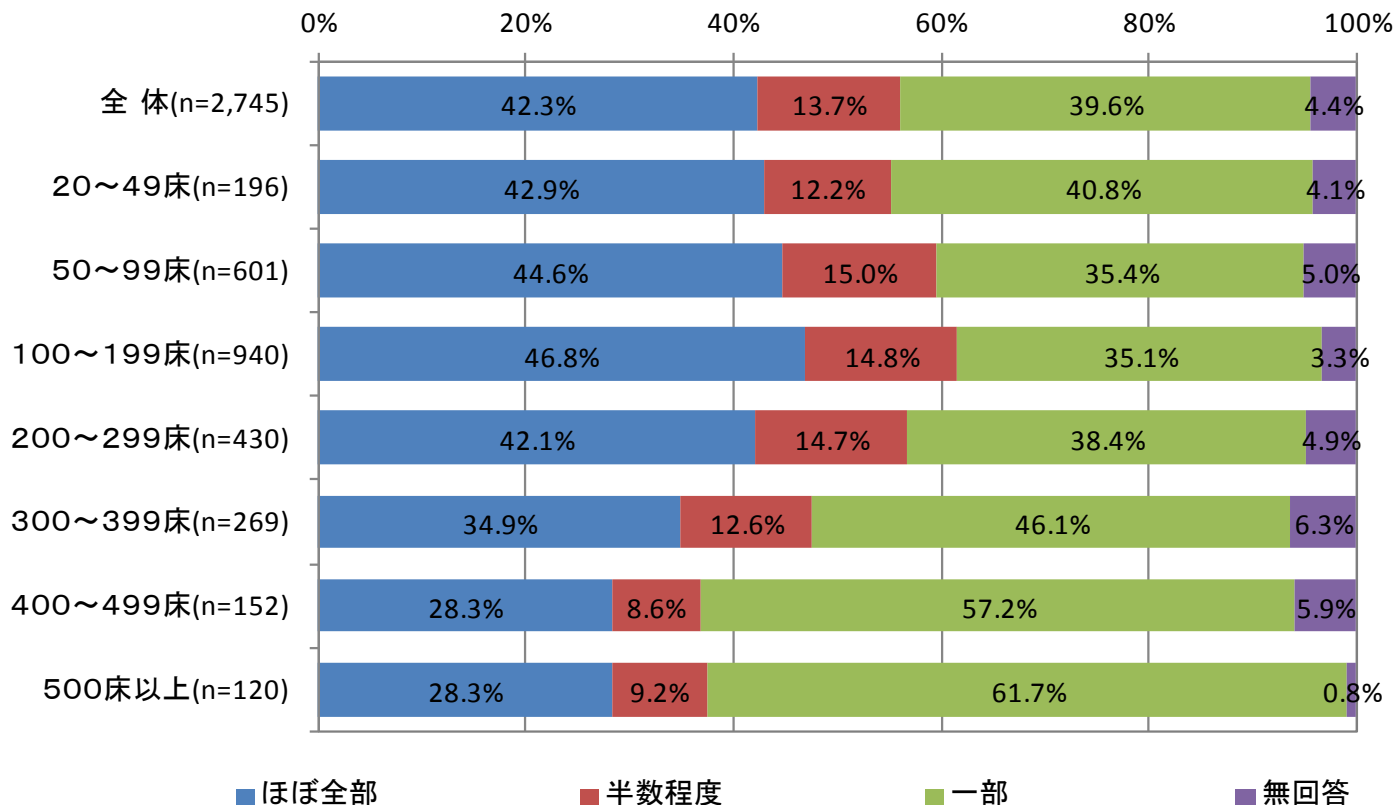
問16-1
実施割合へ

問 1 6 - 1（必要に応じて持参薬を再分包して服用させている場合）実施割合

病床規模別

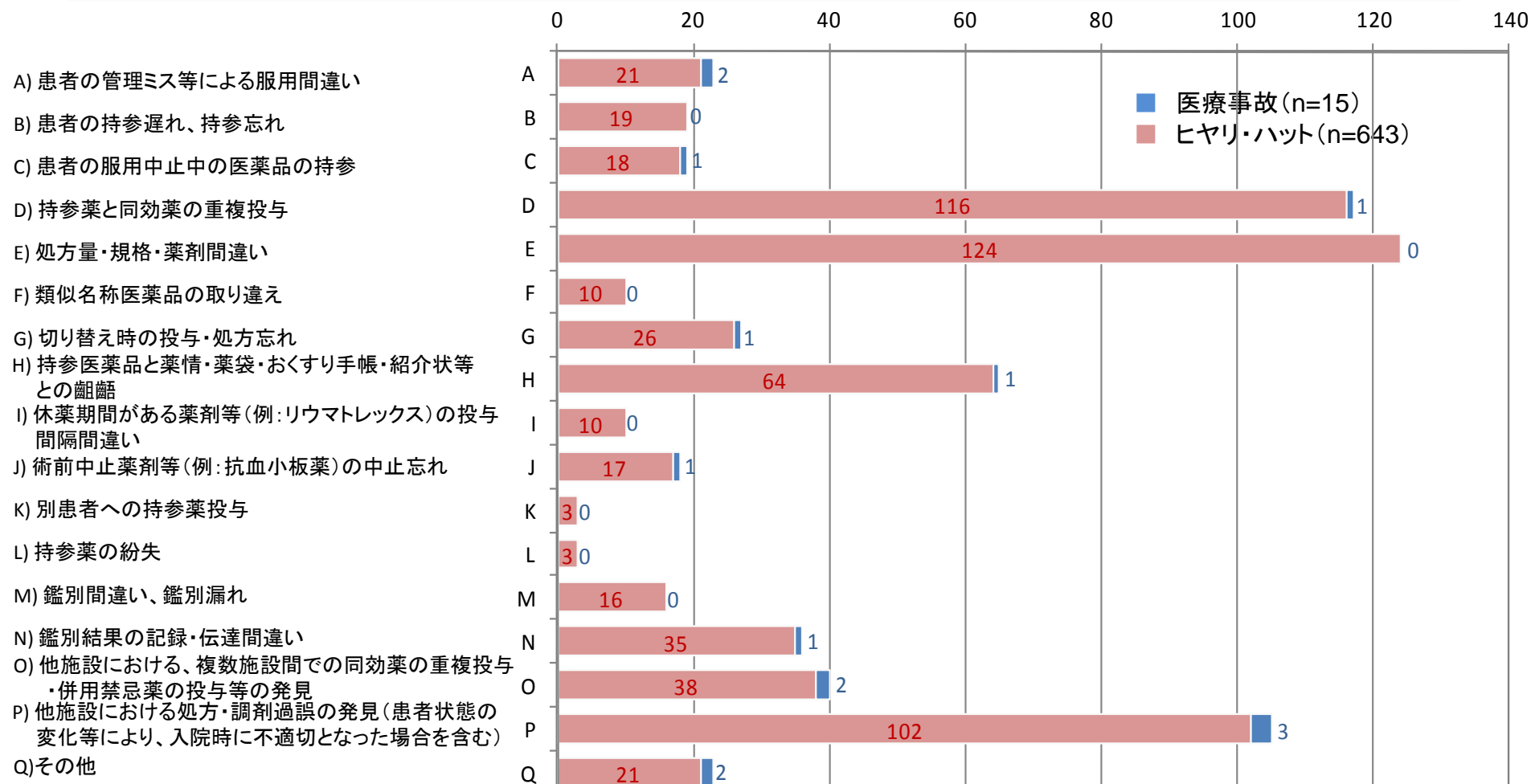
（単数回答）

集計対象：入院患者の持参薬について、患者背景（腎・肝機能、検査値等）に合わせた用量調節や、併用薬の相互作用等の確認を主に「薬剤師」/「医師」/「看護師」/「その他」が行っている施設で、「必要に応じて持参薬を再分包して服用させている」施設



問17 入院患者の持参薬の安全性情報の管理に関し、「医療事故※」や「ヒヤリ・ハット※」の事例がありましたら、ご紹介ください。

※「医療事故」とは、患者に健康被害が出た事例とし、「ヒヤリ・ハット」とは、事故には至らなかったものの、事故に成りうる事例とします。



問17 入院患者の持参薬の安全性情報の管理に関し、「医療事故※」や「ヒヤリ・ハット※」の事例がありましたら、ご紹介ください。

※「医療事故」とは、患者に健康被害が出た事例とし、「ヒヤリ・ハット」とは、事故には至らなかったものの、事故に成りうる事例とします。

主な回答:医療事故

- ❑ 他施設で処方された持参薬（アレビアチン錠100mg）の情報が医師に伝わらず、同一成分薬（アレビアチン散10%）が院内処方され重複服用したため、意識障害などの中毒症状が発現し、入院期間が延長した。
- ❑ 他院より処方され服用していたビタミンD製剤が、当院入院の際カルテに記載されていなかったため、高K血症になっていたが、しばらく気付かずにした。
- ❑ 漸増するべき薬剤について、患者が自己判断で減量していたが、聞き取りでは分からず、お薬手帳の通りの用量で入院管理したところ、急な用量増加による副作用が出現した。
- ❑ 持参薬の服用をすべて中止したら血圧が200台に上昇した。
- ❑ てんかん薬を服用していることを把握していなかったため、手術中にてんかん発作を起こした。
- ❑ 入院後の持参薬の服薬・カロリー制限の遵守により、低血糖となった事例があった。入院後の持参薬の服薬遵守により、血圧が低下した事例もあった。
- ❑ アドヒアランス不良患者が、入院後はきちんと服用することにより、悪性症候群を発症した事例があった。

問17 入院患者の持参薬の安全性情報の管理に関し、「医療事故※」や「ヒヤリ・ハット※」の事例がありましたら、ご紹介ください。

※「医療事故」とは、患者に健康被害が出た事例とし、「ヒヤリ・ハット」とは、事故には至らなかったものの、事故に成りうる事例とします。

主な回答:ヒヤリハット

- ❑ 持参薬飲み切り後、当院採用品へ変更指示が出ていたが、前者を飲み切っていないのに当院採用品を服用させ、2日間併用してしまった。持参薬が後発品であったため、医師が内容を把握できなかった事例もあった。
- ❑ 持参薬プラシルカスト錠225mg1日2回朝・夕食後服用のところ、当院採用薬シングレア10mgに切り替えとなったが、用法を1日1回に変えず、1日2回のままで処方となった。ドクターへの情報提供が足りなかった。
- ❑ 持参薬同士が併用禁忌であったが、持参薬確認の際に、処方先医療機関に疑義照会ができておらず、そのまま処方されていたが気が付かなかった。当院処方がオーダされた際に、オーダリングシステムにてエラーとなり判明した。
- ❑ 当院は一回量処方を開始しているが、当院から急性期病院へ一時転院し、再入院した際の持参薬の内容(用量)が、当院入院中に比べ減量されていた品目が見られた。当院医師から転院先の医師への患者情報提供(文書)で記載されていた一回量を、一日量として転院先では処方されていた。
- ❑ 持参薬と、紹介状、薬袋、薬剤情報提供書又はおくすり手帳の記載内容が、異なる事例があった。調剤日が異なる新旧の薬剤が混在している場合や、家族の名前のものを持参する場合がある。入院日以降に、患者自身や家族が追加で持ち込む場合もある。
- ❑ 院内不採用薬の持参薬を臨時購入して調剤しているが、臨時購入薬の処方箋は手書き処方箋としているため、システムに残らない。システムに残らない薬剤があることで、再入院の際や外来フォローになった際の処方もれ、重複投与などがしばしば見られている。

I 安全性情報全般に関する調査

4 院外処方薬の安全性情報の管理について

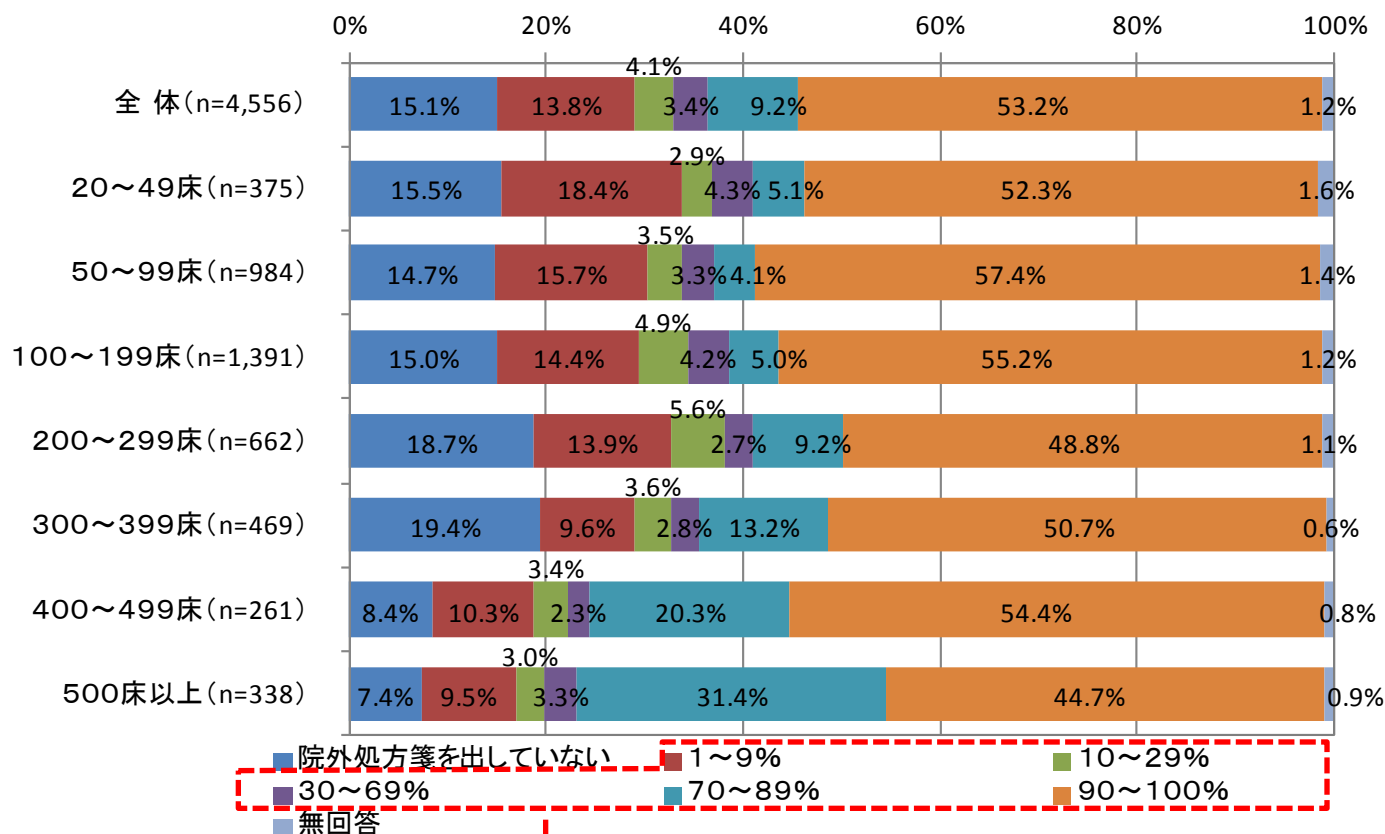
【用語の定義】

院外採用薬：院内での処方できないが、院外での処方を認めている医薬品

問 1 8 外来患者への院外処方箋の発行割合についてお答えください。

病床規模別

(単数回答)



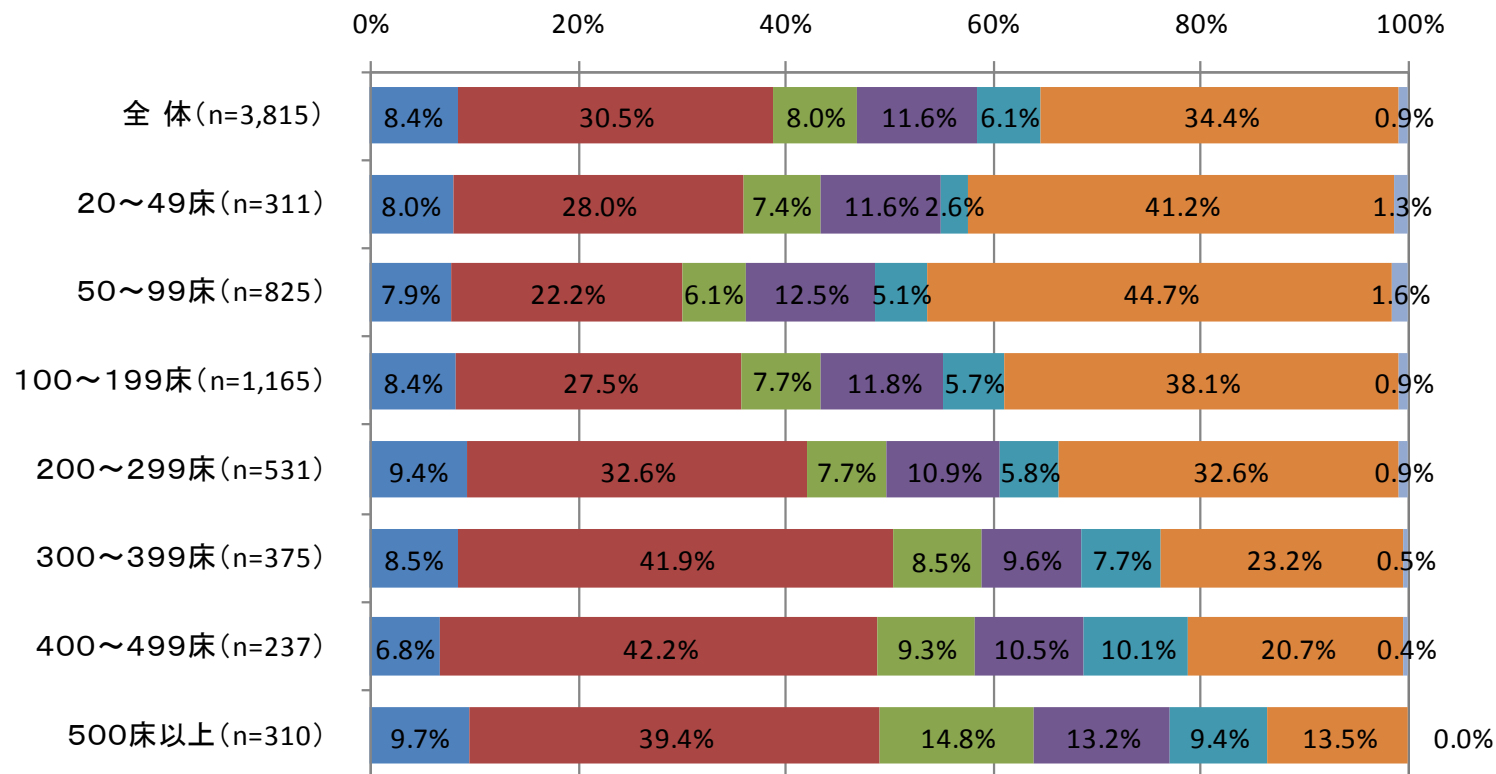
問 1 9 へ

問 1 9 院外採用薬の品目数をお答えください。

病床規模別

(単数回答)

集計対象：外来患者への院外処方箋の発行割合が「1～9%」/「10～29%」/「30～69%」/「70～89%」/「90～100%」の施設



問 2 0 へ

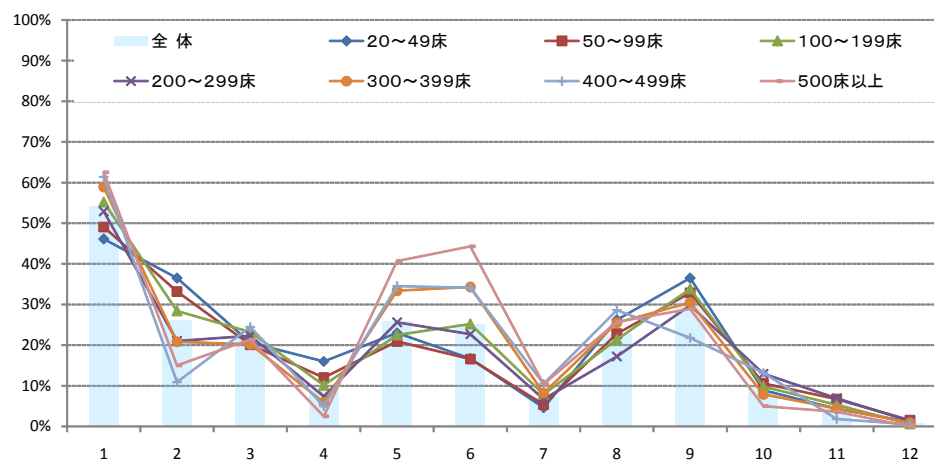
問 1 9 - 1、
問 1 9 - 2 へ

問 19-1 院外採用薬に関して、医薬品の「使用上の注意の改訂」など、安全性に関する更新情報を入手するための情報源として、積極的に活用しているものに○をつけてください。

病床規模別

(複数回答)
※3つまで

集計対象：「外来患者への院外処方箋の発行割合が「1～9%」/「10～29%」/「30～69%」/「70～89%」/「90～100%」の施設で、院外採用薬の品目数が「1～299品目」/「300～499品目」/「500～999品目」/「1,000品目以上」/「制限を設けていない」施設



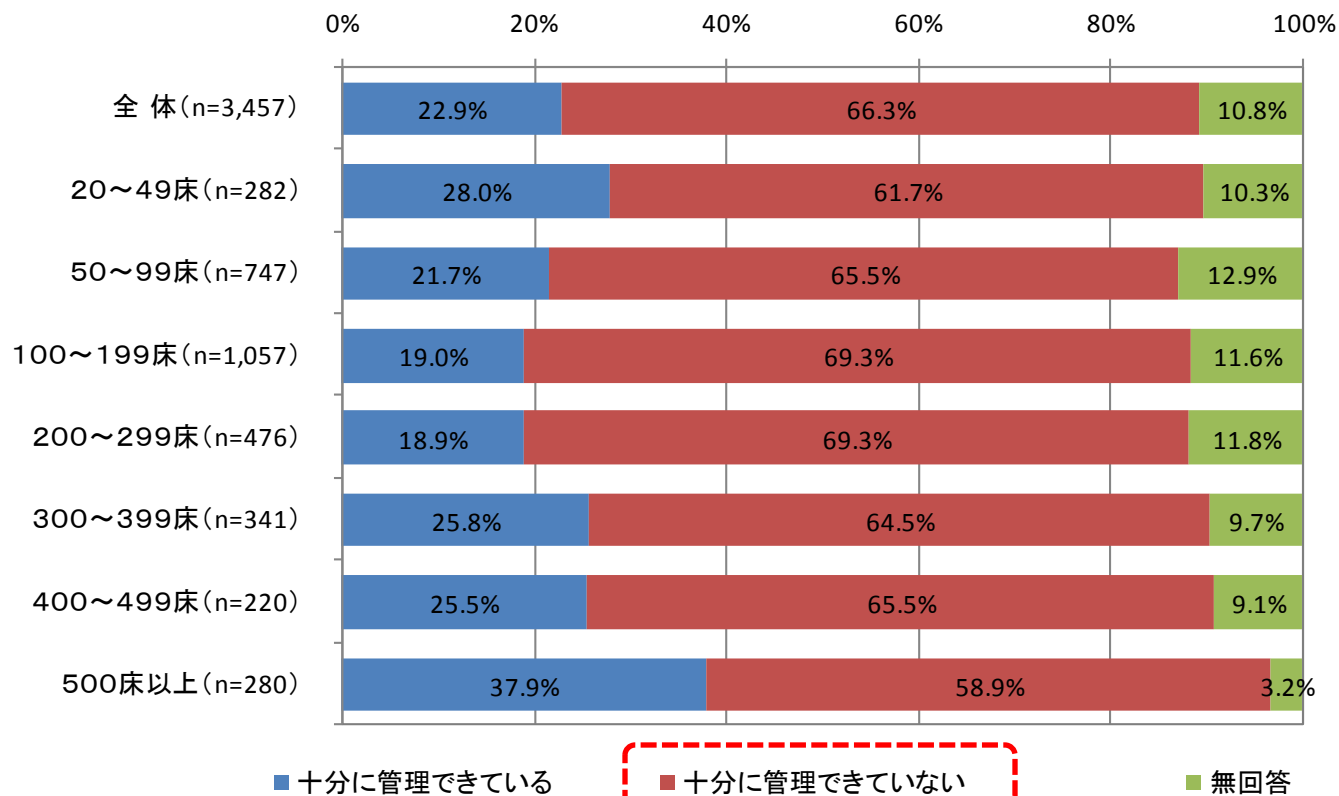
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者 (M R)	製薬企業のダイレクトメール (D M)	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者 (M S)	医薬品医療機器総合機構 (P M D A) のホームページ	P M D A メディナビ	製薬企業、P M D A 以外のホームページ	製薬品・医療機器等安全性情報 (厚生労働省発行)	医薬品・医療機器等安全性情報 (厚生労働省発行)	DSU (Drug Safety Update、日本製薬団体連合会発行)	その他	情報収集していない	無回答
全 体	3,457	54.2%	26.1%	21.9%	9.3%	25.9%	25.3%	7.3%	22.7%	22.7%	31.8%	9.9%	5.4%	0.9%
20～49床	282	46.1%	36.5%	20.6%	16.0%	23.0%	16.7%	4.6%	26.2%	26.2%	36.5%	8.9%	4.3%	1.1%
50～99床	747	49.1%	33.2%	20.1%	12.0%	20.9%	16.6%	5.4%	22.8%	22.8%	32.9%	10.6%	6.7%	1.5%
100～199床	1,057	55.2%	28.4%	23.2%	10.1%	22.5%	25.2%	7.9%	21.4%	21.4%	33.8%	9.8%	5.3%	0.6%
200～299床	476	52.9%	21.0%	22.3%	7.4%	25.6%	22.7%	6.7%	17.2%	17.2%	29.9%	13.0%	6.9%	1.3%
300～399床	341	58.9%	20.8%	20.2%	5.9%	33.4%	34.3%	8.2%	25.5%	25.5%	30.5%	7.9%	4.4%	0.9%
400～499床	220	61.4%	10.9%	24.5%	5.0%	34.5%	34.1%	10.5%	28.6%	28.6%	21.8%	13.2%	1.8%	0.5%
500床以上	280	62.5%	15.0%	21.4%	2.5%	40.7%	44.3%	10.4%	25.7%	25.7%	28.9%	5.0%	3.6%	0.0%

問 19-2 院外採用薬について、院内採用薬と同等の十分な安全性情報の管理ができていますか。(1/4)

病床規模別

(単数回答)

集計対象：「外来患者への院外処方箋の発行割合が「1～9%」/「10～29%」/「30～69%」/「70～89%」/「90～100%」の施設で、院外採用薬の品目数が「1～299品目」/「300～499品目」/「500～999品目」/「1,000品目以上」/「制限を設けていない」施設

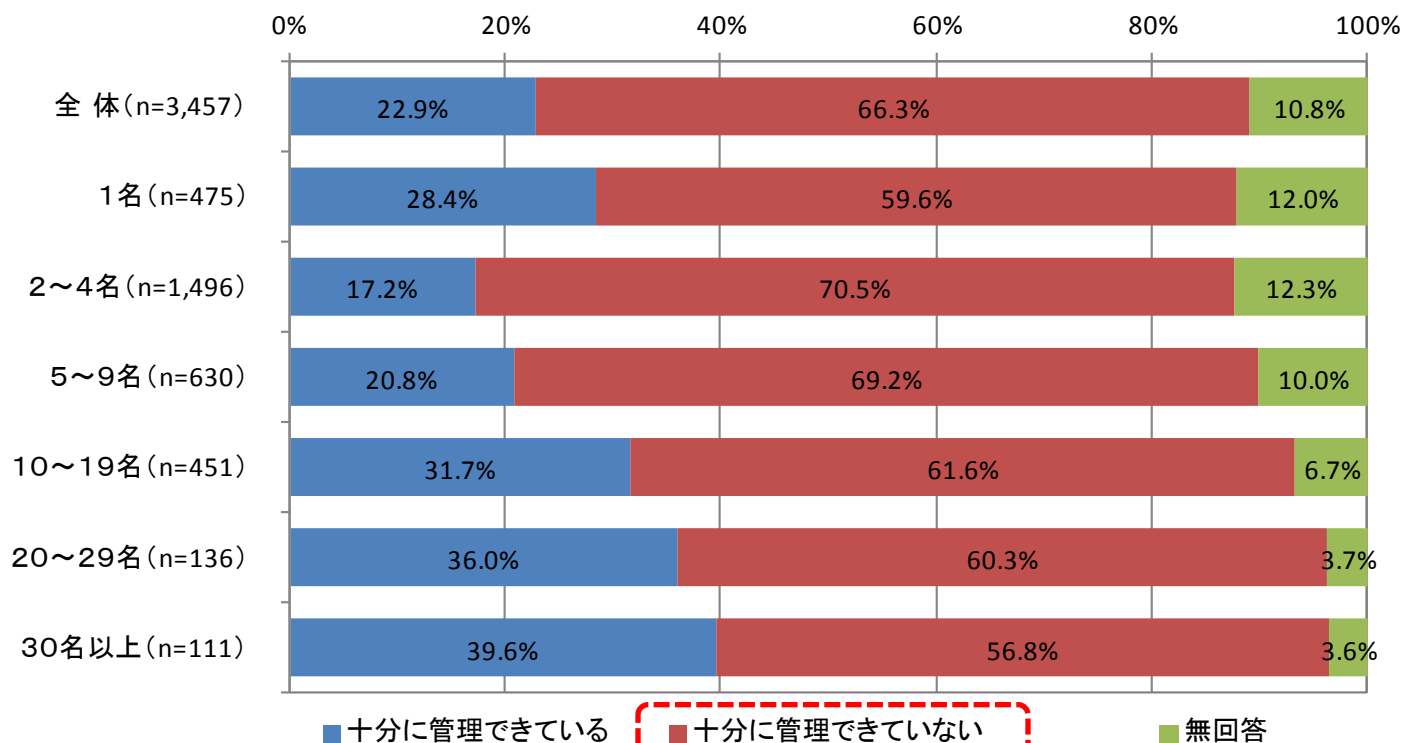


問 19-3 へ

問 1 9 - 2 院外採用薬について、院内採用薬と同等の十分な安全性情報の管理ができていますか。(2/4)

薬剤師数別
(常勤換算)

(単数回答) 集計対象: 「外来患者への院外処方箋の発行割合が「1~9%」/「10~29%」/「30~69%」/「70~89%」/「90~100%」の施設で、院外採用薬の品目数が「1~299品目」/「300~499品目」/「500~999品目」/「1,000品目以上」/「制限を設けていない」施設

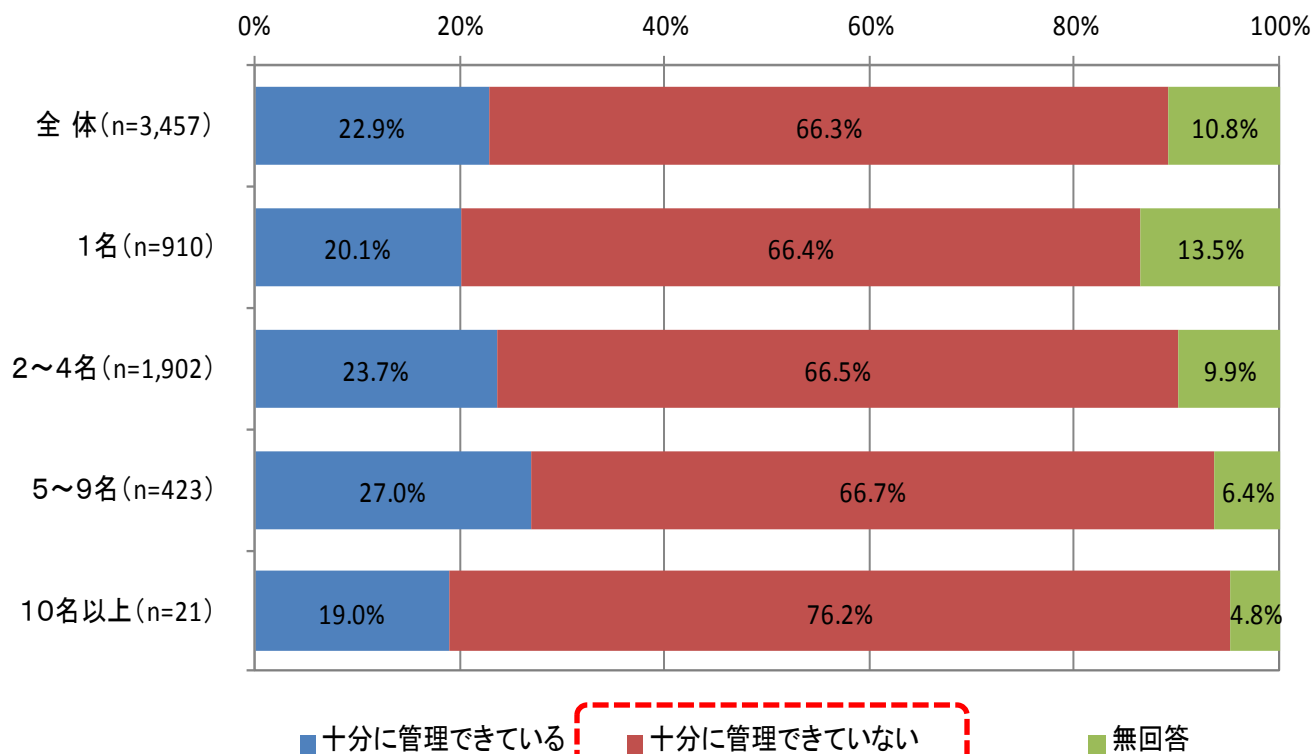


問 1 9 - 3 へ

問 1 9 - 2 院外採用薬について、院内採用薬と同等の十分な安全性情報の管理ができていますか。（3/4）

100床あたり
薬剤師数別
（常勤換算）

（単数回答） 集計対象：「外来患者への院外処方箋の発行割合が「1～9%」 / 「10～29%」 / 「30～69%」 / 「70～89%」 / 「90～100%」の施設で、院外採用薬の品目数が「1～299品目」 / 「300～499品目」 / 「500～999品目」 / 「1,000品目以上」 / 「制限を設けていない」施設

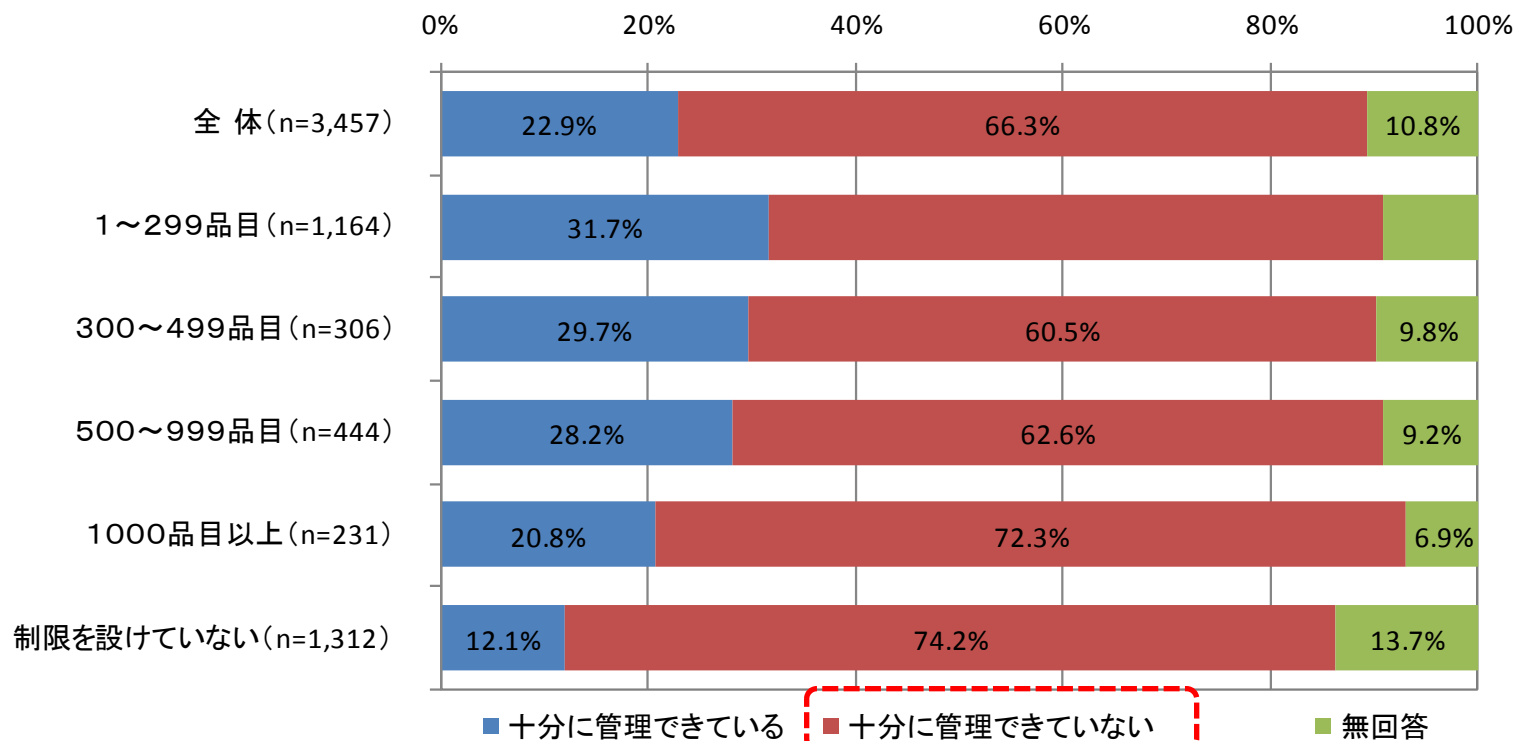


問 1 9 - 3 へ

問19-2 院外採用薬について、院内採用薬と同等の十分な安全性情報の管理ができていると思いますか。(4/4)

問19院外採用薬の品目数別

(単数回答) 集計対象: 「外来患者への院外処方箋の発行割合が「1~9%」/「10~29%」/「30~69%」/「70~89%」/「90~100%」の施設で、院外採用薬の品目数が「1~299品目」/「300~499品目」/「500~999品目」/「1,000品目以上」/「制限を設けていない」施設



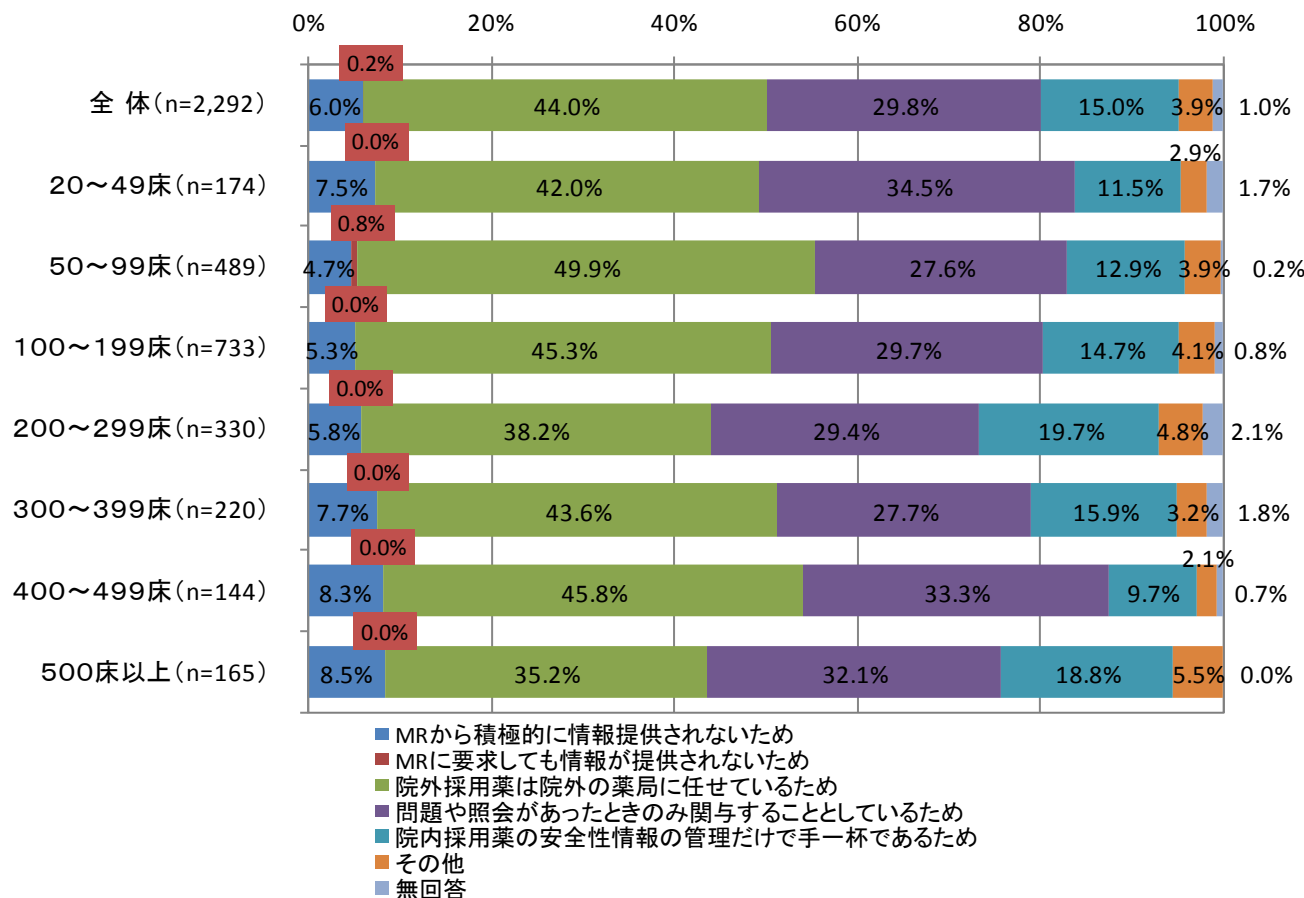
問19-3へ

問 1 9 - 3 院外採用薬の安全性情報の管理が十分にできていないと思う主な理由は何ですか。(1/4)

病床規模別

(単数回答)

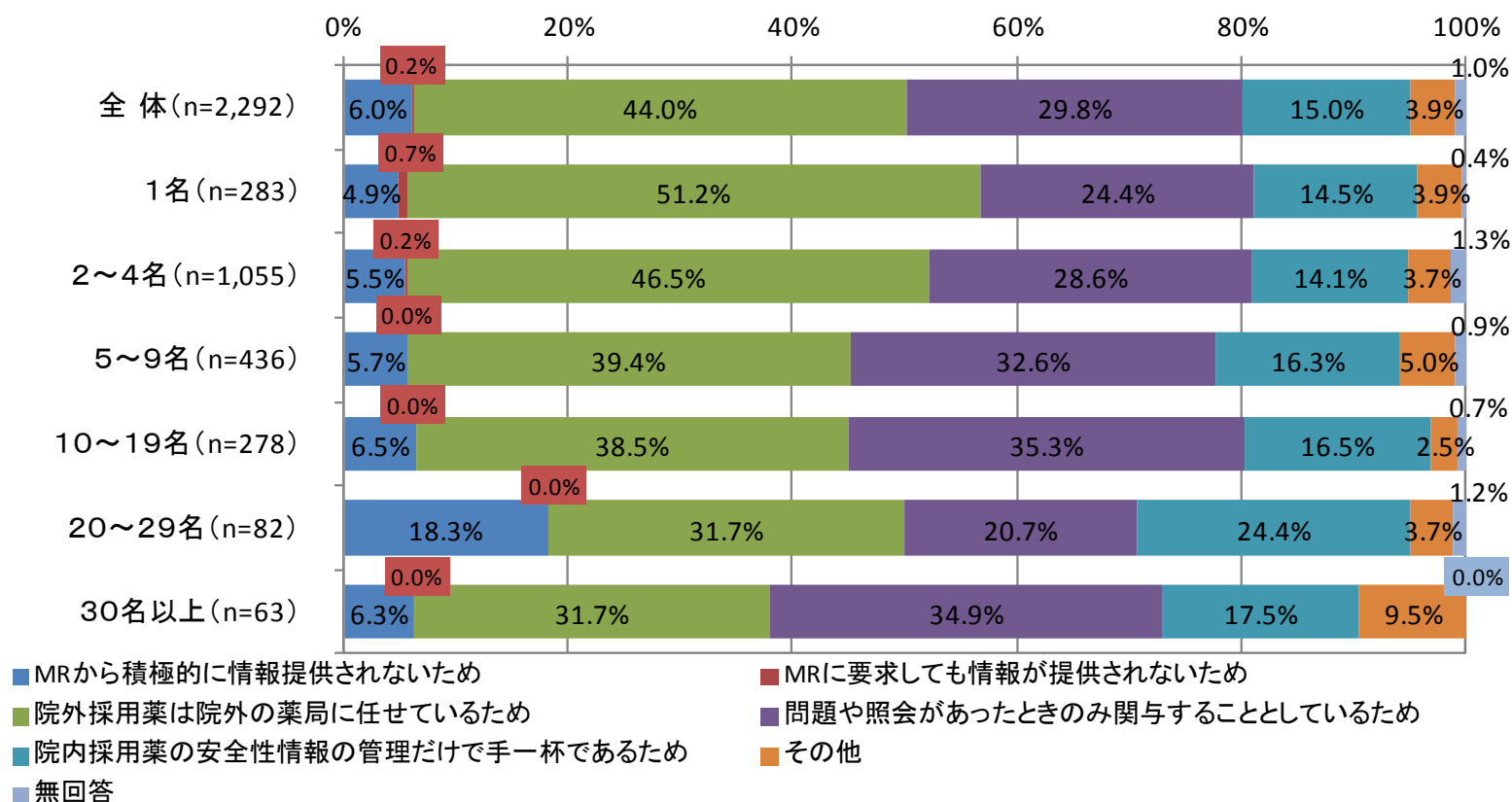
集計対象：「外来患者への院外処方箋の発行割合が「1～9%」/「10～29%」/「30～69%」/「70～89%」/「90～100%」の施設で、院外採用薬の品目数が「1～299品目」/「300～499品目」/「500～999品目」/「1,000品目以上」/「制限を設けていない」施設であり、院外採用薬について、院内採用薬と同等の十分な安全性情報の管理が「十分に管理できていない」と思う施設



問 19-3 院外採用薬の安全性情報の管理が十分にできていないと思う主な理由は何ですか。(2/4)

薬剤師数別
(常勤換算)

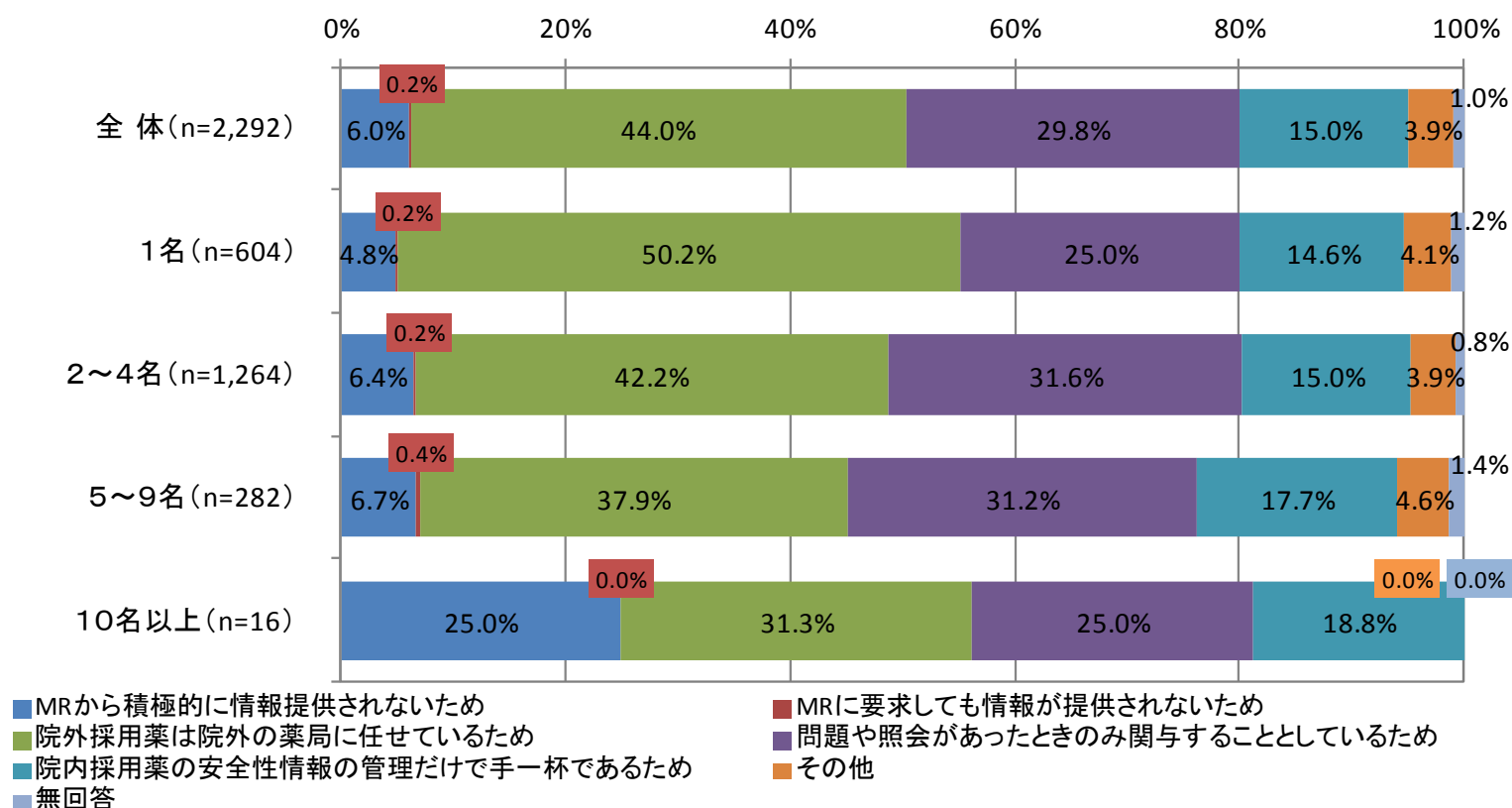
(単数回答) 集計対象: 「外来患者への院外処方箋の発行割合が「1~9%」/「10~29%」/「30~69%」/「70~89%」/「90~100%」の施設で、院外採用薬の品目数が「1~299品目」/「300~499品目」/「500~999品目」/「1,000品目以上」/「制限を設けていない」施設であり、院外採用薬について、院内採用薬と同等の十分な安全性情報の管理が「十分に管理できていない」と思う施設



問 1 9 - 3 院外採用薬の安全性情報の管理が十分にできていないと思う主な理由は何ですか。(3/4)

100床あたり
薬剤師数別
(常勤換算)

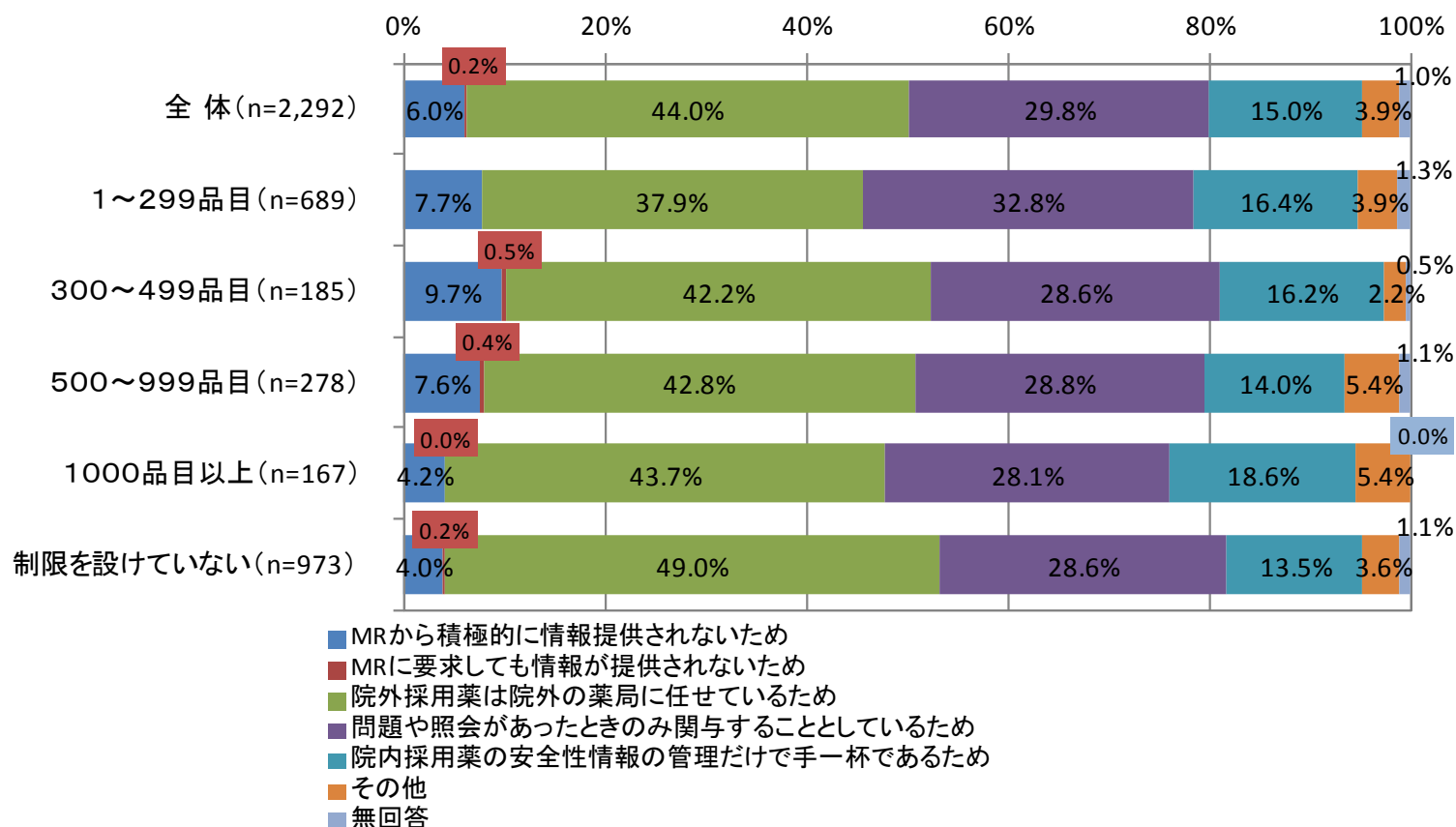
(単数回答) 集計対象: 「外来患者への院外処方箋の発行割合が「1~9%」/「10~29%」/「30~69%」/「70~89%」/「90~100%」の施設で、院外採用薬の品目数が「1~299品目」/「300~499品目」/「500~999品目」/「1,000品目以上」/「制限を設けていない」施設であり、院外採用薬について、院内採用薬と同等の十分な安全性情報の管理が「十分に管理できていない」と思う施設



問19-3 院外採用薬の安全性情報の管理が十分にできていないと思う主な理由は何ですか。(4/4)

問19院外採用薬の品目数別

(単数回答) 集計対象: 「外来患者への院外処方箋の発行割合が「1~9%」/「10~29%」/「30~69%」/「70~89%」/「90~100%」の施設で、院外採用薬の品目数が「1~299品目」/「300~499品目」/「500~999品目」/「1,000品目以上」/「制限を設けていない」施設であり、院外採用薬について、院内採用薬と同等の十分な安全性情報の管理が「十分に管理できていない」と思う施設



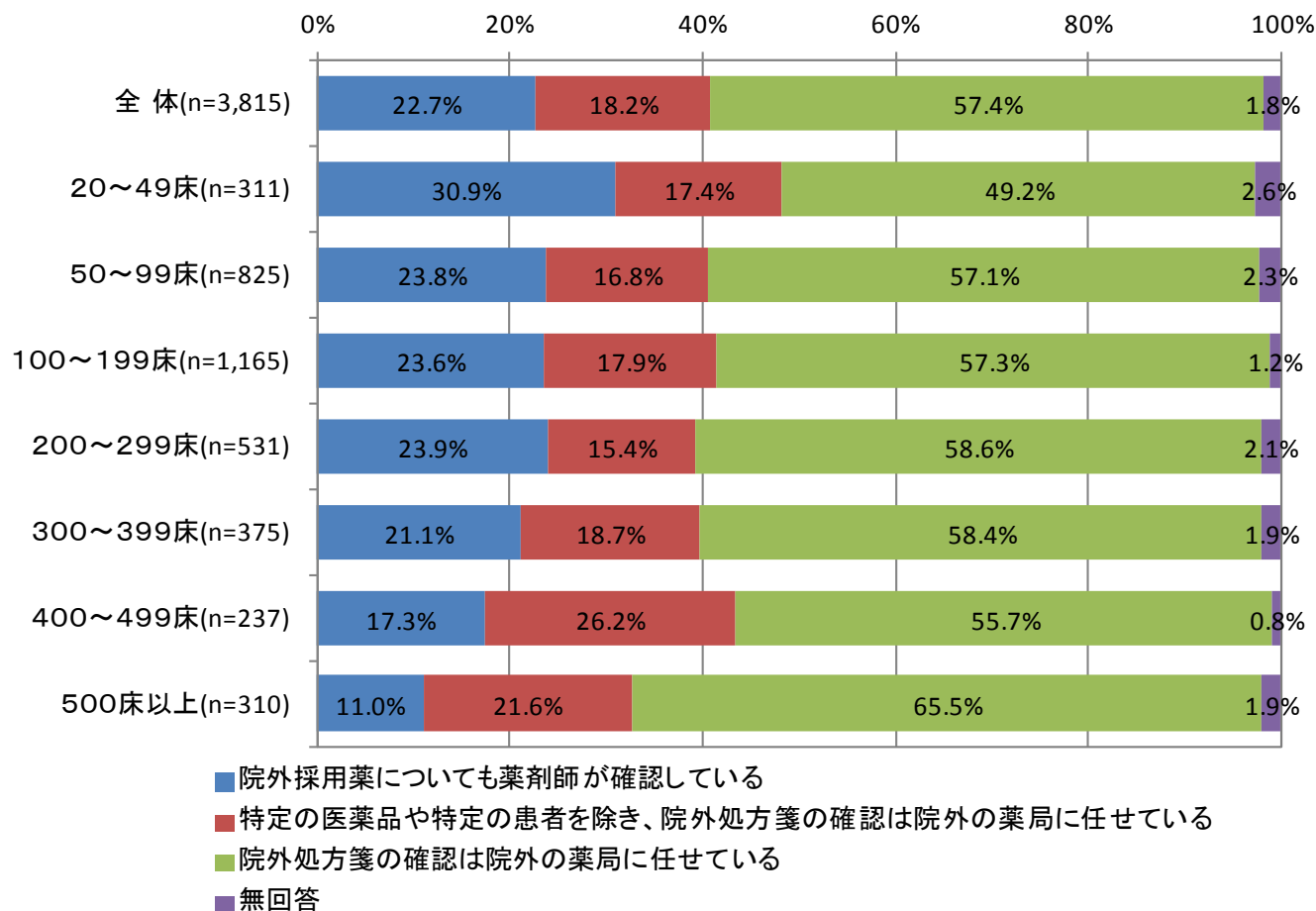
問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q1 薬剤師が院外処方箋の確認を行う範囲について（1/3）

病床規模別

（単数回答）

集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」 / 「10～29%」 / 「30～69%」 / 「70～89%」 / 「90～100%」の施設

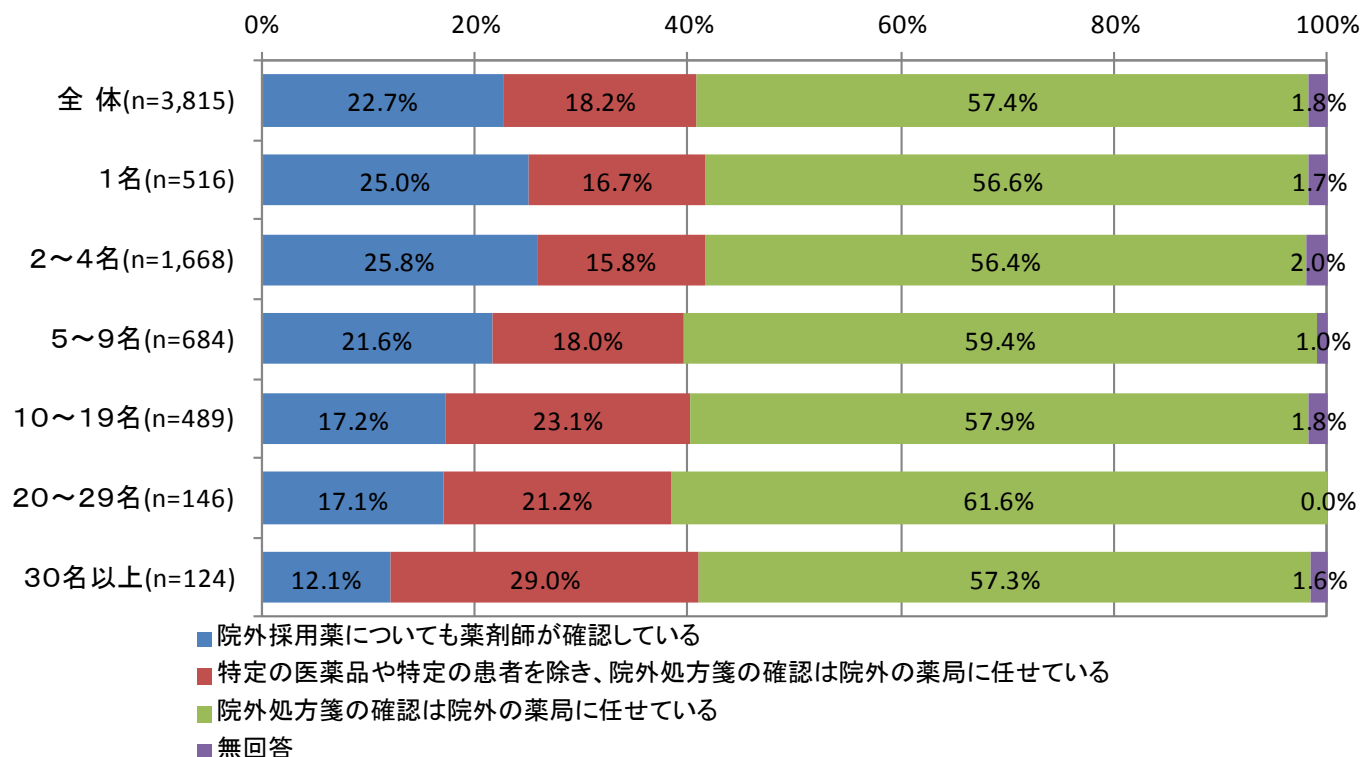


問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q1 薬剤師が院外処方箋の確認を行う範囲について（2/3）

薬剤師数別
（常勤換算）

（単数回答） 集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」 / 「10～29%」 / 「30～69%」 / 「70～89%」 / 「90～100%」の施設

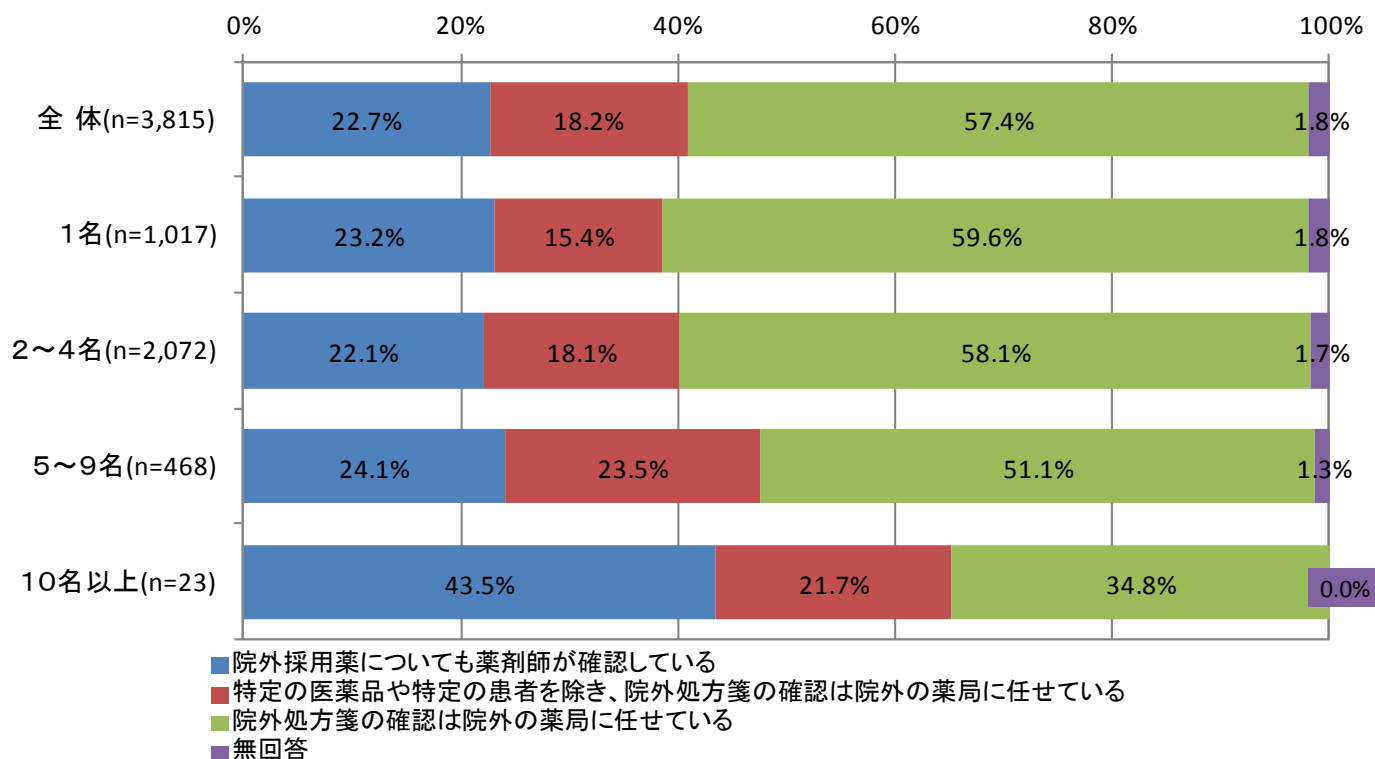


問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q1 薬剤師が院外処方箋の確認を行う範囲について(3/3)

100床あたり
薬剤師数別
(常勤換算)

(単数回答) 集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」/「10～29%」/「30～69%」/
「70～89%」/「90～100%」の施設



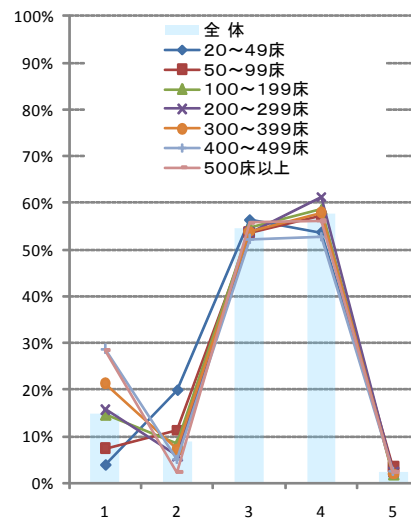
問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q2 患者背景（腎・肝機能、検査値等）による禁忌・注意事項があるものについて（1/3）

病床規模別

（複数回答）

集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」/「10～29%」/「30～69%」/「70～89%」/「90～100%」の施設



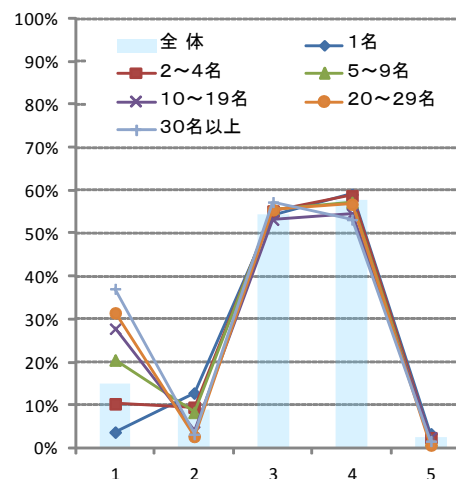
	調 査 数	オ ー ダ ー リ ン グ シ ス テ ム シ 上	処 方 の 確 認 を し て い る	薬 剤 師 が お く す り 手 帳 等 を 点 検 し、 自 院 以 外 の	医 師 に 任 せ て お い な い、 薬 剤	院 外 の 薬 局 に 任 せ て お り、 確 認 し て い な い	無 回 答
全 体	3,815	14.9%	8.8%	54.5%	57.6%	2.5%	
20～49床	311	3.9%	19.9%	56.3%	53.7%	3.2%	
50～99床	825	7.4%	11.3%	53.7%	57.2%	3.5%	
100～199床	1,165	14.6%	8.6%	54.8%	58.6%	1.8%	
200～299床	531	15.8%	5.8%	53.7%	61.2%	2.4%	
300～399床	375	21.3%	7.2%	53.9%	57.9%	1.9%	
400～499床	237	28.7%	5.1%	52.3%	52.7%	2.5%	
500床以上	310	28.4%	2.3%	55.8%	56.1%	2.3%	

問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q2 患者背景（腎・肝機能、検査値等）による禁忌・注意事項があるものについて（2/3）

薬剤師数別
（常勤換算）

（複数回答） 集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」 / 「10～29%」 / 「30～69%」 / 「70～89%」 / 「90～100%」の施設



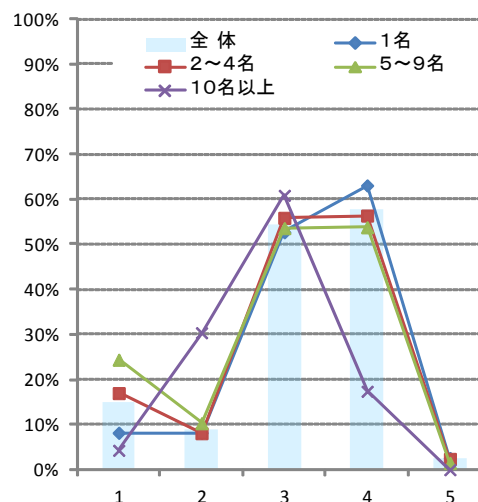
	調査数	システム上で確認している	オーダーリングシステム上で確認している	処方点を確認し、自院以外で帳簿等	薬剤師が確認していない	医師に任せており、薬剤師が確認していない	院外の薬局に任せており、確認していない	無回答
全 体	3,815	14.9%	8.8%	54.5%	57.6%	2.5%		
1 名	516	3.7%	12.8%	54.3%	59.1%	3.3%		
2～4 名	1,668	10.3%	9.5%	55.2%	58.8%	2.4%		
5～9 名	684	20.5%	8.3%	55.7%	57.2%	1.8%		
10～19 名	489	27.8%	3.9%	53.2%	54.6%	2.5%		
20～29 名	146	31.5%	2.7%	55.5%	56.8%	0.7%		
30 名以上	124	37.1%	3.2%	57.3%	53.2%	1.6%		

問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q2 患者背景（腎・肝機能、検査値等）による禁忌・注意事項があるものについて（3/3）

100床あたり
薬剤師数別
（常勤換算）

（複数回答） 集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」 / 「10～29%」 / 「30～69%」 / 「70～89%」 / 「90～100%」の施設



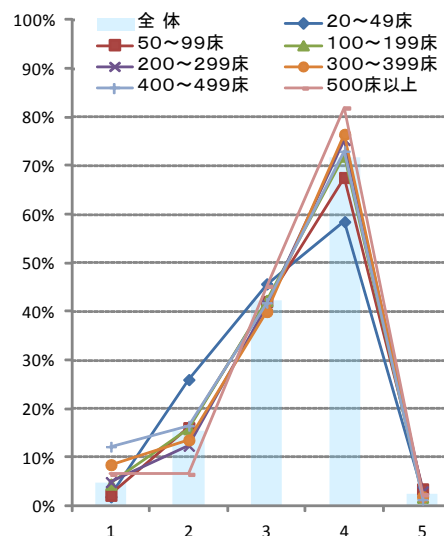
	調査数	システムで確認している等、システム上で確認が困難な等	処方点の検査、自院で検査している等	薬剤師が確認している等、薬剤師が確認していない等	医師が確認している等、医師が確認していない等	院外の薬局に任せていない等	無回答
全 体	3,815	14.9%	8.8%	54.5%	57.6%	2.5%	
1 名	1,017	8.2%	8.2%	52.7%	63.1%	2.6%	
2～4 名	2,072	17.0%	8.1%	55.9%	56.4%	2.4%	
5～9 名	468	24.4%	10.3%	53.6%	53.8%	1.5%	
10 名以上	23	4.3%	30.4%	60.9%	17.4%	0.0%	

問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q3 他施設から処方された医薬品との相互作用について（1/3）

病床規模別

（複数回答） 集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」/「10～29%」/「30～69%」/「70～89%」/「90～100%」の施設



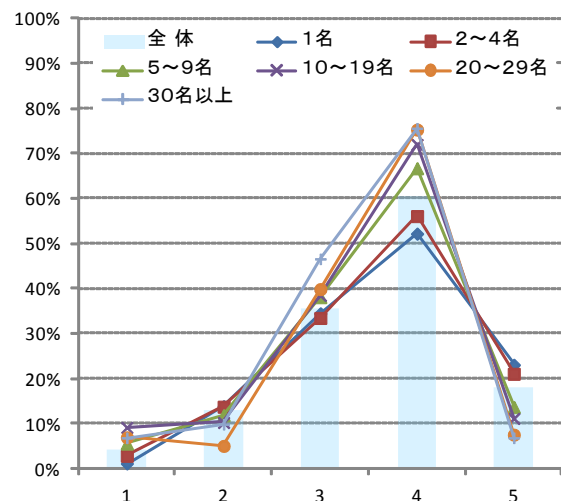
	調査数	システムで処方確認している等、システム上	オーダーリング確認をしております	処方点検をしております	薬剤師が確認しております	医師が確認しております	医師に確認をしております	院外薬局に確認をしております	無回答
全 体	3,815	4.9%	15.3%	42.4%	71.8%	2.4%			
20～49床	311	1.9%	26.0%	45.7%	58.5%	2.6%			
50～99床	825	2.2%	16.1%	42.1%	67.6%	3.5%			
100～199床	1,165	4.5%	15.9%	42.3%	72.0%	1.8%			
200～299床	531	4.9%	12.4%	41.4%	75.3%	3.0%			
300～399床	375	8.5%	13.6%	40.0%	76.5%	1.9%			
400～499床	237	12.2%	16.5%	41.8%	73.0%	1.3%			
500床以上	310	6.5%	6.5%	45.2%	81.9%	2.3%			

問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q3 他施設から処方された医薬品との相互作用について（2/3）

薬剤師数別
（常勤換算）

（複数回答） 集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」 / 「10～29%」 / 「30～69%」 / 「70～89%」 / 「90～100%」の施設



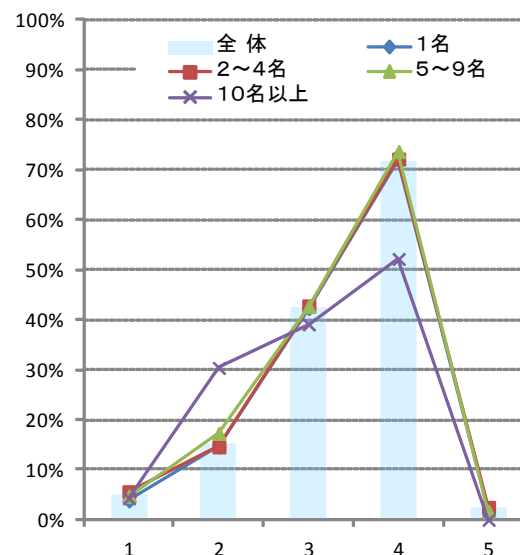
	調査数	システムでオーダーリング確認している等、シス	処方点検し、おくすり手帳の等	医師が確認している、薬剤	院、外の薬局に任せてお	無回答
全 体	4,556	4.1%	12.9%	35.6%	60.4%	17.9%
1 名	661	1.2%	13.9%	34.5%	52.2%	23.1%
2～4 名	2,071	2.9%	13.8%	33.5%	56.1%	21.1%
5～9 名	783	5.6%	11.9%	38.1%	66.7%	13.7%
10～19 名	535	9.2%	10.3%	38.5%	72.0%	11.2%
20～29 名	158	7.0%	5.1%	39.9%	75.3%	7.6%
30 名以上	131	6.9%	9.9%	46.6%	75.6%	6.9%

問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q3 他施設から処方された医薬品との相互作用について (3/3)

100床あたり
薬剤師数別
(常勤換算)

(複数回答) 集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」/「10～29%」/「30～69%」/「70～89%」/「90～100%」の施設



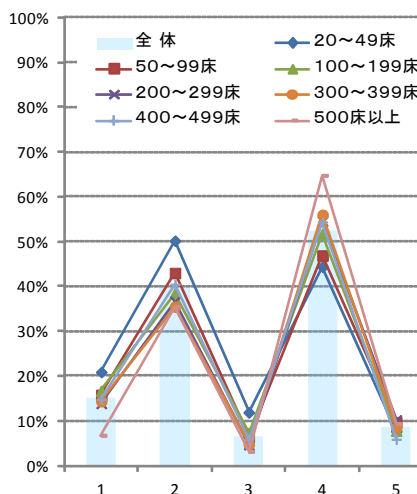
	調 査 数	オ ー ダ ー リ ン グ シ ス テ ム で ア ラ ー ト が 出 る 等 、 シ ス テ ム で 確 認 し て い る	薬 劑 師 が 点 検 し 、 自 院 以 外 で の 等	医 師 に 任 せ て お り 、 薬 劑 師 が 確 認 し て い な い	院 外 の 薬 局 に 任 せ て お り 、 確 認 し て い な い	無 回 答
全 体	3,815	4.9%	15.3%	42.4%	71.8%	2.4%
1名	1,017	3.8%	14.6%	42.3%	71.9%	2.1%
2～4名	2,072	5.6%	14.6%	42.8%	72.2%	2.5%
5～9名	468	4.7%	17.3%	42.7%	73.7%	1.7%
10名以上	23	4.3%	30.4%	39.1%	52.2%	0.0%

問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q4 外来患者のおくすり手帳について（1/3）

病床規模別

（複数回答） 集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」/「10～29%」/「30～69%」/「70～89%」/「90～100%」の施設



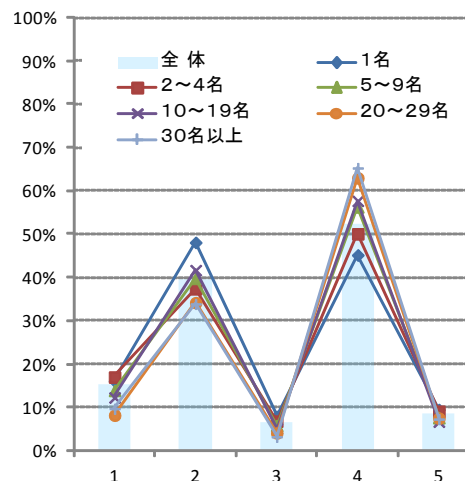
	調査数	薬剤師が、患者に求め、おくすり手帳を確認する	処方箋の提出が、患者に求められている	患者が、おくすり手帳を確認している	患者が、おくすり手帳を確認している	患者が、おくすり手帳を確認している	患者が、おくすり手帳を確認している
全 体	3,815	15.2%	39.6%	6.4%	52.3%	8.7%	
20～49床	311	20.9%	50.2%	11.9%	44.4%	7.7%	
50～99床	825	15.8%	43.0%	6.3%	46.9%	9.7%	
100～199床	1,165	16.7%	38.5%	7.3%	51.8%	7.8%	
200～299床	531	13.9%	36.7%	4.7%	54.6%	10.2%	
300～399床	375	14.4%	35.5%	4.8%	56.0%	8.5%	
400～499床	237	14.8%	40.5%	5.9%	54.4%	5.9%	
500床以上	310	6.8%	35.5%	3.2%	64.8%	9.4%	

問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q4 外来患者のおくすり手帳について（2/3）

薬剤師数別
（常勤換算）

（複数回答） 集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」 / 「10～29%」 / 「30～69%」 / 「70～89%」 / 「90～100%」の施設



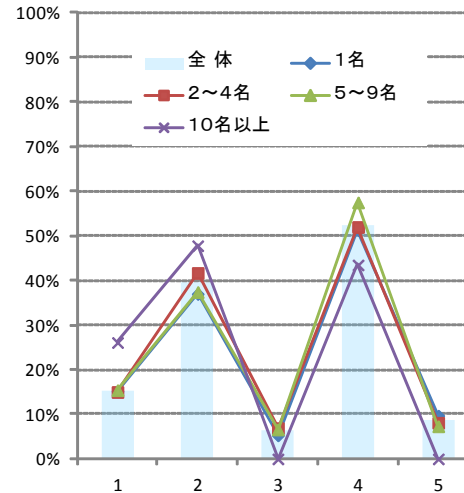
	調 査 数	薬 師 が 求 め て 服 用 歴 を 確 認 し て い る	も つ て 服 用 歴 を 確 認 し て い る	帳 に 反 映 し て お り 、 そ の 情 報 を	如 方 医 生 が 診 察 時 に お く す り 手 帳 の 提 示 を 確 認 し て い る	患 者 が お く す り 手 帳 を 複 数 冊 所 持 し て い ない か 確 認 し て い る	か ら 直 接 聞 い て い る	お く す り 手 帳 で の 服 用 歴 に 確 者 認 は せ ず 、 処 方 医 生 の 診 察 時 に 患 者 の 確 認 を お く す り 手 帳 に お く す り 手 帳 を 複 数 冊 所 持 し て い ない か 確 認 し て い る	無 回 答
全 体	3,815	15.2%	39.6%	6.4%	52.3%	8.7%			
1名	516	16.1%	48.1%	7.9%	45.2%	9.5%			
2～4名	1,668	17.0%	37.4%	6.8%	50.1%	9.1%			
5～9名	684	13.9%	39.8%	5.8%	56.3%	7.6%			
10～19名	489	12.3%	41.7%	5.1%	57.7%	6.7%			
20～29名	146	8.2%	34.2%	4.1%	63.0%	7.5%			
30名以上	124	9.7%	33.9%	3.2%	65.3%	7.3%			

問20 院外処方箋の確認について、どの程度行っていますか。

Q4 外来患者のおくすり手帳について(3/3)

100床あたり
薬剤師数別
(常勤換算)

(複数回答) 集計対象：外来患者への院外処方箋を発行割合が「1～9%」/「10～29%」/「30～69%」/「70～89%」/「90～100%」の施設



	調査数	しを薬もに帳処方持患者かはおく無	を剤剤もに帳方し者せく回	るにがて反映提医がてがいす答	るにがて反映提医がてがいす答	るにがて反映提医がてがいす答	るにがて反映提医がてがいす答	るにがて反映提医がてがいす答	るにがて反映提医がてがいす答	るにがて反映提医がてがいす答
全体	3,815	15.2%	39.6%	6.4%	52.3%	8.7%				
1名	1,017	15.2%	37.0%	5.3%	51.3%	9.7%				
2～4名	2,072	15.0%	41.7%	6.9%	52.0%	8.1%				
5～9名	468	15.4%	37.4%	6.6%	57.5%	7.3%				
10名以上	23	26.1%	47.8%	0.0%	43.5%	0.0%				

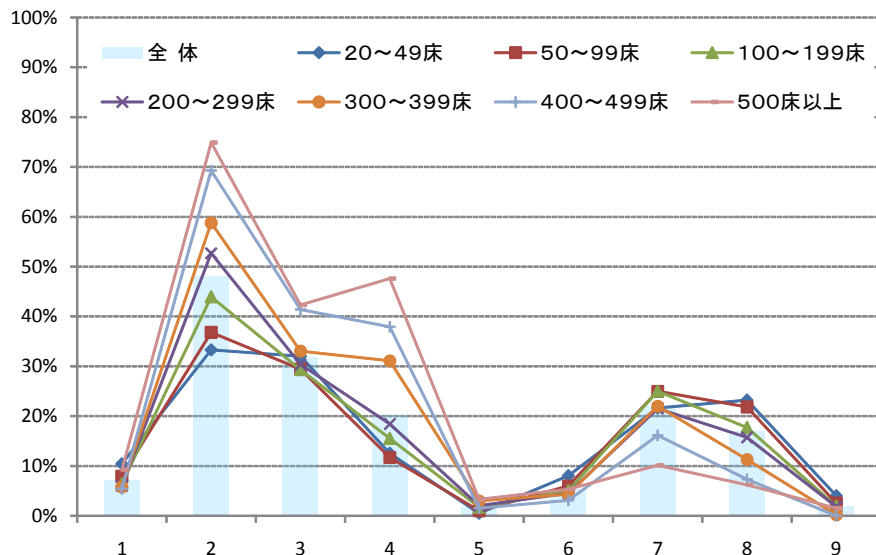
Ⅰ 安全性情報全般に関する調査

5 近隣の病院・診療所・院外の薬局との連携について

問21 貴院で取り組んでいる院外の薬局との連携（薬薬連携）について該当するのはどれですか。

病床規模別

（複数回答）



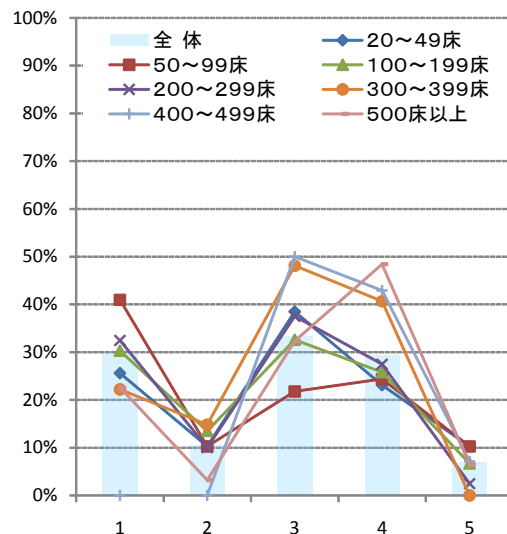
問21
入手方法へ

	調査数	処方箋を応需した院外の薬局への、検査値や病名などの薬局情報への提供	院外の薬局調剤に必要の情報提供	医師の処方箋の薬局からの提供	院外の薬局との勉強会の開催	退院時カンファレンスへの院外の薬局の薬剤師の参加	品安の薬局と、入手した医薬品安全性情報の共有	その他	特になし	無回答
全 体	4,556	7.0%	48.0%	31.8%	20.1%	1.7%	5.2%	22.0%	16.9%	1.9%
20~49床	375	10.4%	33.3%	32.0%	12.5%	0.5%	8.0%	21.6%	23.2%	4.0%
50~99床	984	7.9%	36.8%	29.4%	11.7%	1.0%	6.0%	25.0%	21.8%	2.5%
100~199床	1,391	6.4%	43.9%	29.3%	15.5%	1.7%	5.0%	25.0%	17.7%	1.9%
200~299床	662	6.0%	52.7%	30.4%	18.4%	2.0%	4.5%	21.5%	15.7%	1.8%
300~399床	469	5.8%	58.8%	33.0%	31.1%	3.0%	4.3%	22.0%	11.3%	0.2%
400~499床	261	5.4%	69.3%	41.4%	37.9%	1.5%	3.1%	16.1%	7.3%	0.0%
500床以上	338	9.2%	74.9%	42.3%	47.6%	3.3%	5.3%	10.1%	6.2%	1.5%

問 2 1（処方箋を応需した院外の薬局への、検査値や病名などの患者情報の提供を実施している場合） 入手方法

病床規模別

（複数回答） 集計対象：院外の薬局との連携（薬業連携）について、「処方箋を応需した院外の薬局への、検査値や病名などの患者情報の提供」に取り組んでいる施設



	調査数	カルテ情報の共有	処方箋に検査値や病名などを記入	よくすりなど手帳記入に検査値	その他	無回答
全 体	321	29.9%	10.6%	33.3%	29.3%	6.9%
20～49床	39	25.6%	10.3%	38.5%	23.1%	10.3%
50～99床	78	41.0%	10.3%	21.8%	24.4%	10.3%
100～199床	89	30.3%	13.5%	32.6%	25.8%	6.7%
200～299床	40	32.5%	10.0%	37.5%	27.5%	2.5%
300～399床	27	22.2%	14.8%	48.1%	40.7%	0.0%
400～499床	14	0.0%	0.0%	50.0%	42.9%	7.1%
500床以上	31	22.6%	3.2%	32.3%	48.4%	6.5%

問22 近隣の病院・診療所、院外の薬局または介護施設等との、医薬品処方や患者情報等に関する情報共有・連携等について、具体的な取り組みの事例があればご紹介ください。

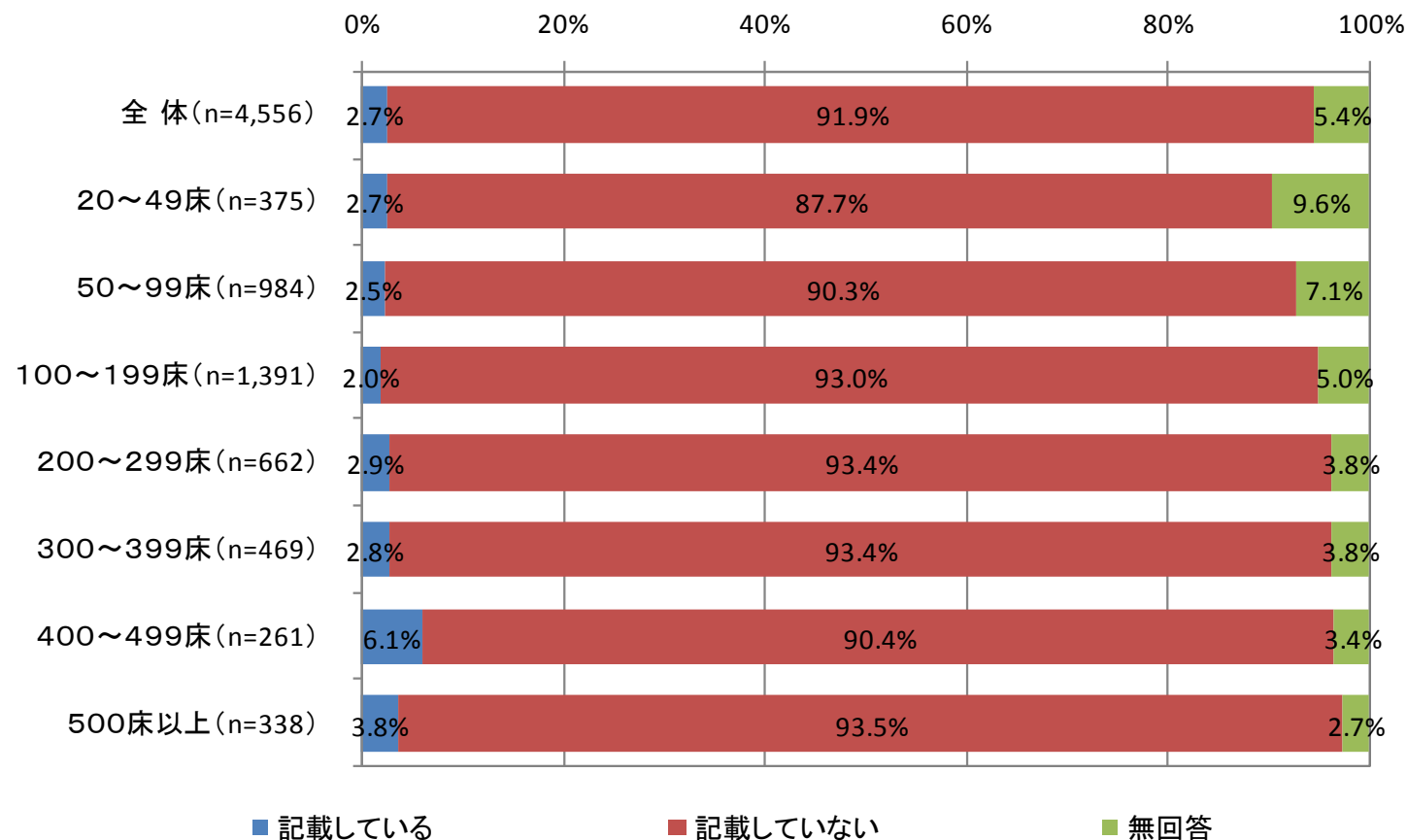
主な意見

- ❑ 特殊な事例は、病院側より近隣調剤薬局へ患者情報（薬剤以外の情報含む）を連絡している。退院時にはお薬手帳への記載や個別の文書を作成し、患者を通し情報を共有している。
- ❑ 毎月、情報交換会を開催し、勉強会の中で当院の医師から担当診療科の処方についてレクチャーを受け、薬剤師からの情報提供を行っている。また、院外薬局で発生した過誤報告を行い、情報共有を図っている。
- ❑ 特別な薬剤を使用する場合には、院外の調剤薬局に連絡、また調剤薬局からの問い合わせについては出来る範囲で協力している。
- ❑ 地域連携システムを活用し、患者の同意を得た上で、退院時処方・指導内容をかかりつけ医が参照可能な体制をとっている。
- ❑ 退院時に患者に薬剤師サマリーを渡し、かかりつけ調剤薬局へ提出してもらうか、同意を得られた場合は、直接調剤薬局へ送付している。
- ❑ 医師の作成する診断書あるいは診療情報提供書に、薬剤の種類が多く、複雑な事例において適正な薬剤情報を補足する意味で、「薬剤適正使用のための情報提供書」を作成し、同封している。また医療法人内の患者様の転院や退院時には「薬剤管理サマリー」を作成し、情報提供している。

問23 PMDAの一般の皆様向け情報提供ホームページの周知について、厚生労働省から関係団体にご協力をお願いしておりますが、貴施設で患者に提供している「薬剤情報提供書」には、PMDA一般の皆様向け情報提供ホームページについて記載されていますか。

病床規模別

(単数回答)



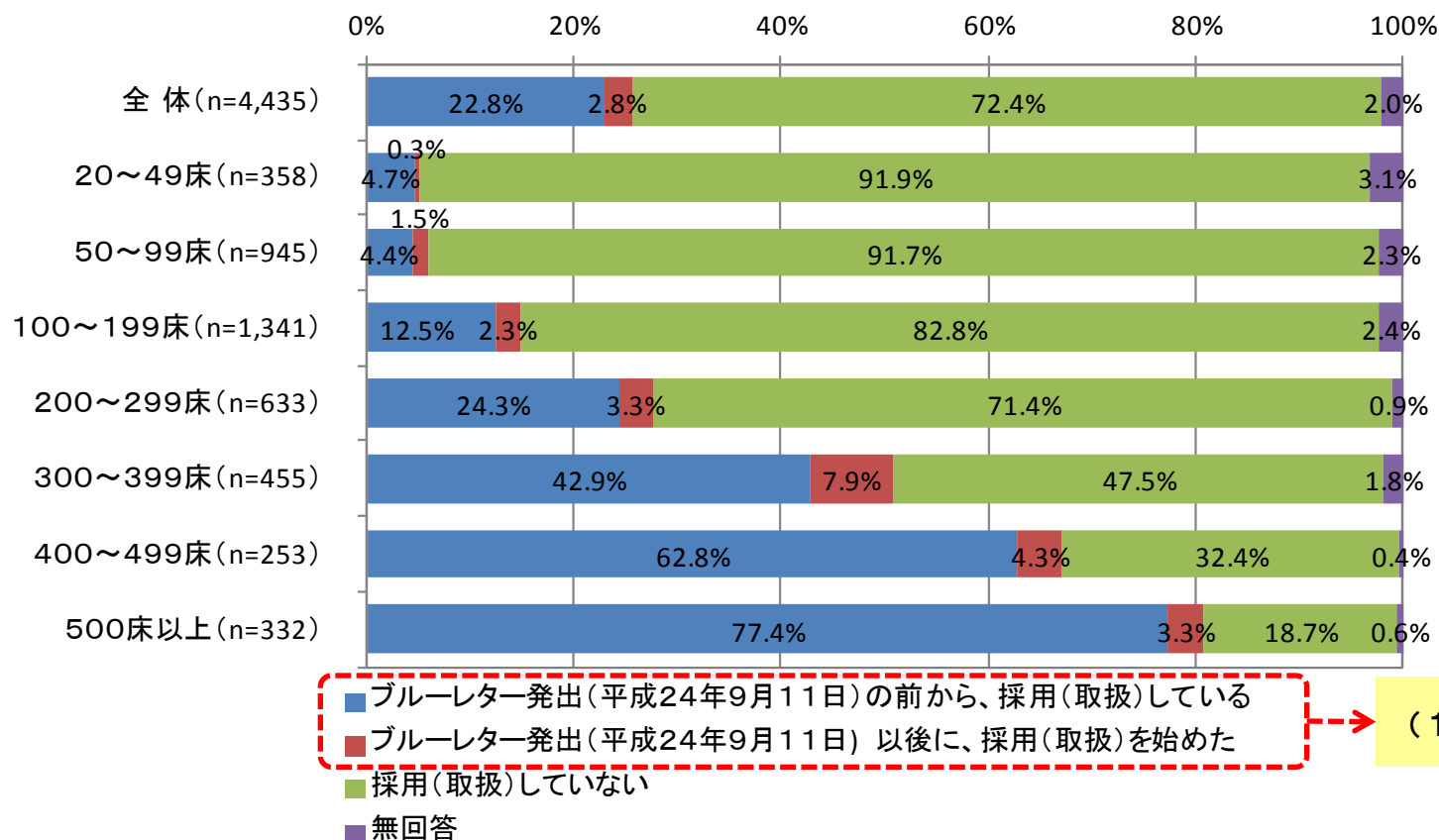
Ⅱ 個別の薬剤の事例に関する調査

**事例 1：デノスマブ（遺伝子組み換え）
（販売名：ランマーク皮下注120mg）**

(1) 現在、貴施設では、この医薬品を採用（取扱）していますか。

病床規模別

(単数回答)

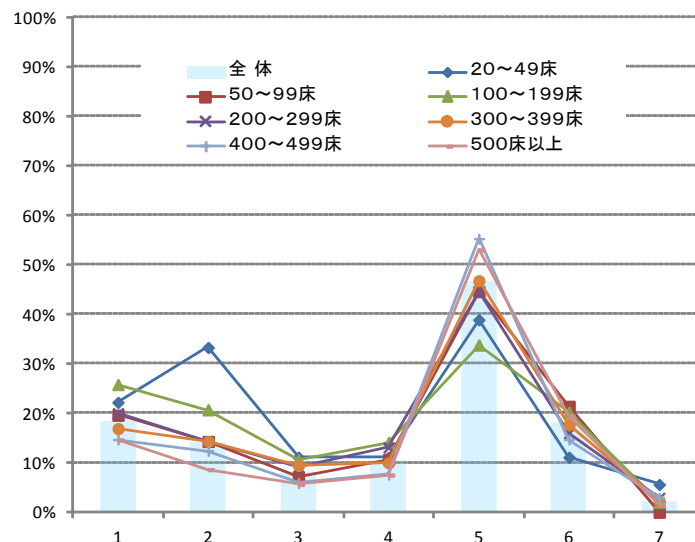


(1) - 1へ

(1) - 1 現在、処方（取扱）にあたって条件を設けていますか。

病床規模別

（複数回答） 集計対象：デノスマブを「ブルーレーター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレーター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設

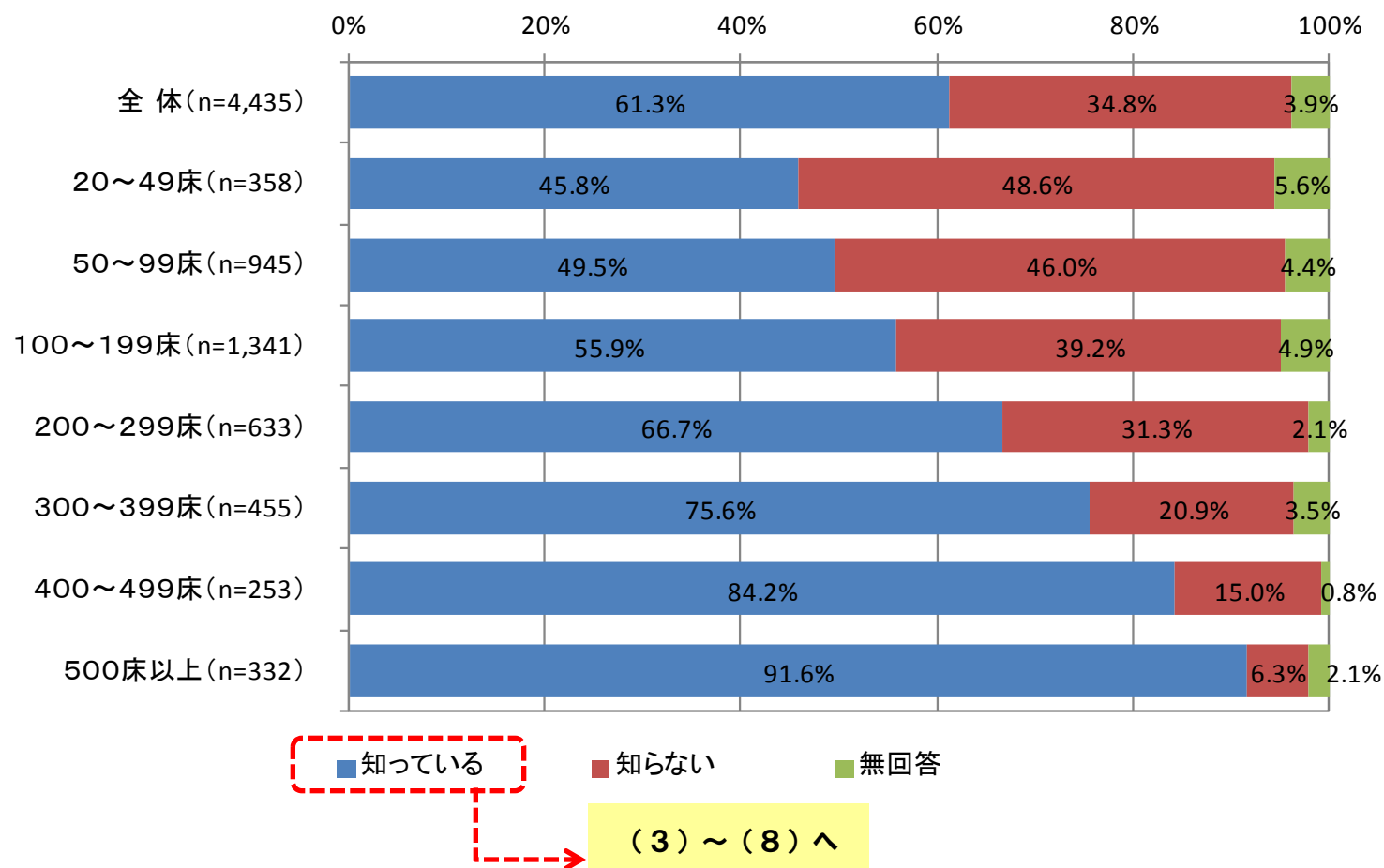


	調査数	処方できる診療科、医師を限定している	処方できる患者を限定している	検査などにより患者の腎機能を確認できた場合のみ、処方を確認できた	血清カルシウム濃度を測定し、確認した場合のみ、処方できる	その他	条件を設けていない	無回答
全 体	1,138	18.3%	14.0%	8.0%	10.4%	46.6%	18.0%	2.2%
20～49床	18	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%	38.9%	11.1%	5.6%
50～99床	56	19.6%	14.3%	7.1%	10.7%	44.6%	21.4%	0.0%
100～199床	198	25.8%	20.7%	10.6%	14.1%	33.8%	20.2%	2.0%
200～299床	175	20.0%	14.3%	9.1%	13.1%	44.6%	16.0%	2.9%
300～399床	231	16.9%	14.3%	9.5%	10.0%	46.8%	17.7%	2.2%
400～499床	170	14.7%	12.4%	5.9%	7.6%	55.3%	14.7%	2.9%
500床以上	268	14.6%	8.6%	5.6%	7.5%	53.0%	19.4%	1.5%

(2) ランマークのブルーレターが平成24年9月11日に発出されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。(1/4)

病床規模別

(単数回答)

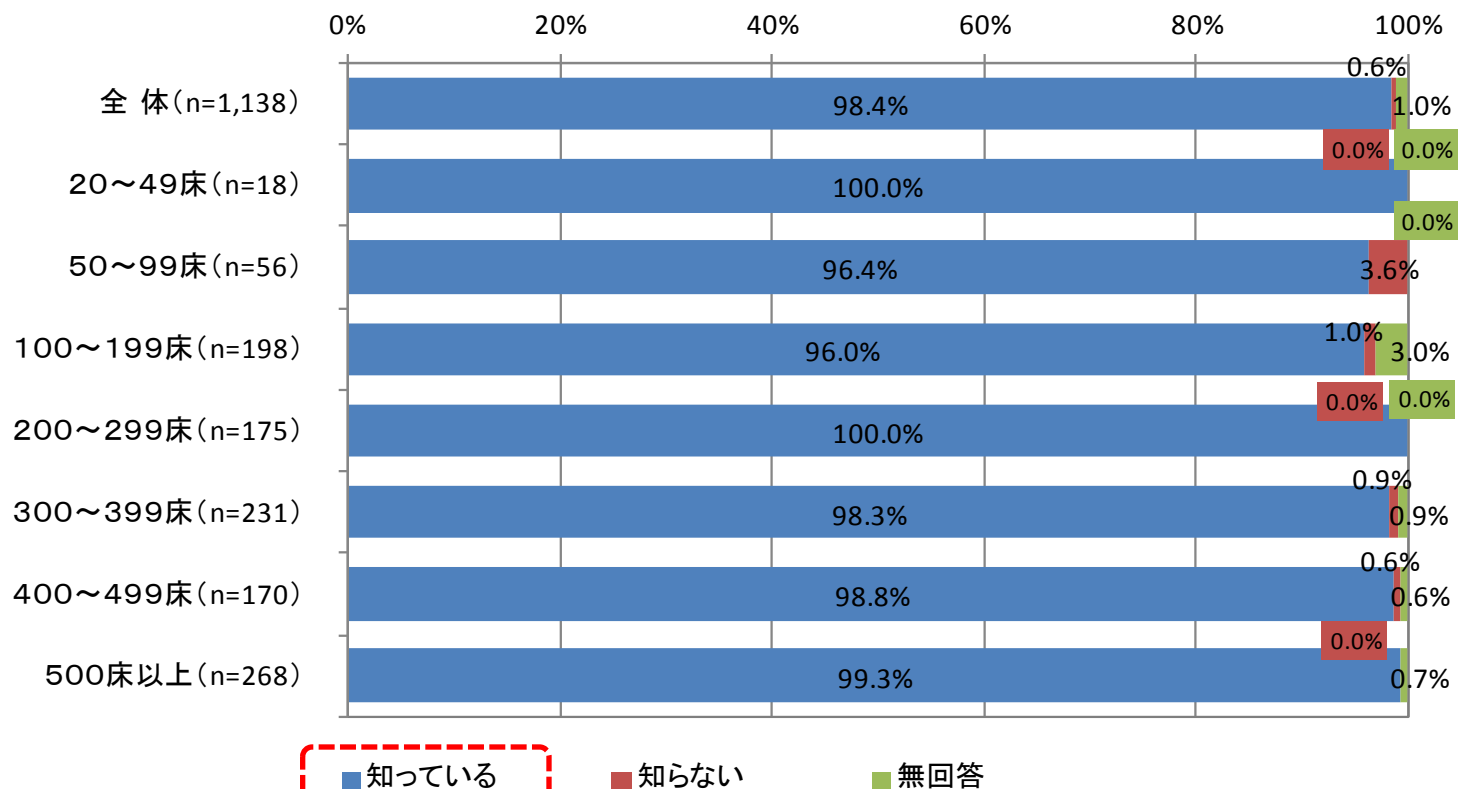


(2) ランマークのブルーレターが平成24年9月11日に発出されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。(2/4)

病床規模別

(単数回答)

集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設

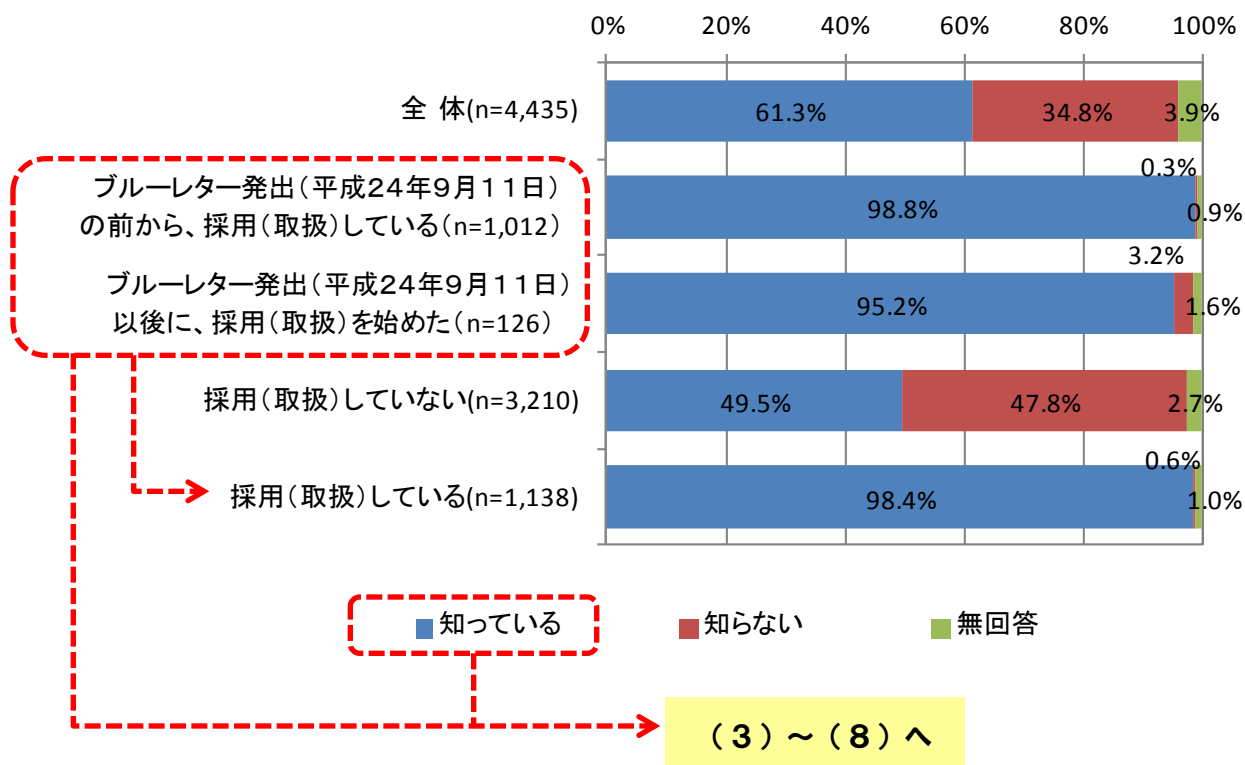


(3) ~ (8) へ

(2) ランマークのブルーレターが平成24年9月11日に発出されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。(3/4)

(1) 採用 状況別

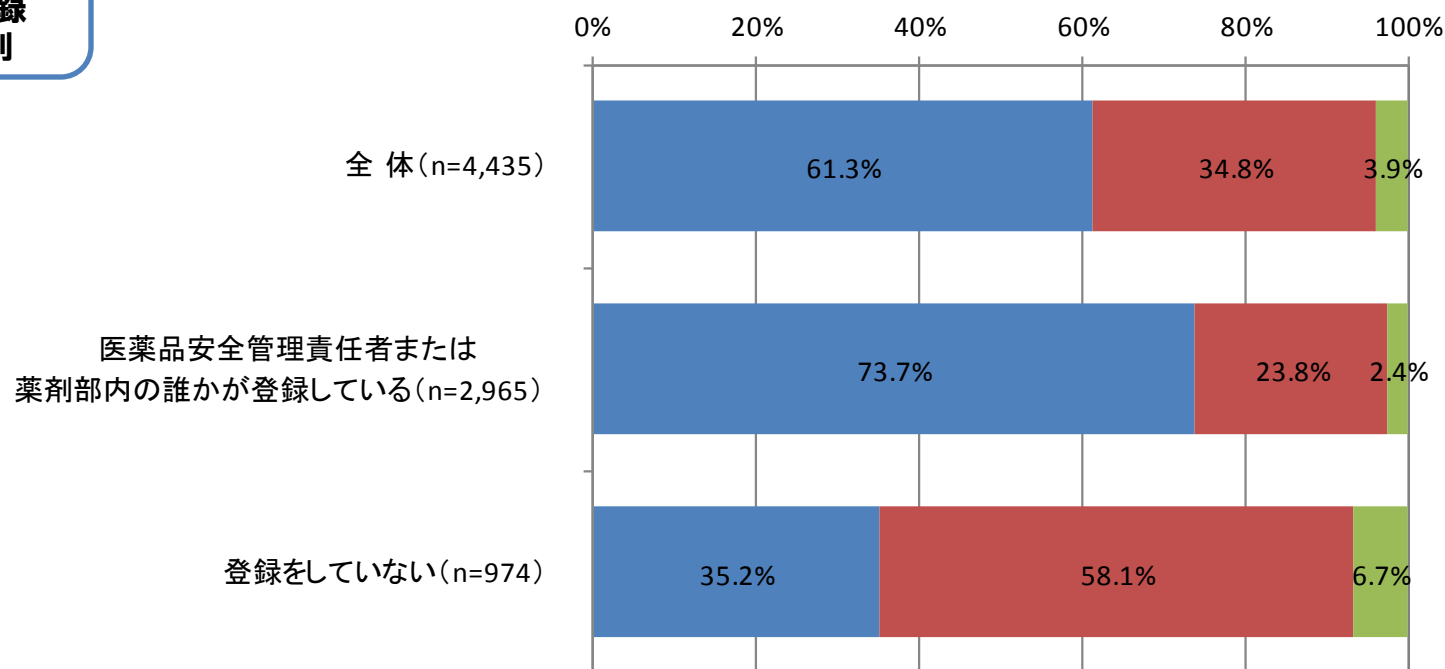
(単数回答)



(2) ランマークのブルーレターが平成24年9月11日に発出されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。(4/4)

問7・8
PMDAメディナビ
への登録
状況別

(単数回答)



■ 知っている

■ 知らない

■ 無回答

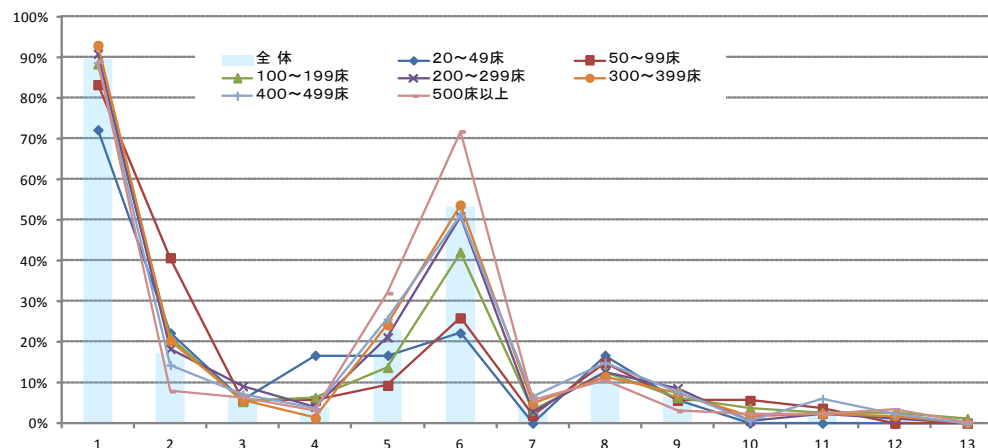
(3) ~ (8) へ

(3) ランマークのブルーレターが発出されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かった番号に○をつけてください。 (1/3)

病床規模別

(複数回答)
※3つまで

集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



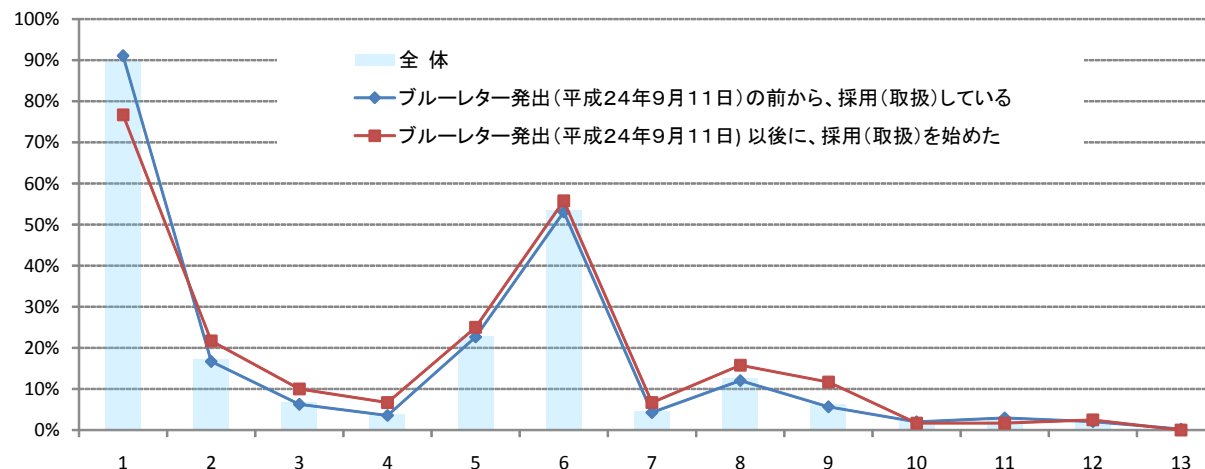
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者 (MR)	製薬企業のダイレクトメー ル(DM)	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者 (MS)	医薬品・医療機器総合機構 (PMDA)のホームページ	PMDA メディナビ	製薬企業、PMDA 以外の ホームページ	医薬品・医療機器等安全 情報(厚生労働省発行)	USFDA (Drug Safety Update、日本製薬団 体連合会発行)	知り合いの薬剤師・医師間 での情報交換	新聞・業界紙等の報道	その他	無回答
全 体	1,120	89.6%	17.2%	6.7%	3.9%	22.9%	53.4%	4.6%	12.5%	6.3%	2.0%	2.9%	2.1%	0.3%
20～49床	18	72.2%	22.2%	5.6%	16.7%	16.7%	22.2%	0.0%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～99床	54	83.3%	40.7%	5.6%	5.6%	9.3%	25.9%	1.9%	14.8%	5.6%	5.6%	3.7%	0.0%	0.0%
100～199床	190	88.4%	21.1%	5.3%	6.3%	13.7%	42.1%	3.2%	12.6%	6.3%	3.7%	2.6%	2.6%	1.1%
200～299床	175	90.9%	18.3%	9.1%	4.0%	21.1%	50.9%	2.9%	12.6%	8.6%	0.6%	2.3%	1.1%	0.0%
300～399床	227	93.0%	20.3%	5.7%	1.3%	24.2%	53.7%	4.8%	11.5%	7.5%	1.8%	2.2%	1.8%	0.0%
400～499床	168	88.7%	14.3%	7.1%	3.6%	25.6%	51.2%	6.5%	14.9%	7.7%	0.6%	6.0%	2.4%	0.0%
500床以上	266	89.1%	7.9%	6.4%	3.0%	32.0%	71.8%	5.6%	10.5%	3.0%	2.3%	2.3%	3.4%	0.4%

(3) ランマークのブルーレターが発出されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かった番号に○をつけてください。 (2/3)

(1) 採用 状況別

(複数回答)
※3つまで

集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



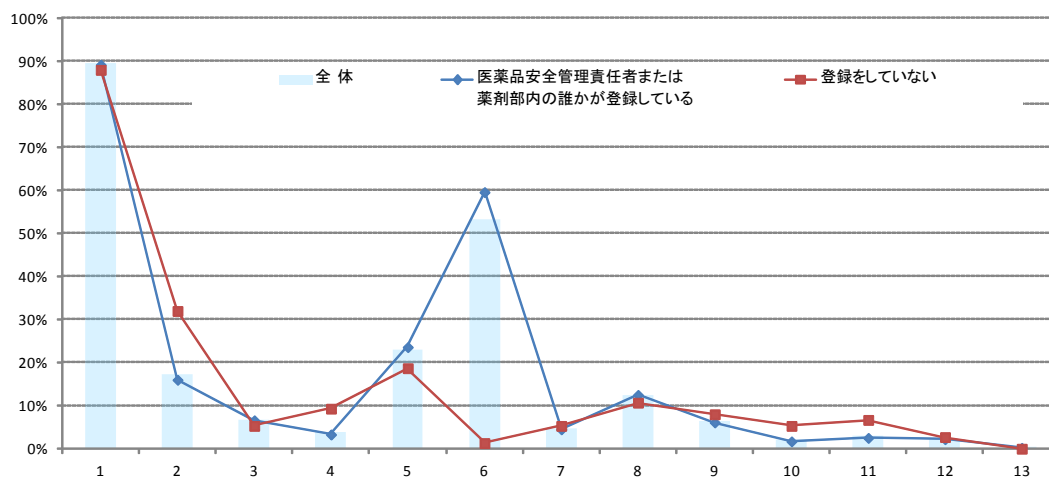
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者（MR）	製薬企業のダイレクトメール（DM）	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者（MS）	医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページ	PMDA メディナビ	製薬企業、PMDA 以外のホームページ	性情報（厚生労働省発行） 医薬品・医療機器等安全情報	DSU（Drug Safety Update、日本製薬団体連合会発行）	知り合いの薬剤師・医師間の情報交換	新聞・業界紙等の報道	その他	無回答
全 体	1,120	89.6%	17.2%	6.7%	3.9%	22.9%	53.4%	4.6%	12.5%	6.3%	2.0%	2.9%	2.1%	0.3%
ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から、採用（取扱）している	1,000	91.1%	16.7%	6.3%	3.6%	22.7%	53.1%	4.3%	12.1%	5.7%	2.0%	3.0%	2.1%	0.3%
ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に、採用（取扱）を始めた	120	76.7%	21.7%	10.0%	6.7%	25.0%	55.8%	6.7%	15.8%	11.7%	1.7%	1.7%	2.5%	0.0%

(3) ランマークのブルーレターが発出されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かった番号に○をつけてください。 (3/3)

問7・8 PMDAメディナビ への登録 状況別

(複数回答)
※3つまで

集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



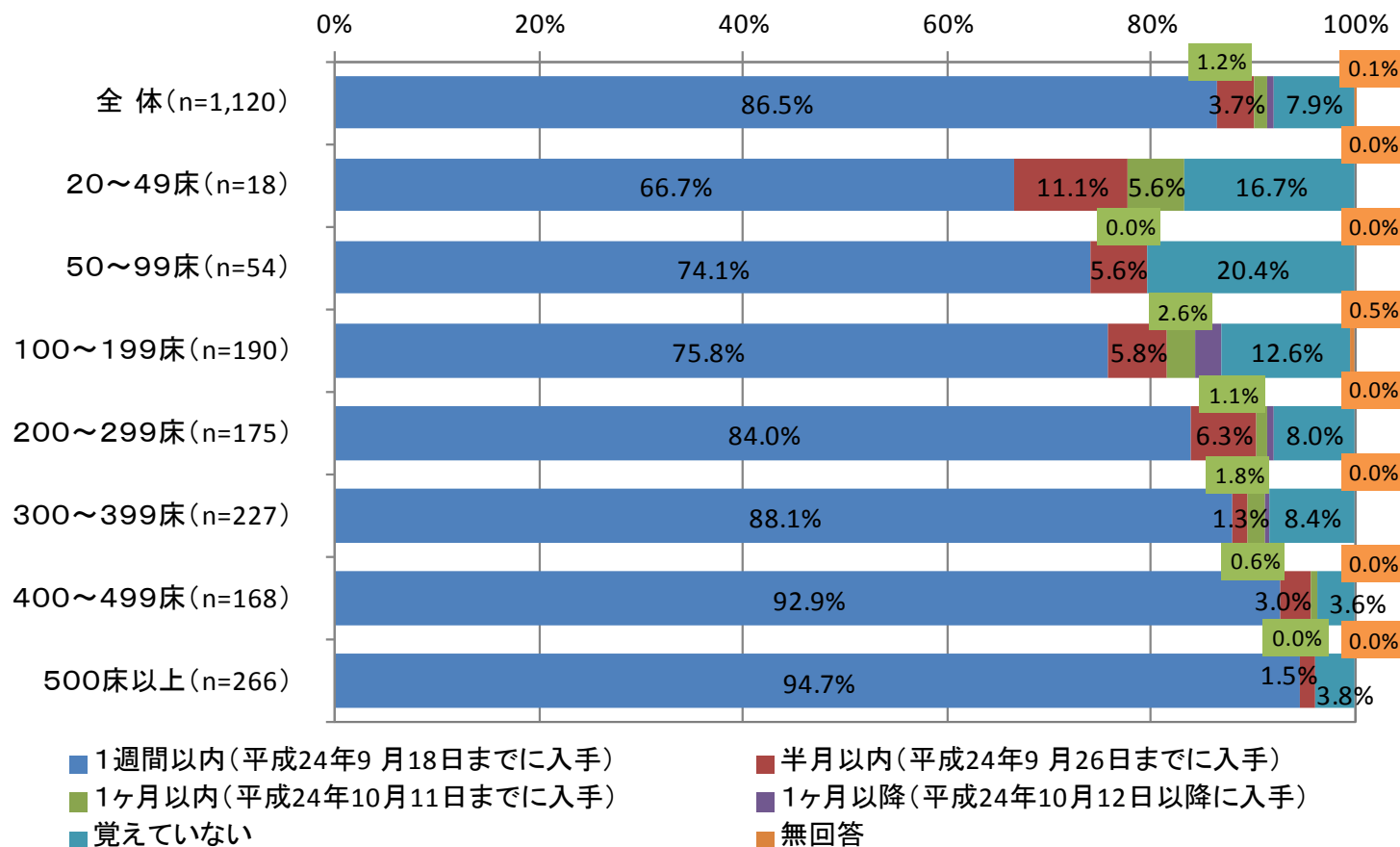
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者 (MR)	製薬企業のダイレクトメー ル(DM)	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者 (MS)	医薬品・医療機器総合機構 (PMDA)のホームページ	PMDAメディアナビ	製薬企業、PMDA以外の ホームページ	医薬品・医療機器等安全性 情報(厚生労働省発行)	医薬品・医療機器等安全 性情報(厚生労働省発行)	体連(会発行)	USDA (Drug Safety Update、 日本製薬 団 体連 合 会 発 行)	知り合いの薬剤師・医師間 での情報交換	新聞・業界紙等の報道	その他	無回答
全 体	1,120	89.6%	17.2%	6.7%	3.9%	22.9%	53.4%	4.6%	12.5%	6.3%	2.0%	2.9%	2.1%	0.3%		
医薬品安全管理責任者または 薬剤部内の誰かが登録している	983	89.2%	16.0%	6.6%	3.3%	23.6%	59.6%	4.5%	12.5%	6.1%	1.7%	2.5%	2.2%	0.2%		
登録をしていない	75	88.0%	32.0%	5.3%	9.3%	18.7%	1.3%	5.3%	10.7%	8.0%	5.3%	6.7%	2.7%	0.0%		

(4) 最も早かった情報の入手時期はいつですか。(1/3)

病床規模別

(単数回答)

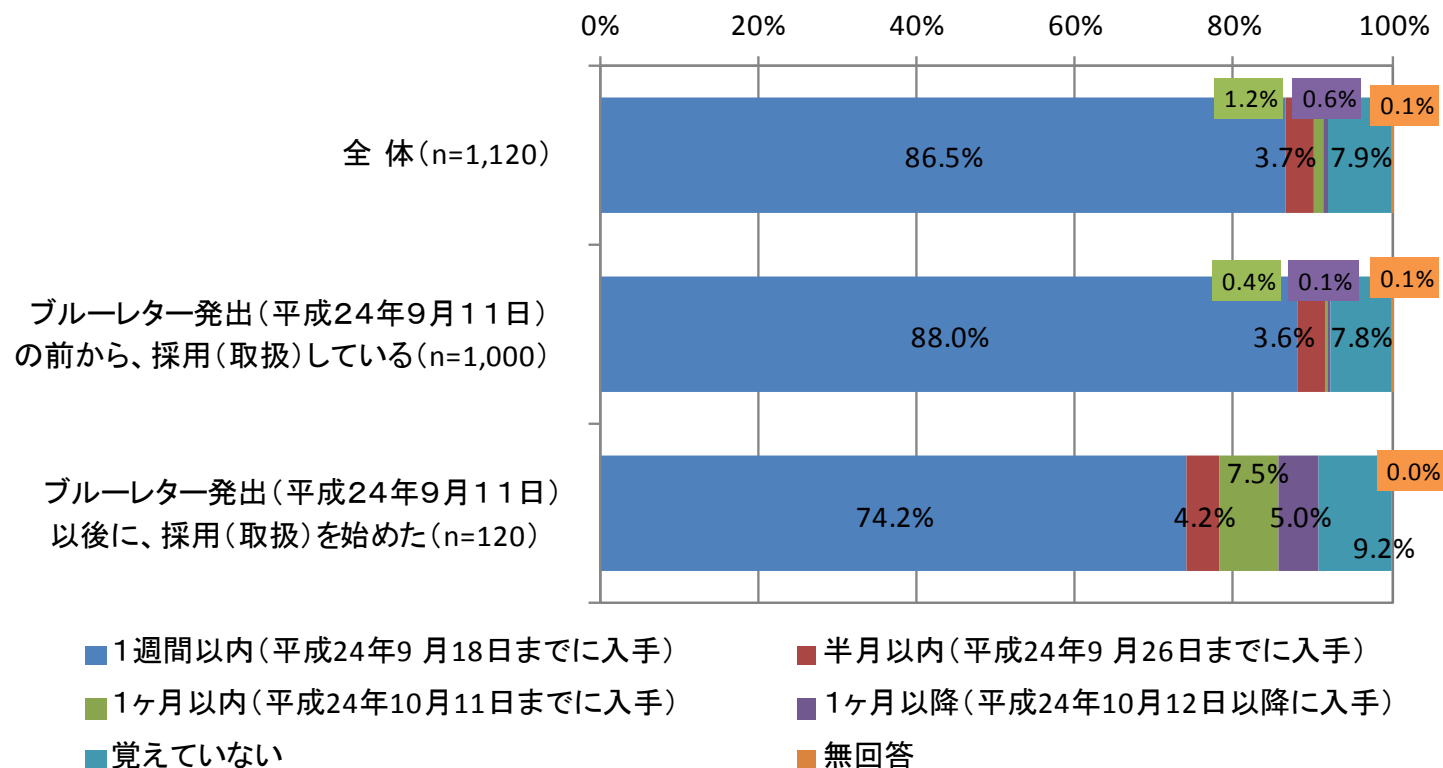
集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



(4) 最も早かった情報の入手時期はいつですか。(2/3)

(1) 採用 状況別

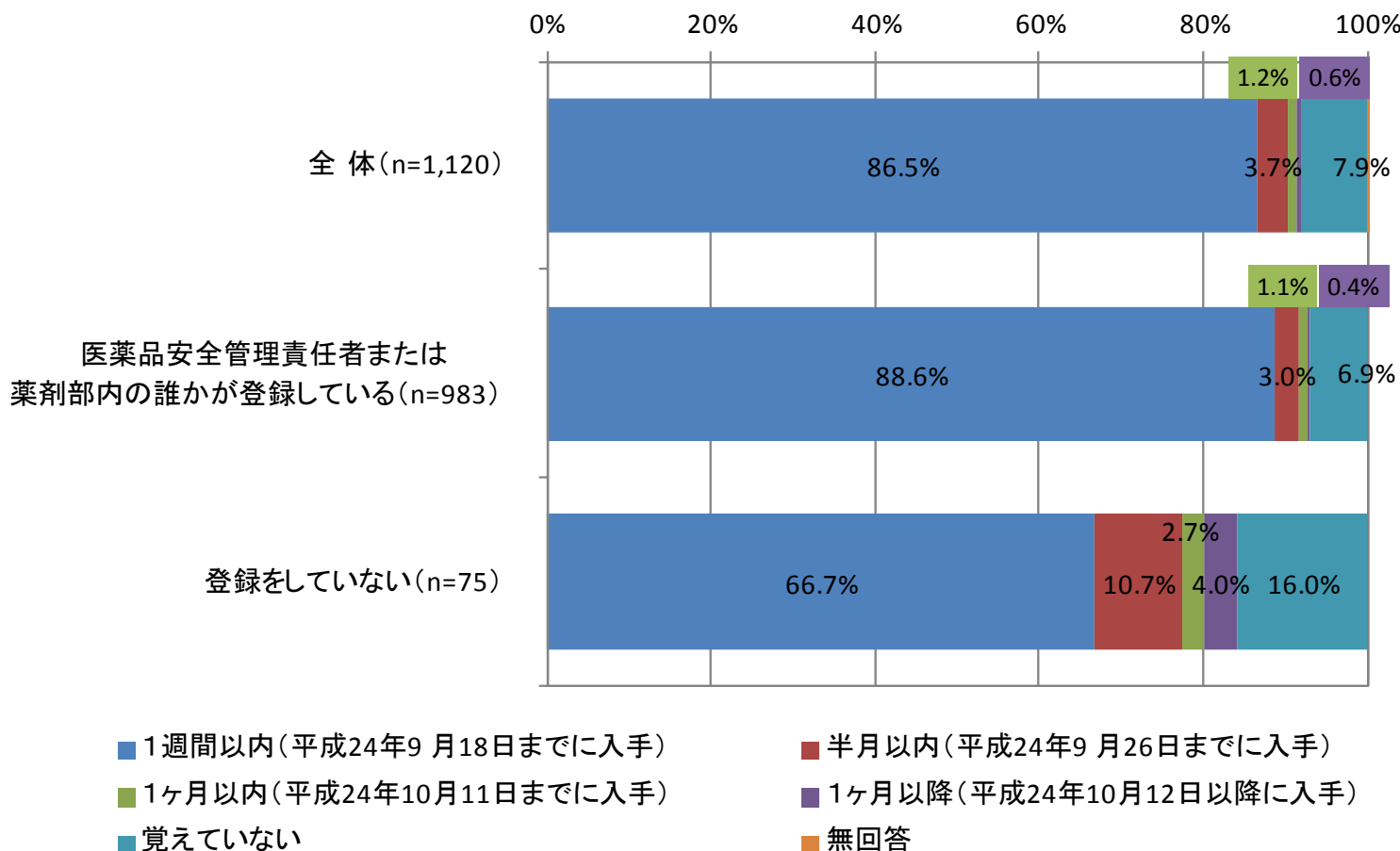
(単数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出(平成24年9月11日)の前から採用している」/
「ブルーレター発出(平成24年9月11日)以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



(4) 最も早かった情報の入手時期はいつですか。(3/3)

問7・8 PMDAメディナビ への登録 状況別

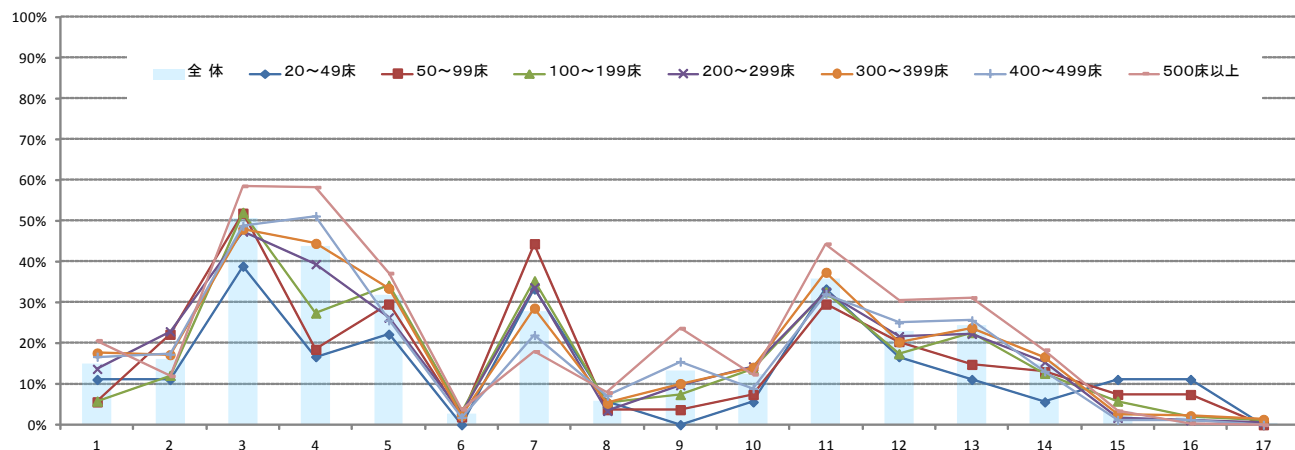
(単数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出(平成24年9月11日)の前から採用している」/
「ブルーレター発出(平成24年9月11日)以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



(5) 入手した情報を、院内でどのように伝達し、措置を講じましたか。 (1/2)

病床規模別

(複数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



	調査数	院内に掲示	情報を印刷して回覧	紙面で配布 (原本又はコピー)を	医師等に電子メール等で通知	薬事委員会等で説明	会を開催 入手した情報に関する説明	使用している 医師等と面談	処方された患者を特定し、 その患者のカルテへ注意書きを貼付	セーリングシステム上でメッ セージ(警告)表示	会・確認 出(調剤)時に疑義照 会し(調剤)科(部)から私 に通知	医師へ検査の徹底を周知	医師による副作用モニタリ ングを要請	薬剤師が検査の実施状況を 確認	特定し、医師と協働して副 作用の発現の有無を確認	その他	特に措置を講じなかった	無回答
全 体	1,120	15.0%	16.0%	50.8%	43.8%	31.9%	2.8%	27.9%	5.8%	13.2%	12.4%	35.9%	22.9%	24.5%	15.1%	3.4%	1.8%	0.5%
20~49床	18	11.1%	11.1%	38.9%	16.7%	22.2%	0.0%	33.3%	5.6%	0.0%	5.6%	33.3%	16.7%	11.1%	5.6%	11.1%	11.1%	0.0%
50~99床	54	5.6%	22.2%	51.9%	18.5%	29.6%	1.9%	44.4%	3.7%	3.7%	7.4%	29.6%	20.4%	14.8%	13.0%	7.4%	7.4%	0.0%
100~199床	190	5.8%	12.1%	52.1%	27.4%	34.2%	3.2%	35.3%	5.3%	7.4%	13.7%	32.6%	17.4%	22.6%	12.6%	5.8%	2.1%	1.1%
200~299床	175	13.7%	22.9%	47.4%	39.4%	26.3%	2.9%	33.7%	3.4%	9.7%	14.3%	32.6%	21.7%	22.3%	15.4%	1.7%	1.1%	0.6%
300~399床	227	17.6%	17.2%	48.0%	44.5%	33.5%	2.2%	28.6%	5.3%	10.1%	14.1%	37.4%	20.3%	23.8%	16.7%	2.6%	2.2%	1.3%
400~499床	168	16.7%	17.3%	48.8%	51.2%	25.6%	1.8%	22.0%	7.1%	15.5%	8.9%	32.1%	25.0%	25.6%	13.1%	1.2%	1.2%	0.0%
500床以上	266	20.7%	12.0%	58.6%	58.3%	37.2%	3.8%	18.0%	7.9%	23.7%	12.4%	44.4%	30.5%	31.2%	18.4%	3.4%	0.4%	0.0%

(5) 主な
配布先へ

(5) 主な
通知先へ

(5) 周知
方法へ

(5) 要請
方法へ

(5) 入手した情報を、院内でどのように伝達し、措置を講じましたか。 (2/2)

(1) 採用 状況別

(複数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



	調査数	院内に掲示	情報を印刷して回覧	情報（原本又はコピー）を紙面で配布	医師等に電子メール等で通知	薬事委員会等で説明	入手した情報に関する説明会を開催	使用している医師等と面談して説明	処方された患者を特定し、その患者のカルテへ注意書きを貼付	処方された患者を特定し、その患者のカルテへ注意書きを貼付	セージ（警告）表示	オランダリングシステム、電子カルテシステム上でメッセージ（警告）表示	薬局・薬剤科（部）から払出し（調剤）時に疑義照会・確認	医師へ検査の徹底を周知	医師による副作用モニタリングを要請	薬剤師が検査の実施状況を確認	薬剤師が処方された患者を特定し、医師と協働して副作用の有無を確認	その他	特に措置を講じなかった	無回答
全 体	1,120	15.0%	16.0%	50.8%	43.8%	31.9%	2.8%	27.9%	5.8%	13.2%	12.4%	35.9%	22.9%	24.5%	15.1%	3.4%	1.8%	0.5%		
ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から、採用（取扱）している	1,000	15.3%	16.3%	53.6%	45.8%	31.7%	2.6%	27.6%	6.2%	13.9%	11.9%	37.7%	24.5%	24.9%	15.9%	2.9%	1.3%	0.5%		
ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に、採用（取扱）を始めた	120	12.5%	13.3%	27.5%	26.7%	33.3%	4.2%	30.0%	2.5%	7.5%	16.7%	20.8%	10.0%	20.8%	8.3%	7.5%	5.8%	0.8%		

(5) 主な
配布先へ

(5) 主な
通知先へ

(5) 周知
方法へ

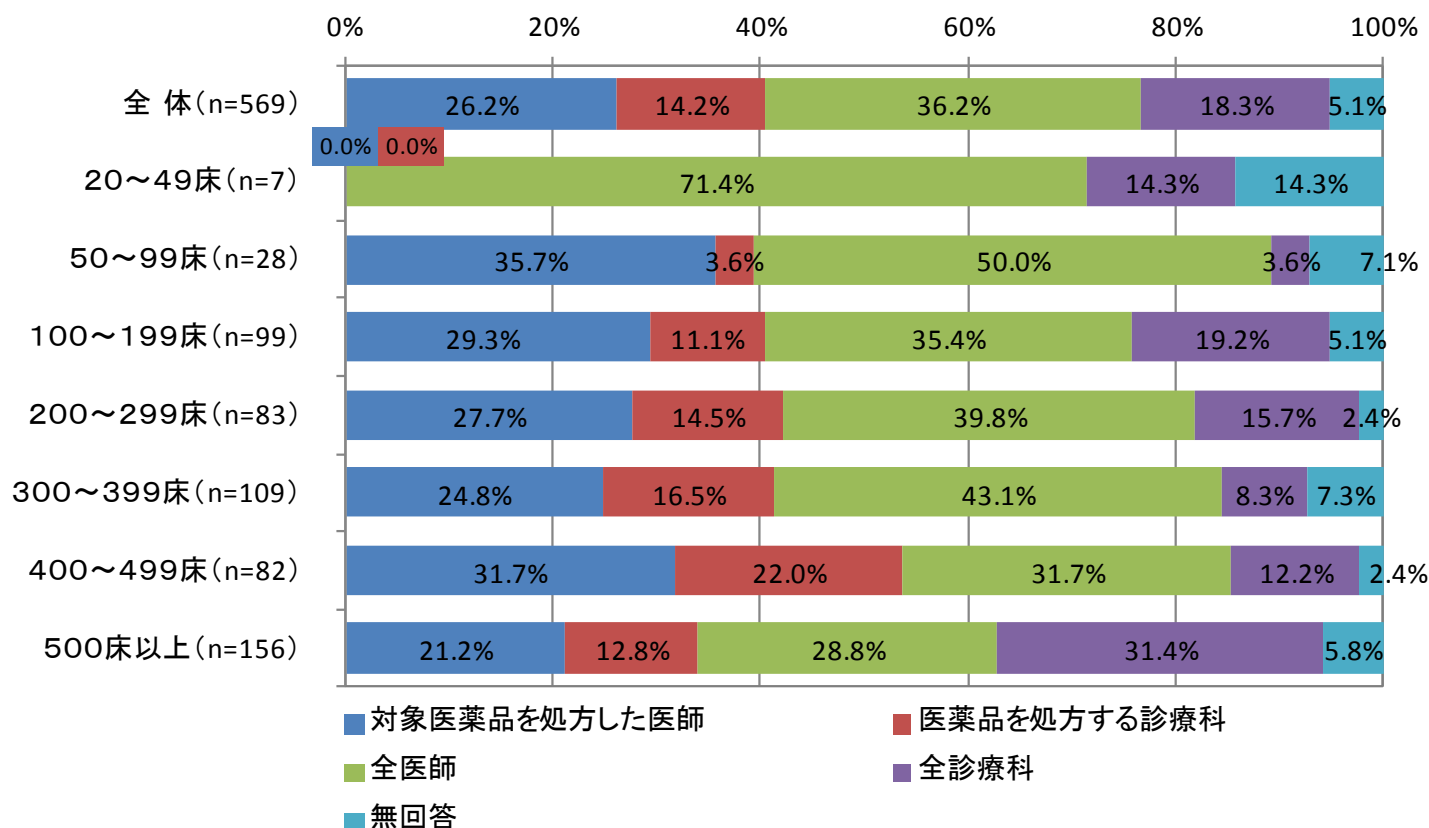
(5) 要請
方法へ

(5) (情報(原本又はコピー)を紙面で配布している場合) 主な配布先 (1/2)

病床規模別

(単数回答)

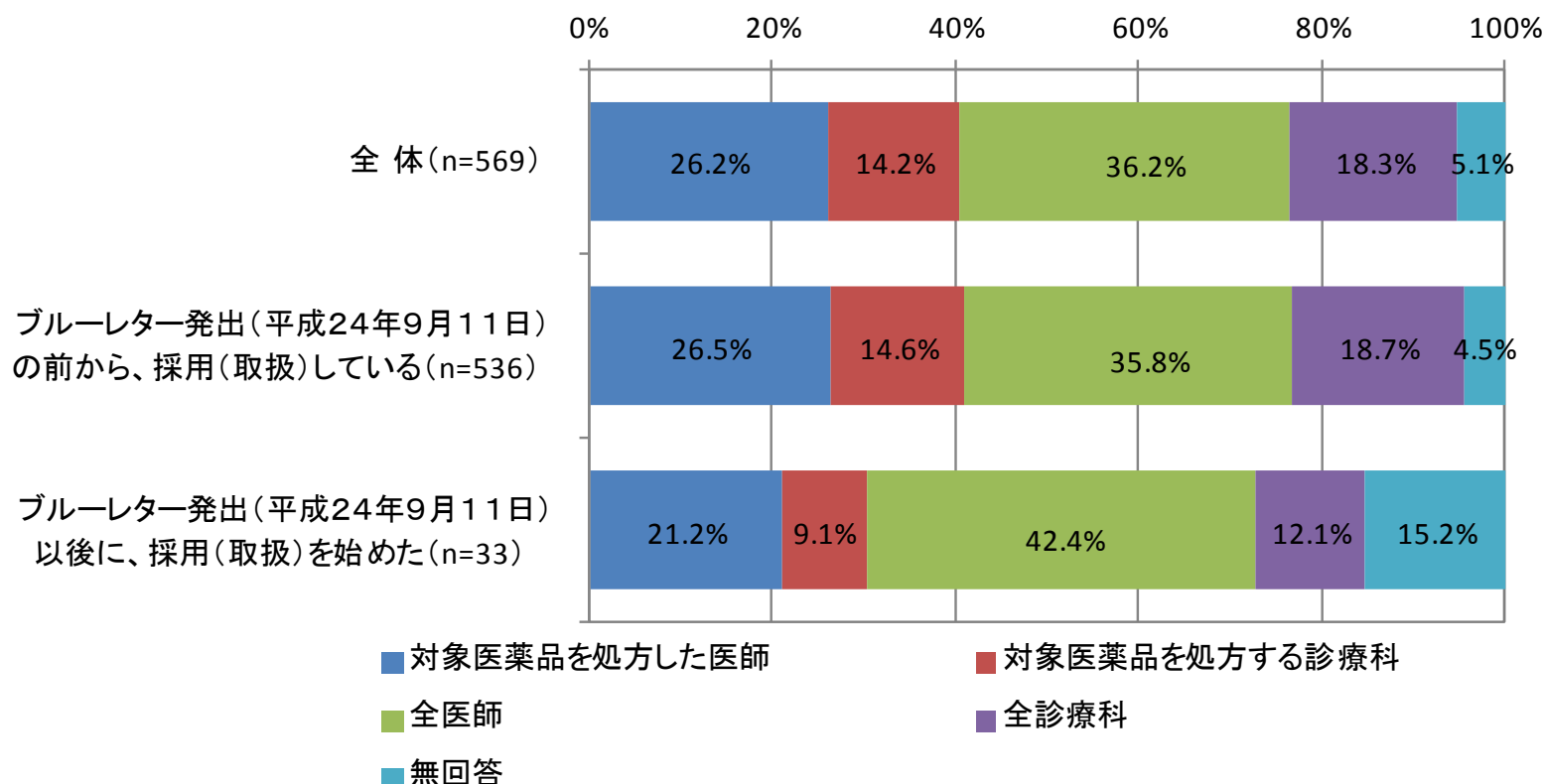
集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出(平成24年9月11日)の前から採用している」/
「ブルーレター発出(平成24年9月11日)以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設のうち、「情報(原本
又はコピーを紙面で配布」している施設



(5) (情報(原本又はコピー)を紙面で配布している場合) 主な配布先 (2/2)

(1) 採用 状況別

(単数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出(平成24年9月11日)の前から採用している」/
「ブルーレター発出(平成24年9月11日)以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設のうち、「情報(原本)
又はコピーを紙面で配布」している施設

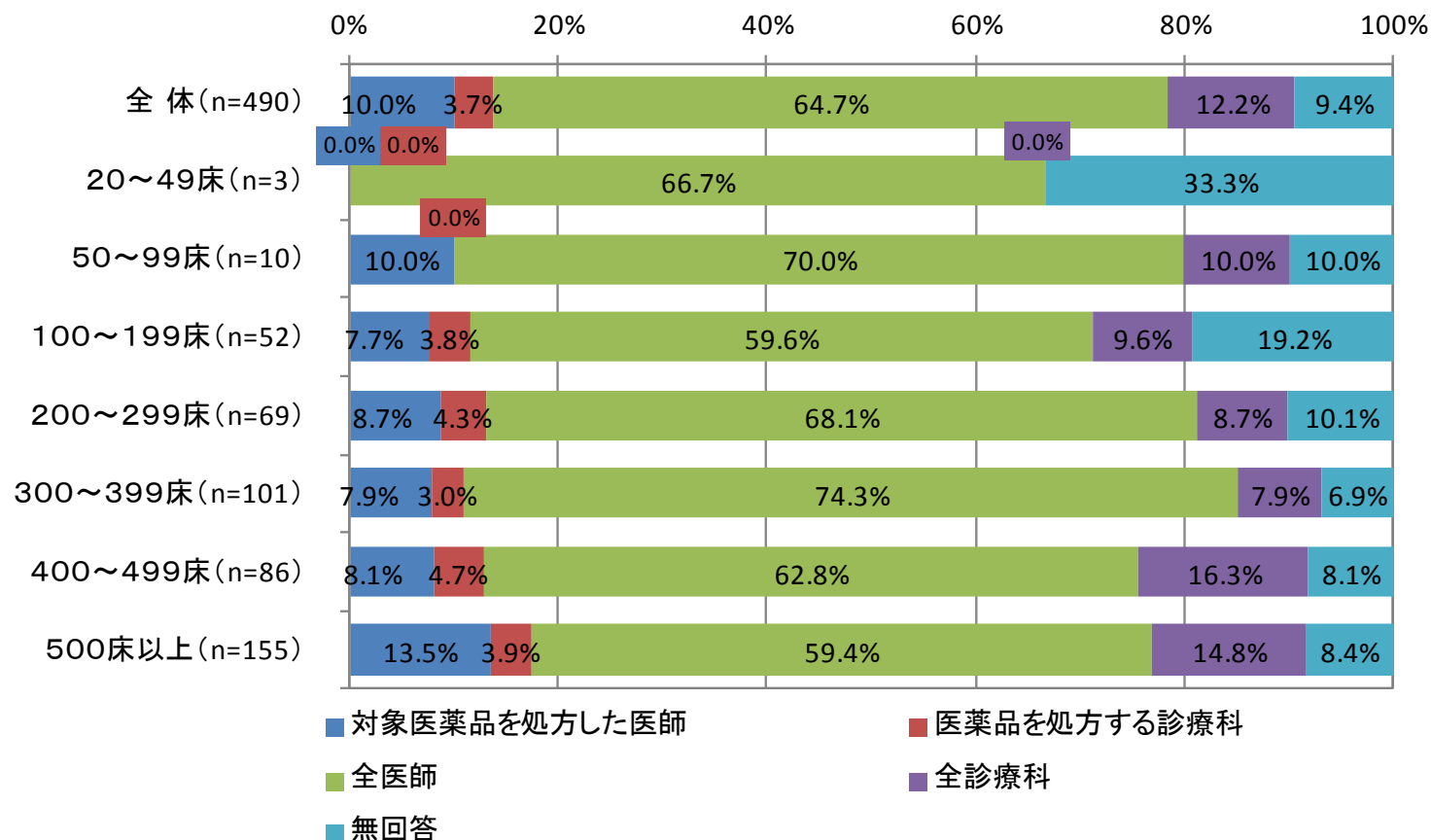


(5) (医師等に電子メール等で通知している場合) 主な通知先(1/2)

病床規模別

(単数回答)

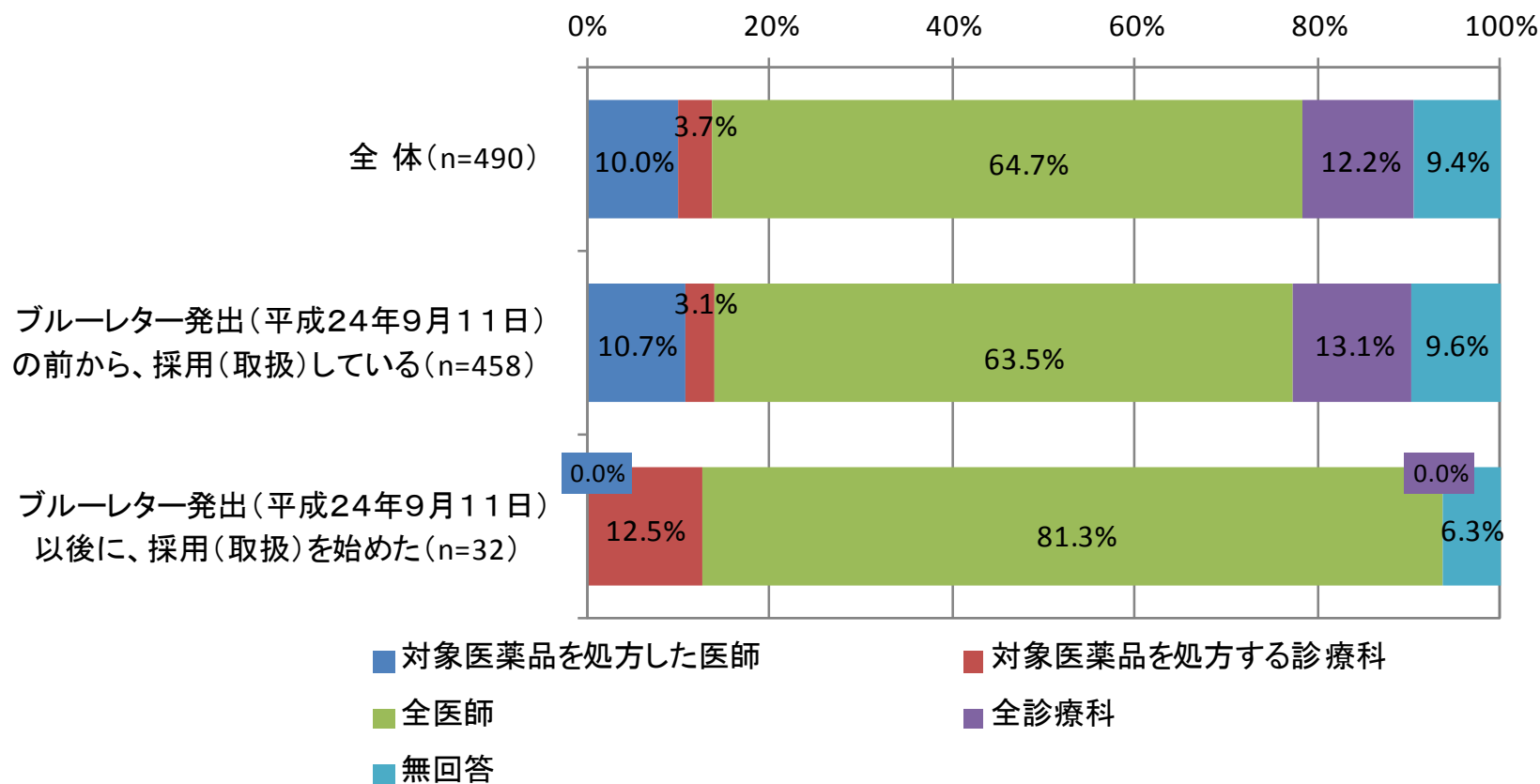
集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設のうち、「医師等に電子
メール等で通知」している施設



(5) (医師等に電子メール等で通知している場合) 主な通知先(2/2)

(1) 採用 状況別

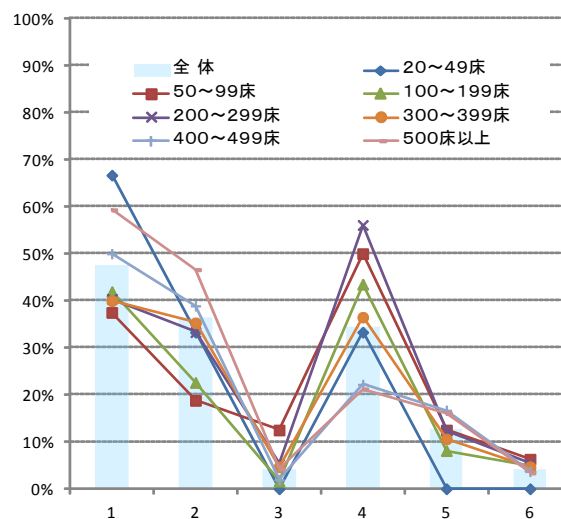
(単数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出(平成24年9月11日)の前から採用している」/
「ブルーレター発出(平成24年9月11日)以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設のうち、「医師等に電子
メール等で通知」している施設



(5) (医師への検査の徹底を周知している場合) 周知方法(1/2)

病床規模別

(複数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出(平成24年9月11日)の前から採用している」/
「ブルーレター発出(平成24年9月11日)以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設のうち、「医師へ検査の
徹底を周知」している施設

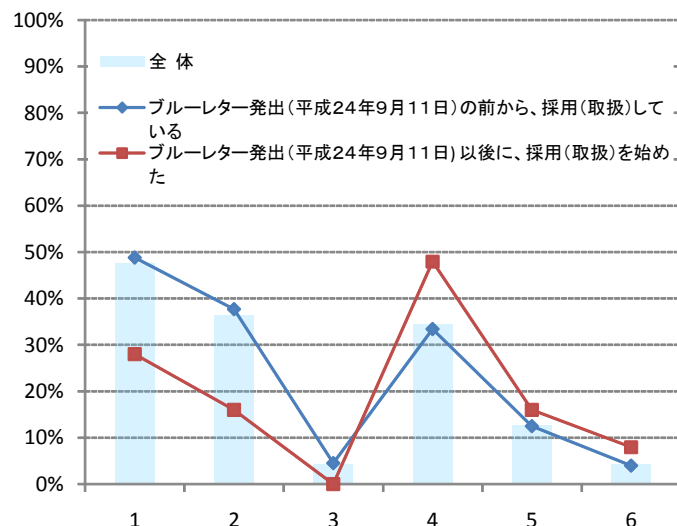


	調査数	お知らせ配布	電子メール	説明会	処方医と面談	その他	無回答
全 体	402	47.5%	36.3%	4.2%	34.3%	12.7%	4.2%
20~49床	6	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
50~99床	16	37.5%	18.8%	12.5%	50.0%	12.5%	6.3%
100~199床	62	41.9%	22.6%	1.6%	43.5%	8.1%	4.8%
200~299床	57	40.4%	33.3%	5.3%	56.1%	12.3%	5.3%
300~399床	85	40.0%	35.3%	4.7%	36.5%	10.6%	4.7%
400~499床	54	50.0%	38.9%	1.9%	22.2%	16.7%	3.7%
500床以上	118	59.3%	46.6%	4.2%	21.2%	16.1%	3.4%

(5) (医師への検査の徹底を周知している場合) 周知方法(2/2)

(1) 採用 状況別

(複数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出(平成24年9月11日)の前から採用している」/
「ブルーレター発出(平成24年9月11日)以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設のうち、「医師へ検査の
徹底を周知」している施設

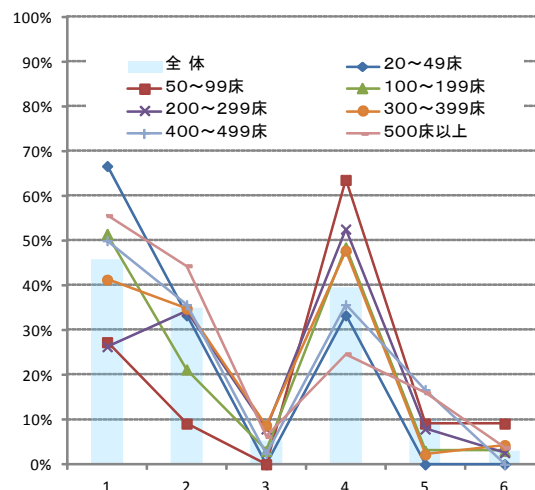


	調査数	お知らせ配布	電子メール	説明会	処方医と面談	その他	無回答
全 体	402	47.5%	36.3%	4.2%	34.3%	12.7%	4.2%
ブルーレター発出(平成24年9月11日)の前から、採用(取扱)している	377	48.8%	37.7%	4.5%	33.4%	12.5%	4.0%
ブルーレター発出(平成24年9月11日)以後に、採用(取扱)を始めた	25	28.0%	16.0%	0.0%	48.0%	16.0%	8.0%

(5) (医師による副作用モニタリングを要請している場合) 要請方法 (1/2)

病床規模別

(複数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設のうち、「医師による
副作用モニタリングを要請」している施設

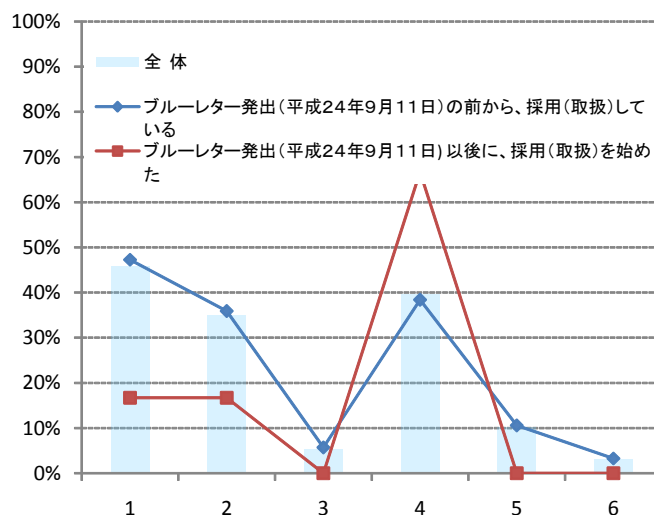


	調査数	お知らせ配布	電子メール	説明会	処方医と面談	その他	無回答
全 体	257	45.9%	35.0%	5.4%	39.7%	10.1%	3.1%
20～49床	3	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
50～99床	11	27.3%	9.1%	0.0%	63.6%	9.1%	9.1%
100～199床	33	51.5%	21.2%	3.0%	48.5%	3.0%	3.0%
200～299床	38	26.3%	34.2%	7.9%	52.6%	7.9%	2.6%
300～399床	46	41.3%	34.8%	8.7%	47.8%	2.2%	4.3%
400～499床	42	50.0%	35.7%	2.4%	35.7%	16.7%	0.0%
500床以上	81	55.6%	44.4%	6.2%	24.7%	16.0%	3.7%

(5) (医師による副作用モニタリングを要請している場合) 要請方法 (2/2)

(1) 採用状況別

(複数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設のうち、「医師による副作用モニタリングを要請」している施設



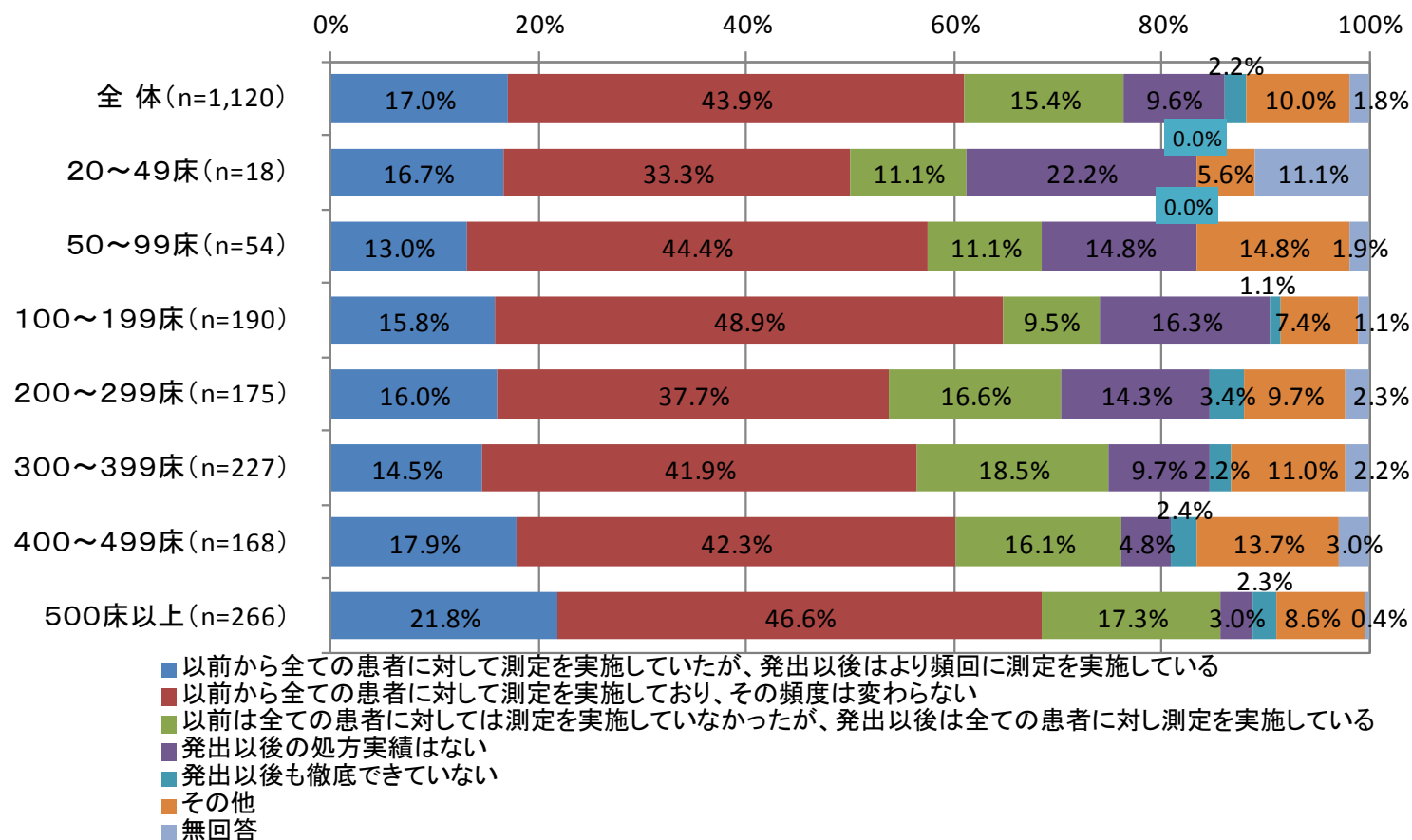
	調査数	お知らせ配布	電子メール	説明会	処方医と面談	その他	無回答
全 体	257	45.9%	35.0%	5.4%	39.7%	10.1%	3.1%
ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から、採用（取扱）している	245	47.3%	35.9%	5.7%	38.4%	10.6%	3.3%
ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に、採用（取扱）を始めた	12	16.7%	16.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%

(6) ブルーレター発出以後、本剤の使用にあたって、血清カルシウム濃度の測定を実施していますか。(1/2)

病床規模別

(単数回答)

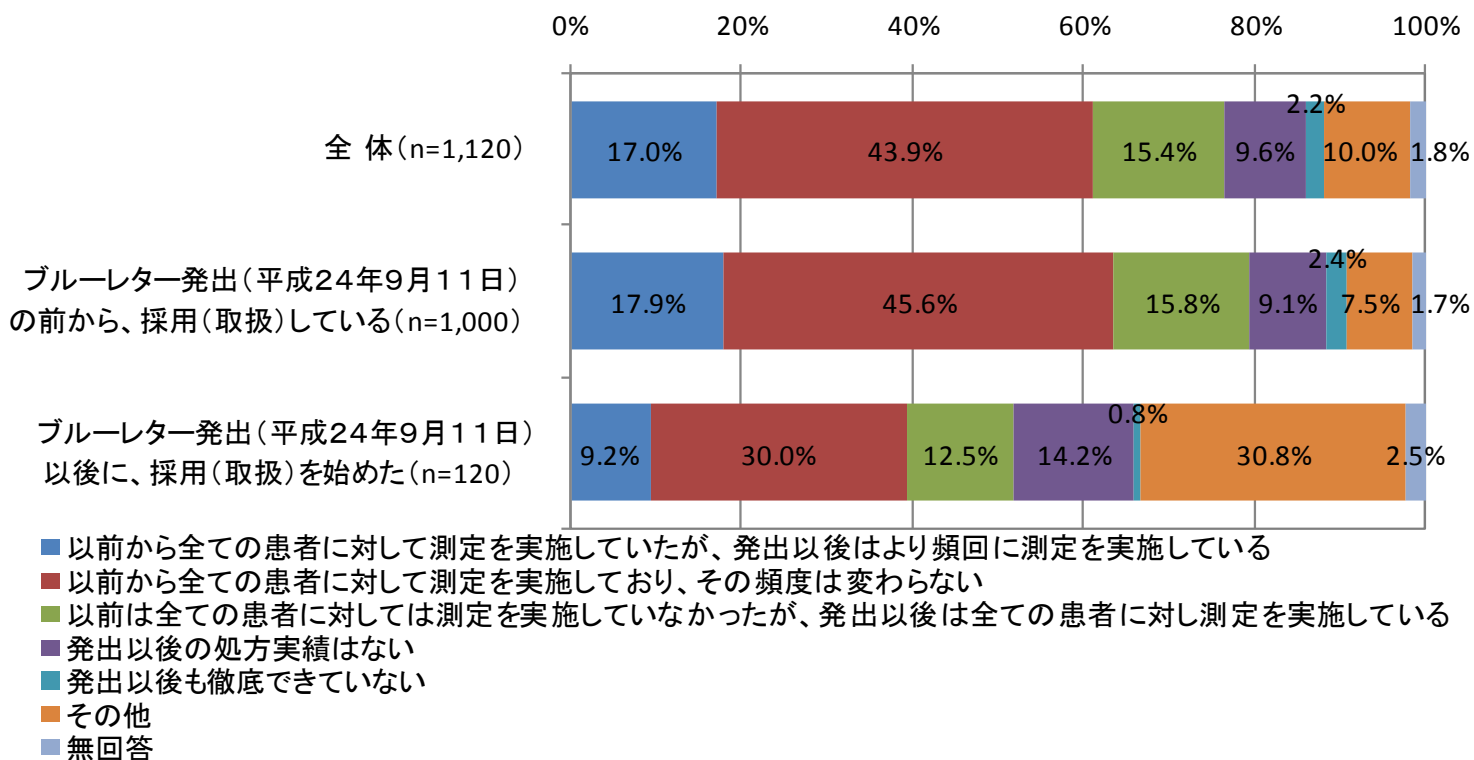
集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



(6) ブルーレター発出以後、本剤の使用にあたって、血清カルシウム濃度の測定を実施していますか。(2/2)

(1) 採用 状況別

(単数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出(平成24年9月11日)の前から採用している」/
「ブルーレター発出(平成24年9月11日)以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設

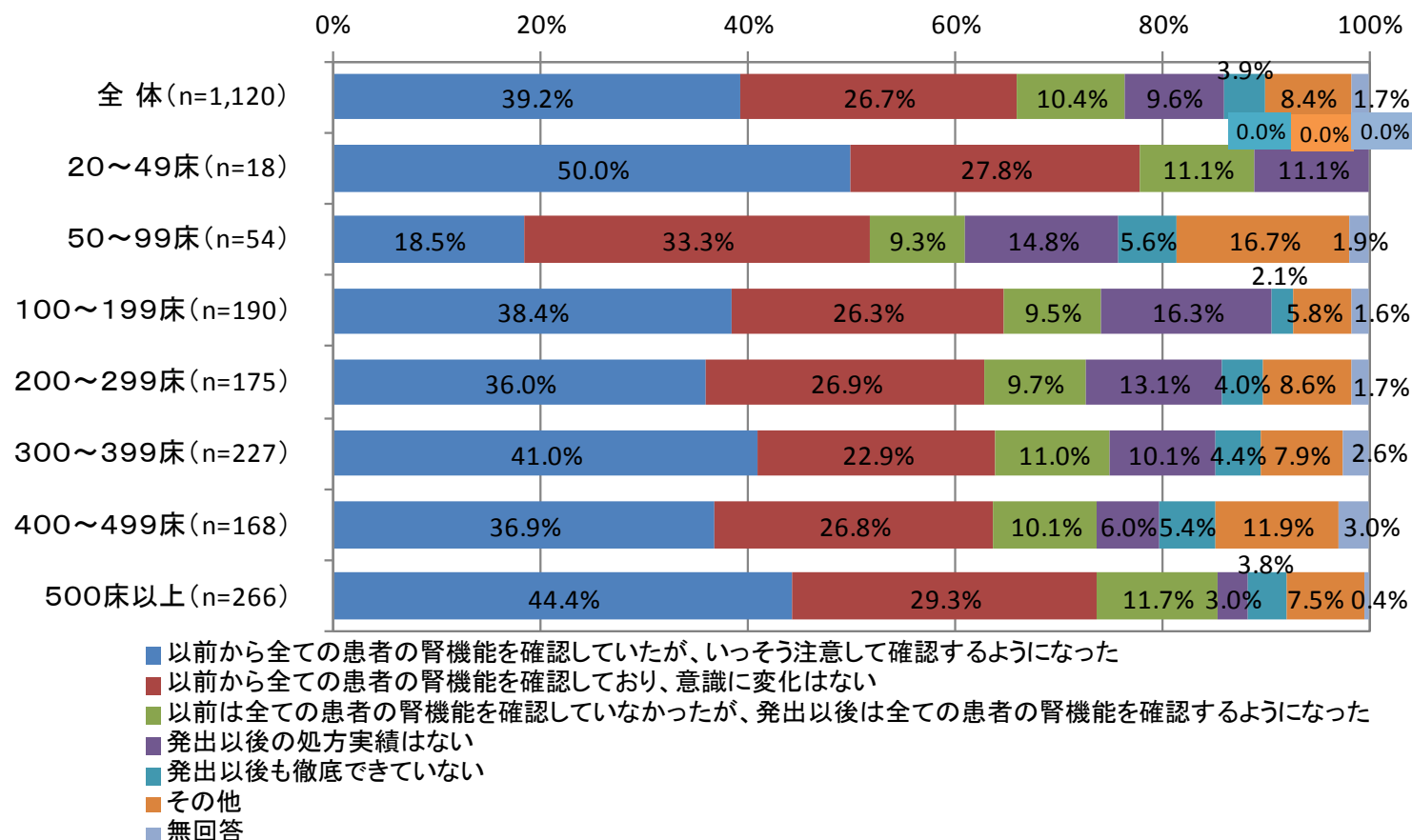


(7) ブルーレター発出以後、本剤の使用にあたって、重度の腎機能障害のある患者で特に低カルシウム血症の危険性が高いことを考慮していますか。 (1/2)

病床規模別

(単数回答)

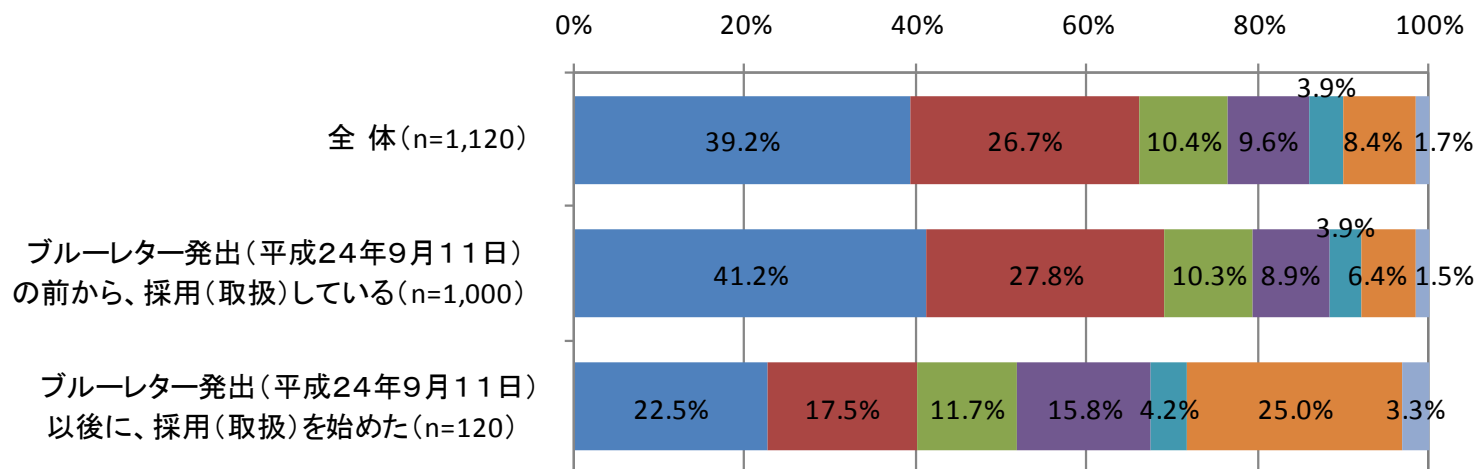
集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



(7) ブルーレター発出以後、本剤の使用にあたって、重度の腎機能障害のある患者で特に低カルシウム血症の危険性が高いことを考慮していますか。 (2/2)

(1) 採用 状況別

(単数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設

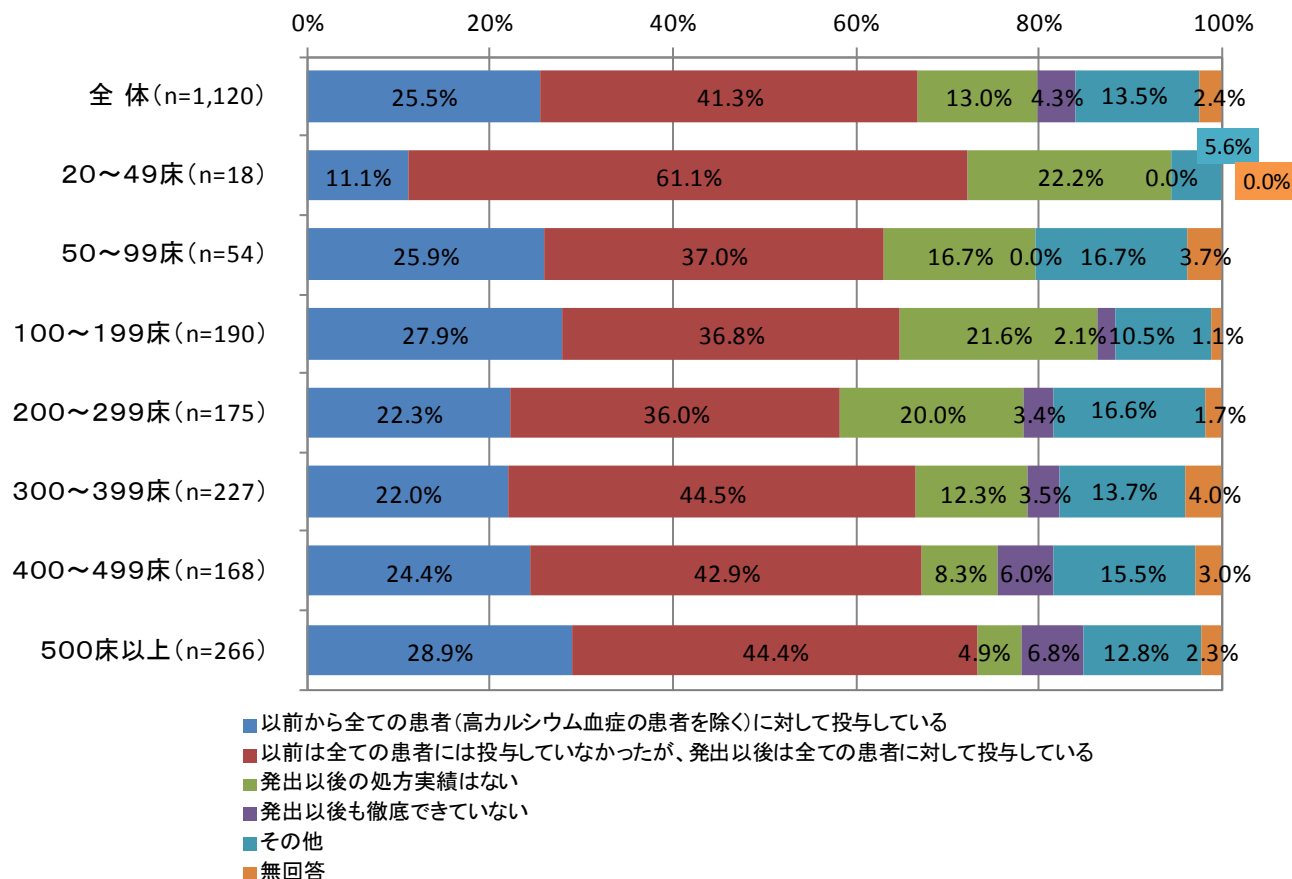


- 以前から全ての患者の腎機能を確認していたが、いっそう注意して確認するようになった
- 以前から全ての患者の腎機能を確認しており、意識に変化はない
- 以前は全ての患者の腎機能を確認していなかったが、発出以後は全ての患者の腎機能を確認するようになった
- 発出以後の処方実績はない
- 発出以後も徹底できていない
- その他
- 無回答

(8) ブルーレター発出以後、本剤の使用にあたって、低カルシウム血症の発現を軽減するために、カルシウム製剤とビタミンDを投与していますか。 (1/2)

病床規模別

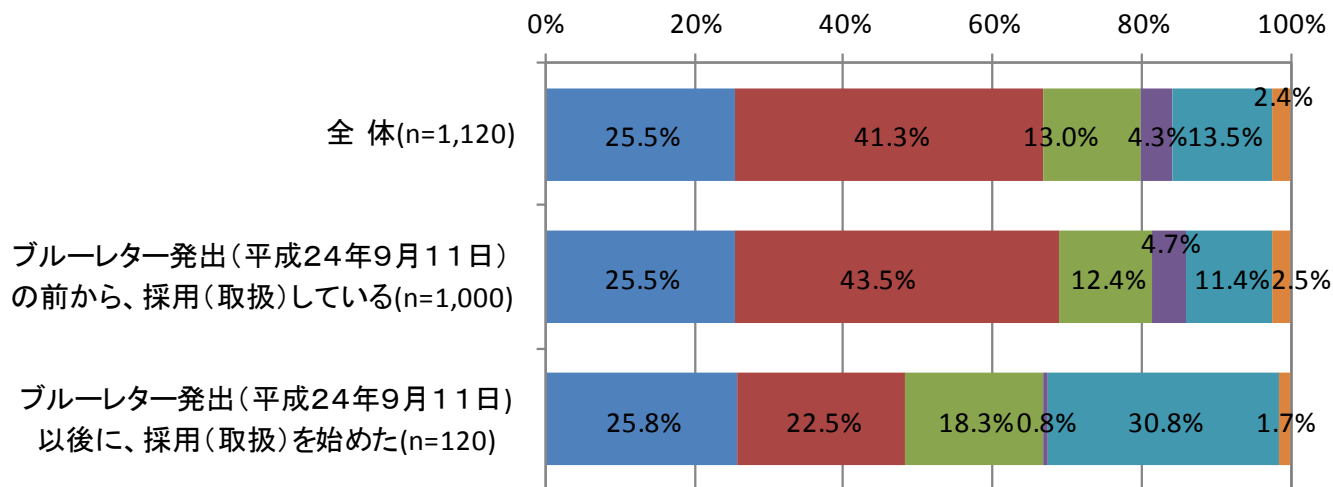
(単数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



(8) ブルーレター発出以後、本剤の使用にあたって、低カルシウム血症の発現を軽減するために、カルシウム製剤とビタミンDを投与していますか。 (2/2)

(1) 採用 状況別

(単数回答) 集計対象：デノスマブを「ブルーレター発出（平成24年9月11日）の前から採用している」/
「ブルーレター発出（平成24年9月11日）以後に採用を始めた」施設で、
平成24年9月11日のブルーレターの内容を知っている施設



- 以前から全ての患者（高カルシウム血症の患者を除く）に対して投与している
- 以前は全ての患者には投与していなかったが、発出以後は全ての患者に対して投与している
- 発出以後の処方実績はない
- 発出以後も徹底できていない
- その他
- 無回答

(9) この事例のように、定期的な検査の実施が必要とされている医薬品について、検査の実施または検査値の確認漏れを防ぐために、何か工夫されていることはありますか。

主な意見

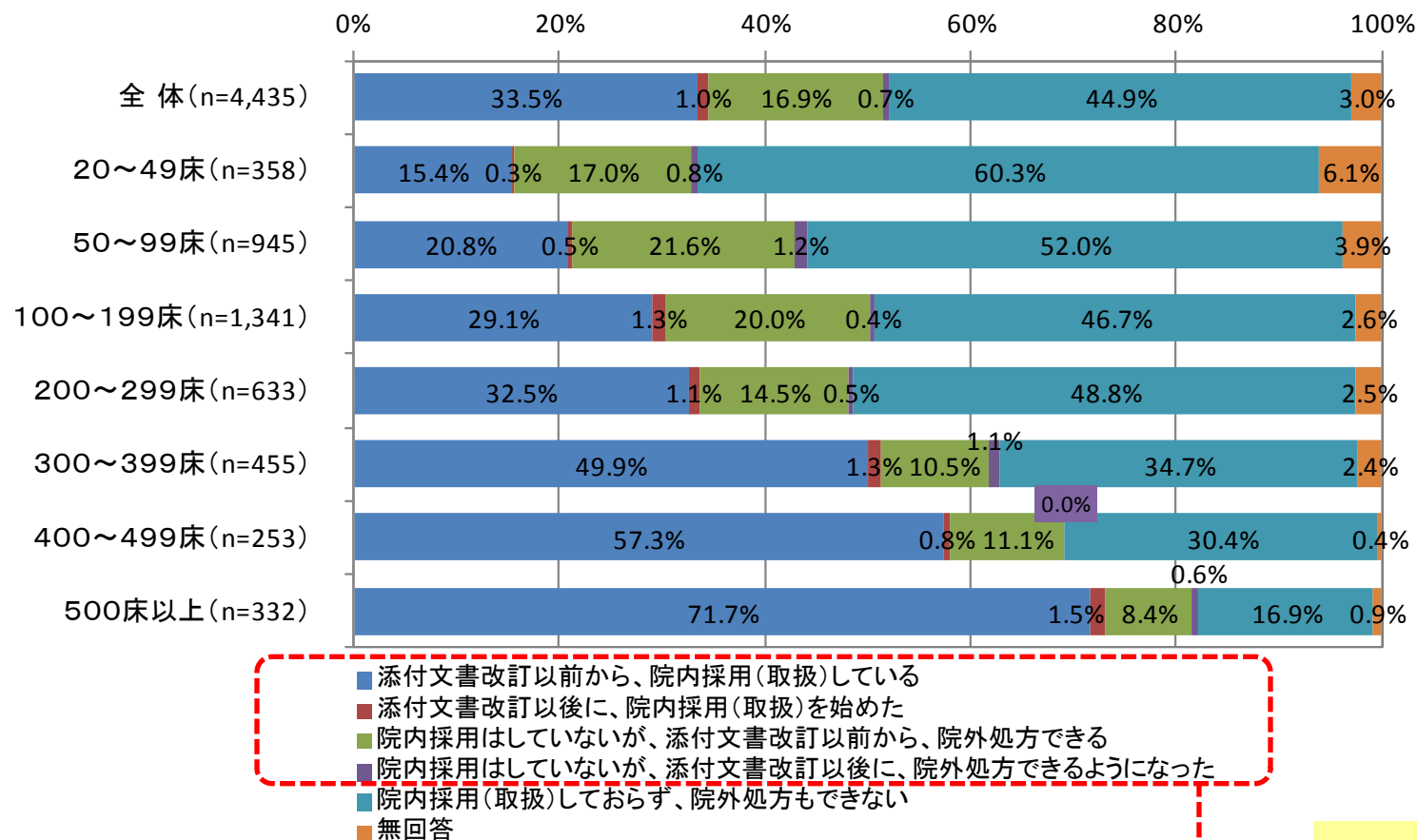
- オーダリング・システム上でアラートが出るよう設定している。
- 患者に注意文書を配布している。
- 薬剤科から払い出し時に医師・患者を確認している。
- レジメン登録を行い、実施までに薬剤師が検査値の確認をしている。
- 処方制限は設けていないが、処方患者は全て施用一覧表を作成し管理している。検査値、Ca剤などの処方状況を薬剤師が確認している。

II 個別の薬剤の事例に関する調査

事例2：アリスキレンフマル酸塩 （販売名：ラジレス錠150mg）

(1) 現在、貴施設では、この医薬品を採用（取扱）していますか。

病床規模別 (単数回答)

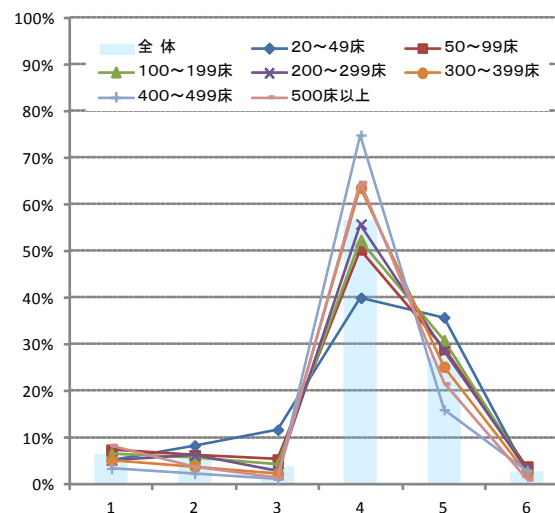


(1) - 1へ

(1) - 1 現在、処方（取扱）にあたって条件を設けていますか。

病床規模別

（複数回答） 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設

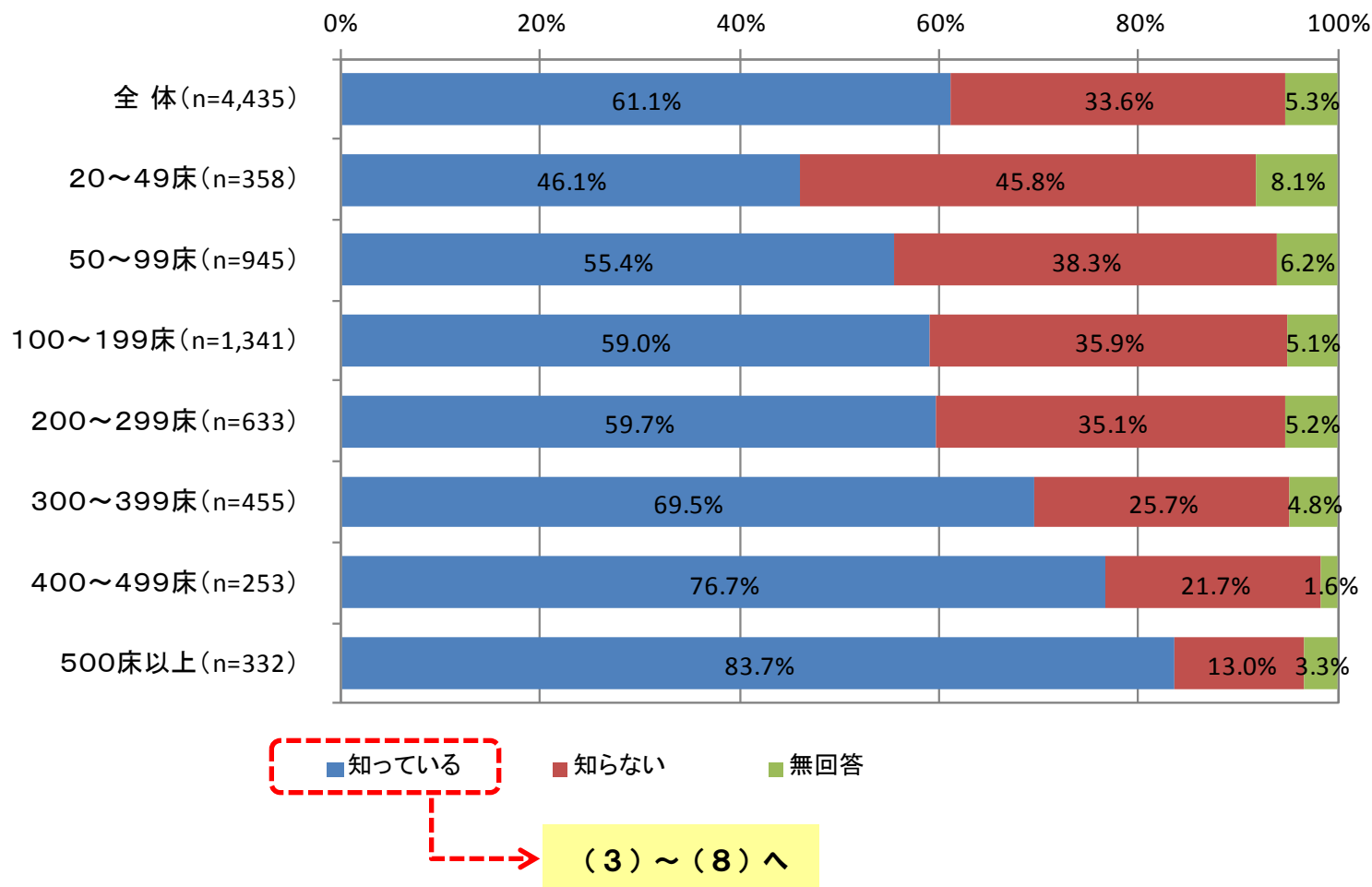


	調査数	限定処方 している 診療科、 医師を	処方できる 患者を限定して	検査などにより 患者の腎機能 を確認できるように している	その他	条件を 設けていない	無回答
全 体	2,310	6.3%	5.2%	3.9%	56.6%	27.4%	2.8%
20～49床	120	5.0%	8.3%	11.7%	40.0%	35.8%	2.5%
50～99床	417	7.4%	6.2%	5.3%	50.4%	29.0%	3.8%
100～199床	680	6.6%	5.6%	4.4%	52.4%	30.9%	2.8%
200～299床	308	5.2%	6.2%	2.9%	55.8%	28.6%	3.2%
300～399床	286	5.2%	3.8%	2.4%	63.6%	25.2%	2.4%
400～499床	175	3.4%	2.3%	1.1%	74.9%	16.0%	2.9%
500床以上	273	8.4%	3.7%	1.5%	64.8%	21.6%	1.1%

(2) ラジレスの添付文書が平成24年6月5日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。(1/4)

病床規模別

(単数回答)

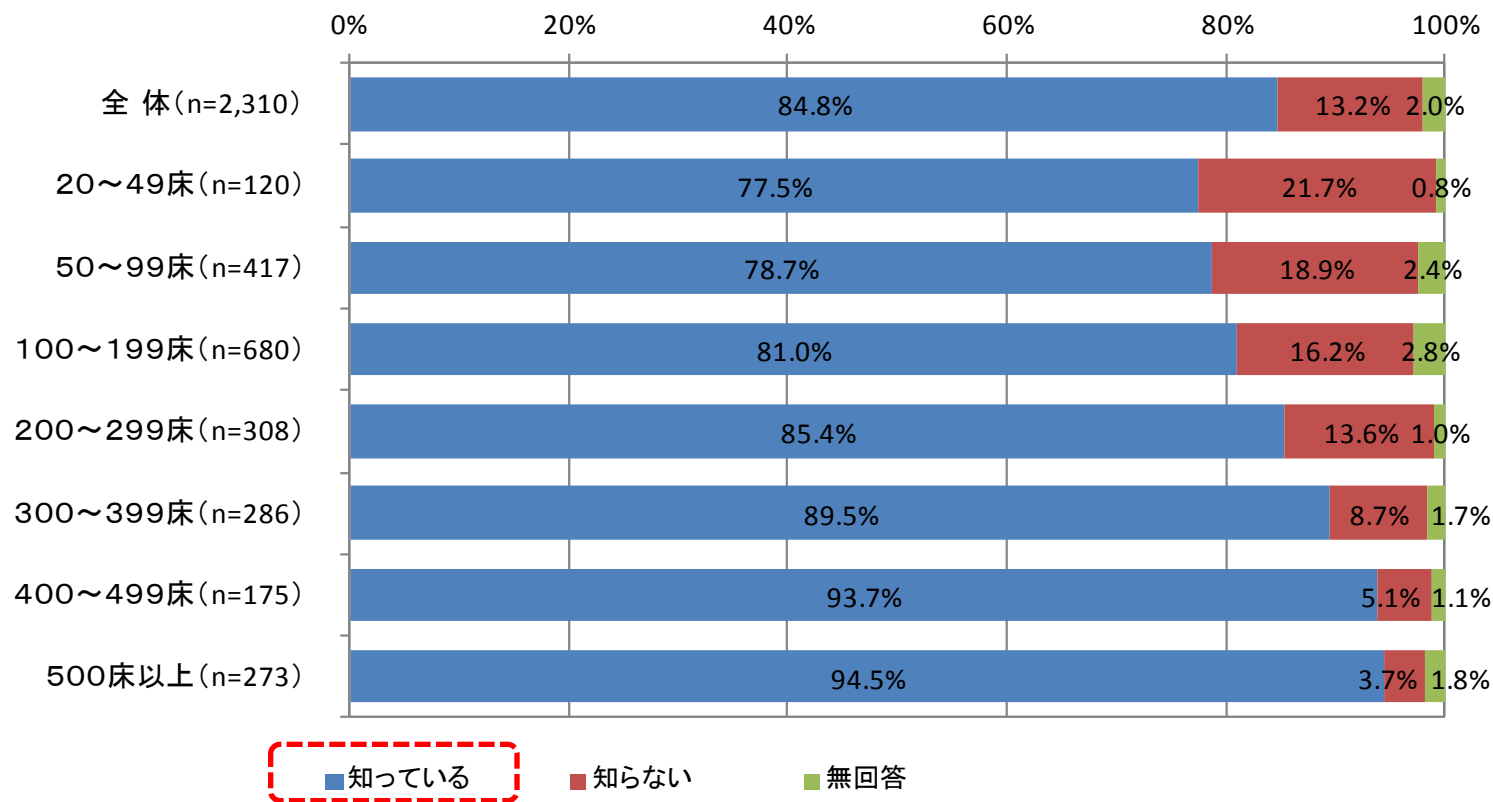


(2) ラジレスの添付文書が平成24年6月5日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。(2/4)

病床規模別

(単数回答)

集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/
「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/
「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設

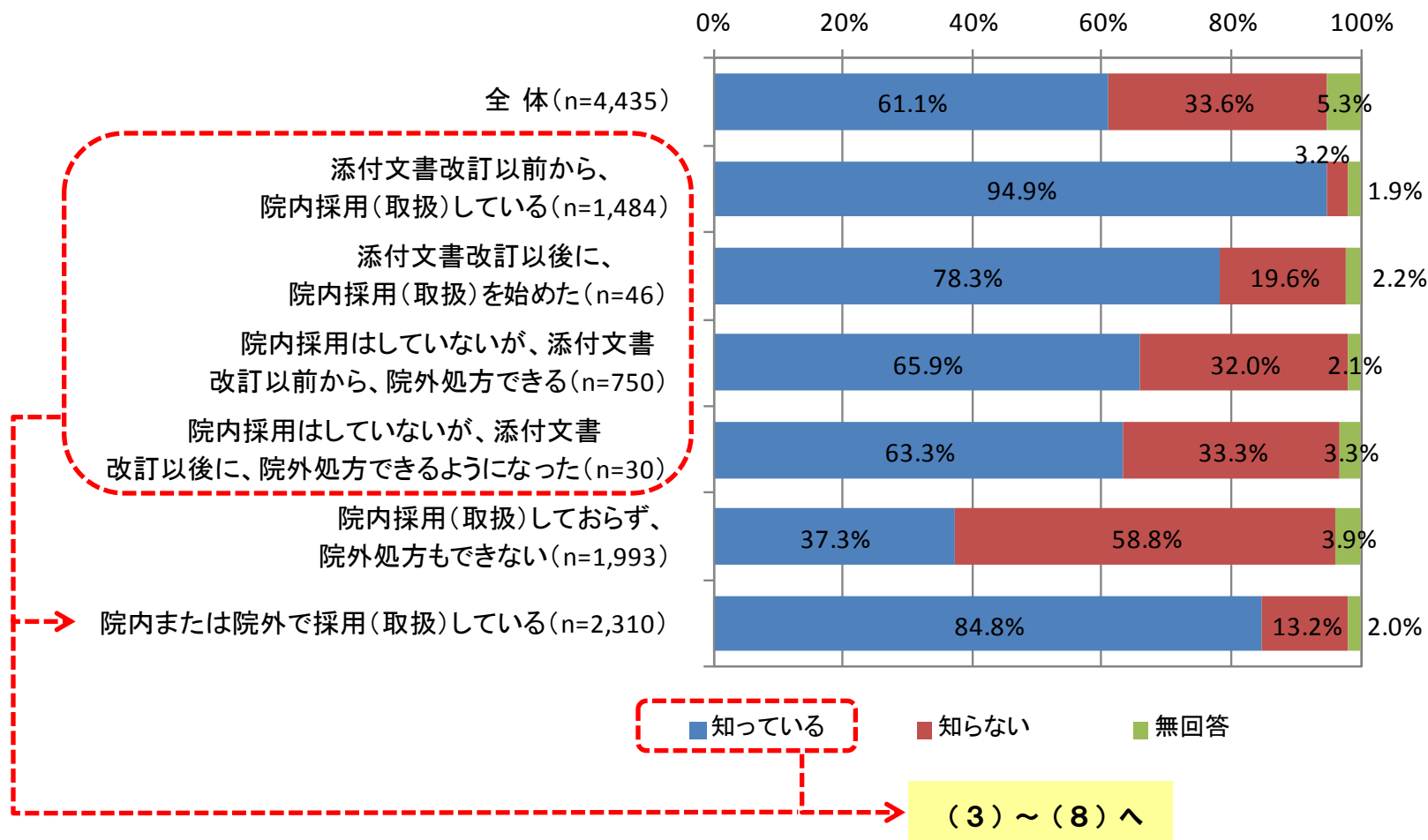


(3)～(8)へ

(2) ラジレスの添付文書が平成24年6月5日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。(3/4)

(1) 採用
状況別

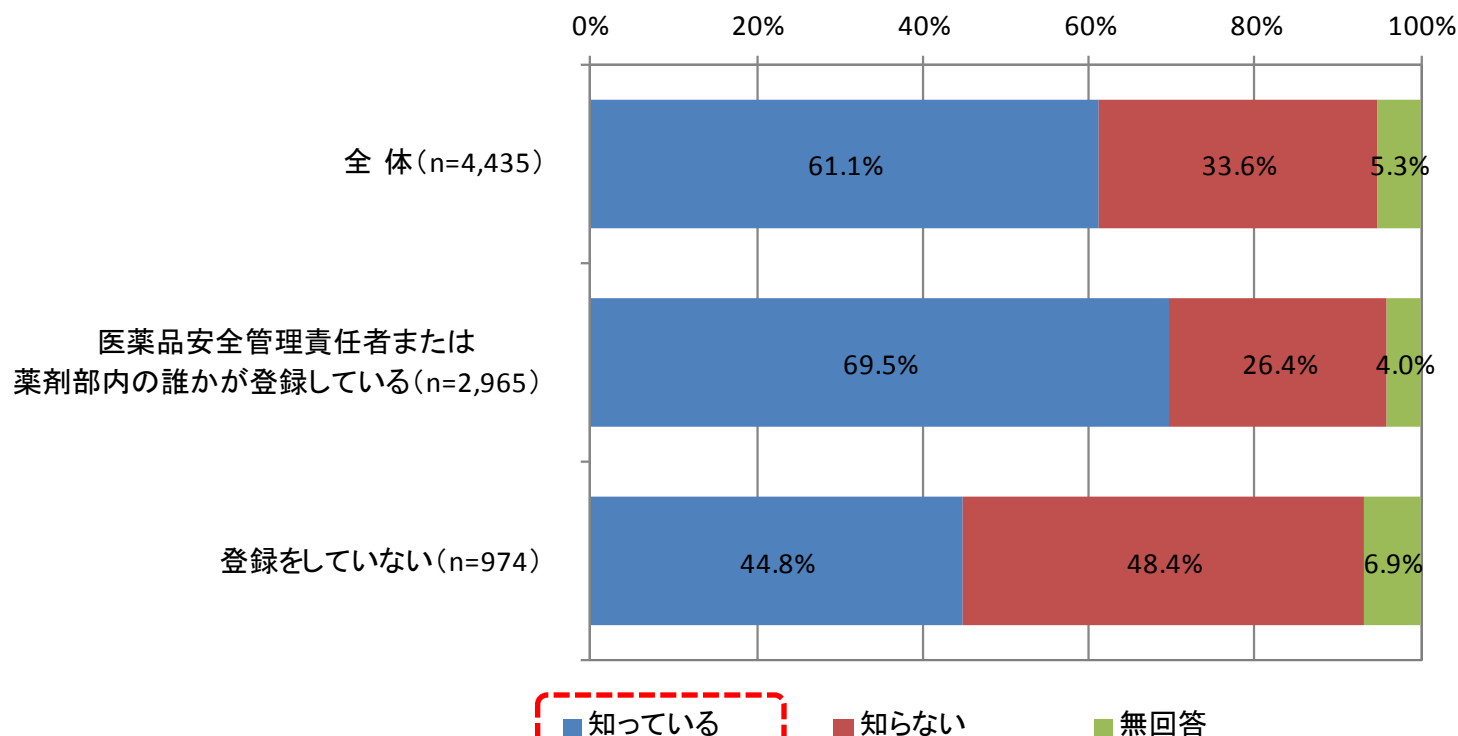
(単数回答)



(2) ラジレスの添付文書が平成24年6月5日に改訂されましたが、その注意喚起の内容をご存知ですか。(4/4)

問7・8 PMDAメディナビ への登録 状況別

(単数回答) 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設



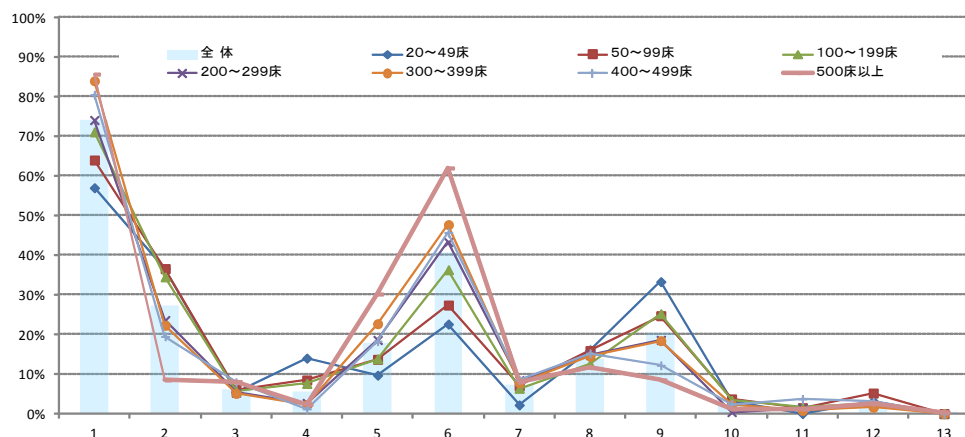
(3) ~ (8) へ

(3) ラジレスの添付文書が改訂されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かったものの番号に○をつけてください。(3つまで選択)(1/3)

病床規模別

(複数回答)
※3つまで

集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設



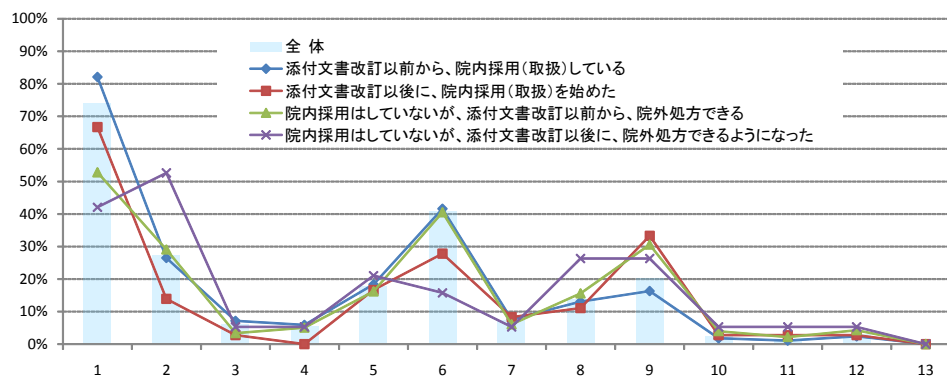
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者 (MR)	製薬企業のダイレクトメー ル(DM)	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者 (MS)	医薬品医療機器総合機構 (PMDA)のホームページ	PMDAメディアナビ	製薬企業、PMDA以外の ホームページ	医薬品・医療機器等安全 情報(厚生労働省発行)	医薬品・医療機器等安全 情報(厚生労働省発行)	体連合会発行) 日本製薬団	DSU(Drug Safety Update, 体連合会発行)	知り合いの薬剤師・医師間 での情報交換	新聞・業界紙等の報道	その他	無回答
全 体	1,958	74.1%	27.2%	6.1%	5.6%	17.8%	40.8%	7.2%	13.8%	20.3%	2.4%	1.5%	2.9%	0.1%		
20～49床	93	57.0%	36.6%	5.4%	14.0%	9.7%	22.6%	2.2%	16.1%	33.3%	3.2%	0.0%	3.2%	0.0%		
50～99床	328	64.0%	36.6%	6.1%	8.5%	13.7%	27.4%	7.0%	15.9%	24.7%	3.7%	1.5%	5.2%	0.0%		
100～199床	551	71.1%	34.5%	5.6%	7.6%	13.8%	36.3%	6.4%	12.5%	25.2%	3.3%	1.6%	2.5%	0.0%		
200～299床	263	74.1%	23.6%	5.3%	2.7%	18.6%	43.3%	8.4%	14.8%	18.6%	0.4%	1.5%	2.3%	0.0%		
300～399床	256	84.0%	22.3%	5.1%	2.3%	22.7%	47.7%	7.8%	14.5%	18.4%	2.3%	0.8%	1.6%	0.0%		
400～499床	164	80.5%	19.5%	7.9%	1.2%	18.3%	45.7%	8.5%	15.2%	12.2%	2.4%	3.7%	3.0%	0.0%		
500床以上	258	85.7%	8.5%	8.1%	2.3%	30.2%	62.0%	8.1%	11.6%	8.5%	1.2%	1.2%	2.7%	0.4%		

(3) ラジレスの添付文書が改訂されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かったものの番号に○をつけてください。(3つまで選択)(2/3)

(1) 採用状況別

(複数回答)
※3つまで

集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/
「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/
「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設



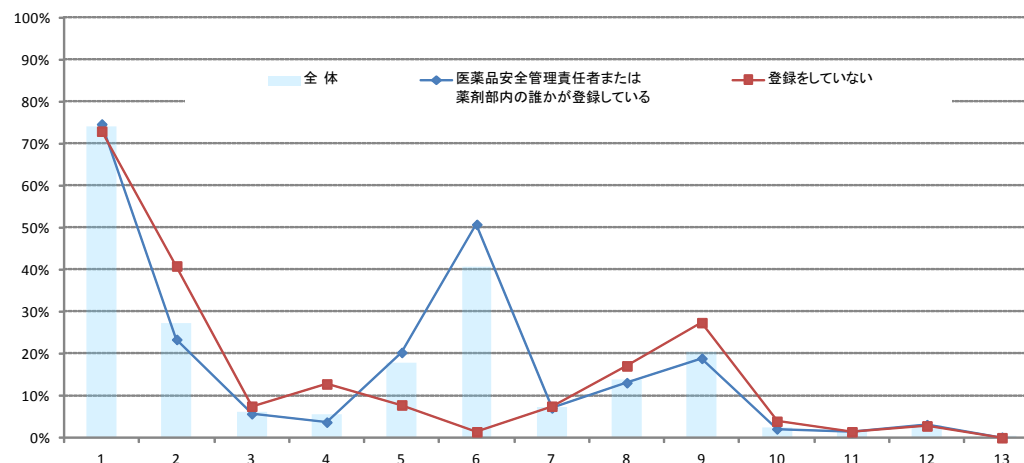
	調査数	製薬企業の 医薬情報担当者 （MR）	製薬企業の ダイレクトメール （DM）	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者（MS）	医薬品医療機器 総合機構 （PMDA）の ホームページ	PMDA メディナビ	製薬企業、PMDA 以外の ホームページ	医薬品・医療機器等 安全性情報 （厚生労働省発行）	医薬品・医療機器等 安全性情報 （厚生労働省発行）	連合会発行）	DSU （Drug Safety Update、 日本製薬団体 連合会発行）	知り合いの薬剤師・医師間で の情報交換	新聞・業界紙等の報道	その他	無回答
全 体	1,958	74.1%	27.2%	6.1%	5.6%	17.8%	40.8%	7.2%	13.8%	20.3%	2.4%	1.5%	2.9%	0.1%		
添付文書改訂以前から、院内採用（取扱）している	1,409	82.1%	26.5%	7.2%	5.9%	18.4%	41.6%	7.6%	13.1%	16.3%	1.8%	1.1%	2.4%	0.1%		
添付文書改訂以後に、院内採用（取扱）を始めた	36	66.7%	13.9%	2.8%	0.0%	16.7%	27.8%	8.3%	11.1%	33.3%	2.8%	2.8%	2.8%	0.0%		
院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる	494	52.8%	29.1%	3.4%	5.1%	16.2%	40.5%	6.1%	15.6%	30.6%	4.0%	2.2%	4.3%	0.0%		
院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった	19	42.1%	52.6%	5.3%	5.3%	21.1%	15.8%	5.3%	26.3%	26.3%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%		

(3) ラジレスの添付文書が改訂されたという情報を、どのようにして入手しましたか。入手先として早かったものの番号に○をつけてください。(3つまで選択) (3/3)

問7・8 PMDAメディナビ への登録 状況別

(複数回答)
※3つまで

集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/
「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/
「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設



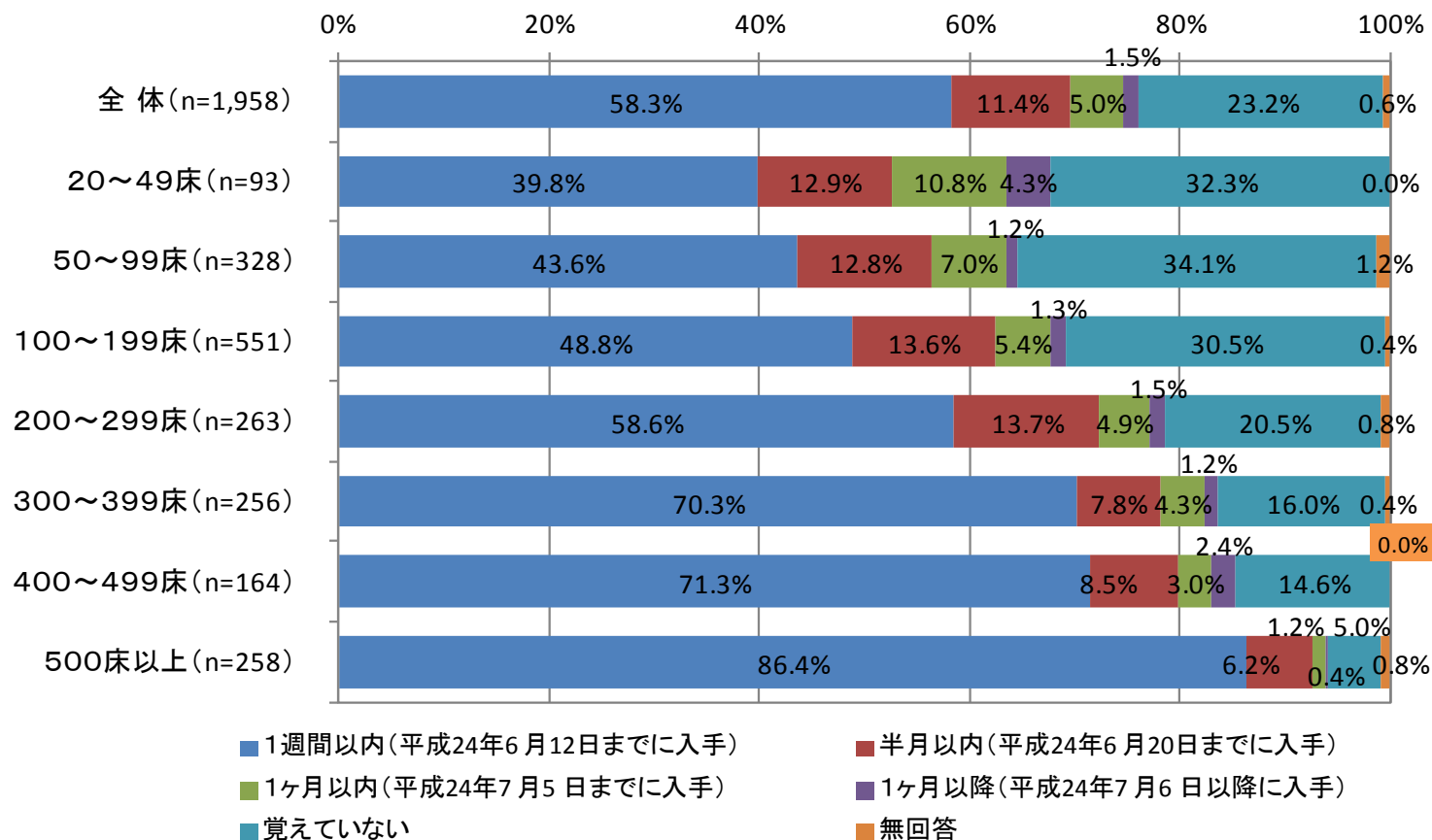
	調査数	製薬企業の医薬情報担当者 (MR)	製薬企業のダイレクトメール (DM)	製薬企業のホームページ	医薬品卸販売担当者 (MS)	医薬品医療機器総合機構 (PMDA)のホームページ	PMDAメディナビ	製薬企業、PMDA以外の ホームページ	医薬品・医療機器等安全性 情報（厚生労働省発行）	医薬品・医療機器等安全性 情報（厚生労働省発行） 体連（厚生労働省発行）	DSU（Drug Safety Update、日本製薬団 体連合会発行）	知り合いの薬剤師・医師間 での情報交換	新聞・業界紙等の報道	その他	無回答
全 体	1,958	74.1%	27.2%	6.1%	5.6%	17.8%	40.8%	7.2%	13.8%	20.3%	2.4%	1.5%	2.9%	0.1%	
医薬品安全管理責任者または 薬剤部内の誰かが登録している	1,531	74.7%	23.4%	5.7%	3.7%	20.3%	50.8%	7.1%	13.1%	18.9%	2.1%	1.4%	3.1%	0.1%	
登録をしていない	281	73.0%	40.9%	7.5%	12.8%	7.8%	1.4%	7.5%	17.1%	27.4%	3.9%	1.4%	2.8%	0.0%	

(4) 最も早かった入手時期はいつですか。(1/3)

病床規模別

(単数回答)

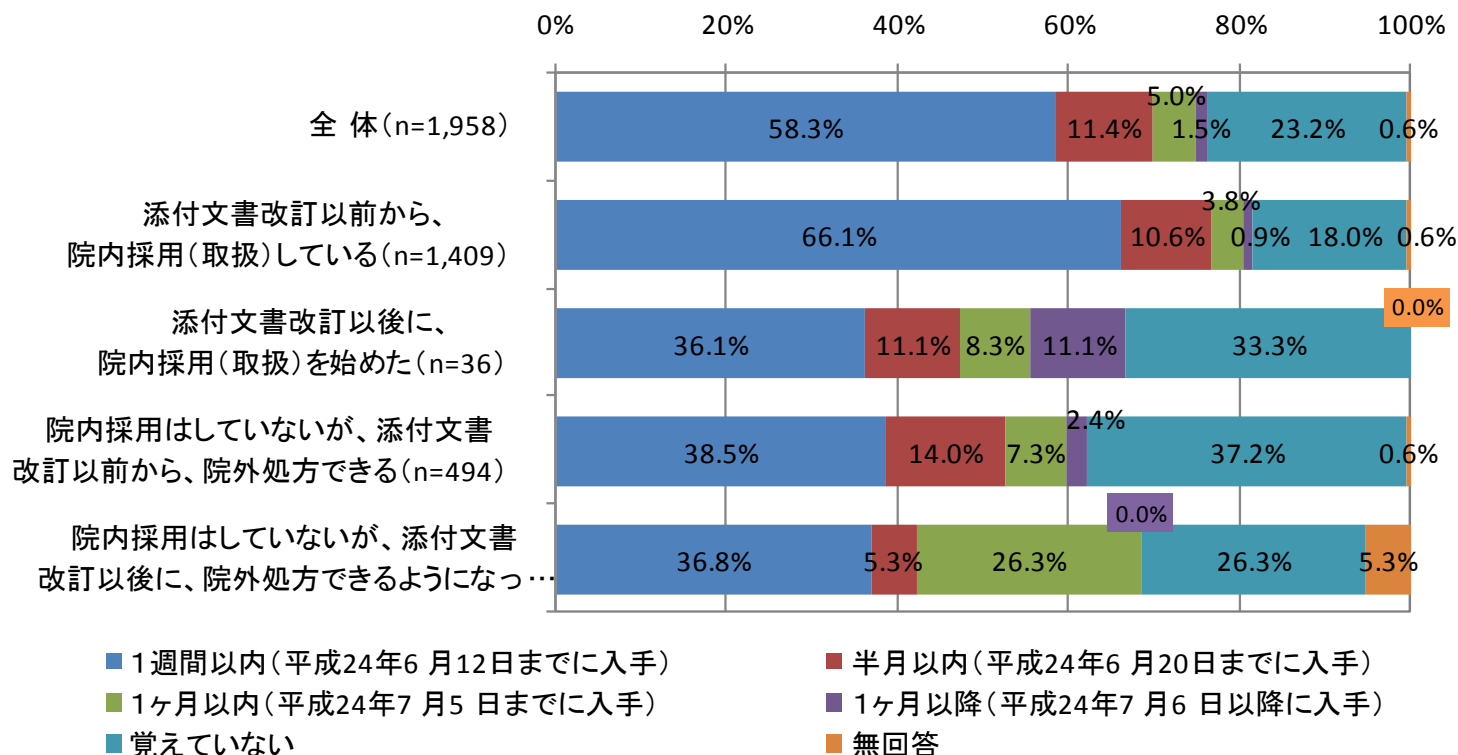
集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設



(4) 最も早かった入手時期はいつですか。(2/3)

(1) 採用 状況別

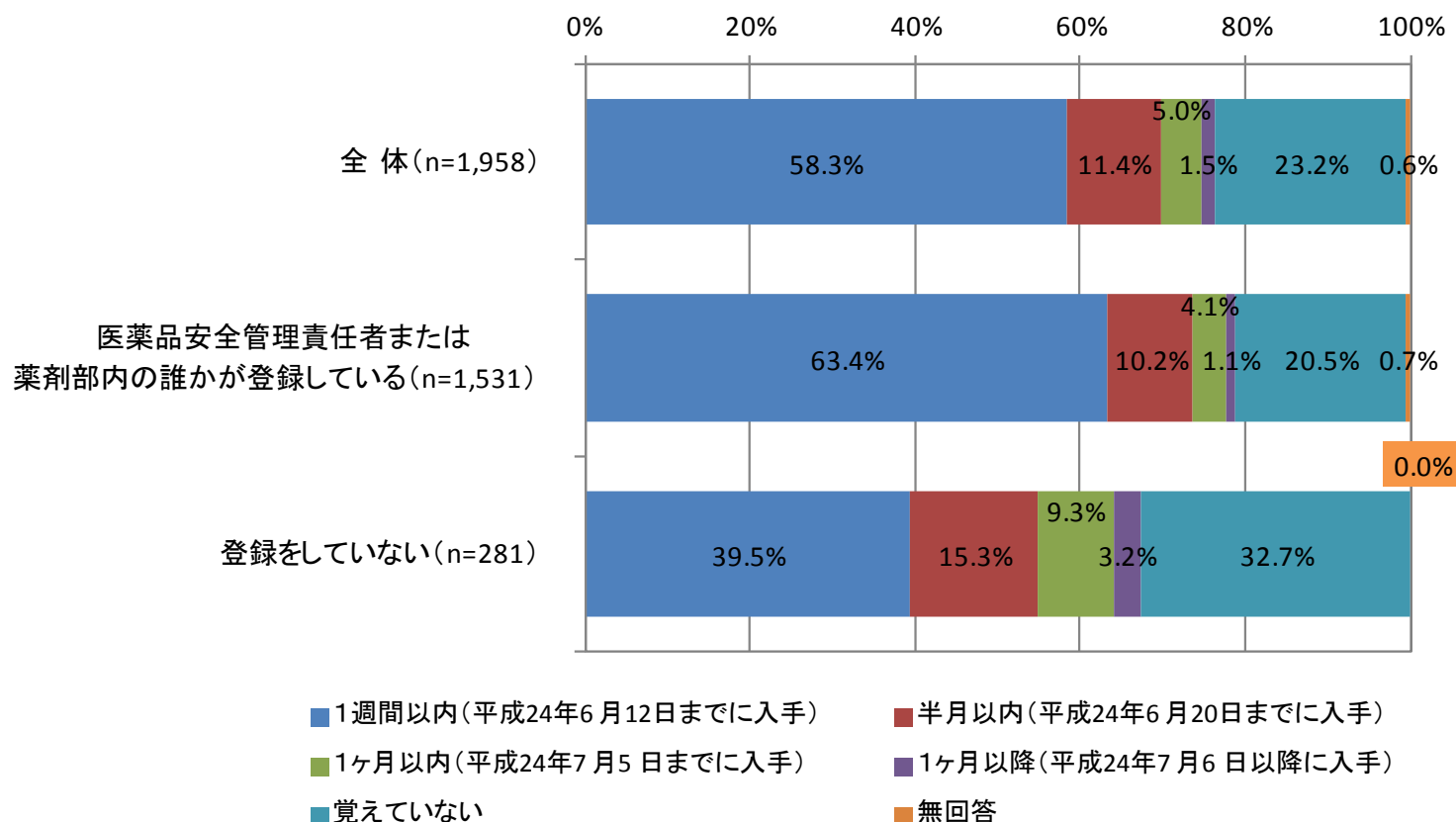
(単数回答) 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設



(4) 最も早かった入手時期はいつですか。(3/3)

問7・8 PMDAメディナビ への登録 状況別

(単数回答) 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設

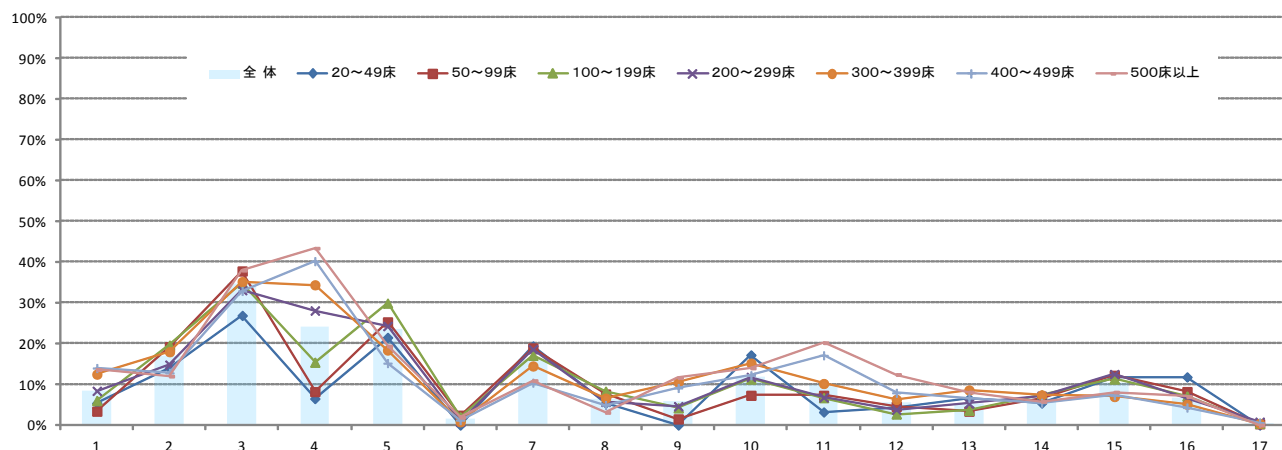


(5) 入手した情報を、院内でどのように伝達し措置を講じましたか。 (1/2)

病床規模別

(複数回答)

集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設



	調査数	院内に掲示	情報を印刷して回覧	紙面（原本又はコピー）を紙面で配布	医師等に電子メール等で通知	薬事委員会等で説明	入手した情報に関する説明会を開催	使用している医師等と面談して説明	処方された患者を特定し、その患者のカルテへ注意書を貼付	セージ（警告）表示	オランダリングシステム、電子カルテシステム上でメッセージ（警告）表示	薬局・薬剤科（部）から出し（調剤）時に疑義照会・確認	医師へ検査の徹底を周知	医師による副作用モニタリングを要請	薬剤師が検査の実施状況を確認	薬剤師が処方された患者を特定し、医師と協働して副作用の有無を確認	その他	特に措置を講じなかった	無回答
全 体	1,958	8.4%	16.9%	34.6%	24.1%	23.6%	1.5%	16.1%	6.5%	5.9%	11.8%	9.8%	5.5%	5.4%	6.8%	10.4%	6.8%	0.4%	
20～49床	93	5.4%	14.0%	26.9%	6.5%	21.5%	0.0%	19.4%	5.4%	0.0%	17.2%	3.2%	4.3%	6.5%	5.4%	11.8%	11.8%	0.0%	
50～99床	328	3.4%	19.2%	37.8%	8.2%	25.3%	2.4%	18.9%	7.6%	1.5%	7.3%	7.3%	4.6%	3.4%	6.7%	12.2%	8.2%	0.3%	
100～199床	551	6.0%	19.6%	34.8%	15.4%	29.9%	2.0%	17.1%	8.3%	4.2%	11.3%	6.7%	2.7%	3.6%	7.4%	11.3%	7.1%	0.4%	
200～299床	263	8.4%	14.8%	33.1%	28.1%	24.3%	0.8%	18.6%	5.7%	4.6%	11.8%	6.8%	3.8%	5.3%	7.2%	12.5%	6.5%	0.8%	
300～399床	256	12.5%	18.0%	35.2%	34.4%	18.4%	0.8%	14.5%	6.6%	10.5%	15.2%	10.2%	6.3%	8.6%	7.4%	7.0%	5.1%	0.4%	
400～499床	164	14.0%	12.8%	32.9%	40.2%	15.2%	1.2%	10.4%	4.9%	9.1%	12.2%	17.1%	7.9%	6.7%	5.5%	7.3%	4.3%	0.6%	
500床以上	258	13.6%	12.0%	38.0%	43.4%	19.4%	1.9%	10.9%	3.1%	11.6%	14.0%	20.2%	12.4%	8.1%	5.8%	8.1%	7.0%	0.0%	

(5) 主な
配布先へ

(5) 主な
通知先へ

(5) 周知
方法へ

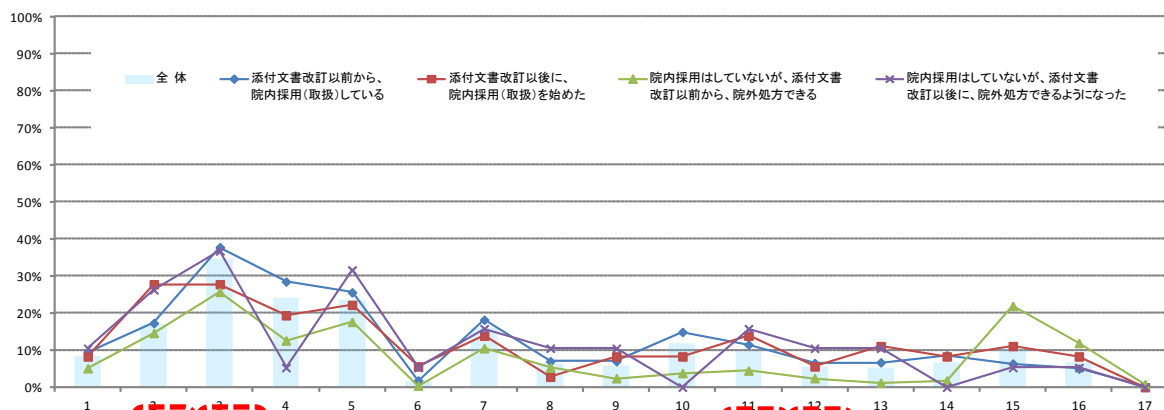
(5) 要請
方法へ

(5) 入手した情報を、院内でどのように伝達し措置を講じましたか。 (2/2)

(1) 採用 状況別

(複数回答)

集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/
「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/
「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設



	調査数	院内に掲示	情報を印刷して回覧	紙面で配布 情報（原本又はコピー）を	医師等に電子メール等で通知	薬事委員会等で説明	入手した情報に関する説明 会を開催	使用している医師等と面談して説明	処方された患者を特定し、その患者のカルテへ注意書きを貼付	処方された患者を特定し、その患者のカルテへ注意書きを貼付	オランダリングシステム、電子カルテシステム上でメッセージ（警告）表示	薬剤師が検査の実施状況を確認	医師による副作用モニタリングを要請	医師へ検査の徹底を周知	薬剤師が処方された患者を特定し、医師と協働して副作用の有無を確認	その他	特に措置を講じなかった	無回答
全 体	1,958	8.4%	16.9%	34.6%	24.1%	23.6%	1.5%	16.1%	6.5%	5.9%	11.8%	9.8%	5.5%	5.4%	6.8%	10.4%	6.8%	0.
添付文書改訂以前から、院内採用（取扱）している	1,409	9.5%	17.3%	37.8%	28.5%	25.6%	1.8%	18.2%	7.0%	7.0%	14.9%	11.5%	6.5%	6.7%	8.6%	6.4%	5.0%	0.
添付文書改訂以後に、院内採用（取扱）を始めた	36	8.3%	27.8%	27.8%	19.4%	22.2%	5.6%	13.9%	2.8%	8.3%	8.3%	13.9%	5.6%	11.1%	8.3%	11.1%	8.3%	0.
院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる	494	5.1%	14.6%	25.7%	12.6%	17.6%	0.4%	10.5%	5.3%	2.4%	3.8%	4.5%	2.4%	1.2%	1.8%	21.9%	11.9%	0.
院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった	19	10.5%	26.3%	36.8%	5.3%	31.6%	5.3%	15.8%	10.5%	10.5%	0.0%	15.8%	10.5%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	0.

(5) 主な
配布先へ

(5) 主な
通知先へ

(5) 周知
方法へ

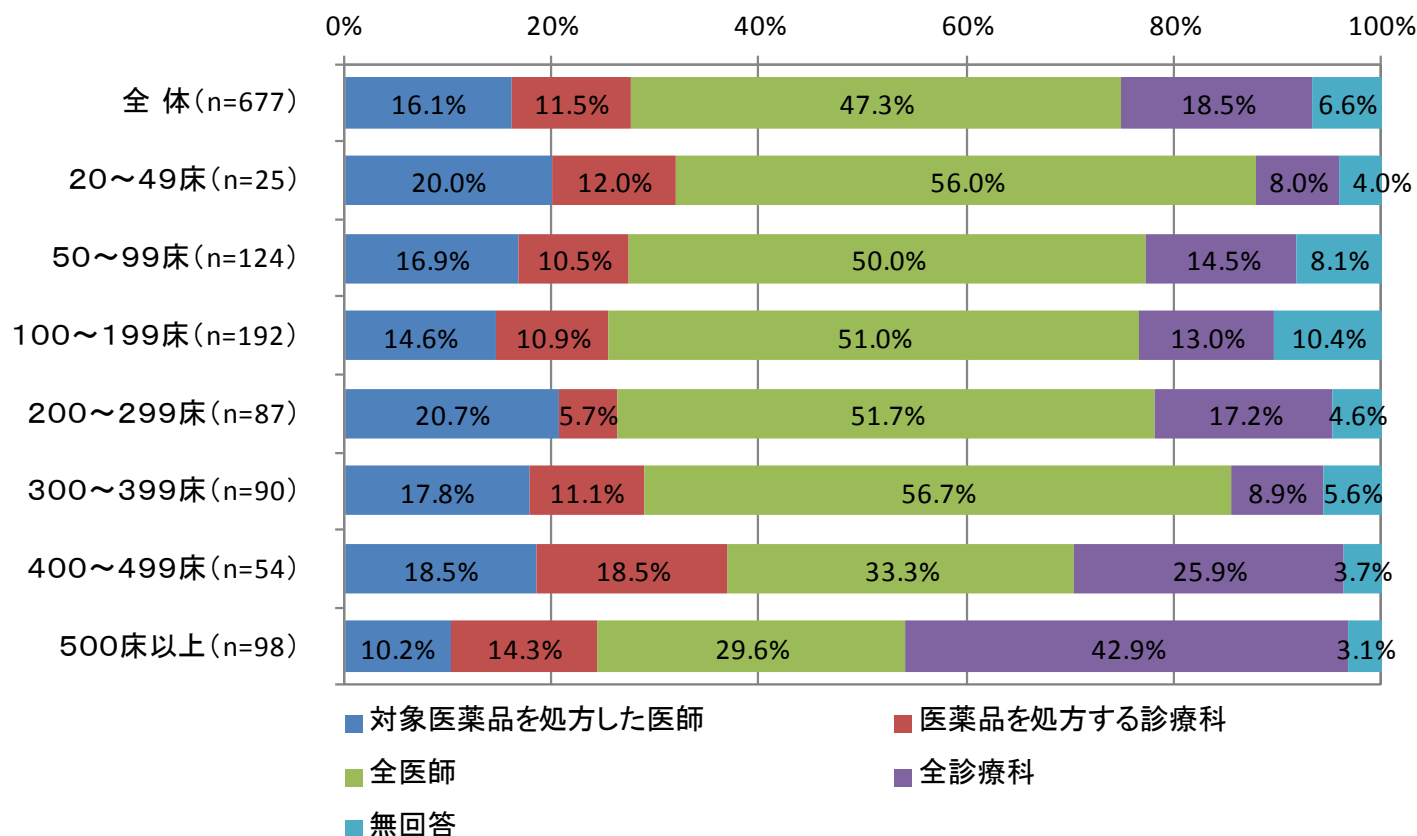
(5) 要請
方法へ

(5) (情報(原本又はコピー)を紙面で配布している場合) 主な配布先 (1/2)

病床規模別

(単数回答)

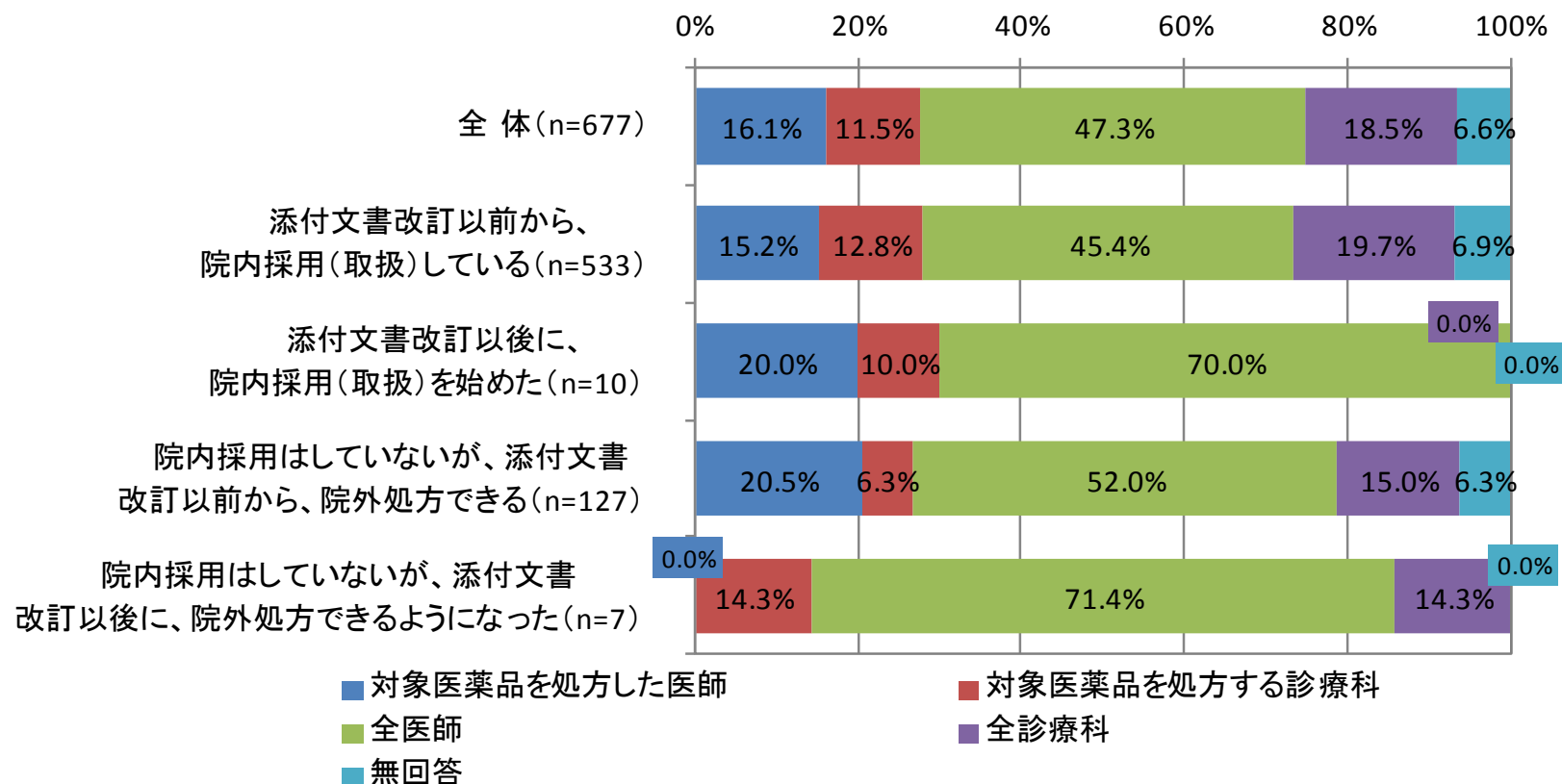
集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設のうち、「情報(原本又はコピー)を紙面で配布」している
施設



(5) (情報(原本又はコピー)を紙面で配布している場合) 主な配布先 (2/2)

(1) 採用 状況別

(単数回答) 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設のうち、「情報(原本又はコピー)を紙面で配布」している
施設

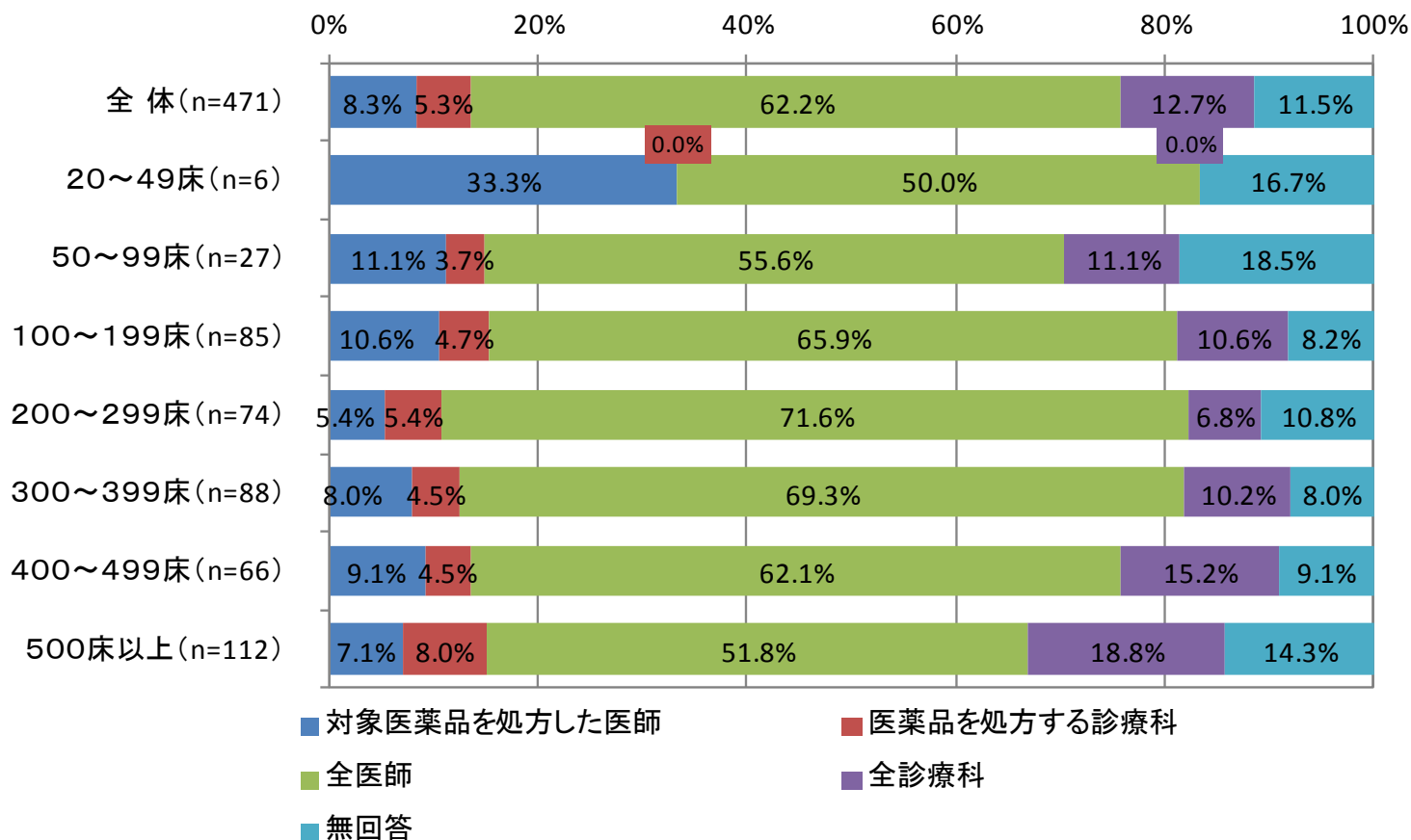


(5) (医師等に電子メール等で通知している場合) 主な通知先(1/2)

病床規模別

(単数回答)

集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設のうち、「情報（原本又はコピー）を紙面で配布」している
施設

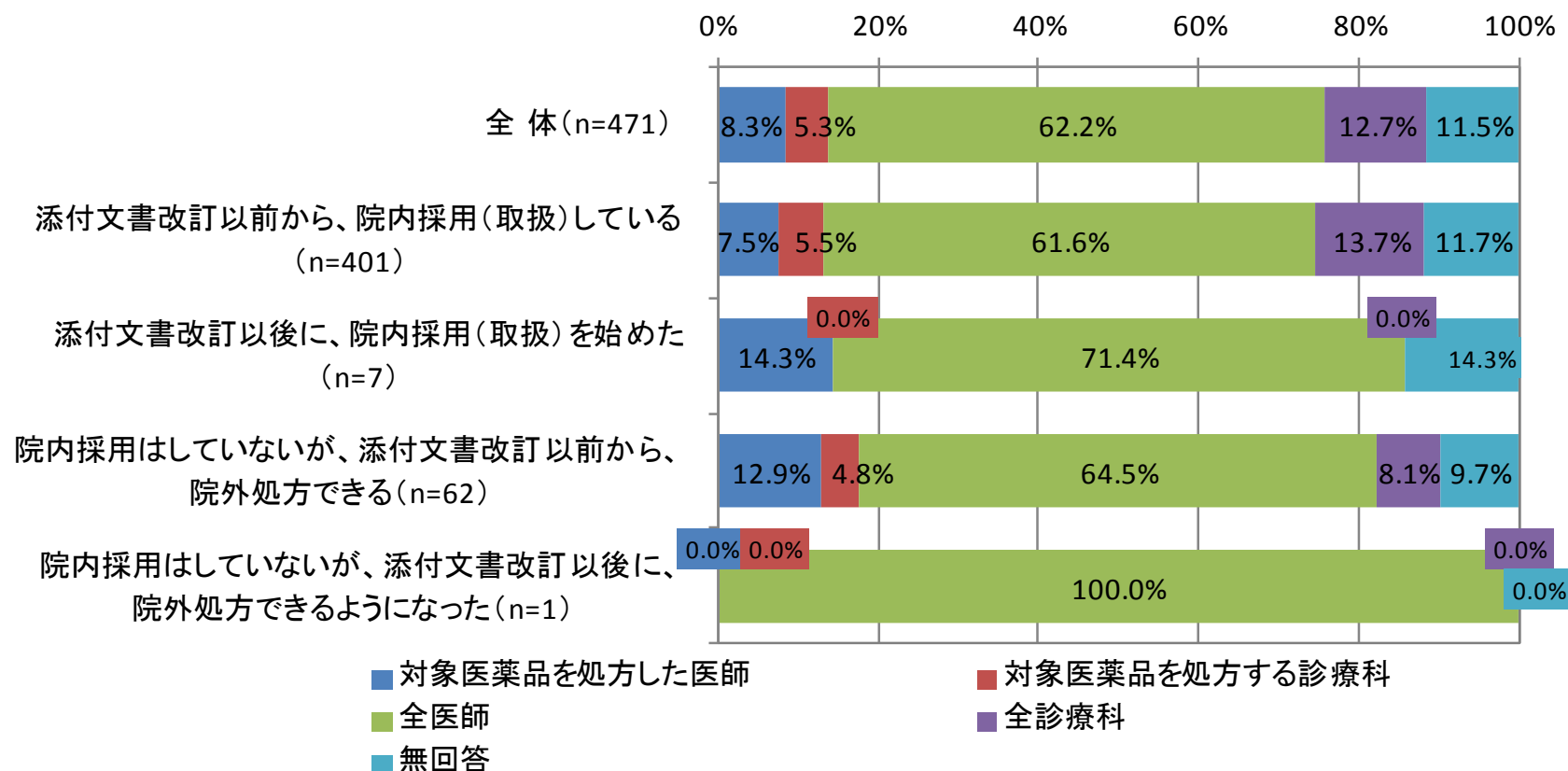


(5) (医師等に電子メール等で通知している場合) 主な通知先(2/2)

(1) 採用 状況別

(単数回答)

集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設のうち、「医師等に電子メール等で通知」している施設

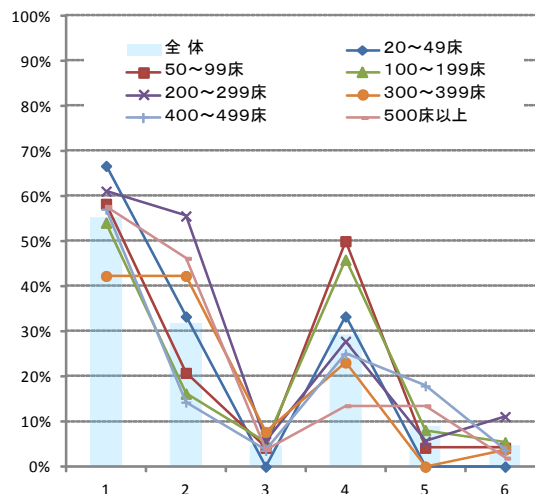


(5) (医師へ検査の徹底を周知している場合) 周知方法(1/2)

病床規模別

(複数回答)

集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設のうち、「医師へ検査の徹底を周知」している施設

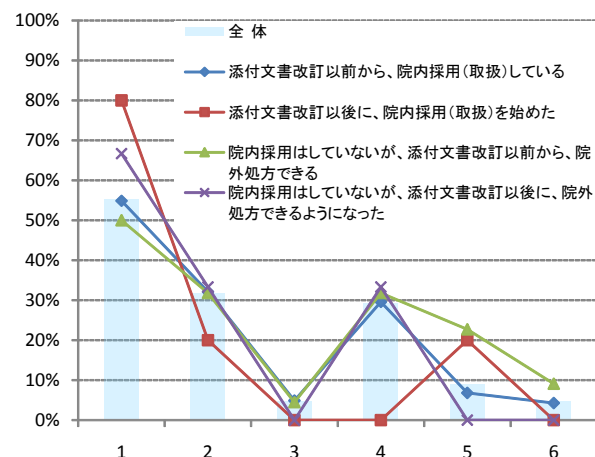


	調査数	お知らせ配布	電子メール	説明会	処方医と面談	その他	無回答
全 体	192	55.2%	31.8%	4.7%	29.2%	8.9%	4.7%
20～49床	3	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
50～99床	24	58.3%	20.8%	4.2%	50.0%	4.2%	4.2%
100～199床	37	54.1%	16.2%	5.4%	45.9%	8.1%	5.4%
200～299床	18	61.1%	55.6%	5.6%	27.8%	5.6%	11.1%
300～399床	26	42.3%	42.3%	7.7%	23.1%	0.0%	3.8%
400～499床	28	57.1%	14.3%	3.6%	25.0%	17.9%	3.6%
500床以上	52	57.7%	46.2%	3.8%	13.5%	13.5%	1.9%

(5) (医師へ検査の徹底を周知している場合) 周知方法(2/2)

(1) 採用 状況別

(複数回答) 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設のうち、「医師へ検査の徹底を周知」している施設



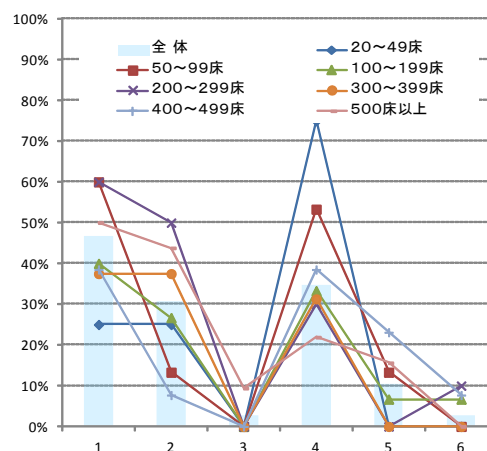
	調査数	お知らせ配布	電子メール	説明会	処方医と面談	その他	無回答
全 体	192	55.2%	31.8%	4.7%	29.2%	8.9%	4.7%
添付文書改訂以前から、院内採用(取扱)している	162	54.9%	32.1%	4.9%	29.6%	6.8%	4.3%
添付文書改訂以後に、院内採用(取扱)を始めた	5	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる	22	50.0%	31.8%	4.5%	31.8%	22.7%	9.1%
院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった	3	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%

(5) (医師による副作用モニタリングを要請している場合) 要請方法 (1/2)

病床規模別

(複数回答)

集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付
文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂
以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の
内容を知っている施設のうち、「医師による副作用モニタリングを要請」している
施設

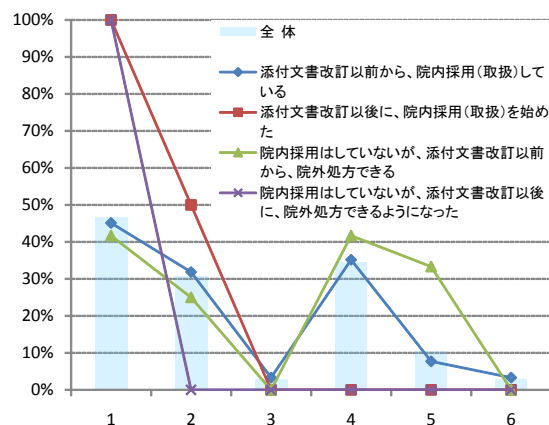


	調査数	お知らせ配布	電子メール	説明会	処方医と面談	その他	無回答
全 体	107	46.7%	30.8%	2.8%	34.6%	10.3%	2.8%
20～49床	4	25.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
50～99床	15	60.0%	13.3%	0.0%	53.3%	13.3%	0.0%
100～199床	15	40.0%	26.7%	0.0%	33.3%	6.7%	6.7%
200～299床	10	60.0%	50.0%	0.0%	30.0%	0.0%	10.0%
300～399床	16	37.5%	37.5%	0.0%	31.3%	0.0%	0.0%
400～499床	13	38.5%	7.7%	0.0%	38.5%	23.1%	7.7%
500床以上	32	50.0%	43.8%	9.4%	21.9%	15.6%	0.0%

(5) (医師による副作用モニタリングを要請している場合) 要請方法 (2/2)

(1) 採用状況別

(複数回答) 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設のうち、「医師による副作用モニタリングを要請」している施設



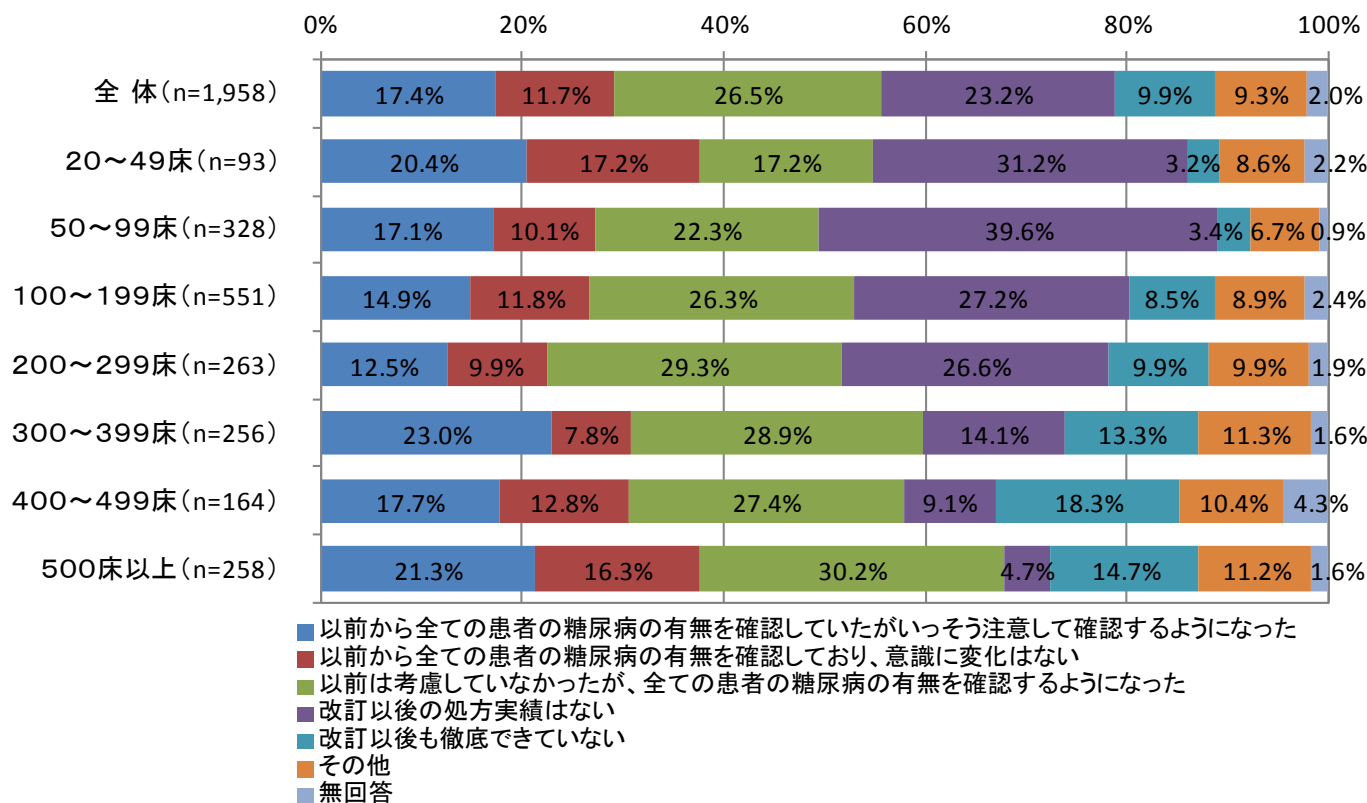
	調査数	お知らせ配布	電子メール	説明会	処方医と面談	その他	無回答
全 体	107	46.7%	30.8%	2.8%	34.6%	10.3%	2.8%
添付文書改訂以前から、院内採用(取扱)している	91	45.1%	31.9%	3.3%	35.2%	7.7%	3.3%
添付文書改訂以後に、院内採用(取扱)を始めた	2	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる	12	41.7%	25.0%	0.0%	41.7%	33.3%	0.0%
院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(6) 入院患者及び院内調剤の外来患者について、添付文書改訂以後、糖尿病患者におけるACEIまたはARBとの併用の危険性に対して、本剤の使用にあたっての糖尿病の既往の確認について意識に変化はありましたか。(1/2)

病床規模別

(単数回答)

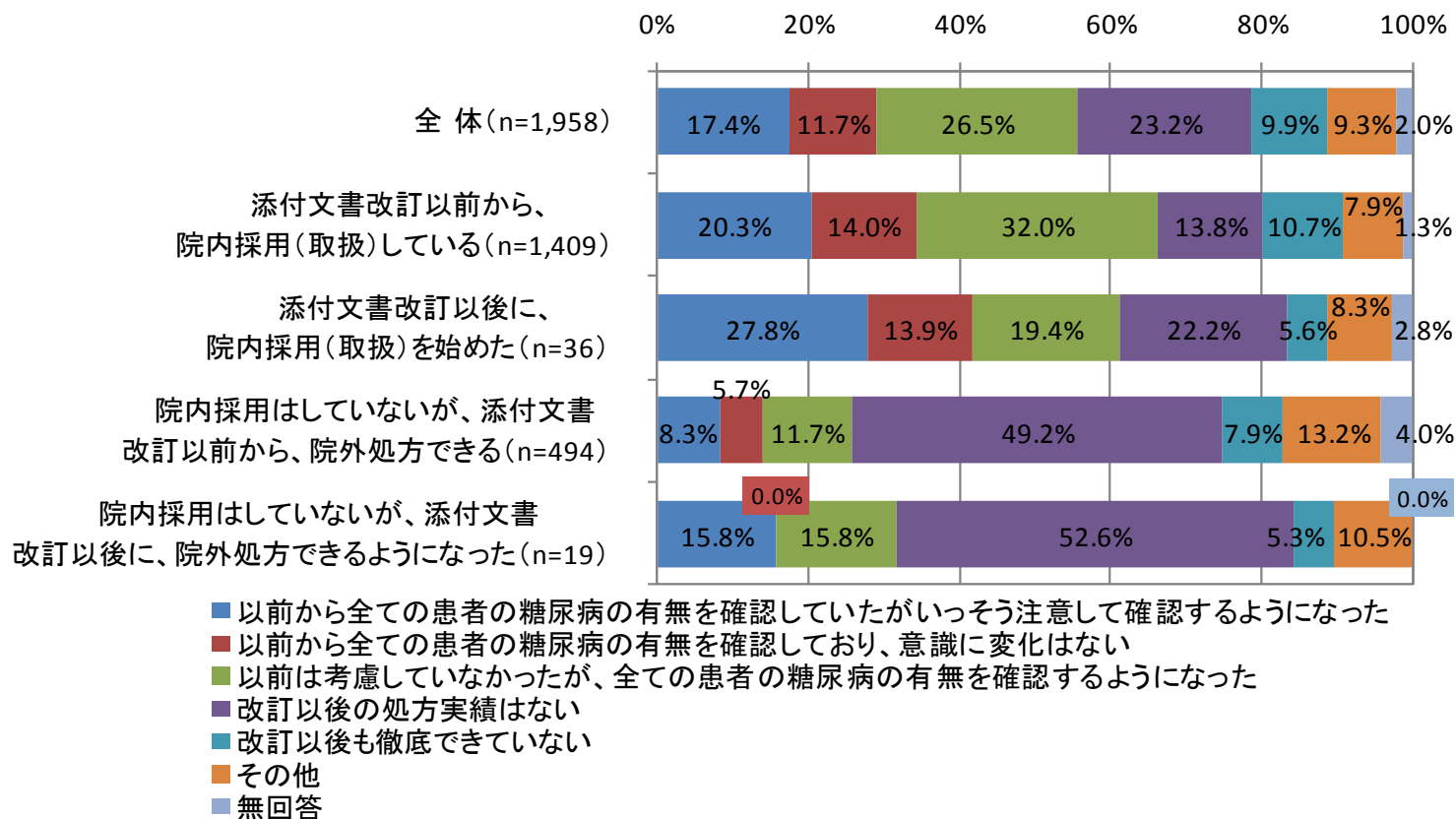
集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設



(6) 入院患者及び院内調剤の外来患者について、添付文書改訂以後、糖尿病患者におけるACEIまたはARBとの併用の危険性に対して、本剤の使用にあたっての糖尿病の既往の確認について意識に変化はありましたか。(2/2)

(1) 採用状況別

(単数回答) 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設

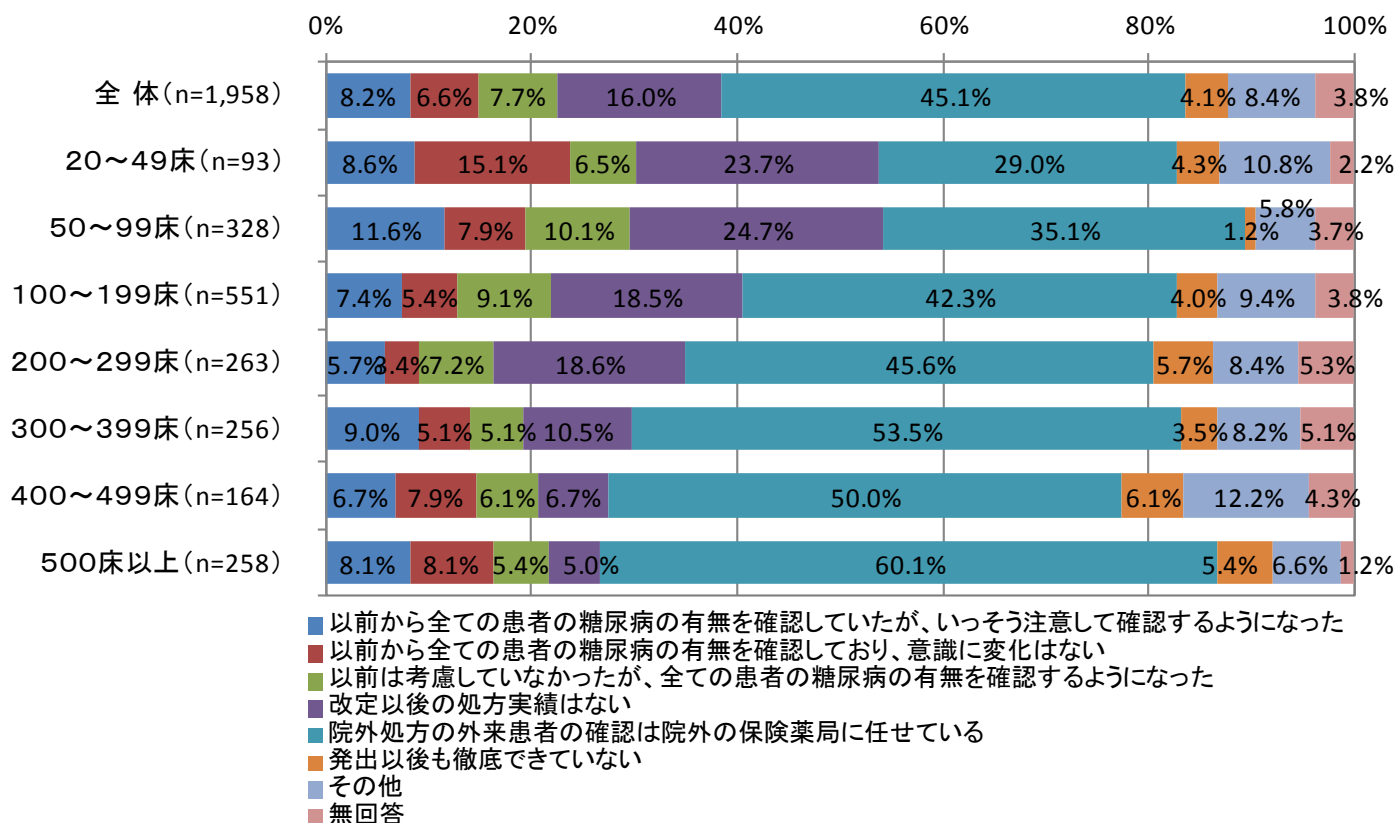


(7) 院外処方外来患者について、添付文書改訂以後、糖尿病患者におけるACEIまたはARBとの併用の危険性に対して、本剤の使用にあたっての糖尿病の既往の確認について、意識に変化はありましたか。(1/2)

病床規模別

(単数回答)

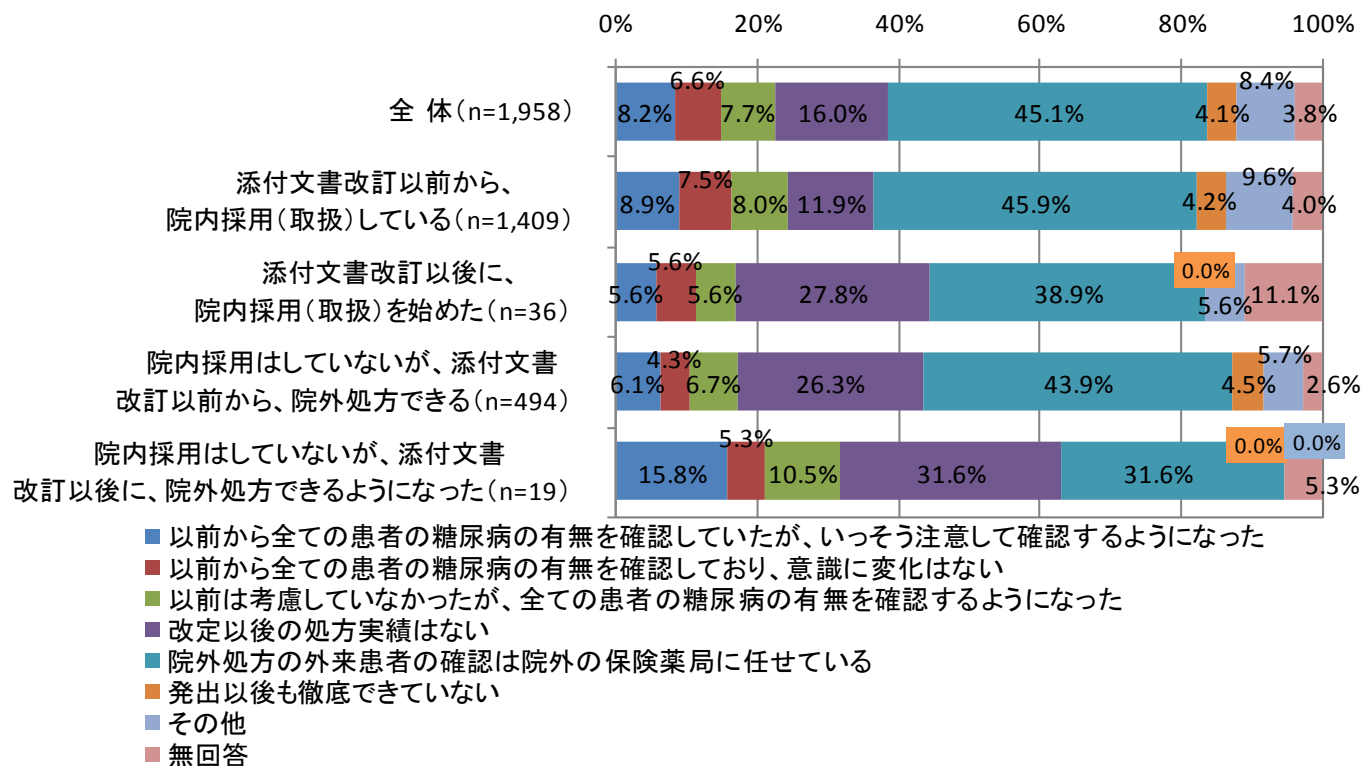
集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設



(7) 院外処方外来患者について、添付文書改訂以後、糖尿病患者におけるACEIまたはARBとの併用の危険性に対して、本剤の使用にあたっての糖尿病の既往の確認について、意識に変化はありましたか。(2/2)

(1) 採用状況別

(単数回答) 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設

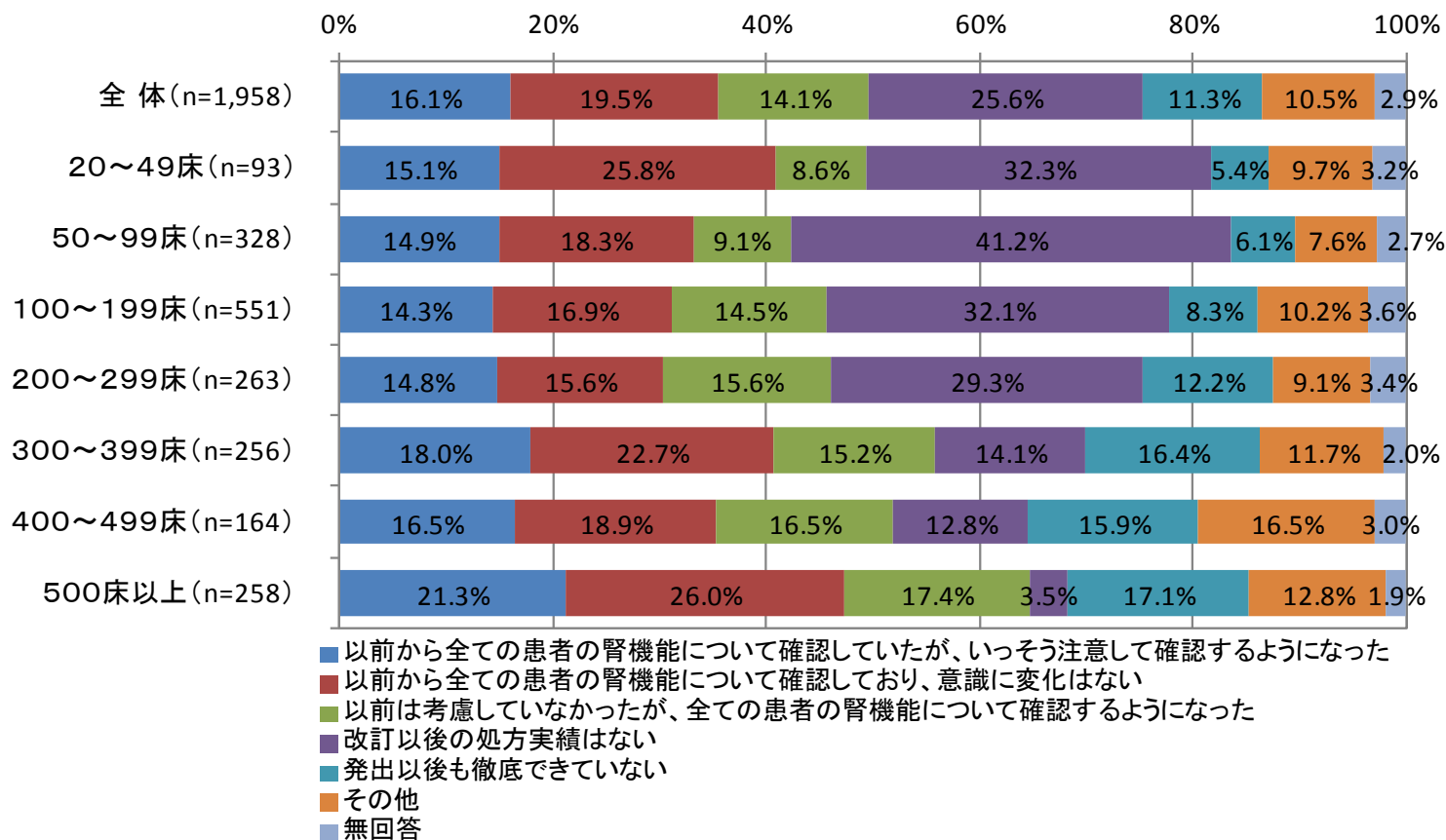


(8) 入院患者及び院内調剤の外来患者について、添付文書改訂以後、本剤の使用にあたって、腎機能の検査値の確認方法に変化はありましたか。(1/2)

病床規模別

(単数回答)

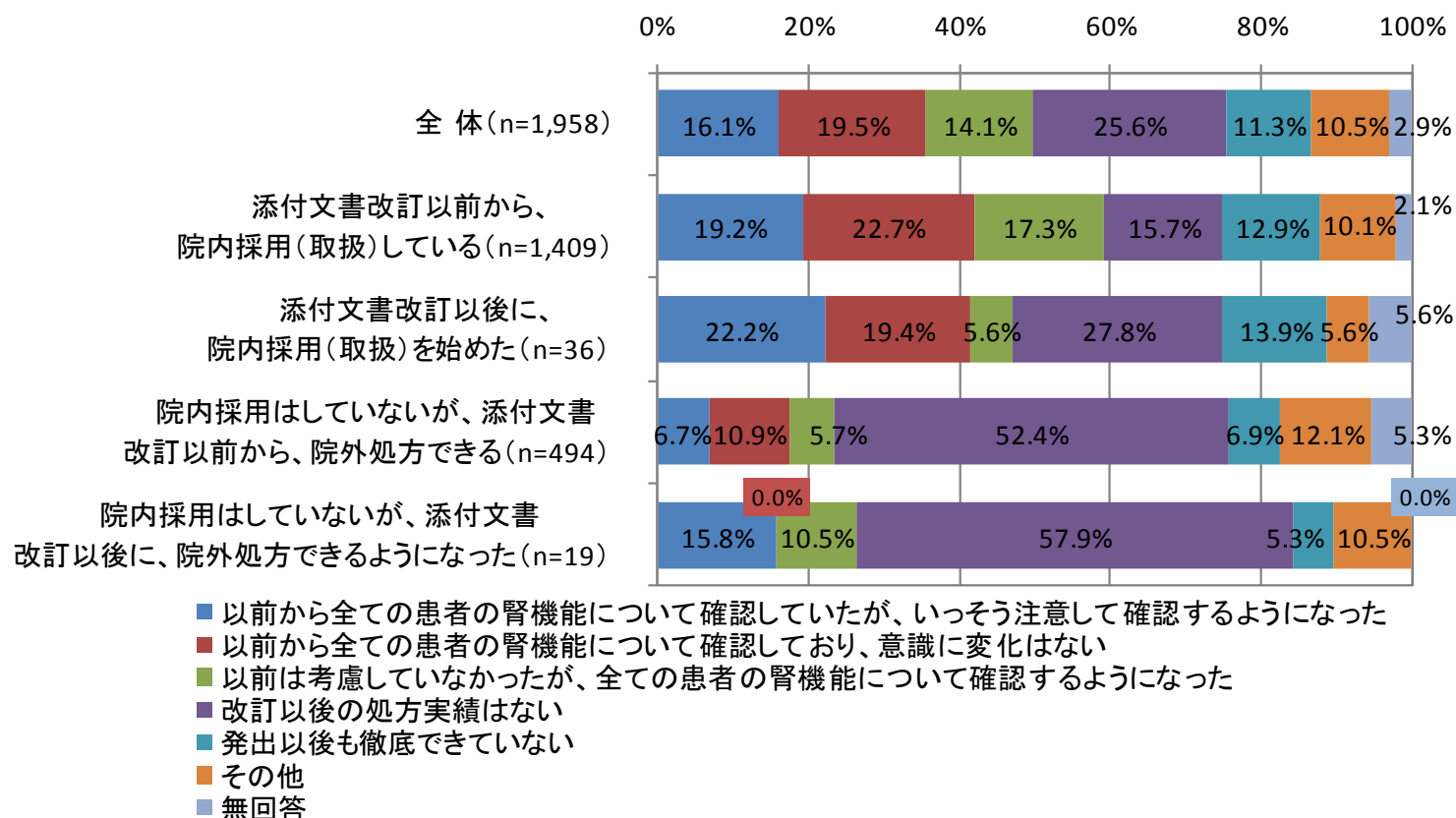
集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/
「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設



(8) 入院患者及び院内調剤の外来患者について、添付文書改訂以後、本剤の使用にあたって、腎機能の検査値の確認方法に変化はありましたか。(2/2)

(1) 採用状況別

(単数回答) 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設

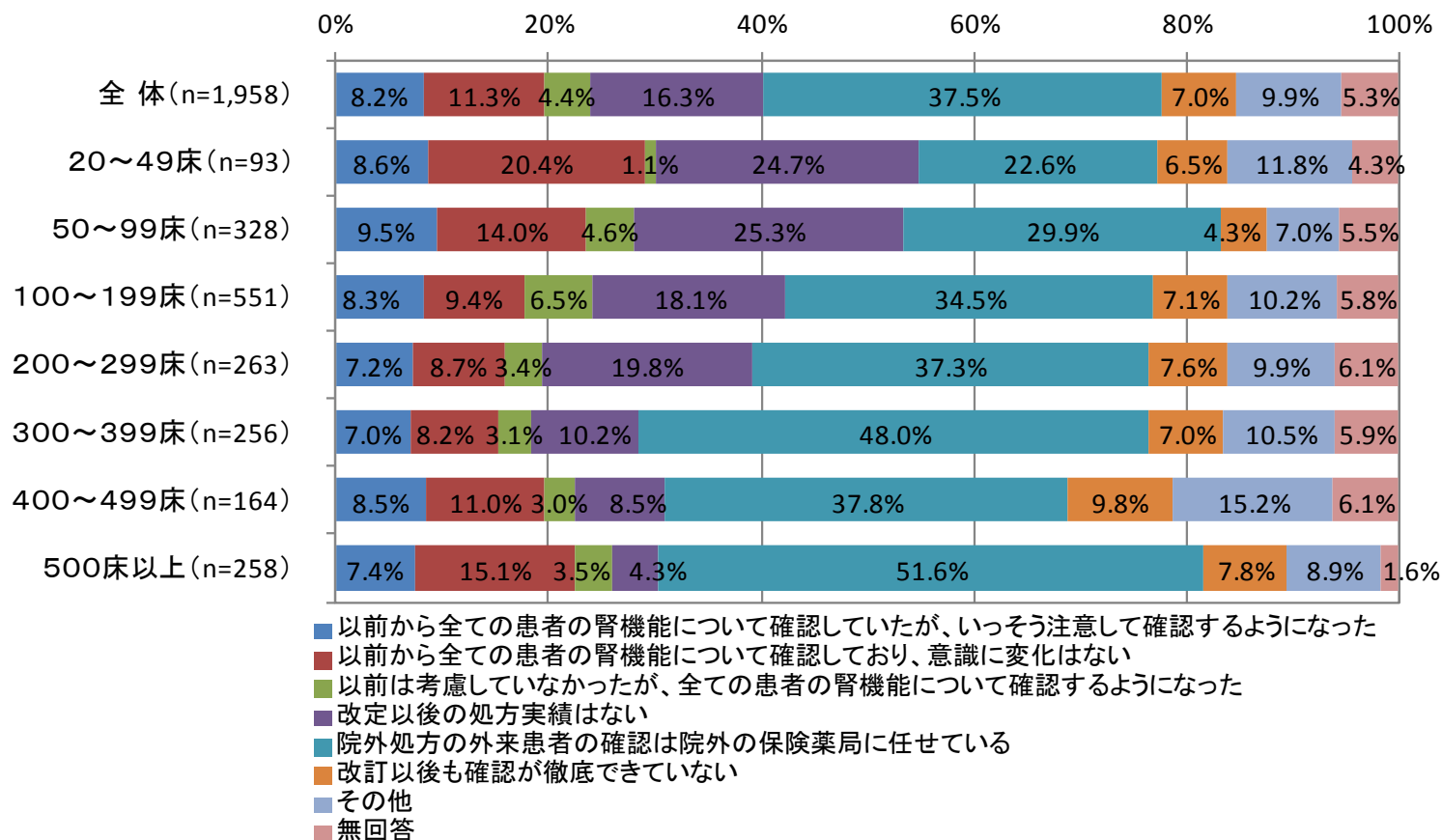


(9) 院外処方外来患者について、添付文書改訂以後、本剤の使用にあたって、腎機能の検査値の確認方法に変化はありましたか。(1/2)

病床規模別

(単数回答)

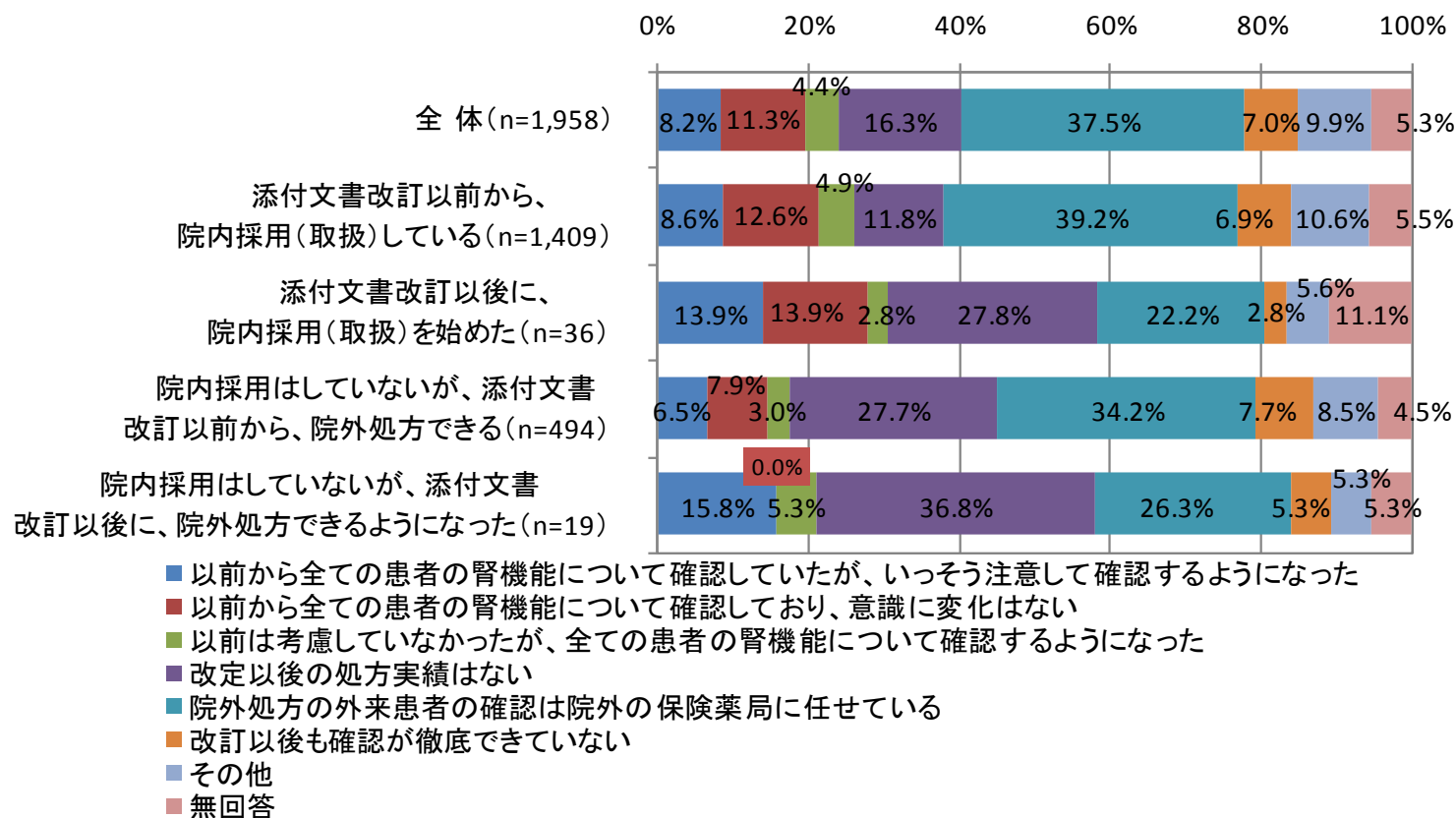
集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設



(9) 院外処方外来患者について、添付文書改訂以後、本剤の使用にあたって、腎機能の検査値の確認方法に変化はありましたか。(2/2)

(1) 採用 状況別

(単数回答) 集計対象：アリスキレンフマル酸塩を「添付文書改訂以前から、院内採用している」/「添付文書改訂以後に、院内採用を始めた」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以前から、院外処方できる」/「院内採用はしていないが、添付文書改訂以後に、院外処方できるようになった」施設で、平成24年6月5日の添付文書改訂の内容を知っている施設



(10) この事例のように処方医との連携が重要なケースで、何か工夫されていることはありますか。

主な意見

- ❑ 基本的には医師の裁量に任せているが、電子カルテを利用して、情報の共有が図れるようにしている。
- ❑ 薬剤科で処方患者を調査し、院内の処方医師に対して通知を行っている。
- ❑ 入院前カンファレンス、入院初期カンファレンスで処方内容に関し、検査、併用、病態における注意事項等の情報提供およびディスカッションを行う。処方変更時は同様に対応する。
- ❑ 腎機能など検査が必要なものに関しては、院内PHSもしくは院内イントラネットのメール機能を利用し医師へ検査の必要性を訴えている。実際に腎機能低下があった場合は、処方医に院内PHSで用法用量の変更または代替薬などの確認をとる。
- ❑ 処方時、院外採用薬、用法・用量等について処方支援している。院外処方せんは、必ず薬剤師が確認している。